令和8年度　川崎市学習状況調査　報告　詳細版

目 次

第1章　川崎市学習状況調査の概要･･･3

Ⅰ　調査の概要･･･4
　1　調査の目的　　2　調査の内容　　3　調査の特色
Ⅱ　育成を目指す資質･能力･･･10
　1　かわさき教育プランから

第2章　カリキュラムセンター、分析委員会による分析･･･12

Ⅰ　小学校の教科調査結果と分析、手立て･･･13
　1　各教科の結果概要　　2　小学校 国語科　　3　小学校 算数科　　4　小学校全般を通しての状況と授業改善のポイント
　5　他教科等の分析と手立て
Ⅱ　中学校の教科調査結果と分析、手立て･･･50
　1　各教科の結果概要　　2　中学校 国語科　　3　中学校 社会科　　4　中学校 数学科　　5　中学校 理科　　6　中学校 英語科
　7　中学校全般を通しての状況と授業改善のポイント　　8　他教科等の分析と手立て
Ⅲ　学習意識調査の結果･･･111
　1　学習の理解度　　2　学習の好感度　　3　学習への意識
Ⅳ　調査結果のまとめと手立て･･･121
　1　調査結果の成果と課題　　2　今後の手立て
Ⅴ　結果の一覧･･･124
Ⅵ　今後の各種事業の取組について･･･181
　1　研究会･研究部会の各事業　　2　教育委員会の各事業

第3章　教育委員会事務局各部署による分析･･･192

Ⅰ　政策推進･･･193　　Ⅱ　SOSの出し方･受け止め方教育･･･200　　Ⅲ　人権･多文化共生教育･･･202
Ⅳ　情報･視聴覚センター･･･205

第4章　9月25日担当者説明会とモデル校の取組より･･･207

Ⅰ　担当者説明会･･･208　Ⅱ　モデル校の事例･･･211

第1章　川崎市学習状況調査の概要

第1章　　Ⅰ　調査の概要

第1章　川崎市学習状況調査の概要

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

○児童生徒、保護者は、学習の取組を振り返り、課題を的確に把握し、学習改善に生かす。
○学校は、学校教育目標等で示した資質・能力の育成に向けて、調査結果を分析し、個に応じた指導や学校（学年）での授業改善、教育課程編成等に生かす。
○校長会、各研究（部）会は、教育委員会と連携して全市的な結果の分析と授業改善の具体的な手立て、個に応じた指導の手立て等を研究し、説明会や各研究（部）会の事業等で教員に伝達する。
○教育委員会は、全市的な児童生徒の学習状況を経年調査することにより、学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

２　調査の内容

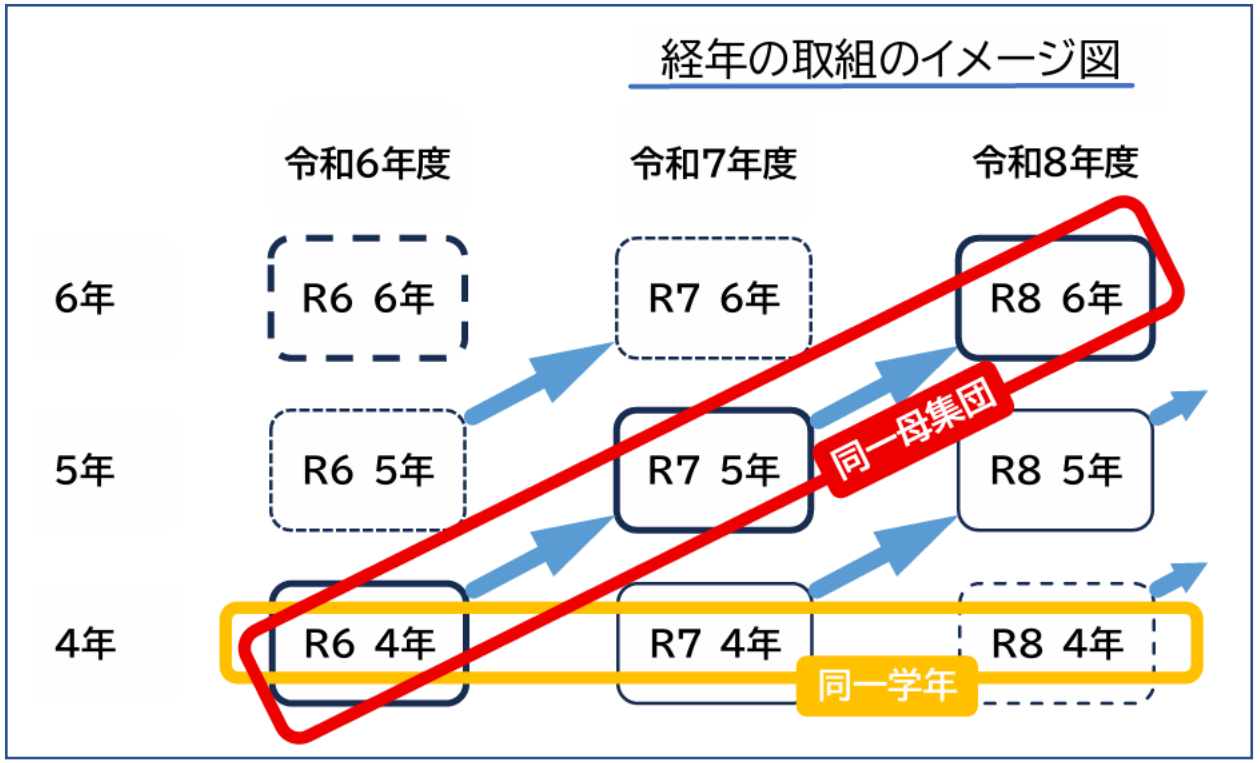
○教科調査　　小学校　国語・算数　　中学校　国語・社会・数学・理科・英語
　調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当な項目について調査を実施しました（前年度までの学習範囲）。
○学習意識調査
　児童生徒の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童生徒を対象とする調査を実施しました。
○調査の対象及び人数
　市内全市立小学校の第4学年　11,492名、第5学年　11,780名、第6学年　11,874名
　市内全市立中学校の第1学年　9,342名、第2学年　9,266名、第3学年　9,135名
○調査実施期間　　令和8年4月7日（火）～24日（金）

3　調査の特色

○IRTに基づく出題

　川崎市学習状況調査では、小4から中3までの6学年に対象を拡充し、児童生徒一人ひとりや学年、学校の実態について経年で比較することが可能となります。これは、IRT（項目反応理論）に基づく調査問題で、毎年同学年で同程度の難易度となる新しい問題を作成するため、参加自治体全体と比較することで児童生徒一人ひとり、学年の過年度と比較しやすくなるからです。

　例えば、令和6年度の小4の結果から授業改善や学習改善を図り、次年度に同一母集団である令和7年度の小5の結果を4年次と比較し、これまでの取組を振り返り、成果や課題を明確にして、更なる手立てを考えるなど、児童生徒一人ひとりや学年、学校の実態に応じた指導が行いやすくなります。また、令和6、7年度の小4のように同一学年の比較も可能です。調査結果については、各教科の結果と学習意識調査の結果について、**経年的に学習状況が「見える化」される**ので、学校や学年、児童生徒の実態に応じた手立てが、より行いやすくなります。



　毎年異なる問題ではあるが、同一学年の平均正答率が毎年同等となるように設計したもの。例に挙げた小4は、ここ3年間の平均正答率が7割程度

例

例	R6 参加自治体全体 平均正答率	R7 参加自治体全体 平均正答率	R8 参加自治体全体 平均正答率
小4	71.6	68.9	70.0

〇Webシステム（SYEN）について
Web分析システム「SYEN」からは、多様なデータを読み取ることができます。
示されるデータ例
・調査結果を出題形式や「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点別に集計したデータ
・設問ごとの各正答率のデータ
・各設問において全市の受検者の上位から25％ずつをA～D層の4層に分けたA～D層の正答率　など

川崎市学習状況調査の概要

調査対象	**〇小学校第4学年～中学校第3学年**
調査教科	〇小学校　国語・算数　学習意識調査　　中学校　国語・社会・数学・理科・英語　学習意識調査
実施時期	〇小中ともに4月始業式翌週の4月7日（火）～24日（金）のうち各学校が設定する。 学校の実態に応じて複数日での実施や学年ごとの実施なども考えられる。
作問・採点	〇業者がIRT（項目反応理論）に基づく問題を作成し採点する。 →問題の難易度などについて事前調査を行い、検証を経て出題する。毎年新しい問題でありながら同学年で同程度の難易度となり、経年で比較・分析が可能になる。
学習意識調査	〇業者が提供する、学習と相関の高い項目と、川崎市独自の項目として、自己肯定感や地域への愛情等の項目
配布資料等	〇児童生徒に個人票、学校に学年票（ともに紙帳票）配布 〇個人の結果とGIGA端末の学習ソフトが連携
学校報告書	〇これまでの学校報告書の取組を受け継ぎつつ、川崎市学習状況調査を中心に作成する。6学年（小学校は4・5・6年、中学校は1・2・3年）の結果を掲載し、それぞれの学年での取組、「（教科が）わかる」の数値を掲載する。併せて、全国学力・学習状況調査の結果（小6・中3）も該当学年で掲載する。

〇GIGA端末との連携
調査結果のデータはGIGA端末内の学習ソフトと連携します。児童生徒一人ひとりの調査結果に応じて、**学習ソフトから児童生徒に適した問題が自動生成され**、学習改善に生かすことができるようになりました。

〇分析方法について

・4層分析について

調査の目的の実現に向けて、より詳しい学力層別の傾向や状況を把握し、各層に適した支援や学習改善、授業改善に生かすために、4層分析を行っております。

教科調査は、川崎市内の受検者を、教科ごとに調査結果の高い者から並べ、意識調査は、小学校は2教科、中学校は5教科の合計点で並べ、上位からおおむね25%ずつをA～D層の4層に分けたものです。教科調査の数値はA～D層のそれぞれの平均正答率を示しています。意識調査の数値は肯定的な回答割合(「よくわかっている」「まぁわかっている」等)を示しています。

各層の学習等に関するデータや各層間の差、同一母集団の経年変化などに着目して、取組の成果や課題を捉えていきます。

・表の見方について

【全体(参加自治体全体)との比較】

例. 令和8年度小学校2教科平均正答率の全体との差

R8	2教科平均正答率		
	川崎	全体	差
小4	70.3	70.0	+0.3
小5	64.9	64.1	+0.8
小6	63.6	63.0	+0.6

令和8年度小学校6年生2教科平均正答率の全体との差
(令和8年度市の6年生の2教科平均正答率)
－(令和8年度全体の6年生の2教科平均正答率)
＝ 63.6 － 63.0
＝ +0.6

【経年比較】　例.【理解度】同一母集団の4層ごとの経年変化（小学校4教科平均）

年度・学年	学年の平均	A層	B層	C層	D層
R8・小4	87.8	95.8	92.5	87.3	75.6
R8・小5	87.3	97.0	92.8	86.1	73.4
R7・小4	84.7	94.5	90.3	83.7	70.7
R8・小6	86.4	97.1	92.1	85.2	71.7
R7・小5	85.3	96.0	90.7	84.6	69.9
R6・小4	85.4	94.7	89.7	84.4	72.5

+2.7

令和8年度小学校5年生D層の前年度との経年比較（差）
（令和8年度小5D層の肯定的回答率）－（令和7年度小4D層の肯定的回答率）
＝ 73.4 － 70.7
＝ +2.7

【C-D層の差】　例. 4層分析 と C-D層間の差（小学校国語の平均正答率）

小　国語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・小4	94.2	81.6	67.2	40.8	26.4
R8・小5	87.0	74.7	62.2	41.3	20.9
R7・小4	96.7	86.7	74.2	44.7	29.5
R8・小6	85.4	70.9	58.3	39.3	19.0
R7・小5	90.6	76.4	62.2	40.1	22.1
R6・小4	90.0	76.5	63.2	38.3	24.9

令和8年度小学校6年生における
（C層の平均正答率）－（D層の平均正答率）
＝ 58.3 － 39.3
＝ 19.0

第1章　　Ⅱ　育成を目指す資質・能力

Ⅱ　育成を目指す資質・能力

１　かわさき教育プランから

本市では、かわさき教育プランの第1期実施計画を策定し、「施策1　子ども主体の学びの推進」において、「確かな学力」の育成に向けた取組等が示されています。川崎市学習状況調査の結果から、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のための研究実践を進めていきます。カリキュラムセンターでは、各教科等の授業改善の視点等を、学習意識調査の結果も踏まえながらお示しします。

○かわさき教育プラン

めざすもの　「 一人ひとりが輝き、共に未来をつくる」

みんなと共有したい価値観　「一歩、踏み出す」　「自分の幸せ みんなの豊かさ」　「多様性を可能性へ」

基本的な考え方

「第1期実施計画」では、“教育から学び”へと転換し、市民一人ひとりが“学びの主体”となって、自らの学びを“自分事”としてとらえられるよう教育施策を進めていきます。子どもたちに一人ひとりの学習の進度や学び方の特性、その興味・関心が大きく異なる状況にあり、学校では、こうした多様な子どもたちを柔軟に受け止めながら、自分たちで考え、解決していく学びを通じて、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くことのできる力を身につけられるよう教育活動を進めます。そして、そうした力を身につけて大人になった市民が社会で活躍し、良き学び手として子どもたちの成長を支えていけるよう、子どもの学び（学校／学校教育）を一続きでとらえながら人材が循環する地域づくりを進めることで、「めざすもの」の実現をめざしていきます。

施策1. 子ども主体の学びの推進（施策の目標　社会的自立に必要な資質・能力が、子どもたちに培われている）

時代の変化に伴い学習方法も多様化しており、子どもが主体となる多様な学びの形に対応するためには、各学校が子どもの実態等を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、すべての子どもが「わかる」授業をめざした授業改善や指導体制を推進する必要があります。

第2章　カリキュラムセンター、分析委員会による分析

第2章　　Ⅰ　小学校の教科調査結果と分析、手立て

第2章　Ⅰ　　1　各教科の結果概要

Ⅰ　小学校の全市結果と分析、手立て

1　各教科の結果概要（国語・算数）　※値は平均正答率（%）

○全体との比較（令和8年度の結果）

R8	2教科 平均正答率		
	川崎	全体	差
小4	70.3	70.0	+0.3
小5	64.9	64.1	+0.8
小6	63.6	63.0	+0.6

R8	国語 平均正答率			算数 平均正答率		
	川崎	全体	差	川崎	全体	差
小4	70.9	69.7	+1.2	69.7	70.2	−0.5
小5	66.3	65.5	+0.8	63.4	62.6	+0.8
小6	63.5	63.3	+0.2	63.7	62.6	+1.1

川崎と全体の平均正答率を比較すると、本市の小4の算数以外の各教科、各学年は、全体より0.2から1.2ポイント上回っています。

平均正答率は、ほとんどの学年、教科で参加自治体全体を回っている。

○同一母集団の経年比較（令和6年度から令和8年度）

小学校　2教科平均正答率

	川崎と全体の平均正答率の差		
	R6 小4	R7 小4	R8 小4
小6	+0.6		
小5	+1,1	+0.8	
小4	+0.4	+1.6	+0.3

川崎と全体の平均正答率の差を見ると、若干の変化はあるものの、各母集団とも全国を上回った状況が継続しています。

○4層分析 と C-D層間の差

※「A層」「B層」「C層」「D層」の欄は平均正答率(%)を、
「C-D差」の欄はC層とD層のポイントの差を表しています。

小 国語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・小4	94.2	81.6	67.2	40.8	26.4
R8・小5	87.0	74.7	62.2	41.3	20.9
R7・小4	96.7	86.7	74.2	44.7	29.5
R8・小6	85.4	70.9	58.3	39.3	19.0
R7・小5	90.6	76.4	62.2	40.1	22.1
R6・小4	90.0	76.5	63.2	38.3	24.9

−8.6

−3.1

小 算数	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・小4	93.1	81.9	66.9	37.0	29.9
R8・小5	91.3	75.5	57.7	29.1	28.6
R7・小4	91.9	82.5	70.9	41.8	29.1
R8・小6	93.0	76.6	56.2	29.1	27.1
R7・小5	94.0	83.4	69.1	37.9	31.2
R6・小4	93.3	82.3	69.4	40.9	28.5

−1.5

−4.1

小 2教科平均	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・小4	93.7	81.8	67.1	38.9	28.2
R8・小5	89.2	75.1	60.0	35.2	24.8
R7・小4	94.3	84.6	72.6	43.3	29.3
R8・小6	89.2	73.8	57.3	34.2	23.1
R7・小5	92.3	79.9	65.7	39.0	26.7
R6・小4	91.7	79.4	66.3	39.6	26.7
層間の差	15.4	14.2	23.1		

−4.5

−3.6

※令和8年度の小6は、A-B層間が15.4ポイント、B-C層間が14.2ポイントで、C-D層間の23.1ポイントが一番大きく開いている。

他の層間よりもC-D層間が大きく開いている。

経年で比べると各教科ともC-D差が縮小している。

【小学校の調査結果(平均正答率)全体について】
川崎と全体との差に着目すると、小4の算数以外の全教科、学年で全体を上回りました。また、その全体との差を、同一母集団の経年比較で見ると、若干ですが低下が見られました。
4層分析の各層間の差に着目すると、C-D層の差が最も大きいものの、その差を経年比較すると、小5小6ともに縮小していました。引き続き、子どもの疑問や関心について確認した授業展開が大切です。

第2章　Ⅰ　　２　小学校 国語科

4年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	84.5	99.2	94.8	87.1	57.0	42.2

全体の正答率は84.5%です。4層分析では、A層99.2%に対し、D層は57.0%でA-D層の差が42.2ポイント開いています。

【問題2(2)アの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	76.3	97.6	88.9	78.4	40.4	57.2

「かいしゃに行く」の下線部分を漢字で書く問題です。正答率は76.3%です。A層97.6%に対し、D層40.4%と差が大きく、D層では無解答率も20.7%に達しています。A-C層の無解答率平均が1.6%に対しかなり高くなっています。D層は漢字が定着していない、熟語として習得できていないと考えられます。

次の下線の言葉を漢字で書きましょう。
ア　かいしゃに行く

【正答　会社】

【授業づくりのアイデア例】

漢字の確実な定着のために

○新出漢字の学習で

漢字を意味や成り立ちなどと結び付けて指導をすることが大切です。そこで、次のような指導が考えられます。(例「社」)

・どのような言葉として使うか確認する(神社、会社)
・意味を確認する(人が集まる場所)
・漢字の構成を知る(ネ＋土)
・その漢字を使った文を作る(会社に行く)

また児童自身が漢字辞典を使って成り立ちなどを自ら調べることも大切です。

○日常生活で

文や文章を書く際に、学習した漢字を使う習慣が身に付くようにすることが大切です。

相手意識をもって書くことで、漢字を使うよさや必要性を実感することができます。例えば、行事の案内やお礼の手紙を書くことが考えられます。

また、新出漢字を使った熟語を掲示したり、辞書や辞典を手元に置いてすぐに調べられるようにしたりするなど言語環境を整えることも効果的です。辞書や辞典の使用を習慣として定着させていくとよいです。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例　4年生

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	62.3	91.0	73.2	54.5	30.5	60.5

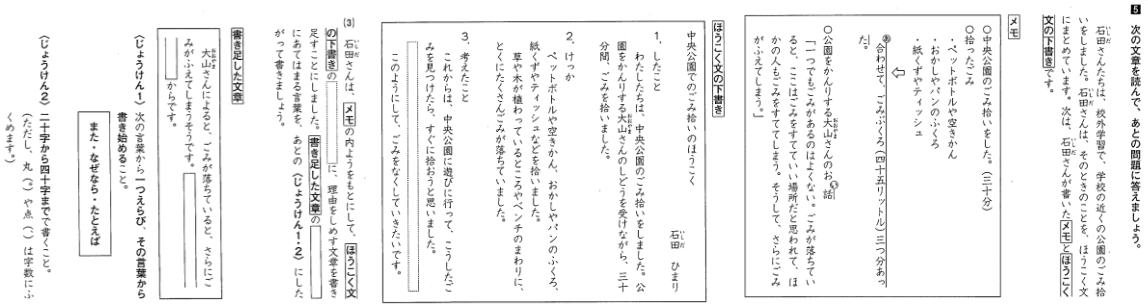
全体の正答率は62.3%です。4層分析では、A-D層の差は60.5ポイントとなっています。「書くこと」について、特にC・D層では、条件に合わせて書くことに課題があります。

【問題5(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	45.5	96.4	58.5	22.8	4.0	92.4

メモを参考にして、報告文の下書きに理由を示す文を書き足す問題です。A-B層の差が37.9ポイントで、D層の正答率は4.0%です。文脈を捉え、必要な情報を選んで書く力が求められます。

【正答例】　なぜなら、ここはごみをすてていい場所だと思われて、ほかの人もごみをすててしまう


5 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

石田さんたちは、校外学習で、学校の近くの公園のごみ拾いをしました。石田さんは、そのときのことを、ほうこく文にまとめています。次は、石田さんが書いた[メモ]と[ほうこく文の下書き]です。

[メモ]

○中央公園のごみ拾いをした。(三十分)
○拾ったごみ
・ペットボトルや空きかん
・おかしやパンのふくろ
・紙くずやティッシュ
⇦
(2)合わせて、ごみぶくろ(四十五リットル)三つ分あった。
○公園をかんりする大山さんのお(3)話
「一つでもごみがあるのはよくない。ごみが落ちていると、ここはごみをすてていい場所だと思われて、ほかの人もごみをすててしまう。そうして、さらにごみがふえてしまう。」

[ほうこく文の下書き]

中央公園でのごみ拾いのほうこく　石田　ひまり

1、したこと
わたしたちは、中央公園のごみ拾いをしました。公園をかんりする大山さんのしどうを受けながら、三十分間、ごみを拾いました。

2、けっか
ペットボトルや空きかん、おかしやパンのふくろ、紙くずやティッシュなどを拾いました。
草や木が植わっているところやベンチのまわりに、とくにたくさんごみが落ちていました。

3、考えたこと
これからは、中央公園に遊びに行って、こうしたごみを見つけたら、すぐに拾おうと思いました。
このようにして、ごみをなくしていきたいです。

(3)
石田さんは、[メモ]の内ようをもとにして、[ほうこく文の下書き]の[　　]に、理由をしめす文章を書き足すことにしました。[書き足した文章]の[　　]にあてはまる言葉を、あとの(じょうけん1・2)にしたがって書きましょう。

[書き足した文章]

大山さんによると、ごみが落ちていると、さらにごみがふえてしまうそうです。[　　]からです。

(じょうけん1)　次の言葉から一つえらび、その言葉から書き始めること。
また・なぜなら・たとえば

(じょうけん2)　二十字から四十字までで書くこと。
(ただし、丸(。)や点(、)は字数にふくめます。)

【授業づくりのアイデア例】

必要な情報を選び、文章の流れに合う理由を書くために

○情報を整理し「考え」と「理由や事例」を分けて考える

報告文を書く学習では、メモの内容をそのまま文章にするのではなく、目的に合わせて必要な情報を選ぶ活動が大切です。選ぶ際には、その情報が「考え」と「理由や事例」のどちらにあたるのかを考えさせます。次に、なぜその情報を選んだのか説明する活動を設定します。また、「考え」と「理由や事例」が対応しているか整理してから文章にすることで、前後のつながりを意識して書くことができます。

○接続語を使って文を書く

「また」「なぜなら」「たとえば」などの接続語の働きを確認し、文のつながりが自然になるかを考える活動を行います。特に書くことに苦手意識のある児童には、「なぜなら～からです」などの定型文を用いることで、書けたという経験を積ませてから自由記述につなげることが効果的です。また、接続語カードを提示し、書き始めを選んで一文を書き足す活動を繰り返します。さらに、各教科の振り返りなどでも、「なぜなら～からです」「たとえば～です」などを使い、一文を書き加える活動を継続します。

5年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

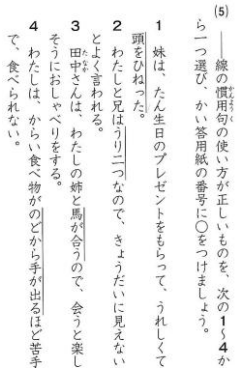
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	72.7	93.2	83.3	70.5	43.9	49.3

全体の正答率は72．7%ですが、C-D層の差が26.6ポイント開いています。D層は、漢字を書くことや言葉の特徴や使い方の理解に課題があります。

【大問2(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	66.4	95.1	80.0	59.2	31.3	63.8

この問題は慣用句の使い方が正しい文を選ぶことが求められています。文章の一部分だけを読んで、選択肢を選ぶ傾向があり、慣用句の正しい意味や使い方を理解していないことがわかります。語句相互の関係に気を付けながら、文章全体を読んで考えられるようにすることが大切です。


(5) ――線の慣用句の使い方が正しいものを、次の1～4から一つ選び、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

1 妹は、たん生日のプレゼントをもらって、うれしくて頭をひねった。

2 わたしと兄はうり二つなので、きょうだいに見えないとよく言われる。

3 田中さんは、わたしの姉と馬が合うので、会うと楽しそうにおしゃべりをする。

4 わたしは、からい食べ物がのどから手が出るほど苦手で、食べられない。

【正答】3

【授業づくりのアイデア例】

ことわざや慣用句を
生活の中で使えるようにするために

〇国語科の学習として

・ことわざや慣用句を見つける
　体の部分や動物の名前などを手がかりにして、国語辞典でことわざや慣用句を探します。

・ことわざや慣用句で文を作る
　見付けたことわざや慣用句の意味を考えながら、文を作ります。

・ことわざや慣用句でかるたを作る
　体の部分や動物の名前などの部分を空欄にした読み札と、空欄部分に入る言葉のみを記した取り札を作ります。小グループごとに作った札を使ってかるた取りをします。ほかの小グループと交換すれば、多くの言葉に親しむことができます。

〇日常活動として

　例えば、日記のテーマとして「今日は『心がおどる』を使って書いてみよう。」と投げかけておき、日記を書くときに意識的にことわざや慣用句を使えるようにします。また、教師が学級での出来事などについてことわざや慣用句を使って話をするなど、日常的に多くの言葉に触れ、言葉のよさを感じて生活の中でも使えるようにしていくことが大切です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例　5年生

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	60.9	81.8	67.5	55.2	39.2	42.6

全体の正答率は60.9%であり、A-D層の差は42.6ポイントと大きく開いています。また、D層は全体の正答率から20ポイント以上低くなっています。

【大問1(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	74.0	96.3	84.9	70.1	44.6	51.7

「水野さんの発表に対する質問の意図を選ぶ」問題です。全体の正答率は74.0%ですが、D層の正答率は44.6%とA-C層よりかなり低くなっています。これは、大問1の他の問題に比べても低い正答率です。聞く目的や相手が伝えたいことは何かを意識できていないため、自分が聞きたいことの中心を明確にして聞けていないことが考えられます。

【正答】
1

(5) 次は、この発表を聞いた中村さんの、水野さんへのしつ問です。中村さんはどのようなことを考えてしつ問したと考えられますか。あとの1～4から一つ選び、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

たたみ方をくふうすると、どんなよいことがあるのでしょうか。

中村さん

1 水野さんが話した内ようについて、自分が知りたいと思ったことを、くわしく聞き出そうとしている。
2 水野さんが話の中で問いかけたことに対して、自分の考えを伝え、それに対する答えを聞こうとしている。
3 水野さんの話の中で、言葉の意味がわからなかった部分を、かんたんに説明してもらおうとしている。
4 水野さんの話のうち、まちがっていると思われる部分をしめし、水野さんの考えを知ろうとしている。

みなさんは、家で手伝いをしていますか。している人は、何を手伝っていますか。ぼくは、一年生のころからずっと、せんたく物をたたむ手伝いをしています。そして、これからも続けていきたいと思っています。

せんたく物をたたむようになったきっかけは、家の人がとてもいそがしそうなのを見て、自分からたたんだことです。そのとき、家の人に「ありがとう。」と、とても感しゃされました。ぼくは、それがうれしくて、また手伝おうと思いました。

初めて手伝ったときは、タオルを折ってたたんだだけでした。でも今は、服の種類やしまう場所によってたたみ方を変えるなど、くふうしています。たとえば、引き出しにしまうものは、引き出しの高さに合わせて、三つ折りにしたり、四つ折りにしたりしています。ずっと手伝いを続けているうちに、くふうして上手にたためるようになりました。

今では、せんたく物をたたむことは、ぼくの一日の習かんになっています。たとえば、宿題がたくさんあったり、遊びに出かけたりした日でも、必ずたたんでいます。家の中がかたづくので、家の人たちが、「いつもありがとう。」と言ってくれます。ぼくは、感しゃされると「もっと手伝おう。」という気になります。これからは、せんたく物をたたむだけではなく、料理やそうじなど、いろいろな家事の手伝いができるようになりたいです。

【授業づくりのアイデア例】

自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつために

○聞きたくなる言語活動の計画

他教科や他領域の学習で、インタビューをしたり話を聞いたりするような、目的をもって聞く場面を設定します。児童が「聞きたい」「知りたい」と願う題材を扱うことで、聞く力を「生きて働く力」として定着させます。

○聞く目的の明確化

事前に「何のために聞くのか」「何を知りたいのか」を明確にし、内容を具体的に予想させることで、自分の考えをもてるようにします。聞く目的が明確になることで、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える意識が高まり、必要な事柄を選んで聞けるようになります。

○情報を整理するメモ指導

聞いた後に話の内容を振り返るためにも、記録しながら聞くことが大切です。その際、全てを書き出すのではなく、目的に応じて必要な情報を判断してメモするよう指導します。そして、そのメモをもとに、質問や感想を伝えたり、話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理し考えをまとめたりすることにつなげます。

6年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

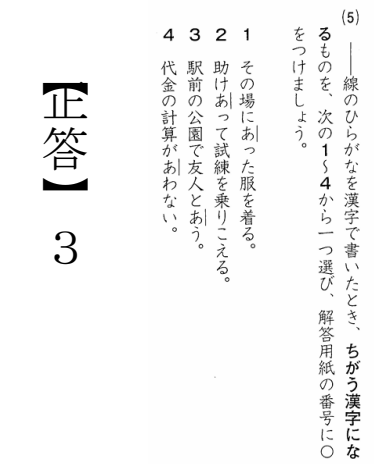
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	62.4	85.0	69.5	56.6	38.4	46.6

全体の正答率は62.4%で、A-D層の差が46.6ポイントでした。特に漢字の書きの問題では、無解答率がC・D層で高く、改めて漢字の定着を確認する必要があります。

【問題2(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	57.5	89.8	65.7	47.8	26.7	63.1

言葉の特徴について問う問題では、同訓異字の知識・理解が定着していないか、漢字の意味を理解せず使っている可能性があり、文脈に合った言葉の使い方について正しく理解する学習が求められます。


(5) ――線のひらがなを漢字で書いたとき、ちがう漢字になるものを、次の1～4から一つ選び、解答用紙の番号に○をつけましょう。

1 その場にあった服を着る。
2 助けあって試練を乗りこえる。
3 駅前の公園で友人とあう。
4 代金の計算があわない。

【正答】3

【授業づくりのアイデア例】

言葉のもつ意味を理解して使うために

○意味を知ること

漢字の学習の際に意味や成り立ちがあることを併せて学習します。言い換えるとどんな言葉になるかを考えたり、音読みだとどんな熟語ができるかを考えたりして、具体的な漢字のイメージをふくらませると効果的に理解を深めることができます。

○文脈との結び付きを捉える

同じ訓読みのカード(「会う」「合う」)とそれに合う文脈が書かれたカード(「友達に～」「好みに～」など)を用意します。その文脈に合う言葉は何か、組み合わせを考えるだけでなく、その組み合わせになった理由を児童自身の言葉で説明することで、言葉の意味に気付かせて普段から活用できるようにします。

○日常・他教科等での活用

日記や振り返りを書く場面でも、意味に合う漢字は何かを考えたり調べたりするように促します。また、読書をしていて読めない漢字に出会った時にも、わからないまま読み進めるのではなく、文脈に沿った意味を考えることが重要です。日常生活の中で書いたり読んだりすることで、生きた言葉として漢字を使う力が身に付いていきます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例 6年生

【思考・判断・表現】

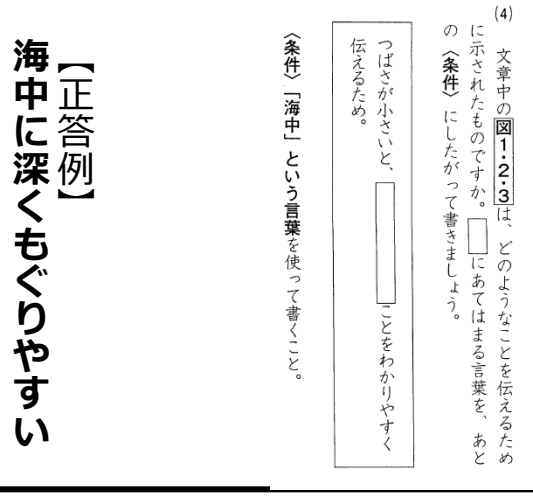
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	64.2	85.7	71.9	59.5	39.9	45.8

4層分析の結果から、C-D層の差が19.6ポイント開いています(A-D層の差は45.8ポイント)。また、記述式の問題に対してのD層の無解答率が高い傾向にあります。

【問題3(4)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	71.9	97.9	89.5	72.7	27.6	70.3

問題3(4)は、説明的な文章を読み、「図を示した意図について空欄に入る言葉を書く」問題です。「思考・判断・表現」問題の傾向の中でも、特にC-D層に開きが見られます(45.1ポイント)。用いられている図表が、文章のどの部分と結び付くのか、3つの図が示されている目的が何なのかを理解できていない可能性があります。


(4) 文章中の図1・2・3は、どのようなことを伝えるために示されたものですか。□にあてはまる言葉を、あとの〈条件〉にしたがって書きましょう。

つばさが小さいと、□ことをわかりやすく伝えるため。

〈条件〉「海中」という言葉を使って書くこと。

【正答例】
海中に深くもぐりやすい

【授業づくりのアイデア例】

文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けるために

○文章と図表を結び付けて解釈する

文章を読む前に、あえて図表だけを提示し、「図表は何を表しているか」を考えさせます。その後、文章と図表の対応箇所がどこなのか、本文の言葉と図表が表していることを1対1で結び付ける活動を行います。本文のどの事実を証明するために配置された図表か、筆者が図表を用いた意図を捉える発問を設定することが効果的です。

○書くことと結び付ける

各学年に「説明的な文章」と「書くこと」との複合単元があり、構成や表現の工夫を捉えることをねらいとしています。高学年では、自分の考えを書いて伝える際、図解したり表形式やグラフ形式で示したりした方がわかりやすい場合があります。図表やグラフなどを用いることで、自分にとっても考えを深めやすく、読み手にとってもよく理解できるものとなります。説明文を読む際に図表を用いた文章の効果を考え、書く単元ではそれを生かして書くようにします。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】
　友達が書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えをもとうとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	85.7	90.4	89.3	85.9	76.6	13.8
令和8年度・小5	83.5	92.0	86.8	81.9	72.8	19.2
令和7年度・小4	86.8	91.1	90.3	87.3	77.6	13.5
令和8年度・小6	83.7	91.8	87.2	81.9	73.4	18.4
令和7年度・小5	83.3	91.4	85.9	81.5	74.0	17.4
令和6年度・小4	85.9	92.0	89.0	85.1	76.0	16.0

【分析結果】
　昨年度と同様、川崎市全体では80%以上の児童が肯定的な回答をしています。しかし、学年が上がるにつれてA-D層の差が広がっていることがわかります。A層は学年が上がっても90%を維持しているのに対し、B-D層は2～5ポイント下がっています。このことから、全体的なパーセンテージは高いものの、学年が上がると、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを受け入れようとする意識が低下していることがわかります。協働的な学びの中で、自分の考えを広げたいと思える学習が求められます。

【授業づくりのアイデア例】

新しい考えや自分とは違う考えをもつために

〇自分の考えをもつ
　自分の考えを明確にするために、課題や問いに対して個人で考える時間をしっかりと確保することが大切です。その上で、自分の考えを書いたり話したりしてアウトプットすることで、自分の考えが整理されます。また、友達と交流することで、新しい考えや自分とは違う考えを知りたいという思いが生まれます。そのためには、協動的に課題解決に向けて取り組める問いを立てることが必要です。

〇文章の読み方や話の聞き方を学ぶ
　自分と同じ考えなのか、違う考えなのかを比べながら友達が書いた文章を読んだり、話を聞いたりすることが大切です。新しい考えを色分けしてメモしたり、付箋を貼ったりして整理するとわかりやすいです。また、友達の考えを知ることでよりよい考えを導き出せたという経験を積み上げることも必要です。振り返りや学習のまとめなどで、考えが広がったノートを価値付けすることで意識を高めることができます。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】
自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	78.2	86.1	80.8	77.3	68.5	17.6
令和8年度・小5	75.9	85.7	79.3	73.4	65.4	20.3
令和7年度・小4	69.4	79.3	72.3	67.1	58.9	20.4
令和8年度・小6	76.7	85.2	81.5	75.3	65.2	20.0
令和7年度・小5	66.8	79.2	69.3	62.8	56.1	23.1
令和6年度・小4	69.5	79.4	72.1	66.5	59.9	19.5

【分析結果】
「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。」の調査結果から、どの層においても、今年度の肯定的な回答の割合が昨年度と比べて高いことがわかります。このことから、国語科の学習を通して、自分の意見や考えを明確にして話すことを意識したり、理由や事例を用いてわかりやすく伝える工夫をしたりしていることがわかります。継続して相手に伝わったという達成感が感じられる学習を積み重ねていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

意見や考えをわかりやすく伝えるために

○国語科の学習を通して

自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えるためには、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように筋道を立てた構成を考える必要があります。また、高学年になると、事実と感想、意見とを区別したり、詳しい説明を付け加えたりすることも大切なポイントになります。そのためには、伝える相手や目的を一層意識することが求められます。まずは、自分が伝えたい情報をノートに書き出します。次に、集めた情報を伝えたい相手や目的に応じて精選します。さらに、話の構成や文章全体の構成を相手の立場や目的に沿って考えることで、筋道が通った内容になっているのかを判断することができます。

○国語科から他教科、日常生活へ

国語科で得た知識や技能を他教科や日常生活で活用することが大切です。どの教科においても、自分の意見や考えを相手を意識して伝える場を設定したり、スピーチやインタビューなどの活動を日常的に取り入れたりすることで、相手にわかりやすく伝えることの必要性に気付くことができます。

第2章　Ⅰ　　３　小学校 算数科

4年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	76.0	93.9	86.4	76.5	47.1	46.8

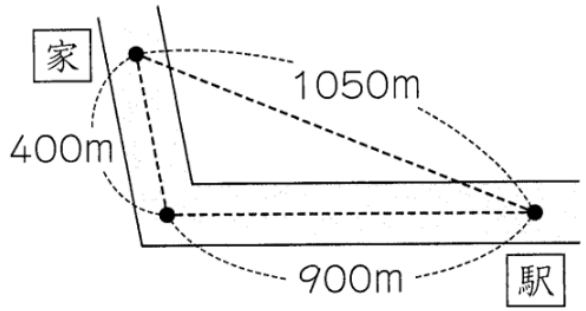
全体の正答率は76.0％でした。特に、問題3(2)の正答率は次のとおりでパターン判定はⅢとなり、正答にたどり着くことができないD層の児童が8割を超える結果となりました。

【問題3(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	58.1	87.4	72.3	53.7	19.0	68.4

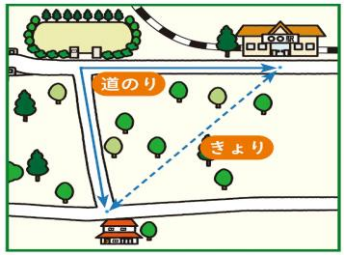
きょりではなく道のりの長さを答えてしまう解答が多くありました。このような結果になる要因として、**きょりと道のりという言葉を曖昧に理解していること**が考えられます。このことについて、授業づくりのアイデア例を右に掲載します。

(2)　下の図で、家から駅までのきょりは何 km 何 m ですか。



【授業づくりのアイデア例】

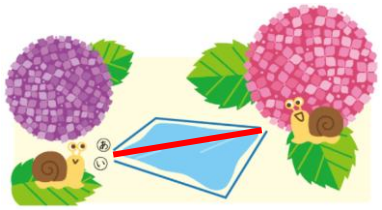
体験を通した学びで、より深く理解する



教育出版　小学算数3上P.75

算数の学習では、**具体操作や体験活動を通して理解を深めていくこと**が大切です。3年生「長さ」の単元で道のりときょりについて学習するときには、道のりチームときょりチームに分かれて実際に競争してみる活動が考えられます。そうすると、児童は「道のりって結構遠回りをしているな。」「きょりだと一直線で短く感じる。」といったことに気付きます。このように、**実感と知識を結び付けて学習していくことが重要**です。単元末には決められた長さを歩く活動がありますが、そこで道のりやきょりを比較することもできます。

2年生「長さ」の単元では、下図のような折れ曲がっている線の長さを調べる学習があります。ここでも、かたつむりが直線でゴールまで進む長さと比較する活動をしておくと、道のりときょりの理解につながる素地を育むことができます。



教育出版　小学算数2上P.57

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	51.1	90.9	68.6	38.1	6.9	84.0

全体の正答率は51.1%でパターン判定はⅢでした。特に次にあげる問題5(3)の正答率は、37.7%となりパターン判定はⅠで、B層も正答にたどり着くことができない児童が約5割いました。

【問題5(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	37.7	82.9	46.0	19.5	2.3	80.6

このような結果になる要因として、問題場面を正しく捉え、言葉や記号を用いて表現する力に課題があることが考えられます。

画用紙が30まいあります。そのうち何まいか使うと、のこりは6まいになりました。

わからない数を□として、式に表したものはどれですか。次の1～4から1つえらんで、かい答用紙の番号に○をつけましょう。また、□にあてはまる数をもとめましょう。

1　□×6＝30
2　□－30＝6
3　30－□＝6
4　□÷30＝6

【授業づくりのアイデア例】

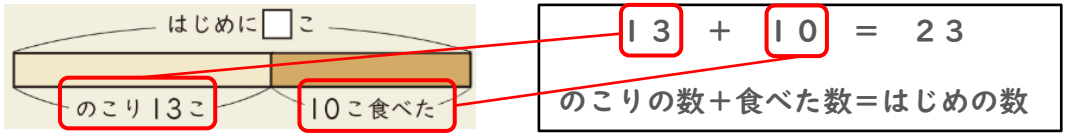
図で場面を整理し、式の根拠を説明する

言葉や数だけでは数量関係が捉えにくい児童には、「図をかくことで場面を視覚的に把握し、正しく立式できる」という図のよさを実感できるようにします。

2年生「図を使って考えよう」では、問題文をテープ図に表し、「わかっている数」と「求める数」を整理します。次に、図の「のこり13こ」「10こ食べた」の部分と、式(13＋10＝23)を線で直接結び付けながら、立式の理由を説明し合う活動を行います。



教育出版　小学算数2下　P88



教育出版　小学算数2下　P88

場面・図・式を対応させることで、「のこりの数」と「食べた数」を合わせると「はじめの数」になる問題構造の理解を深めます。こうした活動を通して、**場面と式をつなぎ、根拠をもって立式・説明する力を養う**ことが大切です。

5年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

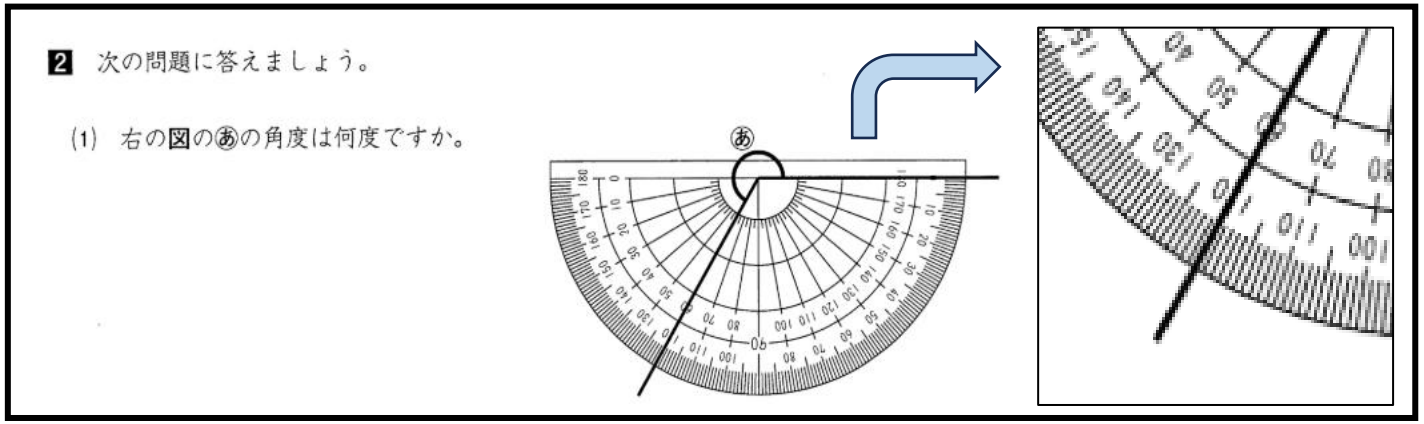
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	68.7	92.8	80.9	65.6	35.5	57.3

全体の正答率は68.7%で、パターン判定はⅢでした。
特に、問題2(1)については、正答率が32.1%と低く、角度を測ることに困り感をもつ児童が多いことが考えられます。

【問題2(1)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	32.1	65.0	36.9	20.1	6.2	58.8

このような結果になる要因として、角の大きさに対する感覚や目盛りの読み方についての理解が不十分であることが挙げられます。また、求めたい角度の反対側の角度を測ってしまう誤答が43.6%ありました。答えの見通しをもてていないことや、測定した数値が妥当であるかを確かめていないことが、正しい測定に至らなかった原因だと考えられます。



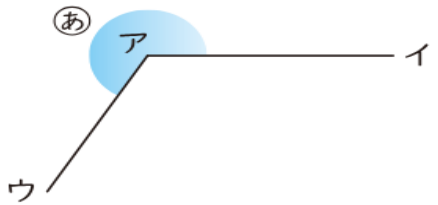
【授業づくりのアイデア例】

角の意味を捉え、順序立てて目盛りを読み取る

4年生「角」の単元で、180度より大きい角度の測定のしかたについて考える学習があります。

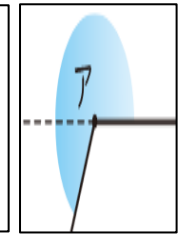
右のあの角度は何度でしょうか。

教育出版　小学算数4上　p65,66



角の大きさとは辺と辺の開き具合であることを捉え、読み進める目盛りの始まり(0度)が、どこなのかを前時までに確認しておくことが大切です。
また、下記のことを順序立てて指導します。

①求める角度を確認し、答えの見通しをもつ。
②目盛りの始まりがどこなのかを確認する。
③分度器を正しく使用し、角度を測る。
④目盛りを読み取る。(内側 or 外側)



180度以上の角度を測り、目盛りを読み取る時には、180度測った後に補助線を引くなどして、測りやすくすることが大切です。また、求める角度を確認する際、答えの見通しをもちながら、**目盛りの始まりがどこなのかと内側の目盛り・外側の目盛りどちらを読み取るのか**を明確にし、指導することが大切です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

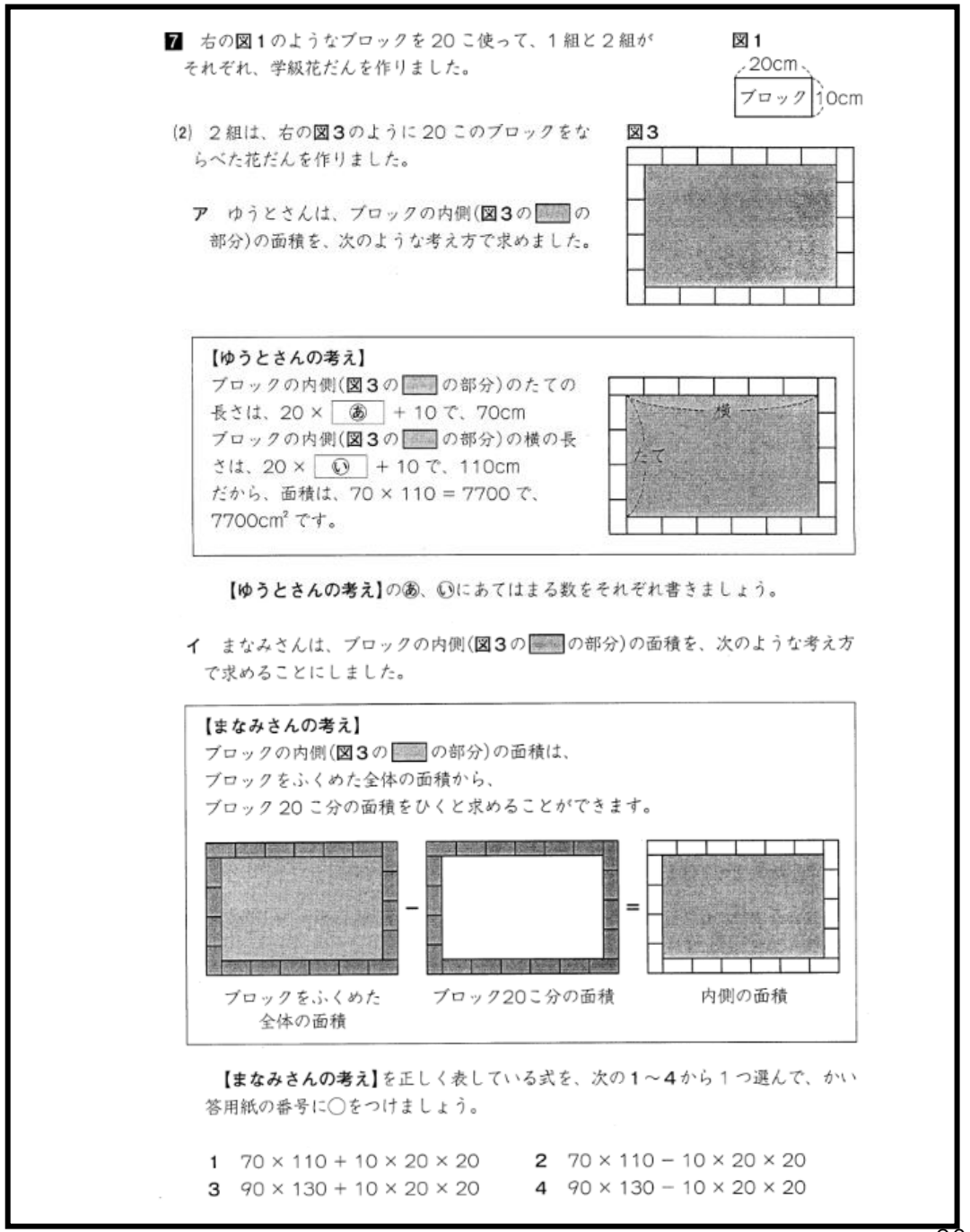
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	48.7	87.3	60.6	35.7	11.3	76.0

全体の正答率は48.7%でパターン判定はⅠでした。特に、問題7(2)-イは正答率が29.8%でパターン判定Ⅰとなり、A層とB層の正答率に約44ポイントもの開きが出る結果となりました。

【問題7(2)-イの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小5	29.8	69.2	25.3	14.8	9.8	59.4

問題7(2)-イは、【まなみさんの考え】に合う式を選択する問題でした。同じ小問である問題7(2)-アの【ゆうとさんの考え】に合う数を答える問題の正答率が50.9%であったことから、式の意味を捉え、図や言葉と結び付けることにより課題があると考えられます。



7 右の図1のようなブロックを20こ使って、1組と2組がそれぞれ、学級花だんを作りました。

図1

(2) 2組は、右の図3のように20このブロックをならべた花だんを作りました。

図3

ア ゆうとさんは、ブロックの内側(図3の の部分)の面積を、次のような考え方で求めました。

【ゆうとさんの考え】
ブロックの内側(図3の の部分)のたての長さは、20 × ㋐ + 10で、70cm
ブロックの内側(図3の の部分)の横の長さは、20 × ㋑ + 10で、110cm
だから、面積は、70 × 110 = 7700で、
7700cm² です。

【ゆうとさんの考え】の㋐、㋑にあてはまる数をそれぞれ書きましょう。

イ まなみさんは、ブロックの内側(図3の の部分)の面積を、次のような考え方で求めることにしました。

【まなみさんの考え】
ブロックの内側(図3の の部分)の面積は、
ブロックをふくめた全体の面積から、
ブロック20こ分の面積をひくと求めることができます。

ブロックをふくめた全体の面積　ブロック20こ分の面積　内側の面積

【まなみさんの考え】を正しく表している式を、次の1～4から1つ選んで、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

1 70 × 110 + 10 × 20 × 20　　2 70 × 110 − 10 × 20 × 20
3 90 × 130 + 10 × 20 × 20　　4 90 × 130 − 10 × 20 × 20

【授業づくりのアイデア例】

図や場面を手掛かりに、式の意味を読み解く

場面を把握し立式をする学習展開に加え、式を読み図や場面と結び付ける活動は重要です。**式と図と場面の往還を通して、抽象的な式の意味が具体的な場面と結び付き**、数量関係のより深い理解につながります。

式を読み、図や場面と結びつける活動を行う学習場面の一つとして、2年生「かけ算九九づくり」の九九を活用してものの数を求める学習が挙げられます。

牛にゅうは
何本あるでしょうか。



教育出版　小学校算数2下　P41

各自がまとまりに着目し、図や式に表して数を求めるだけでなく、友達の考えた式を提示し、どのような図になるかを考える活動を設定します。その際、単に式に対応した図を選ぶだけでなく、どうしてそう判断できたのかを問い返すことで、「8を引いているでしょ。」など、**演算の意味に着目**したり、**それぞれの数や式が図のどこと対応しているかを明確に**したりしながら、数量関係を的確に捉えられるようにすることが大切となります。

6年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	69.6	94.6	82.4	65.6	36.0	58.6

全体の正答率は69.6%で、パターン判定はⅢでした。特に問題4(3)イでのパターン判定はⅡでした。D層の正答率は、2.3%となっており、ほとんどの児童が正答にたどり着くことができませんでした。D層では、無回答率も28. 2%と高い傾向にあります。

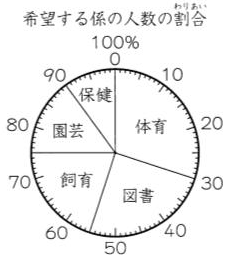
【問題4(3)イの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	46.9	94.0	67.7	23.7	2.3	91.7

誤答を分析すると、基準量、比較量、割合の関係を正しく把握することができず、立式ができないことが考えられます。何を基準量と見るのか、問題の数値が何を表しているのか図を用いて意味を正しく捉えることが大切です。

(3)　下の**円グラフ**は、なつみさんの学校で、６年生全体の希望する係の人数の割合を表したものです。あとの問いに答えましょう。

イ　６年生は全体で 80 人です。飼育係を希望する人数は何人ですか。



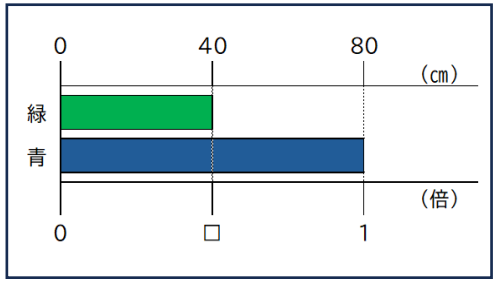
【授業づくりのアイデア例】

図を用いて数量関係を把握する

4年生の「倍の計算」や「小数と整数のかけ算、わり算」の学習で**図を用いて基準量、比較量、割合の関係を正しく捉える**経験が大切です。

緑のリボンの長さは40cmで、青のリボンの長さは80cmです。
緑のリボンの長さは、青のリボンの長さの何倍でしょうか。

教育出版　小学算数4下　P.92



このような問題を扱うときに、どちらのリボンを1倍(基準量)とするのかを図を用いて数量関係を捉えられるようにします。

この問題の前には、緑のリボンを1倍(基準量)として青のリボンがその何倍かを考える問題があります。2つの**図を比較し、問題場面と関連付ける**ことも、数量の関係を適切に把握するために重要な学習活動です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	46.7	88.4	59.9	29.3	9.3	79.1

全体の正答率は46.7%で、パターン判定はⅡでした。特に問題6(1)の正答率は48．6%となり、パターン判定はⅡでした。

C層が24.5%、D層は4.1%と正答にたどり着くことができない児童が多くいました。

【問題6(1)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	48.6	96.1	69.9	24.5	4.1	92.0

このような結果になる要因としては、場面の把握ができいないことや式や答えの意味が何を表しているのか理解できていないことが考えられます。

6 まだ使っていないティッシュペーパー300枚入りの箱が1つあります。同じ300枚入りで使いかけのティッシュペーパーの箱も1つあります。



ゆうまさんは、使いかけの箱にティッシュペーパーが何枚残っているかを知りたくて、次のことを調べました。

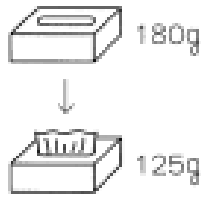
【ゆうまさんが調べたこと】
- 使っていない1箱の重さ　…180g
- 使いかけの1箱の重さ　…125g
- 20枚分のティッシュペーパーの重さ　…11g

(1) ゆうまさんは、調べたことをもとに、箱に残っているティッシュペーパーの枚数を、次のように考えて求めました。



ゆうま

減った重さは、180 − 125 = 55
で、55gです。
11 ÷ 20 = 0.55 だから、
使ったティッシュペーパーの枚数は、
55 ÷ 0.55 = 100 で、100枚です。
だから、残りは、300 − 100 = 200 で、
200枚です。



ゆうまさんの計算の下線部の0.55は、何を表す数ですか。言葉で書きましょう。

【授業づくりのアイデア例】

図や数直線をかいてイメージをする

　算数の学習では、児童が問題場面を把握することが大切です。そのために、問題文を見てすぐに立式するのではなく、**問題場面をイメージをしやすいように図や数直線をかいて数量関係を捉える**ようにします。

　5年生の「単位量あたりの大きさ」では、教科書に混み具合の問題があります。このように児童がイメージをしやすいように身近な課題を提示します。



教育出版　小学算数5　P. 143

　その際に図や数直線を示し、児童に「なぜ1あたりにすると比べやすいのか」と問いかけ、問題解決をしながらその便利さを実感させていきます。

　また、より理解を深めるためには、出た答えの数値の意味を児童が考えることが必要になります。「その答えは何を表しているのかな？」「出てきた数の後にどんな単位がつくかな？」と児童に問い返すことでさらに理解が深まります。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】
　新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	84.4	92.3	88.6	84.4	71.3	21.0
令和8年度・小5	84.3	94.7	89.4	83.1	69.2	25.5
令和7年度・小4	85.7	93.7	90.3	84.8	73.1	20.6
令和8年度・小6	83.9	95.6	91.0	82.2	66.4	29.2
令和7年度・小5	85.3	93.2	91.3	84.0	72.2	21.0
令和6年度・小4	85.8	92.5	90.3	85.0	74.0	18.5

【分析結果】
　この質問項目に対する肯定的回答割合は、全て80％を超えており、他の項目と比較しても高い数値になっています。これは、川崎市の先生方が既習事項を活用することを大切に指導してきた成果であると考えられます。しかし、同一母集団の経年変化に着目すると、学年が上がるにつれて数値が低くなり、A-D層の差が広がっていることがわかります。学年が上がると、学習内容も難しくなるため、「これまでに習ったことの何をどう使えば解けるのか。」という繋がりをつかみにくくなっている点が原因の一つと考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

既習を活用するよさを実感するために

　児童が、数学的な見方・考え方を働かせて既習を活用し、「新しい問題が解決できた。」という手ごたえを感じられるようにすることが大切です。

〇何に着目すればよいか「視点」を捉える

　新しい問題に出会ったとき、数量や形を「単位（1あたり）」「構成要素（辺・角・面）」「変化や対応」などの既習の視点で捉えられるようにします。どこに着目すればよいかわからない児童には、「前と違うところはどこかな。」「どんな形だったら解けるかな。」など、数字や見た目の変化にとらわれず、問題の本質に目を向けられるような具体的な問い返しが有効です。

〇思考過程を言語化し（児童）、価値付ける（教師）

　児童が自分の考えを言葉にすることで、「既習を使ったら解けた。」と自らの考えを振り返ることができます。そこに教師が「その見方（考え方）が解決の鍵になったね。」などと価値付けることで、児童は自分の考えに自信をもち、「次も既習を使えば解決できるかもしれない。」という主体的に取り組む態度へと繋がっていきます。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】 4年(20)5年(20)6年(23)
　数学(算数)の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	75.2	89.1	81.4	72.1	58.0	31.1
令和8年度・小5	73.8	91.8	81.1	69.6	53.0	38.8
令和8年度・小4	68.6	82.4	73.6	66.3	52.0	30.4
令和8年度・小6	71.3	92.2	81.9	66.9	44.8	47.4
令和7年度・小5	67.9	83.8	75.9	63.9	48.0	35.8
令和6年度・小4	69.2	82.7	74.3	65.5	54.1	28.6

【分析結果】
　令和8年度については、3学年ともに全体の約70%が肯定的に回答しています。A-D層の差に着目すると30ポイント以上あり、学年が上がるにつれて広がっていることがわかります。また、同一母集団の経年変化からも同様の傾向が見られ、令和6年度・小4と令和8年度・小6ではA-D層の差が28.6⇒47.4ポイントでした。これらのことから、学年が上がるにつれて、算数が苦手な児童ほど、自分の考えをもつことや、場面・図・式・言葉を関連付けながら自分の考えを説明することに難しさを感じていると考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

場面・図・式などと言葉を関連付けて考える

　自分の考えをもつためには、問題場面・図・式などと言葉を関連付けていくことが大切です。
　低学年では、問題の場面と式、半具体物などを行き来しながら数や図、半具体物がもつ意味を捉えさせることが大切です。「3こ食べて、なくなるから…ひき算で考られそうだな」「この問題をブロックで表すと…」など実際に操作をしながら問題の場面や式について関連付けて言葉で説明する習慣をつけていきましょう。
　中・高学年では問題場面がより複雑になるため、式や図などを関連付けて捉えることがより重要となります。図と式、図と問題の場面を行き来しながら指導をしていくことや、「式にある、この÷3ってどういうこと？」などの問い返しが効果的です。どの表現だと理解しやすいのか個に応じた柔軟な支援を心がけていきましょう。
　また、すべての学年において、自分の考えを伝え合う活動を取り入れることが大切です。低学年から積み重ね自分の考えを表現することができている児童を積極的に価値付けるとともに、算数が苦手な児童にも、自分の考えを表現する機会を意識的につくっていくことで、説明する力がついていくことが期待されます。

第2章　Ⅰ
４　小学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

４　小学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

【状況】

○ 知識・技能を習得する際に、学習内容を繰り返し行うだけでなく、他の学習内容に取り組む際に活用し、徐々に身に付けていくことが大切です。また、本質的な意味や導き出す方法について、思考することやアウトプットすることが必要です。

○問題解決に向けて、与えられたいくつかの条件、状況を整理し、その内容に応じて、既習を想起できるようにし、「学習のつながり」を意識することが大切です。また、学習内において、自身の学習状況を把握し、自分に合った解決方法を見つけられるよう粘り強く取り組む態度を支援していくことが必要です。

【授業改善のポイント】

○ 概念的な理解に向けて、言語や数量、図形、事象などの見方・考え方を働かせた言語活動の充実を図ることが大切です。

○ 単元をデザインする際は、身に付けさせたい資質・能力（単元・題材などの目標やねらい）を明確にすることが重要です。また、児童が主体的に取組める学習場面を設定することが大切です。

○教員は、児童同士をつなげる役割を十分理解し、授業に臨むことが必要です。そのために、学習が苦手な児童が何につまずいているのかを的確に把握し、問題解決につながる意見を取り上げ、学級全体で考えをつないでいくように授業を展開していくことが大切です。

○授業でペア学習やグループ学習をする際は、「何について話すのか」「何をするために話すのか」を明確に示すことが大切です。

○ 習得した知識・技能を活用して問題解決を図る場を設定することが大切です。その際、「何故そうなるのだろう」「どのようにしたらよいのだろう」という問いを大切にすることが重要です。

第2章　Ⅰ　　５　他教科等の分析と手立て

小学校　社会

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	83.1	92.7	87.1	81.4	71.3	21.4
令和8年度・小5	85.2	94.3	89.6	83.5	73.5	20.7
令和7年度・小4	80.4	91.4	85.4	78.1	67.1	24.3
令和8年度・小6	89.2	96.5	91.6	88.3	80.6	15.9
令和7年度・小5	83.5	94.3	87.5	82.5	70.1	24.2
令和6年度・小4	82.1	92.1	86.1	80.4	69.6	22.5

【分析結果】
　肯定的な回答をした児童の割合は、どの学年も8割を超え、学年が上がるにつれて割合も上昇しています。また、同一母集団の経年変化で見ても上昇しています。
　一方で、小4、小5はC-D層の差をみると、約10ポイント近く開き、また、A-D層の差が20ポイント以上となっています。その中で、小6を見ると、D層は昨年度よりも約10ポイント上昇し、A-D層の差も15．9ポイントとなっています。
　学級の中で、協働して学習問題の解決に向けて学ぶことができるような手立てが理解度の向上につながっています。

【社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	78.8	87.2	81.6	78.2	68.2	19.0
令和8年度・小5	83.2	91.5	87.8	82.4	71.3	20.2
令和8年度・小6	86.4	94.2	91.0	85.8	74.8	19.4

【分析結果】
　全体の肯定的な回答割合は理解度と同様の傾向が見られます。新たに設置した質問となりますが、自ら学ぶことが理解の深まりにつながるよう、今後も注視していきます。

【授業づくりのアイデア例】
　社会科では社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、資質・能力を育成することが求められます。資料から問題意識を引き出し、「なぜ？」「知りたい！」と感じる学習問題を設定して、予想や学習計画を立てながら解決の見通しをもつなど、児童が主体的に学習することができるような単元の導入の工夫が大切です。また、追究の過程でわかってきたことを白地図や年表、図表などに表し、それらを使って話し合ったり、説明したりする活動を通して、わかったことを自分の言葉で表現する等、単元を通した問題解決的な学習の充実を図ることが重要となります。

小学校　理科

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	92.0	96.2	94.6	91.9	85.2	11.0
令和8年度・小5	91.8	97.1	93.8	90.5	85.8	11.3
令和7年度・小4	89.8	95.8	93.8	88.4	81.5	14.3
令和8年度・小6	89.1	95.7	89.8	87.7	83.5	12.2
令和7年度・小5	90.9	96.1	93.0	90.0	84.5	11.6
令和6年度・小4	90.0	95.6	92.7	89.6	82.4	13.2

【理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	86.4	92.9	88.7	86.7	77.2	15.7
令和8年度・小5	89.9	95.7	93.0	89.0	81.7	14.0
令和7年度・小4	88.2	95.1	92.8	88.1	76.9	18.2
令和8年度・小6	87.6	94.1	90.6	87.5	78.8	15.3
令和7年度・小5	91.3	97.3	94.4	90.8	82.7	14.6
令和6年度・小4	87.5	95.9	91.0	86.5	76.3	19.6

【分析結果】
　授業の理解度は、どの学年も肯定的な回答が高い水準です。令和8年度の小学4年生は例年よりD層の肯定的な回答の割合が高く、A-D層の差が小さい結果となりました。同一母集団での経年変化に着目すると、小4から小5でA-D層の差が縮小しています。
　同じ傾向が「理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。」の設問においても見られます。この設問は、昨年度の「理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、、仮説を立て結果を予想している」から、「それまで学習したことや経験したことをもとに」という文節が追加されているため、全体的に肯定割合が下がっていますが、傾向に変化はありません。この結果から小4で重視する「根拠のある予想や仮説を発想すること」を意識した授業が行われていることが考えられ、問題解決の過程を通して学ぶことと理解度の相関があることが考えられます。

【授業づくりのアイデア例】
　問題解決の過程において、見いだした問題に対して、既習や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現することは大切です。しかし、例えば「ヒトは空気を吸ったり、息をはきだしたりするときに、何を取り入れ、何を出しているのだろうか。」といったような問題では、根拠を考えることが難しいことがあります。その際には、発想した解決の方法に対して、どのような結果が出るのか、という視点で、結果の予想をすることで、見通しをもった実験や観察になることが考えられます。

小学校　音楽

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	87.3	92.7	89.8	87.7	79.2	13.5
令和8年度・小5	87.6	90.7	90.7	87.4	81.9	8.8
令和7年度・小4	86.7	91.6	90.3	85.6	79.5	12.1
令和8年度・小6	84.7	87.2	86.0	84.6	81.3	5.9
令和7年度・小5	86.7	90.4	88.8	87.5	80.1	10.3
令和6年度・小4	86.3	90.8	87.7	87.3	79.3	11.5

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	82.5	84.7	85.4	83.6	76.4	8.3
令和8年度・小5	79.4	81.2	81.5	79.7	75.1	6.1
令和7年度・小4	80.9	84.2	83.8	79.3	76.2	8.0
令和8年度・小6	75.4	78.2	76.9	75.4	71.4	6.8
令和7年度・小5	77.9	80.3	78.9	79.4	73.1	7.2
令和6年度・小4	79.8	83.4	80.2	81.0	74.7	8.7

【分析結果】
　理解度における肯定的な回答は、全学年で8割を超えています。どの学年もA層からC層に大きな差は見られませんが、C-D層の間に差が拡大していることがわかります。 学年が上がるにつれてA-D層の差が減少しています。
　好感度では、全学年で7割以上の児童が肯定的な回答をしており、どの学年においてもA-D層の差が10ポイント以下であることがわかります。学習の得意不得意に関わらず、全ての児童が音楽活動の楽しさを体験することを通して学びを進める教科の特徴が表れています。

【授業づくりのアイデア例】
　音楽科において、児童が育成を目指す資質・能力を身に付けるためには、多様な活動を通して音楽活動の楽しさを体験することが大切です。その際、音や言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることは、表現及び鑑賞を深めていく際に重要であり、理解度の向上につながります。特に言葉で自分の考えを伝えることに困難さを抱える児童に向け、身体を使った活動を取り入れたり、言葉と音楽を結び付ける活動を積極的に取り入れたりするなど、児童が教材となる音や音楽から感じ取ったことや聴き取ったことを表出できる手段を増やすことが有効です。さらに、適切な場面で学習の見通しと振り返りを行うことで、児童が自らの学習状況を把握し、「わかった」と実感することにつながります。

小学校　図画工作

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	93.0	93.8	94.1	93.8	90.4	3.4
令和8年度・小5	93.4	94.6	94.9	92.9	91.1	3.5
令和7年度・小4	91.1	93.8	93.7	91.8	88.2	5.6
令和8年度・小6	92.6	89.2	92.0	92.8	93.4	-0.3
令和7年度・小5	92.6	93.9	93.4	93.3	89.9	4.0
令和6年度・小4	92.2	93.3	93.2	92.6	89.7	3.6

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	90.2	89.2	91.2	90.9	89.4	-0.2
令和8年度・小5	89.1	87.3	89.9	89.2	89.9	-2.6
令和7年度・小4	88.2	88.6	89.3	88.1	86.8	1.8
令和8年度・小6	86.2	83.5	85.7	88.1	87.8	-4.3
令和7年度・小5	87.6	86.1	87.4	88.1	88.8	-2.7
令和6年度・小4	88.9	87.5	89.3	89.3	89.4	-1.9

【分析結果】
　理解度は、全学年で90％を超えています。A-D層の差に着目すると、令和8年度の小4、小5は約3ポイント、小6はほぼ同値です。多くの児童がわかるよう、ねらいを明確にした丁寧な授業づくりをしている結果だと考えられます。
　好感度は、全学年で85％を超えています。A-D層の差に着目すると、令和8年度は全ての学年でA層よりD層の方が高くなっています。
　授業のめあてがわかり、表現したり鑑賞したりすることを自分で探究しながら学習できるようにするとともに、身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かすことができるようにしていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】
　図画工作では、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養いながら、材料や用具を用いて工夫して表したり、自分なりの見方や感じ方で鑑賞したりすることができるようにします。
　例えば、自分で探究しながら学習できるようにするために、素材に触れて試行錯誤したり、新たな技法を知ったりすることで、児童の「自分なら、このようにやってみたい」と思わせる工夫が考えられます。また、導入や鑑賞、まとめをする時に、お互いの意見を交換したりする場を設けることで、造形的な見方や考え方を広げたり、深めたりすることが考えられます。身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かせる場面について考えさせることが挙げられます。

小学校　体育

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	93.8	94.0	94.6	94.4	92.1	1.8
令和8年度・小5	92.6	92.7	92.9	93.1	91.7	1.0
令和7年度・小4	93.2	93.9	94.2	94.0	91.2	2.8
令和8年度・小6	90.0	88.4	90.0	90.9	90.7	-2.3
令和7年度・小5	92.3	92.4	92.8	93.7	90.2	2.2
令和6年度・小4	93.5	94.5	93.7	94.4	91.5	3.1

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	90.9	88.8	91.6	92.1	91.4	−2.6
令和8年度・小5	87.5	85.8	86.7	89.2	88.4	−2.6
令和7年度・小4	89.3	87.2	89.8	90.2	90.1	−2.9
令和8年度・小6	83.3	79.9	82.7	84.3	86.4	-6.5
令和7年度・小5	85.9	82.6	85.2	88.2	87.5	−4.9
令和6年度・小4	89.5	87.8	89.2	91.1	90.2	−2.4

【分析結果】
　理解度の肯定的な回答割合は、全学年で9割を超えており、さらにA-D層の差も小さいため、多くの児童が「わかる」を実感できる授業が展開されていると推測されます。
　好感度の肯定的な回答割合は、全学年で8割を超えていますが、A層の数値が他の層より低く、C、D層の数値が高い結果となっています。
　理解度、好感度ともに、学年が上がるにつれて数値が減少が見られます。「わかっているけど、うまくできない」といった苦手意識をもっている児童への一層の配慮とともに「上手くできないけど、体育は楽しい」と実感できるような授業づくりが大切です。

【授業づくりのアイデア例】
　体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としています。授業では、各領域の特性に応じた楽しさをたっぷりと味わうことができるよう単元をデザインします。誰もが安心して活動できる場や用具の工夫、みんなで楽しめるルールの工夫などを、児童やクラスの実態に応じて柔軟に行います。
　運動やスポーツは「する」ことだけでなく「みる」「支える」「知る」など、多様な関わり方や楽しみ方があります。授業者は、技能面の価値付けに偏ることなく、友達の動きを見てアドバイスをする姿、頑張っている友達に声援を送る姿、チームの特徴を捉え作戦を提案する姿などを、積極的に価値付けることが大切です。

小学校　家庭

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	89.3	90.4	91.0	90.9	85.2	5.2
令和7年度・小6	87.9	90.5	90.0	89.0	82.4	8.1
令和6年度・小6	87.8	89.7	90.0	88.5	83.2	6.5

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	84.5	85.2	86.1	86.0	81.0	4.2
令和7年度・小6	82.9	85.0	84.7	82.6	79.5	5.5
令和6年度・小6	83.0	82.7	85.0	83.6	80.9	1.8

※小4・小5は調査無し

【分析結果】
　理解度、好感度ともに8割以上の児童が肯定的な回答をしており、日々の授業実践の成果が表れていると推測されます。4層分析では、A-C層は差異はあまりなく、D層がやや低い傾向にあります。そのため、既習の知識及び技能等を相互に関連付けた課題解決を図り、D層の児童にも学びの成就感や確かな伸びを実感させることが大切です。また、学習のつまずきを残さないよう、個別最適な学びに応じた指導の工夫や「指導と評価の一体化」に基づくきめ細かな支援を行う必要があります。

【授業づくりのアイデア例】
　家庭科では、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、よりよい生活の創造や持続可能な社会の構築を目指しています。学習内容を児童の生活や社会と結び付け、本時や題材で身に付ける「資質・能力」を明確に示すことで、主体的に学ぶ必然性や意欲を高めることができます。
　また、実践的・体験的な活動を通して習得した知識及び技能を、生活の自立へと高める授業構成が重要です。児童同士の協働的な学びや意見共有による思考の深化や家族や身近な人々との対話を通した振り返りを促すことで、身に付けた資質・能力を家庭生活で生かすことにつながると考えられます。

小学校　外国語

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6	68.4	72.7	72.2	68.7	60.2	12.5
令和7年度・小6	64.7	68.2	70.4	64.5	56.0	12.2
令和6年度・小6	63.9	67.4	69.2	63.4	55.9	12.2

【英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友達の意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小6		77.5	77.8	75.1	67.4	10.1

【分析結果】
　好感度は前年度より、3．7ポイント上昇しました。A-D層の差は12．5ポイントとなり、昨年度より0．3ポイント広がっています。また、A層からD層に向かうにつれて、好感度が下がっています。
　「英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友達の意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている。」については、D層がその活動を生かしきれていないことが伺えます。D層の児童もペアやグループワークなどの目的を意識して取り組めるような工夫をすることが重要です。

【授業づくりのアイデア例】
　言語活動を設定する際には、単なる繰り返しのパターンプラクティスではなく、「友達の新しい一面を知るために」や「ALTに自分のことをよく知ってもらうために」など「誰に」、「何のために」伝えるのかというコミュニケーションの目的・場面・状況を児童が意識できるようにすることが大切です。目標に向かってグループやペアで言語活動を繰り返す中で「〇〇さんが言っていた表現を私も使ってみよう」、「〇〇さんの考えはわかりやすくていいな、真似してみよう」、「〇〇さんとは考えが違うけど私はこう考えるな」など友達と交流することで新たに気付きや、自分の考えが変化するきっかけになります。グループワーク、ペアワークを行う際に、その活動を何のために行うのかを児童が意識して取り組めるようにします。活動状況を見取り、よい点はほめ、課題がある点はどのように取り組めばよいのかをフィードバックすることで意味のある繰り返しになるようにすることが大切です。

小学校　道徳

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	77.4	76.7	79.1	79.2	74.4	2.3
令和8年度・小5	75.6	73.8	78.5	77.4	72.8	1.0
令和7年度・小4	72.9	74.3	74.7	73.6	69.2	5.1
令和8年度・小6	75.3	70.7	77.7	78.0	75.2	-4.5
令和7年度・小5	72.5	70.7	72.1	74.9	72.4	-1.7
令和6年度・小4	72.5	72.2	73.2	75.1	69.6	2.6

【授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	73.3	78.3	74.7	73.2	66.9	11.4
令和8年度・小5	73.5	82.1	75.7	72.4	63.7	18.4
令和8年度・小6	69.7	77.2	72.5	67.8	61.2	16.0

【分析結果】
　好感度では、70%以上が肯定的な回答をしており、どの学年もA-D層に大きな差はありませんでした。同一母集団で見ると、A層よりB、C層の方が肯定的な回答の割合が高い傾向が見られます。これは、児童一人ひとりが自己の生き方について考え、多様な考えを認め合う授業づくりを推進していることが、学力層を問わず学習への意欲の向上につながっていると考えられます。
　「授業で学習したことを普段の生活と結び付けて考えている」については、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が低下する傾向が見られます。教材を通して道徳的価値を自分事として捉えさせるとともに、学んだことを日常生活や今後の生き方に生かす振り返りの充実が重要です。

【授業づくりのアイデア例】
　道徳科は、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間です。児童が道徳的課題を自分との関わりで捉え、判断や実践につなげられるよう、自分との関わりで考えることや多面的・多角的に考えることを重視した授業づくりと、自らの生活や考えを見つめるための振り返りの充実を図ることが重要です。その際、教材の内容だけでなく日常生活と結び付けながら、自分の考えや行動を見つめ直せるようにすることが求められます。また、「できていること」「難しいこと」などの振り返りの視点を示したり、日常生活の場面を想起させたりするなど、児童が自己を見つめられるような教師の意図的な働きかけが大切です。

小学校　特別活動

【学級活動の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	87.9	92.1	91.3	88.5	79.8	12.3
令和8年度・小5	88.8	92.5	91.5	88.4	82.8	9.7
令和7年度・小4	86.3	91.1	90.3	86.0	78.0	13.1
令和8年度・小6	89.1	92.2	91.3	89.8	83.6	8.6
令和7年度・小5	86.9	90.7	89.1	86.3	81.5	9.2
令和6年度・小4	86.8	91.2	89.3	87.8	79.1	12.1

【分析結果】
　好感度では、87%を超える児童が肯定的な回答をしており、学年が上がるごとに微増しています。また、同一母集団の経年変化に着目すると、令和8年度の小5、小6は学年が上がるごとに微増しています。また、A-D層の差に着目すると、学年が上がるにつれて差が縮まっています。このことから、高学年になるほど、学習の得意不得意に関係なく、学級活動を通して一人ひとりが役割をもち、より主体的に学級や学校における生活づくりへ参画できていると捉えることができます。

【自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話し合ったり、活動したりしている。】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	74.2	78.0	74.5	75.2	69.2	8.8
令和8年度・小5	72.4	76.7	75.0	72.5	65.5	11.2
令和8年度・小6	73.8	78.1	76.9	74.0	66.8	11.3

【分析結果】
　令和8年度の結果を見ると、肯定的な回答は72～74%程度となっています。学級活動の好感度が87%を超える中、「進んで話し合ったり、活動したりしている」という肯定的な回答は70%代となっており、よりよい学級・学校生活づくりを目指した学級活動(1)のより一層の充実が求められます。

【授業づくりのアイデア例】
　「なすことによって学ぶ」が方法原理の特別活動において、自発的、自治的な活動を充実させていくことが大切です。特に、学級会の司会グループを輪番制とし、すべての児童が経験できるようにすることが重要です。また、自分たちで自分たちの学級をよりよくしようと話し合って合意形成し、役割を分担して実践するなど、児童の社会参画意識の醸成につながるよう、一連の学習過程の繰り返しによる積み重ねが大切です。

小学校　生活・総合的な学習の時間

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	81.3	85.0	84.1	82.0	74.4	10.6
令和8年度・小5	79.2	81.7	81.3	79.3	74.5	7.2
令和7年度・小4	72.9	74.3	74.7	73.6	69.2	5.1
令和8年度・小6	78.3	79.0	80.6	79.2	74.5	4.5
令和7年度・小5	72.5	70.7	72.1	74.9	72.4	-1.7
令和6年度・小4	79.7	82.6	81.7	80.5	73.9	8.7

【分析結果】
　どの学年においても肯定的な回答が７割程度となっています。一方で、経年変化を見ると、どの学年においても年々減少傾向にあることがわかります。
　４層分析に着目すると、右側A-D層の差について、令和８年度は小４、小５、小６の順に小さくなるという結果となりました。D層の同一母集団の経年変化に着目すると、年々上昇傾向にあることがわかります。

【総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。】（今年度からの新しい質問項目）
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	72.8	76.7	73.9	72.9	68.8	7.9
令和8年度・小5	71.8	77.0	72.6	70.4	67.2	9.8
令和8年度・小6	68.9	69.8	70.5	70.0	66.2	3.6

【分析結果】
　学年が上がるにつれ、減少傾向にあります。特に、小6A層のポイントが顕著に低いことがわかります。

【授業づくりのアイデア例】
　総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を行うことを通して、資質・能力を育成します。まず取り扱う学習材が身近で具体性のあるもの、探究的な学習に発展する可能性のあるものであるか、しっかりと吟味します。さらに、どのように児童の探究が進むのか、教師が単元の見通しをもつことで、どのタイミングで、どのような体験活動を設定するのか、外部講師はどうするのかといった手立てが見えてきます。地域資源等の学習材を有効活用することが大切です。

第2章　　Ⅱ　中学校の教科調査結果と分析、手立て

第2章　Ⅱ　　1　各教科の結果概要

Ⅱ　中学校の全市結果と分析、手立て

1　各教科の結果概要（国語・社会・数学・理科・英語）　※値は平均正答率（%）

○全体との比較（令和7年度の結果）

R8	平均正答率		
	川崎	全体	差
中1	65.0	64.7	+0.3
中2	58.6	56.9	+1.7
中3	58.5	56.3	+2.2

川崎と全体の平均正答率を比較すると、本市の各教科、各学年は、国語、数学、英語の3学年と、社会、理科の中3において、全体より0.6から5.1ポイント上回っています。また、これまで中1は全体を下回る傾向にありましたが、今年度は0.3ポイント上回っています。

平均正答率は、中1、中2の社会、理科以外すべての学年、教科で参加自治体全体を回っている。

R8	国語 平均正答率			社会 平均正答率			数学 平均正答率			理科 平均正答率			英語 平均正答率		
	川崎	全体	差	川崎	全体	差	川崎	全体	差	川崎	全体	差	川崎	全体	差
中1	63.4	62.8	+0.6	51.9	51.9	±0	58.1	56.3	+1.8	61.8	63.4	−1.6	89.9	89.2	+0.7
中2	68.6	66.8	+1.8	49.2	49.7	−0.5	59.3	56.2	+3.1	51.0	52.1	−1.1	59.9	54.8	+5.1
中3	65.1	63.8	+1.3	49.9	48.7	+1.2	57.0	53.2	+3.8	59.8	58.6	+1.2	60.8	57.0	+3.8

○同一母集団の経年比較（令和5年度から令和7年度）

中学校　5教科平均正答率

	川崎と全体の平均正答率の差		
	R6 中1	R7 中1	R8 中1
中3	+2.2		
中2	+1,5	+1.7	
中1	−0.1	−0.3	+0.3

川崎と全体の平均正答率の差を見ると、令和6年度の中1は全体より0.1ポイント下回っていたのが令和8年度には2.2ポイント上回っています。

全体との差について同一母集団の経年変化を見ると、学年が上がるにつれて良くなっている。

○4層分析 と C-D層間の差

※「A層」「B層」「C層」「D層」の欄は平均正答率(%)を、
「C-D差」の欄はC層とD層のポイントの差を表しています。

中　国語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・中1	85.9	71.9	58.1	37.6	20.5
R8・中2	87.9	76.7	65.2	44.4	20.8
R7・中1	86.4	72.5	59.9	40.9	19.0
R8・中3	86.4	73.9	60.7	39.4	21.3
R7・中2	94.0	83.5	70.9	49.5	21.4
R6・中1	84.5	70.1	57.4	37.2	20.2

中　社会	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・中1	77.2	59.3	44.4	26.6	17.8
R8・中2	76.0	55.2	40.3	25.5	14.8
R7・中1	68.9	49.1	35.7	21.1	14.6
R8・中3	75.1	56.9	42.2	25.4	16.8
R7・中2	77.6	58.7	45.0	27.8	17.2
R6・中1	73.3	54.3	41.9	27.3	14.6

中　数学	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・中1	85.5	67.5	51.3	28.3	23.0
R8・中2	89.9	70.3	50.9	25.9	25.0
R7・中1	89.2	74.8	58.9	31.4	27.5
R8・中3	90.1	70.9	47.0	20.1	26.9
R7・中2	91.0	72.9	54.0	26.2	27.8
R6・中1	91.0	77.8	61.4	33.0	28.4

中　理科	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・中1	85.9	70.3	55.9	35.2	20.7
R8・中2	76.3	56.8	43.5	27.6	15.9
R7・中1	88.9	71.6	54.6	32.2	22.4
R8・中3	84.9	69.1	53.1	31.9	21.2
R7・中2	78.7	61.4	48.2	31.2	17.0
R6・中1	82.2	66.1	52.4	31.8	20.6

○4層分析 と C-D層間の差

※「A層」「B層」「C層」「D層」の欄は平均正答率(%)を、
「C-D差」の欄はC層とD層のポイントの差を表しています。

中　英語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・中1	100.0	94.1	88.8	73.9	14.9
R8・中2	90.4	68.6	49.2	31.2	18.0
R7・中1	100.0	95.2	91.5	75.9	15.6
R8・中3	89.6	73.0	52.2	28.5	23.7
R7・中2	92.5	73.8	52.7	31.2	21.5
R6・中1	100.0	95.2	90.3	71.5	18.8

中 5教科平均	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R8・中1	86.9	72.6	59.7	40.3	19.4
R8・中2	84.1	65.5	49.8	30.9	18.9
R7・中1	86.7	72.6	60.1	40.3	19.8
R8・中3	85.2	68.8	51.0	29.1	21.9
R7・中2	86.8	70.1	54.2	33.2	21.0
R6・中1	86.2	72.7	60.7	40.2	20.5

層間の差　16.4　17.8　21.9

※令和8年度の中3は、A-B層間が16.4ポイント、
B-C層間が17.8ポイントで、C-D層間の21.9
ポイントが一番大きく開いている。

他の層間よりもC-D層間が大きく開いている。

【中学校の調査結果全体について】
　各教科、各学年の平均正答率について、川崎と全体との差に着目すると、社会と理科の中1及び中2を除くすべてにおいて全体を上回りました。また、同一母集団の平均正答率を、同様に川崎と全体との差に着目して経年比較すると、今年度の中3は、中1のときには全体を下回る結果だったのが、学年が上がるごとに改善され中3では2.2ポイント上回りました。
　4層分析の各層間の差に着目すると、社会の中2、英語の中2を除くすべての教科と学年において、C-D層の差が最も大きいです。小6の23.1ポイントと比べて差は少し小さいものの、引き続き、学習の際の疑問や関心について確認し、問題を解決していく授業の展開を行っていくことが大切です。

第2章　Ⅱ　　2　中学校 国語科

1年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	67.1	88.3	75.3	62.1	42.6	45.7

全体の正答率は67.1%でA-D層の差が45.7ポイントでした。特に問題2(1)ウは次の通りとなっており、A-D層の差が51.6ポイントでした。

【問題2(1)ウの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	81.6	99.1	95.4	84.4	47.5	51.6

このような結果となる要因として、社会的な語彙に触れる機会の不足、文字からの推測力や文脈での定着に課題が挙げられます。

(1) 次の――線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

ア　宇宙には無数の星がある。
イ　けが人を看護する。
ウ　委員長に就任する。

【正答】ウ　しゅうにん

【授業づくりのアイデア例】

対義語・類義語のセット学習と視覚的蓄積

文章から未知の語句を抽出する際、漢字一字の意味から自分なりに熟語の意味を予測した上で辞書検索を行うことが重要です。また、正確な意味に加えて対義語や類義語も確認し、出典となる教材名とともにスプレッドシートへ入力するなどの手立てが考えられます。思考の過程と語彙のネットワークを可視化した独自の「語彙データベース」を構築・蓄積し、言葉を単体で終わらせず、多角的かつ効率的な語彙の定着と拡大を図ります。

教材文（論説文・小説）のテーマと時事ニュースを掛け合わせる

教科書の「責任」「役割」などの語句の登場に合わせて新聞の見出しを提示し、現実社会との接点を作ります。「就任」には「期待」、「退任」には関連する別の言葉が並ぶなど、言葉が使われる社会的な文脈や雰囲気・ニュアンスを生徒と一緒に読み解くアプローチです。

ニュースを独立した時事問題として扱うのではなく、「教科書での学びが現実社会でどう使われているか」を確かめるために活用します。身近な現実と教科書を往復させることで、単語の表面的な意味から深い理解へとつながっていきます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

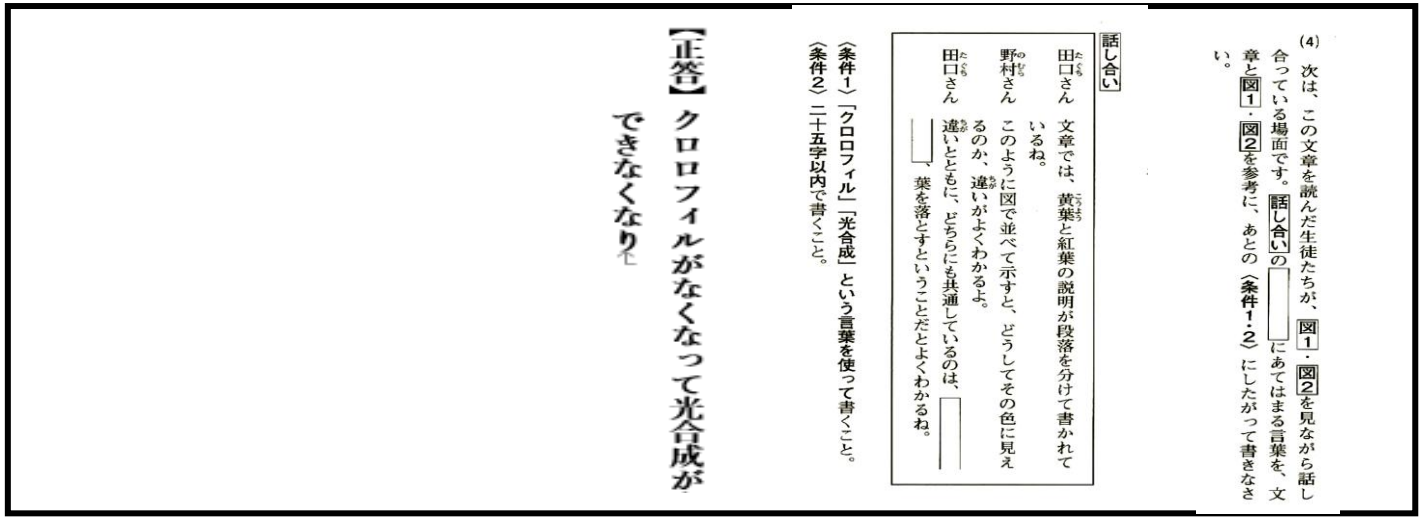
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	60.6	84.2	69.3	55.2	33.9	50.3

全体の正答率は60.6%で、A-D層の差は50.3ポイントでした。特に問題3(4)の正答率は次の通りとなっており、D層の生徒の多くが正答できていません。

【問題3(4)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	46.0	82.2	57.6	34.7	9.5	72.7

このような結果となる要因として、本文の理解と、会話のつながりを捉えたうえで、条件に沿って書く力が弱いことが考えられます。



(4) 次は、この文章を読んだ生徒たちが、図1・図2を見ながら話し合っている場面です。話し合いの［　　］にあてはまる言葉を、文章と図1・図2を参考に、あとの〈条件1・2〉にしたがって書きなさい。

話し合い

田口さん　文章では、黄葉と紅葉の説明が段落を分けて書かれているね。

野村さん　このように図で並べて示すと、どうしてその色に見えるのか、違いがよくわかるよ。

田口さん　違いとともに、どちらにも共通しているのは、［　　］葉を落とすということだとよくわかるね。

〈条件1〉「クロロフィル」「光合成」という言葉を使って書くこと。
〈条件2〉二十五字以内で書くこと。

【正答】クロロフィルがなくなって光合成ができなくなり

【授業づくりのアイデア例】

本文の中心となる部分を捉える

本文を理解するためには、本文の中心となる部分を捉えることが大切です。段落ごとに中心となる文や部分に線を引き、本文中の言葉を使って要約をします。また、段落の内容だけでなく、段落の役割に着目し、段落相互の関係を捉えることで、文章全体の理解も深まると考えられます。

文章中に図がある場合、図がどの段落に対応しているかを捉えることで、今回のような記述問題の該当箇所を見付けることにつながります。

書いた文を互いに添削し合う

記述の問題では条件があることによって、難しいと感じる生徒がいることも考えられます。まずは、条件を外して考え、書いた文を交流し、どの言葉を使っているのか、どの部分を中心に書いているのかを共有します。こうした活動を繰り返し、徐々に条件を加え、書いた文を添削し合います。生徒自身が気付くことで、条件や前後のつながりに合わせて書く力が高まると考えられます。また、書いたものを読み合ったり、添削し合ったりすることで、語彙力や表現力の向上にもつながります。

2年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

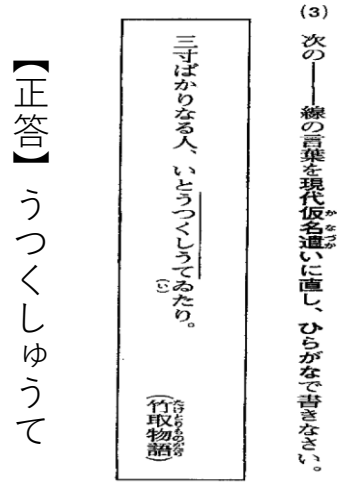
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	70.4	87.6	77.2	66.8	50.0	37.6

全体の正答率は70.4%でA-D層の差は37.6ポイントでした。特に、問題2(3)の正答率は次のとおりとなっており、D層においても正答にたどりつくことができない生徒が多くいました。

【問題2(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	44.4	78.6	51.2	32.8	14.8	63.8

A-D層の差は63.8ポイントでした。このような結果となる要因として歴史的仮名遣いの規則の理解力が弱いことが考えられます。



(3) 次の――線の言葉を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

竹取物語

【正答】うつくしゅうて

【授業づくりのアイデア例】

歴史的仮名遣いに親しむ

まずは、歴史的仮名遣いの基本ルールを押さえるために、発音と表記のズレに着目させて復唱や暗唱といった音読練習を繰り返し取り入れます。さらに、帯単元として短時間の小テストを継続的に実施することで知識の定着を図り、歴史的仮名遣いを身に付けることができると考えられます。

古典作品の理解を深める

手立てとして、まず生徒自身が原文を読み込んで現代語訳を作成します。そこから登場人物同士の関係や背景、出来事の流れを自分の言葉で整理させます。次に、班での話し合いを通して解釈を深めさせ、作品のストーリーを一つの展開として再構成し、それをスライドや画用紙を活用して人物の心情の変化や場面展開についてわかりやすく、かつ視覚的に伝わる表現で発表させます。最後に、教員が全体で振り返りや補足を行います。生徒自身が現代語訳から考えていくことで、古典に親しみながら作品の理解を深める指導として効果的だと考えられます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	67.2	88.1	76.4	64.1	40.2	47.9

全体の正答率は67.2%でA-D層の差は47.9ポイントでした。特に問題5(4)の正答率は次の通りとなっており、D層では正答にたどり着くことができない生徒が多くいました。

【問題5(4)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	62.5	92.4	76.3	57.1	24.0	68.4

このような結果となる要因として、資料の内容を正しく読み取ることができていないことが挙げられます。

(4) 小田さんたちは、「給食だよりの下書き」を読み返して話し合い、線部「う」を「資料1」・「資料2」を使って詳しく書き直そうとしています。あとの「書き直した文」の□に当てはまる文を〈条件1・2〉に従って書きなさい。

〈条件1〉どの資料から、何を読み取ったかわかるように書くこと。

〈条件2〉八十字以上、百字以内で書くこと。(ただし、句読点は字数に含めます。)

【授業づくりのアイデア例】

様々な資料をもとに、情報を読み取る

資料を自らの主張につなげるため、情報を読み取る力を身に付ける活動を行います。

新聞の社説欄や教科書等の説明文を読む中で、筆者の主張は何か、それを支える根拠がどこにあるのかを考え、それぞれ区別しながら線を引いていきます。

何を根拠にどのような主張をしているかということを読み取る練習をすることで、読解力を育みます。

集めた情報を整理して文章を書く

資料をもとに文章を書く授業では、その文章が誰に向けたものか、自分が何を伝えたいのかを明確にし、目的意識をもって記述することが大切です。また、情報同士を比較、分類、関連付けしていくことが、根拠を明確にして文章を書くことにつながります。

授業では、資料から読み取れる情報を箇条書きにしてふせんやfigjamに書き出し、それらが目的や意図に沿っているかを検討していきます。必要な情報を取捨選択し、適切な根拠となるものをつなぎ合わせて文章を作成します。その際は、なぜ、その材料を使ったのかを共有することで、情報を整理して文章を書く力が身に付きます。

3年生

知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	66.8	88.5	76.2	62.6	40.0	48.5

全体の正答率は66.8%で、A-D層の差は48.5ポイントでした。特に問題2(6)の正答率は次の通りとなっており、A-D層の差が56.4ポイントでした。

【問題2(6)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	55.3	83.8	64.5	45.2	27.4	56.4

このような結果の要因として、尊敬語や謙譲語など、敬語の知識・理解が定着していないことが考えられます。

(6) 正しく敬語を使っているものを、次の1～4から一つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

1 妹がお土産のお菓子を召しあがった。

2 校長先生が教室に参りました。

3 私は先生に本を貸していただいた。

4 お客様、どうぞお茶をいただいてください。

【正答】 3

【授業づくりのアイデア例】

動作主を捉える

敬語を理解する中で、動作主と敬意の対象を判断することが必要不可欠です。そのためには文法の学習でただルールを暗記するだけでなく、動作の流れを立体的に捉えることで視覚的にもわかりやすくなります。例えば、誰から誰へ動作が向かっているのかを矢印で表す活動も効果的だと考えられます。また、物語文を読む中でも「誰の動作」かを問いかけることが習慣化されると動作主への意識をもつことができるようになります。

領域の横断・結びつけ

日常生活で敬語を使う機会が減っていることも結果に表れていると考えられます。敬語の間違いを見付けるウォーミングアップを行うなど、段階的な指導から力を付けていきます。また、高校入試の面接や職業体験等の場面を設定し、ロールプレイングを行い、相手や目的に応じて適切に表現する力を実践でつけていくことも必要です。例えば、面接官・受験生だけでなく、観察者をつけ、今の敬語に間違いがなかったかを指摘する役をつけることも効果的です。生きて働く力を育んでいくことにもつながります。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	63.8	84.9	72.1	59.3	38.9	46.0

全体の正答率は63.8%で、A-D層の差は46.0%でした。特に問題1(5)の正答率は次のとおりとなっており、発言のつながりや論点の変化を捉えることができていない生徒が多くいることがわかります。

【問題1(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	51.9	74.9	57.6	44.8	30.1	44.8

このような結果となる要因として、話の概要は理解できているものの、話し合いの流れを整理しながら聞き取ることができていないことがあげられます。

【正答】2

(5) この話し合いの続きで、司会の田中さんが次のように述べました。［　］にあてはまる言葉として最も適切なものを、あとの1～4から一つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

田中さん　ここまでで、外来植物の駆除という方向性は一致しているようです。では、ここからは、佐藤さんの提案を受けて、［　］について具体的に話し合っていきましょう。

1 誰が袋詰めや運搬の役目を行うか
2 どのように学習するのがよいか
3 今後、ごみ拾いは必要なのか
4 草刈り機の扱いも習ったほうがよいか

【授業づくりのアイデア例】

話し合いの流れを整理する

教科書の音声データなどを活用し、話し合いを聞いてメモをとる練習をします。話し合いの様子を記録する際には、キーワードを羅列するだけでは不十分です。「誰の意見か」「何が決まったか」「次に何を話し合うのか」など流れを意識してメモをとるようにします。司会が話を転換するときやまとめるときの言葉に着目させると話を整理しやすくなります。

上手にメモをとっている生徒を取り上げ、どのような工夫がされているのか考えることも効果的です。

考えを整理しながら話し合う

全員が意見を述べやすいテーマを設定し、司会者を1人決めて4人班で話し合いの活動を行います。最後に話し合いの様子を司会者が代表して報告します。

その報告をもとに、どのような意見が出たのか、どのような流れで話し合いが進んだのか、どのようなところが改善できるかなどを振り返り、共有します。話し合いの様子を録音しておくと振り返りの際に活用することもできます。役割を交代しながら全員が司会を行うことで、考えを整理しながら話し合う力を高めることにもつながります。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】
自分が書いた文章や話したことを参考にして、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	77.7	91.0	84.4	74.6	60.3	30.7
令和8年度・中2	79.6	90.6	86.4	78.4	62.6	28.0
令和7年度・中1	78.0	90.7	84.3	74.8	61.5	29.2
令和8年度・中3	82.6	93.4	88.5	81.0	67.3	26.1
令和7年度・中2	80.4	92.1	86.9	78.7	63.7	28.4
令和6年度・中1	77.7	90.0	84.0	75.5	60.8	29.2

【分析結果】
調査結果では、調査を実施した全学年において、すべての層で高い数値になっています。一方でC、D層の差が大きい傾向が見られます。すべての学年でD層の生徒が自分が書いた文章や話したことを参考にして理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返る姿勢を身に付けることが課題として挙げられます。課題に対して、「よい文章」について各学年の指導事項に則り、1年次は根拠の明確化、2年次は表現の効果、3年次は表現の仕方についての経年を意識した授業改善が求められます。

【授業づくりのアイデア例】

根拠の不備を見つけ、説得力のある文章に書き直す

「根拠が不明確な文章を添削する」授業が挙げられます。教師が用意した文章の中から、根拠のズレなどを指摘させます。中学1年生は「自分の伝えたい気持ち」であふれる「主張はあるものの根拠がない文章」になる傾向があります。この活動を通して自分の文章を客観的に推敲する目線が育つため、生徒の意識が変化すると考えます。また、ペア学習でも取り組めると考えます。

1箇所だけ変えた2つの文章の読み比べ

同じ内容で「接続詞の有無」「伝え方の強弱」「類義語の違い」などを変えた対比テキストを提示します。生徒に「どう印象が変わるか？」と問いかけ、個人で考え、なぜそう思ったのかグループで共有し、比較させることで、言葉選びや構成の工夫が読者に与える影響（強調や余韻など）を実感させ、文章の効果を読み解く力を育むことができると考えます。

表現を削る・置き換える

筆者独特の比喩や表現技法をあえて使わない文章に書き換え、元の文章と個人で読み比べをさせます。消すことで失われる「感情や情景の豊かさ」に気付かせ、筆者の工夫や意図を味わう力を育てることができると考えます。ペア学習でも取り組めると考えます。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】
自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	73.1	83.0	77.0	71.2	61.1	21.9
令和8年度・中2	72.7	81.6	77.4	71.0	61.2	20.4
令和7年度・中1	62.3	74.4	66.5	58.6	49.8	24.6
令和8年度・中3	72.4	81.5	77.6	70.5	60.7	20.8
令和7年度・中2	61.0	73.1	66.5	57.9	47.1	26.0
令和6年度・中1	63.2	74.5	69.0	58.6	51.0	23.5

【分析結果】
調査結果では、実施したすべての学年でA-D層の差が20ポイント以上あることがわかります。学年が上がるにつれてC、D層の差が増加傾向にあります。中1の学習において自分の意見や考えをもち発信する機会を与えることが大切です。また、自分が伝えたいことをわかりやすく説明する言葉の習得が課題として考えられます。課題に対して、自分の意見を伝える場面を増やすことが大切です。その際に、言いたいことをよりよい言葉をリフレーミングすることや、抽象的な言葉を言い換える活動などを取り入れることで言葉について考える機会を作ることができます。

【授業づくりのアイデア例】

ペア学習でリフレーミング（言い換え）する

生徒自身が「言いたかったのはその言葉だ！」と体験することで、新しい語彙を自分のものにすることができます。単に辞書で調べることを促すだけはなく、「自分の思いに合う言葉を選ぶ楽しさ」を授業の中で体験させることが語彙力と伝える力を同時に伸ばす鍵になります。GIGA端末のスプレッドシートに知った言葉などを書き留め、自分の語彙ブックを作ることも効果的です。また、ペアでの簡単な質問のやりとりを帯活動や日常の授業に組み込むことで意見を書く際の土台ができると考えます。

「言い換えカード」や類語の選択肢を用意する

語彙力が乏しい生徒に「適切な言葉で書きなさい」と言っても言葉は出てきません。ゼロからではなく、選択肢から選ばせるところから始めます。例えば、「すごい」→圧倒的だ、予想以上だ、「やばい」→危険だ、非常に～だ、「難しい」→手間がかかる、複雑だなどの「言い換えリスト」を教師がつくり、提示します。また、学習後に生徒とともにリストに言葉を追加していく活動も考えられます。普段何気なく使っている抽象的な言葉を使わずに言い換えの言葉を考え、マッピングする活動等を取り入れることで言葉と向き合う機会を作ります。それらの活動を通して自分の意見に合う言葉を見付け言葉の選択を広げることができます。

第2章　Ⅱ　　3　中学校 社会科

１年生

知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	51.4	77.7	58.4	42.9	26.6	51.1

知識・技能の設問における全体の正答率は51.4%でした。また、A-D層の差は51.1ポイントとなり、D層は問題形式に関わらず正答率が低くなっています。

【問題2(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	40.4	77.8	40.8	24.8	18.2	59.6

この問題における全体の正答率は40.4%でした。A層の正答率が77.8%、D層の正答率が18.2%となり、A-D層の差は59.6ポイントありました。提示された資料から当時の暮らしや政治とのつながりを見いだすことに課題が見られました。

(5) 次の資料2の歌をよんだ人物が活躍した時代について述べた文として正しいものを、あとの1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

資料2

この世をば　わが世とぞ思ふ
もち月のかけたることも　なしと思へば
(意味)
この世は自分のものであり、満月のように何も欠けているものはない。

1　大王を中心とする大和朝廷（大和政権）の支配が広がった。
2　武士が力を持ち、将軍となって政治を行った。
3　西洋のしくみを取り入れて国の政治が進められた。
4　貴族が中心となって政治を行い、華やかな貴族文化が栄えた。

【授業づくりのアイデア例】

「人物・政治・文化の特徴」を土台にして、「文化」から時代を捉える授業展開

資料を手がかりにして、時代の中心となる人物と政治や文化の特色を結び付ける力が求められています。小学校では、国風文化を学習する中で「望月の歌」や「藤原道長」が取り上げられていますが、「望月の歌」→「藤原道長」→「貴族の文化」のように、この歌が貴族の生活の様子を表していることへの理解に課題があると考えられます。

そこで中学校では、例えば「『天皇』ではない藤原氏はどのようにして権力を握り、どのような社会を築いただろう。」という問いを設定します。飛鳥・奈良時代と「天皇」中心の国づくりが進められていく中で、政治の中心が「貴族」に移り変わり、それに伴って当時の社会が変化したことを、文化に着目して捉えていきます。これにより、「文化」と「当時の社会」「政治」の結び付きを整理する力が身に付いていきます。文化を基に時代を捉えることで、因果関係を構造的に捉える力を育み、小学校で学習したことを生かし、政治や社会の変化と関連付けて捉え直すことで中学校での学びをより深めることができると考えます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

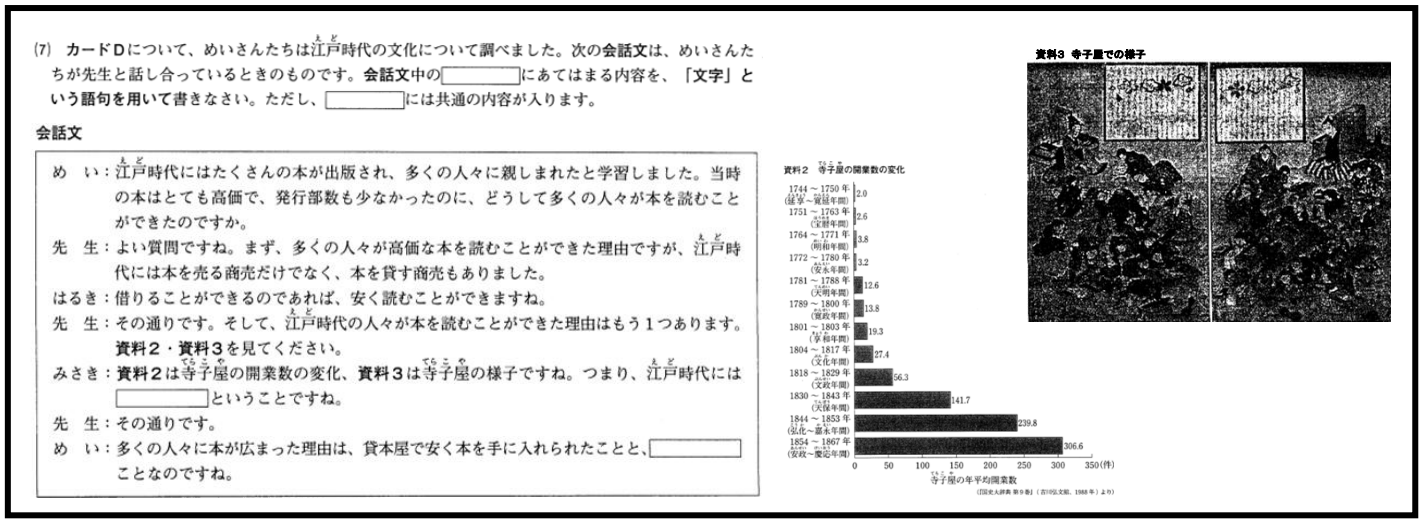
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	53.8	75.0	63.1	50.5	26.5	48.5

全体の正答率は５３．８％でした。一方で、記述式の問題はの正答率が２７．１％と課題が見られました。知識を活用して、自分の言葉で説明する力に課題があることが考えられます。

【問題７（２）の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	8.8	20.4	10.3	3.7	0.9	19.5

全体の正答率は８．８％であり、D層においては、６３．５％が無解答。A層との差が６１．０％と大きく見られました。このような結果となる要因として、既習事項と関連させ、複数の資料から根拠を見付けることに課題があることが挙げられます。



(7) カードDについて、めいさんたちは江戸時代の文化について調べました。次の会話文は、めいさんたちが先生と話し合っているときのものです。会話文中の［　　］にあてはまる内容を、「文字」という語句を用いて書きなさい。ただし、［　　］には共通の内容が入ります。

会話文

め　い：江戸時代にはたくさんの本が出版され、多くの人々に親しまれたと学習しました。当時の本はとても高価で、発行部数も少なかったのに、どうして多くの人々が本を読むことができたのですか。

先　生：よい質問ですね。まず、多くの人々が高価な本を読むことができた理由ですが、江戸時代には本を売る商売だけでなく、本を貸す商売もありました。

はるき：借りることができるのであれば、安く読むことができますね。

先　生：その通りです。そして、江戸時代の人々が本を読むことができた理由はもう１つあります。資料２・資料３を見てください。

みさき：資料２は寺子屋の開業数の変化、資料３は寺子屋の様子ですね。つまり、江戸時代には［　　］ということですね。

先　生：その通りです。

め　い：多くの人々に本が広まった理由は、貸本屋で安く本を手に入れられたことと、［　　］ことなのですね。

資料２　寺子屋の開業数の変化

（日置大膳亮「寺子屋」（吉川弘文館、1988年）より）

資料３　寺子屋での様子

【授業づくりのアイデア例（歴史的分野）】

複数の資料から予想し、根拠を基に自分の言葉で表現する授業展開

資料を活用して課題を解決することができるようにするためには、読み取れる情報と既習事項を関連付けて時代背景を多面的・多角的に捉え、課題解決につながる根拠を自分の言葉で表現する力が必要であると考えます。

授業では、「江戸時代の経済発展により人々の暮らしはどのように変化したのだろう。」という課題を設定し、江戸時代の経済発展により、庶民の生活が豊かになっていったことを多面的・多角的に考察し、表現する活動を取り入れます。このような学習を行うことで、社会的事象の特色や相互の関連を考察し、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する視点を身に付けることができます。

複数のグラフや資料から自身で予想を立て、「なぜ」「どうして」などの疑問を大切に、自分で調べたり協働して解決に向けて話し合ったりすることで、既習事項と関連させ、資料を基に根拠を見付けることができるようになり、自分の言葉で表現する力の育成につながっていきます。

２年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	50.7	75.2	55.9	42.9	28.7	46.5

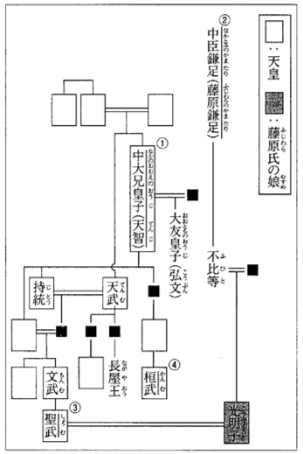
知識・技能の設問における全体の正答率は50．7%でした。特に問題6(1)の正答率は以下の通りとなっており、A層においても正答できない生徒が多くいました。

【問題6(1)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	20.5	26.3	19.0	17.9	18.8	7.5

この問題における全体の正答率は20．5%でした。中大兄皇子＝大化の改新という大まかなイメージのみで捉えていることが、正答率が伸び悩んだ原因だと考えられます。

資料１　７～８世紀の藤原氏と天皇家の関係



(1)　資料１の傍線部①の人物は、傍線部②の人物と力を合わせ、さまざまな改革を行いました。傍線部①の人物について説明した文として誤っているものを、次の１～４から１つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

1　独裁的な政治を行っていた蘇我氏を倒した。
2　唐・新羅に滅ぼされた百済の復興を助けるため、朝鮮半島に軍を送った。
3　はじめて全国の戸籍をつくり、天皇に権力を集中させようとした。
4　天皇を頂点とする大宝律令を完成させた。

【授業づくりのアイデア例(歴史的分野)】

歴史的な見方・考え方を働かせ
移り変わりに着目する授業展開

この単元では、律令国家が形成されるまでの過程を理解することが大切になります。その中で、当時の社会の様子や課題と人物が行った改革を関連付けて捉える力が求められています。

授業では、歴史的な見方・考え方を働かせ、「時期や推移」「比較」に着目し、時代の転換の様子や各時代の特色を考察するための表を作成します。例えば、古代までの日本の歴史で扱う時代のうち、飛鳥、奈良、平安時代を「政治の中心(立場)」「外交」「土地の制度」「文化」の4つの視点で表に整理して考察します。表を記入する際は、それぞれの時代の「違い」に着目することで、その時代の特色に気付くことができるようにしていきます。その表を活用して考察することで、時代の転換の様子に気付くだけでなく、個別の知識の意味を理解することにもつながります。例えば、飛鳥時代に政治の中心が豪族から天皇に移り変わった理由を考察するときに、中大兄皇子(天智天皇)らが行った大化の改新が必要な知識となります。

このような授業を行うことで、歴史の大きな流れを捉えるために必要な個別の知識を獲得できるようになると考えます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	43.5	79.2	52.2	30.0	12.7	66.5

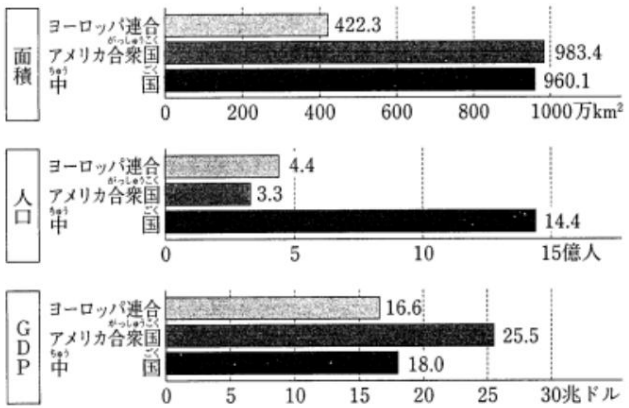
思考・判断・表現の設問における全体の正答率は43.5%でした。同一母集団の経年変化では、昨年度よりも13ポイント上昇したものの、D層は約2ポイント低下しており、思考・判断・表現を必要とする問題への対応に課題が見られました。

【大問3(2)イの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	50.2	89.8	64.3	34.4	12.2	77.6

A層の平均正答率が89.8%で、十分できていました。一方、D層は12.2%でした。EUに関する個別の知識をもっていても、資料と関連付けて結成の目的まで捉えることができなかったと考えられます。

資料2　ヨーロッパ連合とアメリカ合衆国、中国の比較（2022年）



※中国の面積・人口はホンコン・マカオ・台湾を含むが、GDPは本土のみ。

（世界銀行資料ほかより）

イ　資料2を参考にして、ヨーロッパ連合を結成した目的を説明した文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

1　言語・通貨などを統一することで、技術・文化を発展させるため。
2　他の地域と貿易を一切しなくてもよいようにするため。
3　労働力不足をアメリカ合衆国や中国からの労働者に頼らなくてもよくするため。
4　1国だけでは対抗できないアメリカ合衆国などの大国に対抗するため。

【授業づくりのアイデア例】

複数の資料を関連付け、社会的な見方・考え方を働かせて判断する授業展開

ヨーロッパ連合(EU)とアメリカ合衆国、中国の面積・人口・GDPを比較した資料を基に、EU結成の目的を資料から読み取り、判断する力が求められています。正答には、複数の資料を関連付け、それぞれの特徴を総合的に捉え、「なぜヨーロッパ諸国は協力する必要があったのか」を、複数の資料を根拠に判断することが重要です。

授業では、「ヨーロッパの国々は、なぜ一つにまとまる必要があったのだろう」という問いを設定し、人口や経済規模、加盟国数、地図などの資料を比較・関連付けながら考察する活動を位置付けます。個人で考えた後にペアやグループで根拠を交流し、多様な視点から資料を読み取り、自分の考えを深める機会を設けます。

その後、EU結成の目的を捉えた上で、その目的を実現するための取組である単一市場や共通通貨ユーロを整理する活動を位置付けることで、「一国だけでは解決が難しい課題に対し、国や地域が協力して経済的・政治的な影響力を高めようとしている」と考えることができるようになります。

３年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	50.6	76.7	57.5	42.1	26.2	50.5

知識・技能の設問における全体の正答率は、50.6%でした。同一母集団の経年変化におけるA-D層の差は昨年度と比べ、1.6ポイント開きました。

【問題6(4)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	69.6	95.2	84.6	64.1	34.6	60.6

この問題における全体の正答率は、69.9%でした。A層の正答率は95.2%であり、D層も選択式のため34.6%と一定の正答率もありますが、A-D層の差は60.6ポイントの差があります。

6 次の年表を見て、あとの問いに答えなさい。

年表

日本のおもな出来事		世界のおもな出来事	
1641年	鎖国の体制が固まる		
		1688年	イギリスで名誉革命が起こる
		1775年	アメリカで独立革命が起こる
		1789年	③フランス革命が起こる
1792年	ロシアからラクスマンが来航する		
1825年	①異国船打払令が出される		
		1840年	アヘン戦争が起こる
1853年	ペリーが来航する	1853年	クリミア戦争が起こる
		1857年	インド大反乱が起こる
		1861年	④南北戦争が起こる
1863年	②薩英戦争が起こる		
1868年	明治維新		
	⇕X	1871年	ドイツ帝国が成立する
1876年	日朝修好条規が結ばれる		

(4) 年表中の下線部④の出来事の説明として最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

1 ロシアが不凍港を求めて黒海から地中海へ南下したために、戦争が始まった。
2 ムガル帝国でのインド大反乱を直接のきっかけとして、戦争が始まった。
3 奴隷制などをめぐって国が二分されて戦争へ発展し、リンカン（リンカーン）の指導のもと北部が勝利した。
4 ワシントンを総司令官として戦争を起こし、独立宣言を発表した。

【授業づくりのアイデア例】

世界と日本をつなぎ、歴史の因果関係を捉える授業展開

南北戦争を奴隷制やリンカーンの取組と関連付けて理解することが求められています。正答率に差が生じた要因として、個別の知識を関連付けて捉えることに課題があると考えられます。

そのために、例えば「19世紀の欧米諸国の発展は、日本にどのような影響を与えたのか」という問いを設定します。具体的にはGIGA端末を活用し、日本と世界を上下二段に分けた同一時間軸の年表を協働して作成します。出来事の重なりを可視化し、世界の動きが日本にどのような影響を与えたのかを考察します。年表は、名称だけでなく、その背景や影響、出来事のつながりについて気付いたことを自分の言葉でまとめ、他者と共有し合うことで、事象の意味の理解へつなげます。完成後は年表を根拠に、気付いたことや最も強く結び付いた出来事について、自分の言葉でまとめたり、図に表したりします。

最後に単元を貫く課題の解決を記述する時間を設け、年表を基に、「その事象はどのような背景をもつか」「その事象が他に与えた影響は何か」を考えることが必要です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	47.1	69.1	54.7	42.2	22.4	46.7

全体の正答率は47.1%でした。思考・判断・表現の問題に対する選択式の問題の正答率が50%を超えていたのに対して、記述式の問題の正答率は50%を下回っていました。

【問題7(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	45.7	77.6	59.3	34.5	11.3	66.3

この問題における正答率は45.7%でした。正答率はA層が77.6%、D層が11.3%で、A-D層の差は66.3ポイントでした。沖縄の家屋の特色について獲得した知識を汎用的に活用することに課題が見られました。

資料2　琉球王国の様子を描いた絵と家の拡大



資料3　沖縄県の伝統的な家



そうた：資料2と資料3から、全体的に屋根が低くなっていることがわかるね。

ゆ　い：家の周りは、［　う　］ことがわかるよ。

ひまり：どうして、そういった特徴になっているのか、気候から考えてみよう。資料4は、沖縄県那覇市の雨温図だよ。

そうた：やっぱり、沖縄県って本州とくらべてすごく暖かいよね。冬でもあまり寒くならない。

ゆ　い：うん、雨温図を見ても、一年中気温が高いことがわかるよ。冬でも月平均気温が15度以上ある。

ひまり：降水量も多いよね。雨温図を見ると、5～6月の梅雨の時期以外でも雨が多いみたい。

そうた：そうか、特に雨が多い時期には［　え　］よね。だから、被害を防ぐために工夫して、特徴的な家になっているんだ。

【授業づくりのアイデア例】

概念的知識を汎用的に活用する授業展開

資料から沖縄の伝統的な家屋の特徴を読み取り、気候の特色を捉え、それらを既習の知識と関連付けて、会話文の文脈に沿って記述する必要があります。つまり、解答を導き出すためには、社会的事象と結び付けたり、比較したりしながら獲得した概念的知識を汎用的に活用する力が求められています。

授業では、沖縄の家屋が風通しと頑丈さに特徴があること、沖縄の亜熱帯特有の厳しい自然環境や気候の特色を調べ、課題について多面的・多角的に考察し、まとめていきます。その過程で、課題に関わる事象の関連付けが行われ、概念的知識が形成されていきます。しかし、概念的知識を汎用的に活用する力は、日本の諸地域全体の学習の中で、地域ごとに気候や人々の営みについて調べ、まとめる学習を行っていきながら、共通の構造や、差異を発見することで培われていくと考えられます。単元を越えて知識を関連付けて捉えられるようになった生徒は、次の単元でも事象の関連性を発見しようとするようになり、他の学びでも応用できることに気付きます。

こうして獲得した概念的知識を日本の諸地域全体の学習の中で繰り返し活用していくことで、汎用性が養われていくと考えます。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】
学習課題を、自分から進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	78.9	89.1	83.1	76.7	66.5	22.6
令和8年度・中2	76.6	89.7	79.8	74.0	63.0	26.7
令和7年度・中1	77.4	87.6	81.2	74.0	66.7	20.9
令和8年度・中3	78.7	89.6	83.2	77.5	64.4	25.2
令和7年度・中2	72.8	85.5	77.9	70.1	57.8	27.7
令和6年度・中1	74.8	87.0	78.5	71.1	62.7	24.3

【分析結果】
　令和8年度の肯定的な回答割合は、中1：78.9%、中2：76.6%、中3：78.7%でした。昨年度から中2が3.8ポイント上昇し、主体的姿勢が定着しつつあります。一方でA-D層の差は全学年で20ポイント以上（中1：22.6、中2：26.7、中3：25.2）あり、これまでと同様に課題となっています。A層の約9割に対しD層は6割台にとどまっており、学習に課題のある生徒が自ら問いを立て、見通しをもって解決に取り組める支援を継続していく必要があります。

【授業づくりのアイデア例】

単元を貫く課題の設定による「学ぶ目的」の明確化と、D層への個に応じた情報活用の支援

　単元全体で学習する目的となる「単元を貫く課題」を適切に設定することは、生徒の探究心を持続させる上で重要です。
　例えば、ヨーロッパ州の学習において「EUはどのような経緯で構成国を変化させてきたのか」といった問いを導入で提示し、各単位時間の学習内容（知識や概念）を単元末の表現活動へ有機的に結び付くよう計画的に配置することで、生徒が学びの見通しを「見える化」できるよう工夫することが大切になります。また、資料から情報を読み取り整理することが苦手なD層の生徒に対し、GIGA端末を活用した個に応じた支援が有効です。
　具体的には、検索のキーワードを例示して情報の取捨選択を助けたり、ワークシート上で情報の比較・分類の手順を段階的に示したりするなど、個に応じたきめ細かな指導が求められます 。さらに、図表だけを見て読み取れることを話し合わせるなど、資料に慣れさせる段階を設けることで、学習への抵抗感を減らし、自ら調べようとする態度を育むことにつながると考えられます。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】
社会の授業で、学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	77.8	88.5	82.7	76.9	63.4	25.1
令和8年度・中2	76.4	90.7	82.6	72.7	60.6	30.7
令和8年度・中3	80.4	93.8	86.8	78.5	63.3	30.5

【分析結果】
令和8年度の肯定的な回答割合は、中1：77.8%、中2：76.4%、中3：80.4%でした。社会的事象の理解において既習事項とのつながりを意識している生徒は7割を超えています。一方でA層とD層の差は学年が上がるにつれて拡大し、中3では30ポイントに達しています。D層は6割台にとどまっており、学習に課題のある生徒ほど、新しい課題に対して既習の知識を有機的に結び付けることに難しさを感じている実態があります。既習事項を想起させ、活用を促す丁寧な支援が全ての学力層において必要です。

【授業づくりのアイデア例】

既習の知識や概念を可視化し、新しい学習課題の解決へつなげる系統的な学びの充実

社会科では、単元を貫く課題を解決する過程で、それまでに習得した用語や概念を適切に活用することが重要です。

例えば、歴史的分野の学習において、導入で年表や既習の人物相関図を提示し、「これまでの出来事とどのような因果関係があるか」を意識させることで、時代の大きな流れを大観する力を養うことができます。

また、D層の生徒への支援として、ICT（オクリンクプラス等）の活用が有効です。前時までの学習内容や重要語句を「振り返りカード」として可視化し、いつでも参照・比較できる環境を整えることで、思考のハードルを下げることができます。

ワークシート上で知識のつながりを図解したり、活用すべき既習事項をヒントとして具体的に例示したりするなどの個に応じた支援を継続することで、生徒が自らの学びの変容を自覚し、「わかる」という自信を深めることにつながると考えられます。

第2章　Ⅱ　　４　中学校 数学科

1年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】
　全体の正答率は、66.3%でパターン判定はⅢとなっていて、A-D層の差は55.8%でした。次にあげる問題3(1)の正答率は下表の通りになっていて、正答率は他の設問と比べて低く、A-D層の差も57.6%となっています。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	66.3	90.4	77.9	62.2	34.6	55.8

【問題3(1)の正答率】
　『比』『縮図や拡大図』などの割合を扱う問題の正答率の低さが顕著でした。比の理解そのものに課題があり、2つの数量関係を割合で表しているということを把握できていないと考えられます。文章を最後まで読み正しい式に表すことも不得手なようです。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	34.6	69.6	37.3	19.6	12.0	57.6

(1)　バスに子どもが9人、おとなが14人乗っています。子どもの人数と、乗客全員の人数の比を、次の1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

1　9：14　　2　9：23　　3　14：9　　4　14：23

【授業づくりのアイデア例】

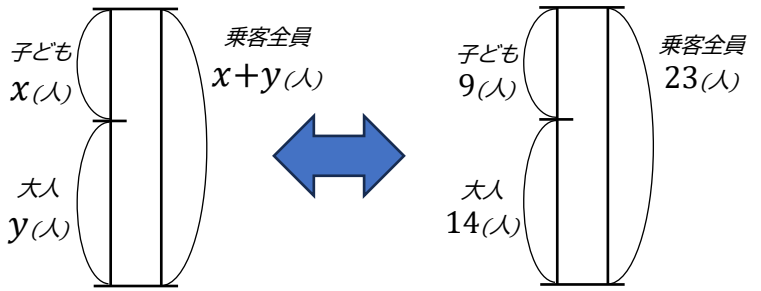
図や表を使って考えを整理する

　小6の比の学習で、小5の割合との関連が示され、「比の値」「比をかんたんにする」では、比とは2つの数量の割合を表すと述べています。
　結果からは、「比の理解そのもの」と「文章を読み正しい式に表す力」の2つの課題が見いだせます。生徒自身が数学的思考を言葉や図で表現する場面を意図的に設定し、比とは数量の割合を表すことの理解につなげます。
　中学生になって、文字を使った比の式を扱うようになると、文章からの立式がより困難になると予想されます。文字を具体的な数にしたり、図や表を使ったりして、思考を整理しながら考えることが大切です。

【問題】バスに子どもが x 人、大人が y 人乗っています。子どもの人数と、乗客全員の人数の比を求めなさい。

〈図で考える〉

x：$x+y$ の比の値 $\frac{x}{x+y}$ は乗客全員の中で子どもが占める割合を表す



〈表で考える〉

子ども	大人	乗客全員
x	y	$x+y$

子ども	大人	乗客全員
9	14	23

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	32.5	70.0	34.7	16.8	8.4	61.6

全体の正答率は32.5%で、パターン判定はⅠとなっており、B・C・D層の多くの生徒は正答にたどり着くことができませんでした。特に問題7(2)の正答率は次の通りで、A-D層の差が86.6ポイントとなっており、1学年全体の問題の中でも、大きく差が開いた問題であることがわかります。

【問題7(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	36.8	88.9	43.8	12.3	2.3	86.6

全体の正答率は36.8%で、C・D層の正答率の低さが顕著にみられる結果となっています。要因として、単純に面積を求める問題ではなく、複数の面積を比較する問題であったので、場面や式が読み取れなかったと考えられます。

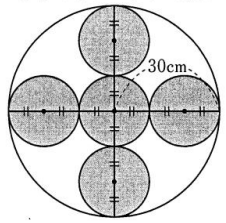
(2) ゆうたさんとななみさんは、それぞれ下のような円の形を使った的を考えました。



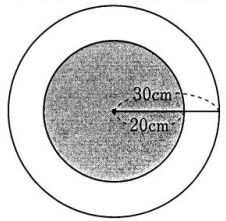
ゆうた

色をつけた部分の面積は、どちらが大きいのかな？
面積を求める計算は大変そうだから、半径10cmの円の面積の何倍かで比べてみよう。

ゆうたさんの考えた的A



ななみさんの考えた的B



【ゆうたさんの考え】
Aの的の色をつけた部分の面積は、半径10cmの円の5つ分だから、
半径10cmの円の面積の［あ］倍です。
Bの的の色をつけた部分の面積は、
20 × 20 × 3.14 = 400 × 3.14 = ［い］× 10 × 10 × 3.14だから、
半径10cmの円の面積の［い］倍です。
㋐【Aの的・Bの的】のほうが、色をつけた部分の面積が大きいです。

【ゆうたさんの考え】の㋐と㋑にあてはまる数を書き、㋐は解答用紙の【Aの的・Bの的】のどちらかあてはまるほうを選んで○をつけなさい。

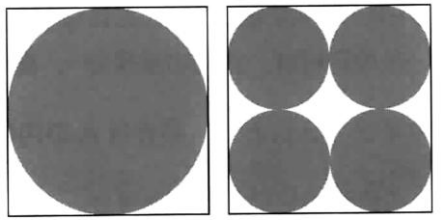
【授業づくりのアイデア例】

文字を使って、面積を比較する

中学生では、文字を使った式の利用を学びます。今回の問題のように「実際の数字で計算することは大変そう」といった発想は大切です。文字を使うことにより、実際に数字で計算せずとも面積を比較することができたり、具体的に数字がわからなくても面積を比較することができたりすることに気付かせたいです。

問題

右のような正方形に囲まれた円形の的がある。AとBどちらの的のほうが面積が大きいか答えなさい。ただし、円周率はπとし、正方形の面積はAとBどちらも同じである。



半径を文字でおくことにより、具体的な数字を使わずとも、2つの面積を比較することができます。
例題として取り上げ、さらに類題を解く機会をつくり、定着をはかる必要があります。今回の問題7(2)も類題として取り上げ、半径10cmを文字でおくと、実際の数字で計算せずとも、面積を比較することができることに気付かせたいです。このように、数字を文字でおいたり、文字で考えてみたりして、具体的な数と、一般化した文字式を往還して捉えることが大切です。

2年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

全体の正答率は62.4%でパターン判定はⅢでA-D層の差は61.8%と大きいです。次にあげる問題2(5)の正答率は下表の通りで、川崎市の正答率38.2%に対して、全国は41.3%であり、この問題のみ全国よりも3.1ポイント下回っています。

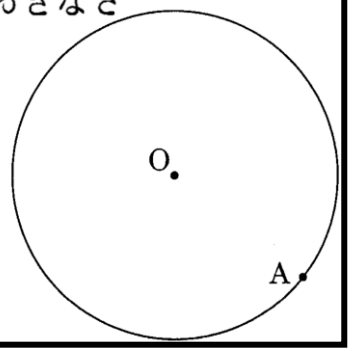
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	62.4	90.9	73.2	56.2	29.1	61.8

【問題2(5)の正答率】

B、C、D層とも正答率は低く、要因は複数あると考えられます。接線の性質を理解していない、接点の意味が曖昧、既習の作図方法の理解の不足、作図の経験が少なく、コンパス・定規の操作が苦手などが考えられます。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	38.2	81.0	44.9	22.3	4.6	76.4

(5)　右の図のように、円Oの周上に点Aがあります。点Aを接点とする、円Oに接する直線を、コンパスと定規を用いて作図しなさい。ただし、作図は解答用紙に行い、コンパスと定規のあとは消さずに残しておきなさい。



【授業づくりのアイデア例】

接線とは、何か？

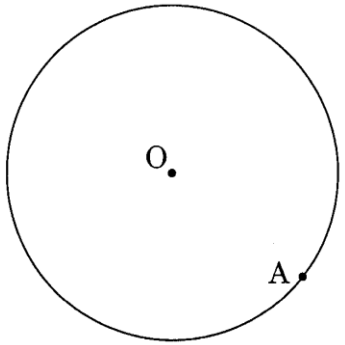
接線の学習と垂線の学習が結び付いていないと考えられます。はじめに、問われている接線はどのようなものか、フリーハンドでかいてイメージをもちます。その接線を正確に作図するため、接線とはどんな直線なのか、接点はどんな点なのかを話し合いながら確認し、接線は接点を通る半径と垂直であることを確認することで、接線の作図には垂線の作図が必要であることに気付きます。これにより、接線と垂線の学習が結び付くようにすることが大切です。

問題

①接線をかいてみよう
（フリーハンドで）。

②接線をかくときに気を付けたこと、ポイントなどを話し合おう
（接線は接点を通る半径と垂直になっている、このことを確認する）。

③作図をしてみよう。



思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

思考・判断・表現の全体正答率は49.4%であり、知識・技能の62.4%と比べて大きく開きがあることがわかります。D層だけではなく、C層の生徒への手立てを考える必要があります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	49.4	86.9	60.9	34.1	15.7	71.2

【問題5(2)イの正答率】

文章を読み、四角に当てはまる数や式を解答する問題です。A層の生徒は100%に近い正答率ですが、D層は0.2%となっており、B-C層の間で大きく正答率が離れていることがわかります。指定されている未知数を用いて式にする力をはじめ、文章を読んで立式する力を身に付ける手立てが必要です。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	44.3	98.0	67.4	11.5	0.2	97.8

問題

1個230円のケーキと1個130円のプリンを合わせて10個買い、代金の合計が1900円になるようにします。ケーキを何個買えばよいか求めなさい。ただし、消費税は考えないものとします。

この問題を次のように解きました。

【解き方】 ケーキの個数を x 個とすると、

プリンの個数は(①)個と表すことができるから、

$230x + 130($ ① $) = 1900$

この方程式を解くと、$x =$ ②

この解は問題にあっている。

(答え) ② 個

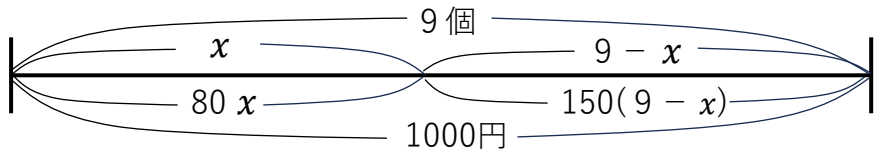
イ 【解き方】の中の ① にはあてはまる x を用いた式を、② にはあてはまる数を、それぞれ書きなさい。

【授業づくりのアイデア例】

文章の情報を整理し、文字を使った式で表現する

問題文の内容を整理し、立式する力はどの単元でも必要な汎用的な力です。1年生の段階で図や表を用いて整理し視覚的に捉えるよさに気付かせたいです。今回のアイデア例では、調査問題と同様な場面で数値を変えた問題を扱う授業を想定しています。

問題:1個80円のみかんと1個150円のリンゴを合わせて9個買うと、代金の合計は1000円になった。みかんを何個買ったか求めなさい。



みかんの個数をx個とするとリンゴの個数はどう表せるのかを、図を見て考えるようにし、視覚的に9個からx個を除いた部分だと捉えやすくします。代金に着目し「合計は1000円だけど、みかんの値段、リンゴの値段はx を使って表せるかな？」と問いかけます。線分図の下段に値段に関する数量を書き加え、その後、上段、下段それぞれから方程式を立式していきます。方程式の利用の初めの段階を想定しています。２つの数量関係をあえて1つの図の上段と下段に分けて整理することで、個数と代金、2種類の数量があることとそれらの関係を意識し、それを図に表すよさを実感でき、他の場面でも活用する姿を目指します。

3年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	59.5	89.9	73.6	51.7	22.8	67.1

全体の正答率は59.5%でパターン判定はⅢであり、C-D層の差が大きく、28.9ポイントであり、D層の生徒に課題が見られます。

【問題3(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	49.6	93.9	71.4	31.2	2.1	91.8

正答率は49.6%で、知識・技能を問う全体の問題の中でもA-D層の差が91.8%と一番大きく開き、4層分析データの結果から、パターンⅡで、C層・D層の正答率が低いことがわかります。B-C層の差が40.2ポイント開き、無解答率についても20.5%と高く、多くの生徒にとって理解が不十分な状況であることが伺えます。

（3）
グラフの切片が6で、点（5，－4）を通る1次関数の式を求めなさい。

【授業づくりのアイデア例】

切片と1点の座標から1次関数の式を求める

関数全体を通して、表、式、グラフについて、それらを相互に関連づけて理解することが必要です。無解答率の高さから$y = ax + b$のaやbの値のもつ意味を理解して正しく使えるために、丁寧な確認の必要があるといえます。

【問題】
グラフの切片が6で、点(5, −4)を通る1次関数の式を求めなさい。

まず、1次関数$y = ax + b$では、グラフの傾きと切片がわかれば式を求められることをおさえる必要があります。
この問題では、切片と直線が通る1点の座標が、条件として与えられており、この2点の座標からグラフの概形をかいてから考えることができます。グラフの概形をかくことで、求めたい式のaやbの値を大まかに捉えることができます。
通る2点の座標から表をつくり、式を求めます。はじめにxの値が0のとき、yの値が切片の6になることを確認して2点の座標の値を表に埋めます。切片は提示されており、傾きが必要ですが、x =1のときのyの値が知りたいと考えるかもしれません。(5, −4)をどう使うのか、使うことで傾きが求められる理由を丁寧に確認することが大切です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	51.4	90.6	64.8	36.2	13.9	76.7

全体の正答率は51.4%でパターン判定はⅡであり、D層だけでなくC層にも課題があると考えられます。

【問題5(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	44.4	79.7	53.9	31.8	12.0	67.7

問5(2)は連立方程式の問題ですが、解くのではなく式の意味を問うものでした。市全体の正答率は44.4%でした。パターン判定はⅠでA層-B層の差が25.8ポイントでした。さらにA層の正答率も80%以下です。連立方程式の分野では、文章題から立式して解くだけでなく、式の意味を説明する問題に取り組み、過不足なく説明することを意識できる学習を重ねていく必要があると考えます。

【問題】

1本60円の鉛筆Aと1本80円の鉛筆Bがあります。鉛筆Bが鉛筆Aよりも4本多くなるように買ったところ、代金は2000円でした。鉛筆A、Bをそれぞれ何本買ったかを求めなさい。ただし、消費税は考えないものとします。

この【問題】を解くために、買った鉛筆Aの本数をx、買った鉛筆Bの本数をyとして連立方程式を作りました。

$$\begin{cases} \square = 4 & \cdots\cdots① \\ 60x + 80y = 2000 & \cdots\cdots② \end{cases}$$

①、②を解くことで、問題の答えを求めることができます。

(2) ②の式について、下線部の$80y$は何を表していますか。解答用紙に書きなさい。

【授業づくりのアイデア例】

○完成した式の意味を説明する○

ある店で、1個350円のハンバーガーx個と1個210円のポテトy個を買いました。ポテトはハンバーガーより2個少なくなるように買い、合計金額は2940円でした。

このことを次のような連立方程式で表しました。

$$\begin{cases} x - y = 2 & \cdots① \\ 350x + 210y = 2940 & \cdots② \end{cases}$$

発問1　①の式は何を表した式ですか。

発問2　②の式の210yは何を表していますか。

今回の問題において、無解答率はあまり高くないことから、説明不足で誤答となっている生徒が多いのではないかと予想されます。そこで、式の意味などを過不足なく説明できる力を身に付けさせたいと考えます。発問1では式に出てくるすべての項が「個数」を表しています。「ハンバーガー」と答えた場合「ハンバーガーの何？」など問い返しながら、不足なく説明する練習が必要です。発問2も同様で、「ポテトの値段」「210円のポテト」「ポテトy個」など、細かい間違いや説明不足な解答について触れ、どのように書けば正確に問題の意味が伝わるのかということを話し合いながら、理解を深めていきたいです。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	81.7	95.4	89.1	79.2	62.5	32.9
令和8年度・中2	79.6	95.7	89.1	75.9	57.6	38.1
令和7年度・中1	83.1	96.3	89.8	81.7	64.2	32.1
令和8年度・中3	63.5	95.7	90.5	79.9	60.4	35.3
令和7年度・中2	78.9	95.1	87.9	75.4	56.7	38.4
令和6年度・中1	83.2	95.9	89.7	83.3	63.5	32.4

【分析結果】

令和8年度・中2の同一母集団の経年比較に着目すると、D層の生徒は昨年度よりも6.6ポイント低い57.6%でしたが、およそ6割の生徒が肯定的な回答をしており、数学的な考え方を用いて粘り強く問題に取り組もうとする姿勢がうかがえます。 しかし、A-D層の差は38.1%と昨年度から6ポイントの差が開く結果となり、特にD層の生徒は、問題の表面的な数字や文章だけに惑わされ、既習事項と関連付けられない様子がうかがえます。問題解決の過程においては、図や表をもとにスキーマを言語化・構造化させた上で、既習事項を整理しながら、思考の過程を確認する習慣が大切です。

【授業づくりのアイデア例】

「数と式」領域における
知識の構造化と既習事項の活用

新しい数(負の数、文字式、平方根等)が登場したときに、既習事項をどう適用させるか？

➢本質的な計算の構造は、既習のものと同一だということに気付かせ、論理的に計算を拡張させる。

①無意識に使っている計算のきまりを比較
②どの法則が使える状態にあるのかを視覚化
③整理・構造化させ、計算の仕組みに気付く
④論理的に導いた結果を言語化する(まとめる)

【平方根の加減 $\sqrt{2}+\sqrt{3}=\sqrt{5}$ ？に関するアイデア例】

論理的に解決する姿勢をはぐくむ学びのステップ

⑴既習の $\sqrt{2}\times\sqrt{3}=\sqrt{6}$ (乗法)につられる
　誤答の $\sqrt{2}+\sqrt{3}=\sqrt{5}$ を取りあげる

⑵既習事項を視覚化
　➢分配法則(中1・2既習)
　➢文字式の同類項(中1・2既習)
　➢平方根の定義(中3既習)

⑶既習事項と結び付けられることに気付く
　➢本質的に解決

⑷計算ルールの言語化

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】

授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	71.2	84.9	75.2	68.3	56.7	28.2
令和8年度・中2	70.9	88.1	78.2	65.7	52.1	36.0
令和7年度・中1	66.0	82.1	72.1	61.1	48.9	33.2
令和8年度・中3	75.0	91.0	82.6	70.5	56.1	34.9
令和7年度・中2	62.3	82.5	68.0	56.1	42.7	39.8
令和6年度・中1	66.9	81.8	72.5	63.7	49.5	32.3

【分析結果】

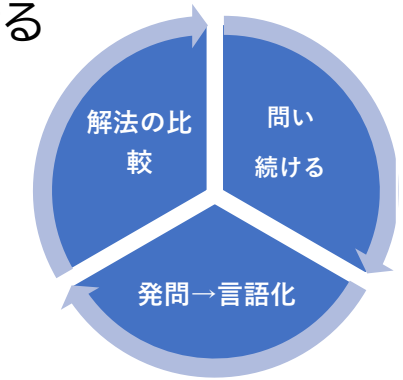
C-D層の肯定的な回答の割合について、同一母集団の経年比較をみると令和8年度・中3は昨年度よりもC層で14.4ポイント、D層では13.4ポイント大幅に上がる結果となり、問題解決的な学習において、思考過程を重視した結果ともとらえることができます。

またA-D層の差に着目すると、同一母集団で令和8年度・中3の結果が示すように、特に中1から中2にかけて差が広まっていく傾向にあります。D層の生徒の多くは、数学的な見方・考え方を働かせないまま、学習が進んでしまうことがうかがえます。理由や根拠、思考過程を重視しながら、継続的な指導、支援していく必要があります。

【授業づくりのアイデア例】

理由や根拠、思考過程を重視した授業づくり

Step1　解法(やり方)だけではなく
理由や根拠を問い続ける
➢数学的に考える必要性を実感



- **揺さぶる発問**
- **「なぜ？」→**
  「～と言い切れる？
  習ったどんなルールを
  使ったの？」

Step2　効果的な発問➢理由や根拠を言語化

- **「これまでに習ったどの知識と似ている？」**
  (既習への帰着)
- **「条件（数や形）を変えても、いつでも成り立つ？」**
  (一般化・特殊化)
- **「簡潔に言うと、何に注目して考えた？」**
  (本質的な考え方の抽出)

Step3　複数の解法を比較
➢誤答との比較などを通じて、解決方法のよさを考える

今日の授業で一番「なるほど」だなと感じた考え方は？

第2章　Ⅱ　　5　中学校 理科

1年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	65.0	86.8	73.0	60.2	39.8	47.0

全体の正答率は65.0%でした。A-D層の差は47.0ポイントで、特にC-D層で20.4ポイント差がありました。水溶液の性質や燃焼の仕組みに関する問題で、正答率が低い傾向がありました。

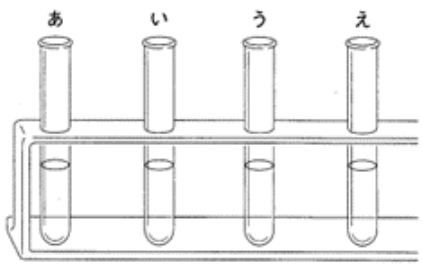
【問題6ー(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	48.9	82.8	52.3	34.9	25.5	57.3

この問題は正答率が低くA-D層の差が57.4ポイントと大きく、特にA-B層で30.5ポイントも差がありました。このような結果になる要因として、固体が溶けている水溶液を加熱すると固体が残ることを理解できていないことや、『固体がとけていったものはどれですか。』と問題文を読み違えて、アルミニウムがとけていった「え」を解答したと考えられます。

(3)　あ～えの水よう液のうち、固体がとけているものはどれですか。次の1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

図



表

水よう液	あ	い	う	え
赤色リトマス紙の色の変化	変化なし	変化なし	青色に変化した	変化なし
青色リトマス紙の色の変化	赤色に変化した	変化なし	変化なし	赤色に変化した
加熱後の蒸発皿のようす	何も残らなかった	白い物が蒸発皿に残った	何も残らなかった	何も残らなかった
アルミニウムを入れたときのようす	変化なし	変化なし	変化なし	アルミニウムからあわが出てとけていった

【授業づくりのアイデア例】

見えなかったものをとり出し、見えるようにすることで、水溶液の性質を理解する。

「水溶液の性質」の単元の導入の授業で、小学校の既習内容を想起した授業づくりを行います。

《実験の手順》



①食塩水と水を用意します。
②蒸発皿に食塩水と水をそれぞれ1.5ml入れます。
③②の蒸発皿をそれぞれ加熱し、水分を蒸発させ、現れる結晶を観察します。
※③の加熱中は、GIGA端末を使って動画撮影を行い、結晶が出てくる様子を記録に残します。
④出てきた結晶を顕微鏡で観察し、特徴を探ります。

食塩水と水を比べると水は何も残らず、食塩水は結晶が現れる。この結果より、『どうして食塩水は結晶が出てきて、水は何も残らないんだろう』という疑問から食塩水と水との違いに着目して考察していきます。考察の際に、液体がなくなるようすや結晶が残るようすを粒子を使ったモデル図で表現することで、理解につなげることが考えられます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	49.3	82.4	59.5	38.4	16.7	65.7

全体の正答率は49.3%でパターン判定はⅠでした。特に記述式問題において、D層の正答率は極めて低く、思考した結果を言語化できるような授業改善が求められます。

【問題8(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	51.1	83.2	63.5	42.5	15.1	68.1

この問題の正答率は51.1%で、A-D層の差が大きいです。また、D層の正答率は15.1%、無回答率は59.8%でした。このような結果となる要因として、日光があたることで街灯が使用できることは理解できても、街灯が光るために必要な電気についてまで考えることができなかったことが考えられます。身近な道具や現象がどのような仕組みになっているのか、既習事項と関連付けて考えることに課題があると考えます。

(3) 会話文中の下線部について、ソーラーパネルが取り付けられた街灯が人里離れた離島や山間部でも使うことができる理由を、ソーラーパネルが取り付けられた街灯の特徴に着目して、解答用紙に書きなさい。

図1

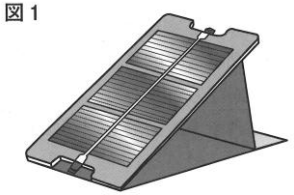


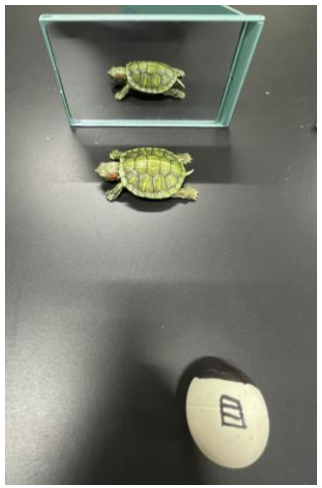
図2

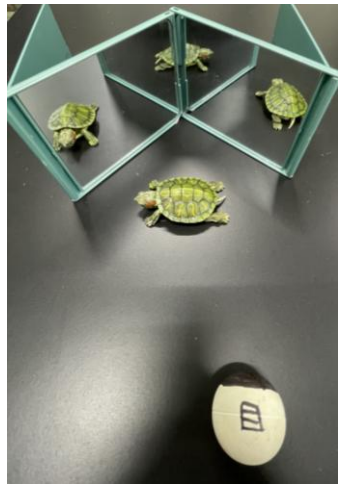


【授業づくりのアイデア例】

身近な道具や現象の仕組みを既習事項と関連付けて考えることで、思考した結果を言語化する

身近な道具と既習事項を関連付けて考えられるよう美容院でよく見る1枚の鏡と2枚の鏡を90°の向きに置いた時の物の見え方ついて考えます。生徒は、1枚と2枚で鏡に映っているカメの頭の向きが違うことに気付き、光がどのような道筋で進んでいるのか、疑問を言語化していきます。D層が思考できるようにするために、鏡の前に目の置物を置き、既習事項である反射の法則と関連付けます。鏡が2枚の場合は考え方が難しいため、GIGA端末で考えを共有したり、鏡にレーザーポインターを当て、光の道筋を確認したりすることで自分の考えを振り返り、より深めることで思考の言語化につなげます。







2年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	53.2	79.3	59.5	45.2	29.0	50.3

全体の正答率は53.2%でパターン判定はⅠでした。A-D層の差は50.3ポイントでした。用語と事象を関連付け、データから法則のつながりを整理するような授業改善が求められます。

【問題6(1)イの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	34.6	72.8	35.4	18.9	11.1	61.7

正答率は34.6%で、ばねののびを求めるアの問題と各層を比較すると、B層とC層でその差が大きくなります。このことより、実験データから事象の背後にある仕組みや規則性を概念化し、活用できる知識として質の高い理解へつなげることについて課題があると考えられます。

6 力のはたらきについて、次の問いに答えなさい。ただし、100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとし、ばねはのびきらず、おもりは机につかないものとします。

(1) ばねを使って、次のような〔実験〕を行いました。

〔実験〕
① 図1のように、1個20gのおもりをばねにつるし、このときのばねののびをものさしで測定した。
② ばねにつるす1個20gのおもりを2個、3個と増やしていき、それぞれのばねののびをものさしで測定した。図2は、このときの結果をグラフで表したものである。

図1

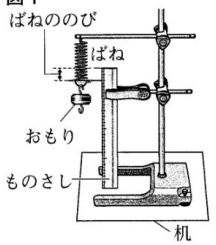
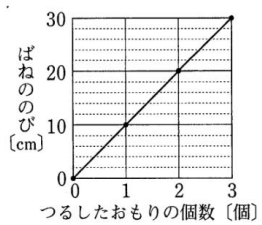


図2



ア　図1で使用したばねに10gのおもりを1個つるすと、ばねののびは何cmになりますか。求めなさい。

イ　図1で使用したばねののびが35cmのとき、ばねに加えた力の大きさは何Nですか。最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。
1　0.7N　　2　3.5N
3　35N　　4　70N

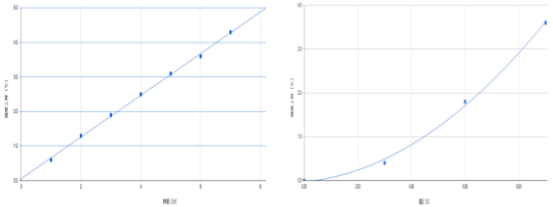
【授業づくりのアイデア例】

発熱量の比例関係を科学的に理解する

1. 課題とモデル提示
　電熱線に電気を流すと熱くなるときの「電気の粒」がはたらく回路の中をイメージし、「水の上昇(発生する熱)が何によって決まるか」という課題を設定します。
・通る電気の粒の数が多い(電流が大きい)と熱そう
・粒を押し出す力(電圧)が強いと熱そう
・粒が通り抜ける時間が長いほど熱がたまりそう
　⇒変える条件と変えない条件を確認します。

2. 実験とGIGA端末でのデータ共有
　得られたデータを共有シートに入力することで、グラフが手元に自動描画され、データから法則を見いだしやすくなります。

縦軸･･･温度上昇
横軸･･･左:時間、右:電圧



3. データの比較と対話
　「時間や電力を変えたグラフは直線なのに、電圧を変えたグラフは曲がっている(一気にふえる)」という発見・疑問から電気の粒をイメージして考えることで、単にグラフの形から比例を導くだけでなく、ミクロの原理と結び付けて理解することができます。また、この比例の法則を活用して未知のデータを予測・解決する力も身に付くと考えます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	41.5	63.1	45.2	36.0	21.7	41.4

全体の正答率は41.5%でした。A-D層の差は41.4ポイントで、特にA-B層で17.9ポイントも差がありました。一部の生徒だけでなく一人ひとりの生徒が思考したり表現したりできるような授業改善が求められます。

【問題8(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	29.0	60.3	33.2	17.9	4.7	55.6

平均正答率は29.0%と低く、A-D層の差は55.6ポイント、D層の無回答率は31.2%でした。鍵層を特定して作図するために資料を読み取る力や立体的なイメージをもつことに課題があると考えられます。

(3) 図2の地点Cの柱状図では、火山灰の層はどの位置にあると考えられますか。図2のA、B、Dの火山灰の層と同じように、解答用紙の柱状図の火山灰の層にあたる部分を黒く塗りつぶしなさい。

図1

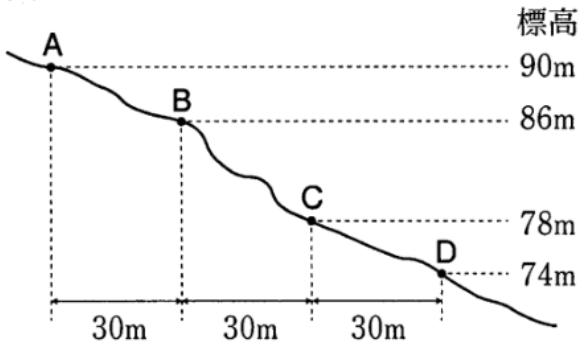
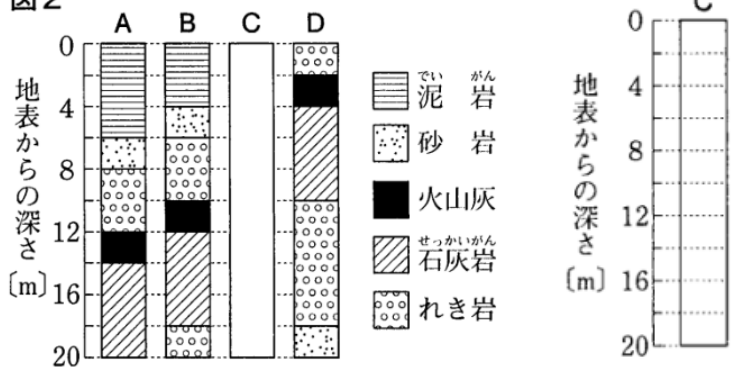


図2



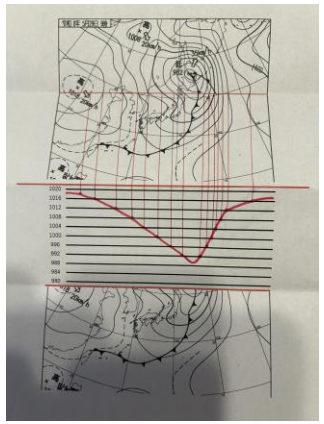
【授業づくりのアイデア例】

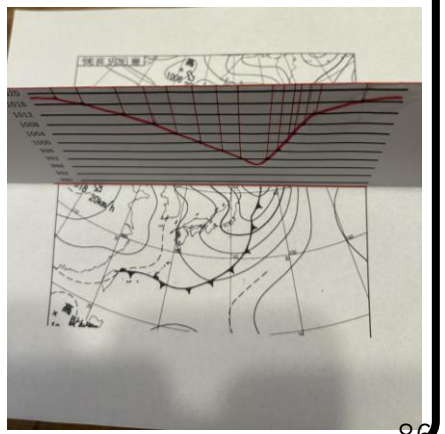
平面に図式化されたものを立体で考えることで、空間的な見方を働かせられるようにする



「気象とその変化」では、前線付近の暖気と寒気の動きについて、右のような装置を用いたモデル実験が教科書に紹介されています。線香の煙で着色した空気を保冷材によって冷やし、それを温かい空気と混ぜることで前線付近の立体的なイメージをもてるようにしていますが、その実験と天気図が結び付いていないことで、平面から立体への空間的な見方を働かせられていないことが課題として考えられます。

そこで、写真のような図を使って、天気図の等圧線を立体的な気圧の高低差に表す作業を行います。平面から立体へとイメージがもて、実験で起きている現象と平面の天気図を関係づけて思考を深めることができると考えます。





天気図は5月29日の気象庁のWebページより

「理科の神技！ペーパークラフトを授業に！」のサイトを参考に作成しました。

3年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	60.5	85.6	69.7	53.8	32.8	52.8

全体の正答率は60.5%でした。A-D層の差は52.8ポイントで、パターン判定はⅡでした。D層の正答率が約3割と低く、用語や公式等の基礎的知識を確実に定着することができる授業展開が必要だと考えます。

【問題1－(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	69.4	96.6	87.5	69.2	24.1	72.5

A層とD層の差が72.5ポイントと大きく開いています。短答式で、D層では無回答率が45.7%と高くなっています。「葉」、「緑」、「粒」というキーワードがあっても、「葉緑体」という基本語句をD層では約75%の生徒が想起できない状態です。1つ1つの知識が曖昧で、かつ、それぞれの知識と知識が結び付いていない(統合されていない)ことに課題があると考えられます。特に、その課題は、D層やC層に顕著に表れています。単元の終わりに、学習した『知識』を振り返り、それらをつなげて単元の『概念(大枠)』を形成していく授業展開、課題設定が必要であると考えます。

(2)　植物の葉や茎の細胞にある緑色の粒で、光合成が行われるつくりを何といいますか。解答用紙に書きなさい。

【授業づくりのアイデア例】

曼荼羅チャートを活用し知識を定着・統合する

『3年生命分野の曼荼羅チャートを作る』という課題を行います。中心に単元名を据え、周囲に『関連要素(緑の付箋)』を配置したシートを生徒一人ひとり割り当てます。その8個の関連要素を別のマスの中心に置き、それぞれの関連要素に結び付く語句や文章等の“キーワード”を関連要素ごとに2～3個程度置いていきます。苦手な生徒には、キーワード例を用意し、それぞれのキーワード例を関連要素の周りに配置するだけでもよいとします。一人ひとりが取り組んだ後、グループで共有しながら、完成を目指します。活動後には、スプレッドシートに、“キーワード”がどのように『関連要素』とつながっているかを文章にします(例:『染色体』は、特徴を伝える“遺伝子”を含み、“生殖細胞”を通して子に伝わる)。1つ1つの知識を視覚的に結び付けることで、より深い理解と定着につながることが期待できます。



思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	56.6	82.0	66.4	49.9	28.2	53.8

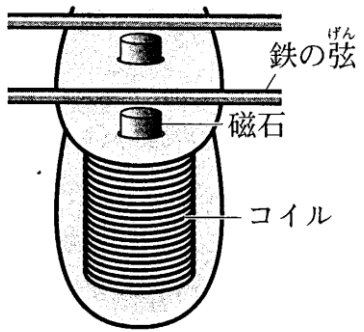
全体の正答率は56.6%で、A-D層の差は53.8ポイントでした。パターン判定Ⅲで、D層では正答を見いだすことのできない生徒が多くいました。

【問題9(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	39.1	70.4	45.7	27.4	13.1	57.3

全体の正答率は39.1%で、A-D層の差は57.3ポイント、D層の無回答率は54.6%でした。このような結果となる要因として、身の回りの科学技術の不思議に対し、これまでに学んだ知識を活用して説明することに課題があると考えられます。そのため、学習内容と日常生活のつながりを意識した授業改善が求められます。

(3) エレキギターで大きな音を出すことができる理由について述べた、会話文中の［　あ　］にあてはまる内容を、「振動」「電流」の語を使って、解答用紙に簡単に書きなさい。



【授業づくりのアイデア例】

電気自動車（EV）の回生ブレーキのしくみを通して学習内容と日常生活を関連付けて思考する

【導入】電気自動車が山を下ると充電されていく様子から、自動車が発電していることを見いだします。

【展開】ブレーキのしくみを見せ、摩擦により車輪の回転を抑えることや車輪にモーターがつながっていることを見いだします。減速時のエネルギー変換の過程とEVの利点について考えます。

運動E → （摩擦ブレーキ）熱E・音E
運動E → （回生ブレーキ）電気E

運動Eが別のエネルギーに変換されることで自動車は減速します。従来の車では、摩擦ブレーキによって主に熱Eに変換され外部に排出していましたが、EV（あるいはHV）では、その一部を電気Eに変換させています。（自転車をこぐことでライトが点灯する交流発電のしくみに似ています。）

この過程や利点を考えることで学習内容と日常生活をつなげて理解を深めることができます。

※回生ブレーキ：減速時の運動エネルギーを電気に変換・回収し、再利用する技術。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】
実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。

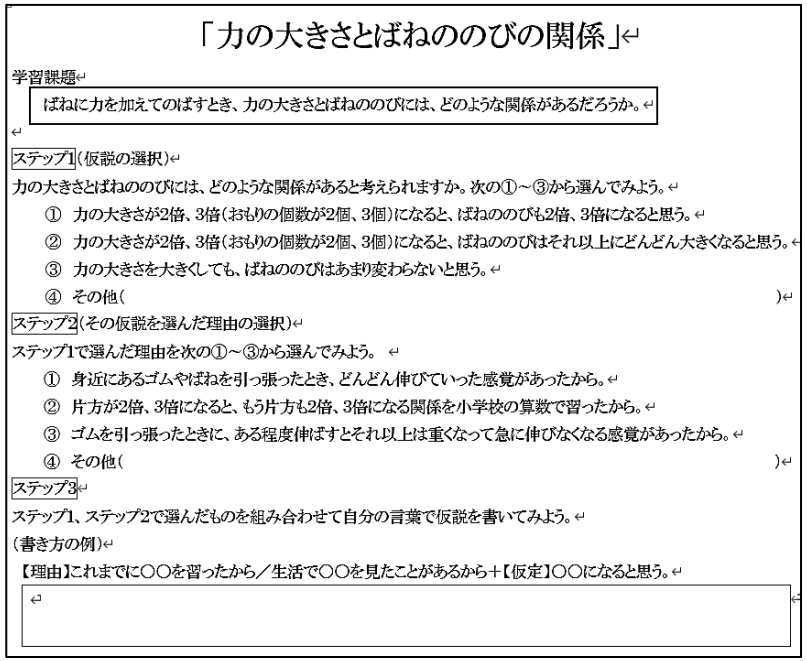
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	79.7	92.2	84.4	74.9	67.1	25.1
令和8年度・中2	78.3	87.4	83.2	76.3	66.3	21.1
令和7年度・中1	81.7	92.7	87.7	78.0	68.4	23.9
令和8年度・中3	79.5	89.2	85.2	79.0	64.4	24.8
令和7年度・中2	77.7	87.9	82.0	75.2	65.5	22.4
令和6年度・中1	80.4	91.1	84.9	78.8	66.4	24.7

【分析結果】
　肯定的な回答は、中1から中2で減少し、中3になると増加します。中学生になり授業の進み方が変わることが原因だと考えられます。中2から中3の変化は教師の指導により見通しをもって授業に取り組めることができるようになったことが考えられます。しかし、D層だけは肯定的な回答が低下し続けており、A-D層の差が24.8ポイントまで広がっています。実験や観察の仮説を全員が立てられるよう、D層への個別の支援が必要だと考えます。

【授業づくりのアイデア例】

段階を踏んで仮説形成のロジックを習得できるようにする

　D層の生徒は知識がないため既習事項とつなげられず、予想や仮説が立てられないことが考えられます。そこで、仮説の組み立てを3つに分解しD層の生徒も仮説が形成できるようにします。徐々にステップを減らし自分の力で予想や仮説が立てられるようにします。
ステップ1　仮説の選択
ステップ2　その仮説を選んだ理由の選択
ステップ3　ステップ1，2で選んだ選択肢を元に自分の言葉で記入させます。



「力の大きさとばねののびの関係」

学習課題
ばねに力を加えてのばすとき、力の大きさとばねののびには、どのような関係があるだろうか。

ステップ1（仮説の選択）
力の大きさとばねののびには、どのような関係があると考えられますか。次の①～③から選んでみよう。
① 力の大きさが2倍、3倍（おもりの個数が2個、3個）になると、ばねののびも2倍、3倍になると思う。
② 力の大きさが2倍、3倍（おもりの個数が2個、3個）になると、ばねののびはそれ以上にどんどん大きくなると思う。
③ 力の大きさを大きくしても、ばねののびはあまり変わらないと思う。
④ その他（　　）

ステップ2（その仮説を選んだ理由の選択）
ステップ1で選んだ理由を次の①～③から選んでみよう。
① 身近にあるゴムやばねを引っ張ったとき、どんどん伸びていった感覚があったから。
② 片方が2倍、3倍になると、もう片方も2倍、3倍になる関係を小学校の算数で習ったから。
③ ゴムを引っ張ったときに、ある程度伸ばすとそれ以上は重くなって急に伸びなくなる感覚があったから。
④ その他（　　）

ステップ3
ステップ1、ステップ2で選んだものを組み合わせて自分の言葉で仮説を書いてみよう。
（書き方の例）
【理由】これまでに○○を習ったから／生活で○○を見たことがあるから＋【仮定】○○になると思う。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】
理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに結果を予想したり仮説を立てたりしている。

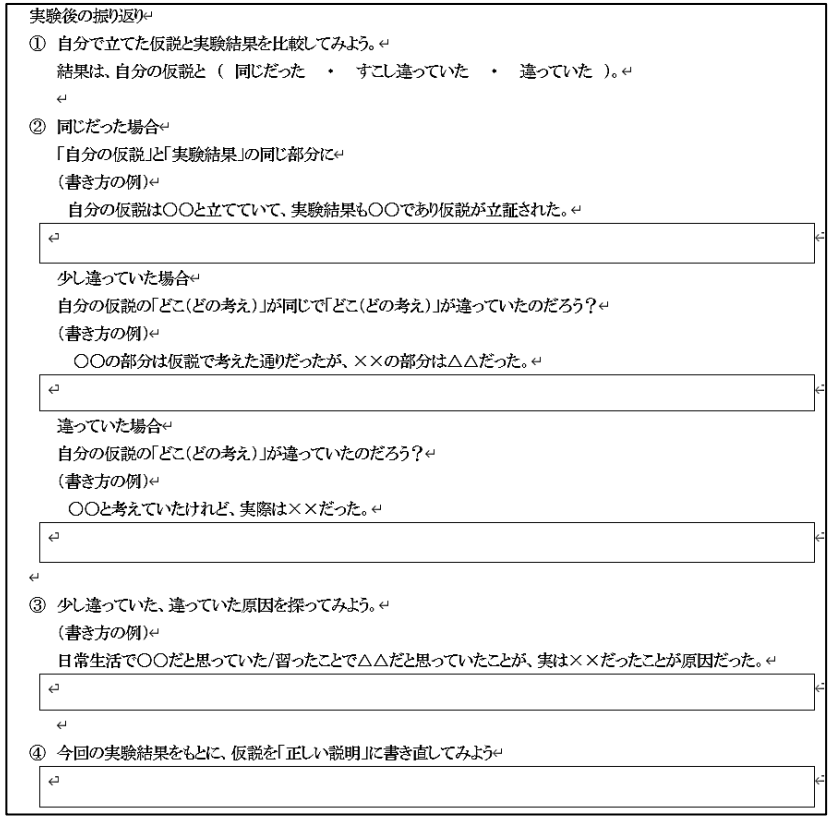
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	80.2	92.5	86.2	77.0	65.5	27.0
令和8年度・中2	79.5	90.3	85.2	78.4	64.7	25.6
令和7年度・中1	83.6	94.6	89.2	82.6	68.1	26.5
令和8年度・中3	79.7	90.9	88.2	78.6	61.8	29.1
令和7年度・中2	81.2	89.3	86.0	81.3	69.3	20.0
令和6年度・中1	87.5	95.9	91.0	86.5	76.3	19.6

【分析結果】
　これまでの質問内容に「それまで学習したことや経験したことをもとに」という文節が加わったことも影響している可能性がありますが、中1における肯定的な回答が年度ごとに低下しており、A-D層の差も令和6年では19.6ポイントでしたが、令和8年には27.0ポイントと差が広がっています。経年変化で見ても、肯定的な回答がD層だけが大きく低下し、結果としてA-D層の差が大きくなっています。学習や経験を生かすことができておらず、予想したり仮説を立てたりする意義が感じられていないことが考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

仮説を検証することで仮説を立てる意義を知る

　仮説がないと実験が「作業」になり、結果から考察を立てることも難しくなります。仮説が合っていた、間違っていたで終わらせず、これまでの学習や経験を生かした仮説があったからこそ「自分の考えがどうアップデートされたか」を可視化できるワークシートを意図的に用いることで、仮説を立てる意義をつかめるようにします。



実験後の振り返り
① 自分で立てた仮説と実験結果を比較してみよう。
結果は、自分の仮説と（ 同じだった ・ すこし違っていた ・ 違っていた ）。

② 同じだった場合
「自分の仮説」と「実験結果」の同じ部分に
（書き方の例）
自分の仮説は○○と立てていて、実験結果も○○であり仮説が立証された。

少し違っていた場合
自分の仮説の「どこ（どの考え）」が同じで「どこ（どの考え）」が違っていたのだろう？
（書き方の例）
○○の部分は仮説で考えた通りだったが、××の部分は△△だった。

違っていた場合
自分の仮説の「どこ（どの考え）」が違っていたのだろう？
（書き方の例）
○○と考えていたけれど、実際は××だった。

③ 少し違っていた、違っていた原因を探ってみよう。
（書き方の例）
日常生活で○○だと思っていた/習ったことで△△だと思っていたことが、実は××だったことが原因だった。

④ 今回の実験結果をもとに、仮説を「正しい説明」に書き直してみよう

第2章　Ⅱ　　6　中学校 英語科

1年生 知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和８年度・中１	82.7	100	100	93.9	35.3	64.7

知識・技能の平均正答率は82.7%で、全体としては全国並みの学力が見られましたが、D層の正答率が35.3%と低く、基礎・基本の定着が必要であることがわかりました。

【問題2(1)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和８年度・中１	78.2	100.0	95.3	69.7	39.7	60.3

「冬」を聞き取る問題の正答率は78.2%でした。A・B層は高い正答率を示した一方、C・D層では正答率が低く、特にD層は39.7%となりました。基本的な単語の書き方や意味を身に付ける必要があると考えられます。

2 これから、(1)～(4)の絵について説明する英語の文を放送します。英語の文は１つの絵について、１～３まで３つ読まれます。読まれた１～３の英語の文から、絵の内容に最も合っている文を１つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

放送原稿

1, It is winter in Japan now.
2, It is summer in Japan now.
3, It is fall in Japan now.



【授業づくりのアイデア例】

楽しみながら、音と合わせて単語を覚える

誤答の要因として、
①“winter”の意味を知らなかった
②“winter”の音と意味が一致しなかった
以上の点が考えられます。これらの課題に対応する二つの活動をご紹介します。

① ワードハンター(個人向け)

英文や英単語が書かれたプリントと、書き取り用のドリルシートを用意します。教員がプリントに書かれている単語や英文を発音し、生徒は聞こえたものをプリントから探した後、シートに書き写します。英語の音と正しい綴りを結び付ける力を養います。

② ワードかるた(グループ向け)

イラストとそれに対応する英単語が書かれたカードを用意し、教員が英文を読み上げ、取らせます。慣れてきたら、質問に対する答えとなるカードを取ったり、取った単語を使って英文を作ったりするなど、活動に変化を加えます。楽しみながら、英語の音と意味を結び付け、既習表現を活用する力の育成を図ります。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和８年度・中１	80.1	100	100	84.4	32.3	67.7

平均正答率は80.1%で、全体としては概ね良好な結果でした。A・B層は100%と高い正答率を示したのに対し、D層は32.3%にとどまり、A-D層の差は67.7ポイントとなりました。基礎的な内容の定着とC・D層への支援が大切であると考えられます。

【問題3(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和８年度・中１	51.4	100	42	33.5	14.5	85.5

「誕生日に何が欲しいですか」への答えを聞き取る問題では、正答率が51.4%でした。D層は14.5%と低く、A-D層の差は85.5ポイントとなりました。聞き取った内容を最後まで聞き取り、意味と結び付ける力の育成が必要です。

3 この問題は、(1)～(3)のそれぞれの絵の場面での問いかけに対する答えを選ぶ問題です。それぞれの絵について、まず問いかけが放送され、続いて答えが１～４まで４つ放送されます。１～４の英語の文から、絵の場面での問いかけに最も合っている答え方を１つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

放送原稿

What do you want for your birthday?

1, Yes, I am.
2, Happy Birthday!
3, I want a cute T-shirt.
4, When is your birthday?



【授業づくりのアイデア例】

文章を最後まで聞き取れるようになるために

誤答の要因として、
○“What”の意味、“What”を使った質問に対する答え方がわからないことが考えられます。
　次の2つの活動をご紹介します。

① Q&Aプリント

　Are / Do / Can you ～? や、What、Whoなどの疑問詞を用いた質問が書かれたプリントを用意します。先攻の生徒がプリントの質問を尋ね、後攻の生徒が答えます。その後、役割を交代しながら、ペアで繰り返し質問し合います。質問の意味を素早く捉えて正確に答える力を身に付け、必要な情報を聞き取る力の育成を図ります。

② 教科書のリスニング問題＋α

　『Here We Go!』のリスニング問題には、正答を導くために必要な内容だけでなく、様々な情報が含まれています。そこで、既存の設問に加えて、オリジナルの問題をプリントに追加します。オリジナル問題の作成にあたっては、音声全体に注意を向け、情報を整理しながら聞くように意識させることが大切です。複数の情報の中から必要な情報を正確に聞き取る力を身に付けることができます。

2年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

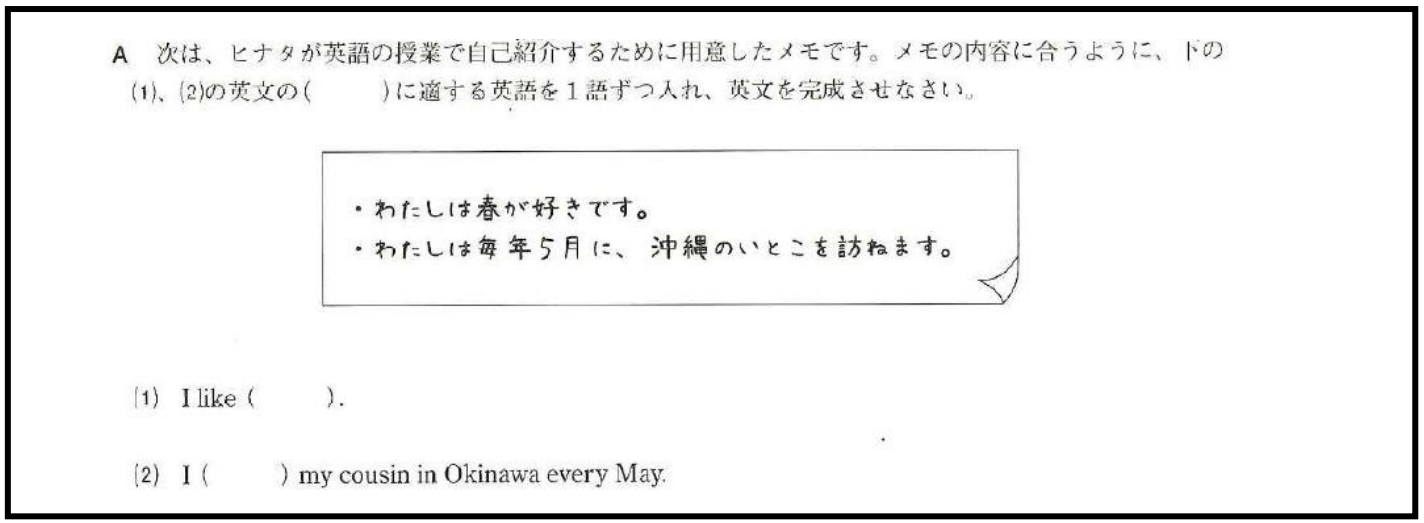
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	74.3	97.6	87.6	68.8	43.4	54.2

全体の正答率は74.3%で、A-D層の差は54.2ポイントでした。特に単語を書く問題では、A-D層の差が74.8ポイントで、最も差が大きくなりました。

【問題2Aの2の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	59.2	98.0	88.7	45.9	4.1	93.9

自己紹介用に用意した日本語のメモに合うように、英文の(　　)に適する語を1語入れる問題でした。正答率についてはA層は98. 0%、B層が88. 7%、C層が45.9%、D層が4.1%という結果になり、特にD層では、日本語と英語が結び付いていない可能性があります。



A　次は、ヒナタが英語の授業で自己紹介するために用意したメモです。メモの内容に合うように、下の(1)、(2)の英文の(　　)に適する英語を1語ずつ入れ、英文を完成させなさい。

・わたしは春が好きです。
・わたしは毎年5月に、沖縄のいとこを訪ねます。

(1) I like (　　).

(2) I (　　) my cousin in Okinawa every May.

【授業づくりのアイデア例】

「わかる」から「使える」へ。教科書本文を活用して表現の幅を増やす

①語順の理解

デジタル教科書を活用し、本文の主語・動詞にマーカーで印を付け、日本語と照らし合わせることで、英語と日本語の語順の違いを視覚的に理解することができます。また、生徒自身も自分で教科書やデジタル教科書の本文に主語・動詞の印を付けることで英文の構造を意識できます。

Communication活動を行う際に、生徒が単語だけで話している場合は、文章で話すことを習慣付けます。「誰が」「何を」などを意識させ、一緒に言い直しをしたり、クラス全員で文章で表現するとどうなるかを考えたりします。さらに、話す活動で終わらせず、ノートに書くことで、書く力にもつなげていきます。

②教科書本文の活用

教科書本文の音読・書き写しを繰り返し行い、正しい英文を定着させるとともに、書けない単語やスペルを確認・修正します。その際、読めない・意味がわからない単語をピックアップし、自身のWord Listを作成した上で、繰り返し練習することが肝要です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

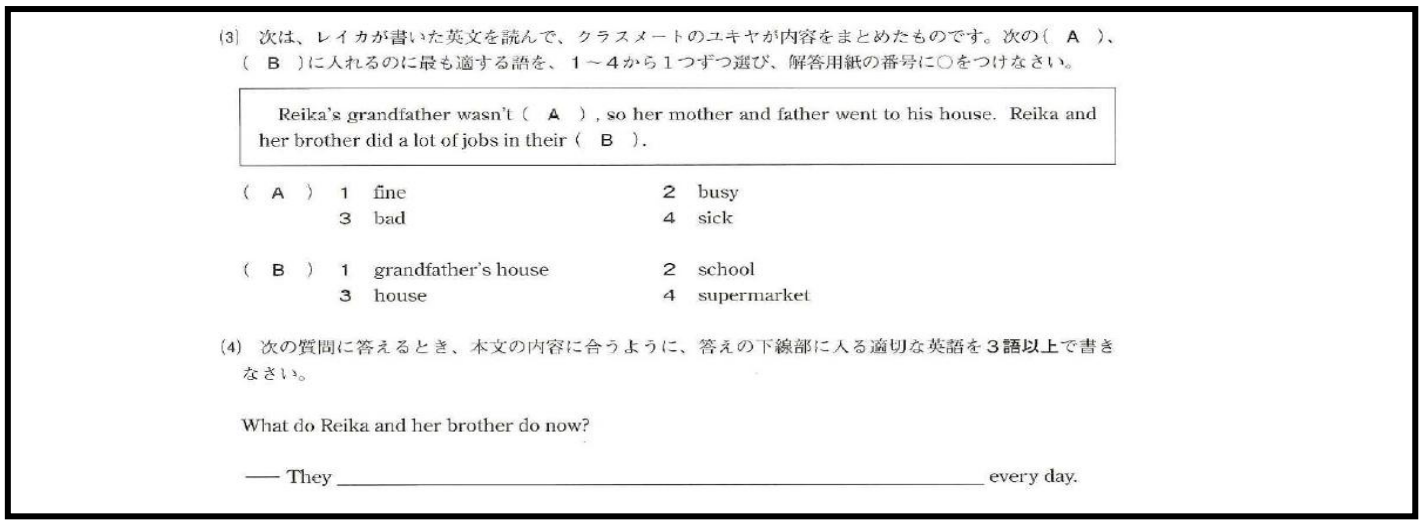
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	47.8	84.5	52.9	33.0	21.0	63.5

平均正答率は47.8%で、多くの問題でA-D層の差が60ポイント以上となりました。

【問題9の4の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中2	21.0	69.1	13.3	1.8	0.0	69.1

B-D層の正答率が20%を下回っています。特にD層では0%でした。また、D層の無答率が78.8%であったことから、多くの生徒が本文から必要な情報を整理できず、何を書けばよいのか、どのように表現すればよいのかがわからなかったのではないかと考えます。



(3) 次は、レイカが書いた英文を読んで、クラスメートのユキヤが内容をまとめたものです。次の（ A ）、（ B ）に入れるのに最も適する語を、1～4から1つずつ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

Reika's grandfather wasn't（ A ）, so her mother and father went to his house. Reika and her brother did a lot of jobs in their（ B ）.

（ A ） 1 fine　2 busy　3 bad　4 sick

（ B ） 1 grandfather's house　2 school　3 house　4 supermarket

(4) 次の質問に答えるとき、本文の内容に合うように、答えの下線部に入る適切な英語を3語以上で書きなさい。

What do Reika and her brother do now?

—— They _____ every day.

【授業づくりのアイデア例】

「やってみよう！」「できた！」と思える授業づくりへ

①目的を明確にして、内容を捉えながら読む習慣をつける

教科書本文を、「読む」こと自体を目的とするのではなく、目的意識をもたせて読むことが大切です。例えば、本文を読む前に“What did ○○do?”“Why did ○○ and △△ do that?”など、読み取るべき内容を先に提示するなどが考えられます。

②「知っている英語」で表現する力の養成

生徒が書くことに慣れるための工夫として、話す活動のあとに書く活動を設けることが大切です。その際に、英語の表現がわからない場合に、まず簡単な日本語に直したり、既習の英語で表現するように指導します。これを繰り返すことで、英語が苦手な生徒でも「表現してみよう」という気持ちを育成できると考えます。

③「できた！」という成功体験を積み重ねる

最初から完璧さを求めるのではなく、少しでも自分の言葉で表現できたことを積極的に褒めたり、認めたりすることで、価値付けていきます。生徒は「できた」という実感を積み重ねることで、意欲や自信につなげていきます。

3年生　知識・技能の分析と授業づくりのアイデア例

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	71.0	93.5	84.0	68.0	38.4	55.1

平均正答率は71.0%で、A-D層の差が55.1ポイントとなっています。また、C-D層の差が29.6ポイントと大きくなっています。

【大問4小問3の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	63.2	96.6	83.2	56.1	17.0	79.6

比較級が含まれる単語を正しい語順で並べ替える問題でした。A-D層の差は79.6ポイントでした。この問だけでなく、大問3・4の語句や英文の正確な記述に関する問題のA-D層の差は大きく開いている傾向にあります。

(1) *A*：Did you see Jane after school?
B：Yes. She (practicing / in / the piano / was) the music room.

(2) *A*：*Mom, I'll clean this room.
B：Oh, (don't / to / have / you) do that. You must get up early tomorrow, so go to bed now.
(注) mom：お母さん

(3) *A*：Can you run fast?
B：Yes, but I (run / as / can't / as fast) you.

【授業づくりのアイデア例】

普段の音読練習に一工夫
定期的に繰り返す練習で定着を図る

1. 英語のきまりを意識させた様々な音読練習（変化のある繰り返し）

①新出単語を頭文字だけ残し空欄にした穴あき音読
②動詞の原形（beやdo）が入っている穴あき音読
　文脈に合った動詞の形にして音読をします。日本語訳をヒントに、時制に合った動詞にするか、三単現sに変化させる必要があるかどうか、あるいは原形のままでよいのかを考えながら音読をすることができます。
③並べ替え音読
　正しい語順を日本語訳をヒントに考えながら音読することができます。
④一部が日本語になっている音読
　語順と単語の意味を整理しながら音読できます。
⑤Repeat After Your Partner
　ABペアになり、Aが読んだ日本語文をBが英文に変えてリピートします。

2. 1回の授業で終わらせない（定期的にリトライする）

　定着のために、何度も繰り返し行うことが大切です。ペアやグループで変化のある音読練習を継続することで、生徒は楽しみながら、取り組みます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

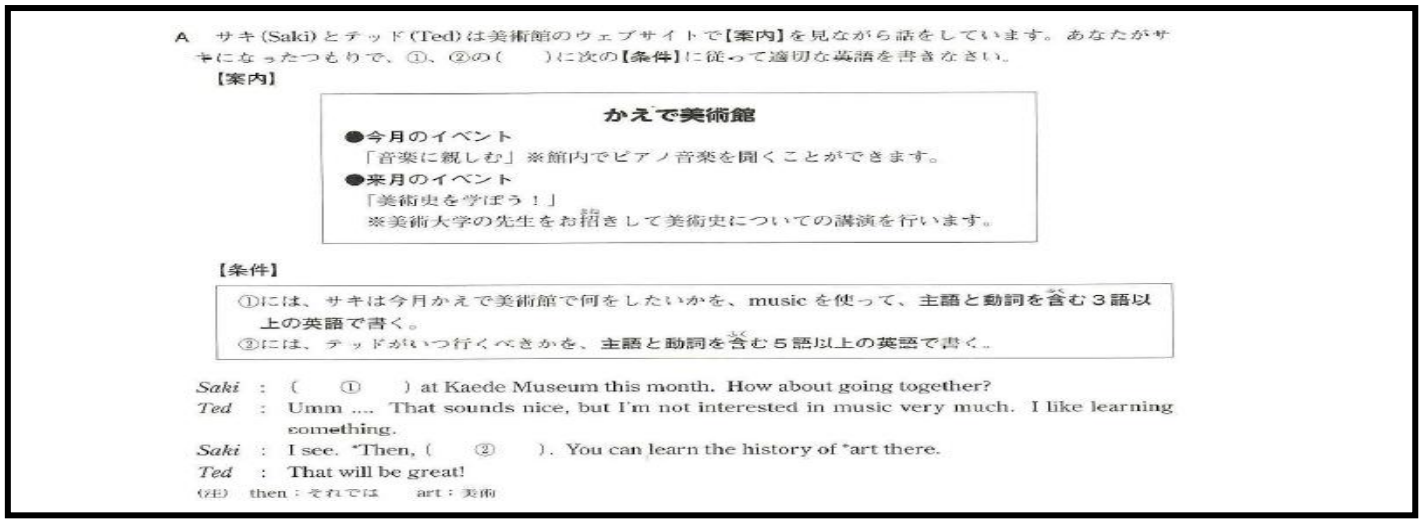
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	51.8	86.1	63.3	38.2	19.6	66.5

平均正答率は51.8%で、A-D層の差が66.5ポイントとなっています。また、B-C層の差が25.1と大きくなっています。

【大問5小問A②の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中3	26.4	76.2	26.5	2.8	0.0	76.2

「いつイベントに行くべきかを伝える」条件英作文では、A層は英作文の問題の中でも正答率が低く、D層の正答率は0%となっています。また、無回答率はC層は44.3%、D層は81.5%となっています。場面や状況の読み取りができなかったり、「～すべき」の表現が思い浮かばなかったりしたのではないかと考えられます。



A　サキ(Saki)とテッド(Ted)は美術館のウェブサイトで【案内】を見ながら話をしています。あなたがサキになったつもりで、①、②の(　　)に次の【条件】に従って適切な英語を書きなさい。

【案内】

かえで美術館

●今月のイベント
「音楽に親しむ」※館内でピアノ音楽を聞くことができます。
●来月のイベント
「美術史を学ぼう！」
※美術大学の先生をお招きして美術史についての講演を行います。

【条件】

①には、サキは今月かえで美術館で何をしたいかを、music を使って、主語と動詞を含む３語以上の英語で書く。
②には、テッドがいつ行くべきかを、主語と動詞を含む５語以上の英語で書く。

Saki : (　①　) at Kaede Museum this month. How about going together?
Ted : Umm .... That sounds nice, but I'm not interested in music very much. I like learning something.
Saki : I see. *Then, (　②　). You can learn the history of *art there.
Ted : That will be great!

(注) then：それでは　art：美術

【授業づくりのアイデア例】

「何をどう書いたらいいかわからない…」に応えるライティング指導の工夫

1. 授業始めのGreetingで日常的に使用する

教師が使わせたい表現を設定し、最初のInteractionで意図的に使用することが大切です。

2. Chat & Write

①トピックに関する単語を、書き並べます。(日本語可)少なくとも3つ以上の単語を書き、それらを使って、会話をするよう促します。何度かペアを替えて会話します。
②黒板には教師が書いた見本の英文や、トピックに関連した「お助けワード」を表示し、生徒は会話をする際にそれらを見てもよいこととします。
③会話の中で自分が話したことを、5分間ライティングします。
④単語を調べたり、①で同じ単語を書いた仲間に質問し合った後、再度ライティングの時間を設定します。
⑤未完成でも回し読みをし、その後、同じ単語で何通りもの英文ができることを全体で共有します。

この活動を帯活動として行い、生徒自身が振り返りをし、自身の変容を実感できるように授業づくりをしていくことが大切です。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】 質問番号4
「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。」

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	67.3	79.2	70.2	63.1	52.6	26.6
令和8年度・中2	67.7	82.8	76.3	62.6	48.9	33.9
令和7年度・中1	69.0	78.7	69.2	69.0	56.4	22.3
令和8年度・中3	67.5	82.6	74.0	63.8	49.5	33.1
令和7年度・中2	66.1	81.3	72.4	61.9	48.6	32.7
令和6年度・中1	66.6	77.2	67.1	64.0	53.6	23.6

【分析結果】
　複数年での経年変化をみると、1年次にはA-D層の差が20ポイント台なのに対し、2、3年次には30ポイント前半まで差が広がっていることがわかります。この変化は、さらに過去に遡っても同じような変化が見られます。改善策として、**①簡単な話題について相手に話す・伝える活動を帯活動に取り入れ、繰り返し活動する機会を増やす。また、②習熟段階や発達の段階に合わせながら、3年間を通して会話活動を行う**ことが必要だと考えます。

【授業づくりのアイデア例】

習熟段階を考慮し、３年間かけて育てるCommunication活動

　10分程度の帯活動で継続的に自分の気持ちや考えを伝える活動に3年間を通して繰り返し取り組むことが大切だと考えられます。
《1年次》 1年生で行う、定型文を繰り返し活用するCommunication活動の中に「自分の気持ちや感情」を情報としてプラスしていく必要があります。Drill要素のある会話活動の中にも、「自分事」として話せるように工夫することが大切です。
《2年次》 2年生では、即興で会話する力を身に付ける手立てとして、生徒が自分の考えをマインドマップ等で整理するなどの工夫が必要です。それにより、内容がより豊かなCommunication活動へ移行することが可能です。
《3年次》 3年生では、それまで継続的に取り組んできたCommunication活動を踏まえて、自分の気持ちや考えをより即興的に伝えたり、質問したりすることができるようになることを目指します。このように、生徒がゴールに到達したときの姿をイメージして、継続的に繰り返して活動できる帯活動を行うことが大切です。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】
「英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友達の意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている」

年度・学年	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	78.7	77.5	71.4	57.5	21.2
令和8年度・中2	84.5	82.1	73.8	59.0	25.5
令和7年度・中1	―	―	―	―	―
令和8年度・中3	86.0	80.7	72.4	58.0	28.0
令和7年度・中2	76.2	72.0	68.7	55.8	20.4
令和6年度・中1	―	―	―	―	―

【分析結果】
学年ごとの比較から、どの学年でもA層とD層の差が20ポイントを超える結果となり、学年が上がるにつれてその差が少しずつ開いていることがわかります。反対に、A層からC層までの回答はどの学年でも70ポイント以上を記録しており、ペアやグループでの活動を授業の中で活用していることもわかります。今後の課題として考えられるのは、D層の意識を高めることです。そこで、**D層の生徒も参加できる、または参加したいと思えるペアやグループ活動の工夫を考える**必要があります。

【授業づくりのアイデア例】

『表現BANK』を活用した学び合い

D層の生徒のペアやグループワークへの意識が低い原因として、参加意欲の低さや発信可能な知識や表現の不足が考えられます。そのため、小集団での活動の際には、「自分にもできる」と思わせることが必要です。そこで活躍するのが『表現BANK』です。

表現BANKでは、DocumentやSpread Sheetを活用して、英語で書いた表現や、同じテーマで他の生徒が用いた表現などを共有し、参照することができます。ペアやグループでのCommunication活動で、考えを表現する際に「考えはあるけど、どう表現したら良いかわからない」といった場面で活用することができます。D層の生徒が、AB層と同じリズムで学習することはなかなか難しいことです。だからこそ、これまでに学習し、表現してきたことを参考にしてペアワークやグループワークに参加することで、「自分にもできる」と感じられるのではないかと考えます。また、参加への意識が高まることで、エラーに対するフィードバックも増え、学び合いの要素も同時に高まります。

このように、D層の生徒の参加意欲を高めるためのツールとして、表現BANKのような互いに作り合う補助教材を活用してみましょう。

第2章　Ⅱ
7　中学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

中学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

【状況】

○ 知識・技能を習得する際に、その意味や方法について、他の学習内容との関連や、それとの違いなどについて思考することを通して、学習を進めることが必要です。

○ 問題文などから与えられた条件、状況に対し、既習と比較してどのようなつながりがあるのかを考えたり、条件や状況に合わせて自分が考えたことやその思考の流れを伝えたりして、知識・技能を活用して説明するなどの活動を行えるよう支援していくことが必要です。

【授業改善のポイント】

○ 概念的な理解に向けて、言語や数量、図形、事象などの見方・考え方を働かせた協働的な学び取り入れた授業の充実を図ることが大切です。

○ 単元や題材などの内容や時間のまとまりをデザインする際は、身に付けさせたい資質・能力を明確にすることが重要です。その際、各教科の見方・考え方を働かせた深い学びが実現できるよう、言語活動の充実などを図ることが大切です。

○ 知識・技能の定着を促すには、理解することだけに留めず、学習したことを日常生活や他の学習で活用することを通して、わかる楽しさを実感できるようにすることが大切です。また、生徒が主体的に知識・技能を獲得していく学習場面を設定することが大切です。

○ 習得した知識・技能を活用して課題解決を図る場を設定することが大切です。その際、「何故そうなるのだろう」「どのようにしたらよいのだろう」という問いを大切にすることが重要です。

○ 生徒が考えを伝え合い、課題解決に向かう場面の設定が必要です。また、自己の学びを振り返り、学習内容のつながりを考えたり、さらに発展させて考えたりすることを、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で計画的に位置づけて行うことが大切です。

第2章　Ⅱ　　８　他教科等の分析と手立て

中学校　音楽

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	79.1	84.3	81.1	78.5	72.6	11.7
令和8年度・中2	79.2	79.6	80.7	80.4	76.4	3.2
令和7年度・中1	75.4	79.0	79.6	74.8	68.3	10.7
令和8年度・中3	75.9	75.6	76.8	78.5	73.1	2.5
令和7年度・中2	71.5	74.3	73.0	72.7	66.6	7.7
令和6年度・中1	75.0	79.8	76.5	75.1	68.7	11.1

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	71.0	77.7	73.8	68.1	64.3	13.4
令和8年度・中2	69.7	71.4	70.8	70.6	66.0	5.4
令和7年度・中1	70.5	75.1	73.5	69.3	64.0	11.1
令和8年度・中3	68.2	68.2	70.5	68.2	65.5	3.7
令和7年度・中2	65.6	66.6	65.5	66.6	63.9	2.7
令和6年度・中1	68.8	74.2	69.5	67.5	64.3	9.9

【分析結果】
　理解度における肯定的な回答は、全学年で7割を超えていますが、どの年度も中1においてA層-D層の差が大きく開いています。
　同一母集団の経年変化に着目すると、令和7年度よりも令和8年度のほうが全ての層において理解度が増加していることがわかります。特にD層の増加が見て取れることから、音楽科の学習に苦手意識をもっている生徒への手立ての成果だと考えられます。
　好感度では、同一母集団の経年変化に着目すると学年が上がるごとにA層-D層の差が減少していることがわかります。学習の得意不得意に関わらず、全ての生徒が音楽活動の楽しさを体験することを通して学びを進める教科の特徴が表れています。

【授業づくりのアイデア例】
　音楽科では、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目標としています。生徒が音楽科の学習を通して資質・能力を身に付けるためには、幅広い活動を通して音楽活動の楽しさを体験することが大切です。その際、音や言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることは、表現及び鑑賞を深めていく際に重要であり、理解度の向上につながります。また、生徒が学習の中で思考・判断のよりどころとする「音楽を形づくっている要素」を精選することは、生徒が主体的に教材である音や音楽に向き合い、「わかった」と実感することへとつながります。

中学校　美術

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	87.0	87.2	87.9	89.0	83.9	3.3
令和8年度・中2	81.2	81.5	81.9	83.0	78.8	2.7
令和7年度・中1	66.9	71.0	69.7	66.4	60.6	10.4
令和8年度・中3	77.3	77.0	78.8	80.5	73.6	3.4
令和7年度・中2	74.1	75.6	76.0	74.7	70.3	5.3
令和6年度・中1	66.7	71.4	67.6	66.5	61.3	10.1

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	79.6	79.6	79.1	81.1	77.8	1.8
令和8年度・中2	71.7	70.9	72.4	74.4	69.3	1.6
令和7年度・中1	66.3	65.3	67.9	67.5	64.8	0.5
令和8年度・中3	68.6	68.4	71.0	70.8	64.7	3.7
令和7年度・中2	67.8	66.5	67.7	69.4	69.7	-3.2
令和6年度・中1	65.8	65.4	66.2	65.9	65.6	-0.2

【分析結果】
　理解度では、全ての母集団で、中1から中2にかけてA-D層の差が小さくなる傾向があります。生徒の多くが豊かに表現したり鑑賞したりできるように授業を工夫していたり、わかりやすい授業を展開していたりする結果だと考えられます。
　好感度では、令和8年度の中2と中3はD層を除いて、中1から中2にかけて上がる傾向が見られます。また、どの学年もA-D層の差が小さいことが特徴だといえます。理解度に対して好感度の結果は全体的に下回っています。授業の内容は理解できるけれど、好きではないという生徒がいることが予想されます。誰もが「やってみたい」「面白い」「楽しい」と感じる題材を設定したり、美術で身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かしたりすることができるようにしていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】
　美術科では、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養いながら、創造的に表したり、豊かに鑑賞したりすることができるようにします。
　例えば、新たな材料や表現方法で取り組む題材を設定し、「面白そう。わたしならこうしてみたい。」などと感じられるようにすることが考えられます。表現方法や材料を実際に試す場面を導入時に設定し、試行錯誤の時間をとることで、材料への抵抗感をなくし、どのように表現するかイメージさせ、制作の見通しをもてるようにすることが考えられます。また、導入や鑑賞、まとめをする時に、お互いの意見を交換したりする場を設けることで、見方や考え方を広げたり、深めたりすることが考えられます。身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かせる場面について考えさせることなどが挙げられます。

中学校　保健体育

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	85.8	84.8	87.1	86.0	85.7	−0.9
令和8年度・中2	84.2	82.6	85.2	85.3	84.0	−1.4
令和7年度・中1	80.9	81.3	83.5	81.6	77.6	3.7
令和8年度・中3	83.9	82.1	85.3	85.0	83.5	−1.4
令和7年度・中2	77.8	77.3	78.2	78.7	77.5	−0.2
令和6年度・中1	81.5	83.9	83.3	82.3	76.6	7.3

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	78.2	74.6	78.2	79.7	80.3	−5.7
令和8年度・中2	73.7	68.0	73.1	76.1	77.8	−9.8
令和7年度・中1	73.5	69.2	74.5	75.4	74.8	−5.6
令和8年度・中3	72.0	68.2	70.2	74.8	75.4	−7.2
令和7年度・中2	71.5	65.6	70.0	73.2	77.6	−12.0
令和6年度・中1	73.4	71.1	73.9	74.1	74.6	−3.5

【分析結果】
　理解度の肯定的な回答割合は、全学年で8割を超えており、また、A層よりもD層の理解度が高くなっています。多くの生徒が「わかる」を実感できる授業が展開されていると推測されます。今後は全ての子どもたちの可能性を引き出す、指導の個別化、最適な学びが求められます。
　好感度はどの学年も7割程度ですが、A層の数値が7割を下回る結果となっています。「わかっているけれど、上手くできない」といった生徒への一層の配慮が必要です。

【授業づくりのアイデア例】
　保健体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としています。授業では、共生の視点を重視し、技能や体力の差を包含したルールや場、用具等の工夫を柔軟に行い、誰もが安心して学習に参加し、みんなが（みんなで）楽しめる授業を展開することが求められています。
　単元をデザインする際は、生徒が各領域の特性に応じた楽しさや喜びを十分に味わうことをベースに、自他の課題を発見し、合理的に課題を解決し、また新たな目標を設定していけるようにすることが大切です。そのためにも、生徒同士が互いのよさや工夫を認め合い、協働しながら学習を進められるよう配慮することが重要となります。こうした過程を通して他者を尊重する態度が養われ、豊かなスポーツライフの創造へとつながっていきます。

中学校　技術・家庭（技術分野）

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	54.1	58.7	56.4	52.3	49.3	9.4
令和8年度・中2	77.3	83.9	79.1	78.0	68.5	15.4
令和7年度・中1	57.9	66.0	57.7	55.8	52.3	13.7
令和8年度・中3	69.3	78.4	73.2	67.0	59.7	18.7
令和7年度・中2	69.2	77.0	71.9	67.4	61.2	15.8
令和6年度・中1	57.6	65.9	58.3	55.7	50.7	15.2

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	60.5	68.4	62.4	57.7	53.6	14.8
令和8年度・中2	67.9	73.4	69.1	67.4	61.9	11.5
令和7年度・中1	66.7	73.8	66.9	64.4	61.8	12.0
令和8年度・中3	60.1	67.6	62.8	58.4	52.0	15.6
令和7年度・中2	63.7	68.1	64.0	62.7	60.7	7.4
令和6年度・中1	66.3	74.3	67.7	63.5	59.7	14.6

【分析結果】
　理解度における肯定的な回答割合は、中2で全ての学力層において向上する傾向が見られます。しかしながら、令和8年度・中3では、A-D層の差が18.7ポイントとなっており、学力層間の差が大きくなっています。このことから、中2までに高まった学びへの手応えを持続させるとともに、生徒一人ひとりが課題解決の過程を理解し、「わかる」を実感できる授業づくりが必要であると考えます。
　好感度における肯定的な回答割合は、令和8年度・中3では中2と比較して低下するとともに、A-D層の差も15.6ポイントとなっています。このことから、特にD層の生徒が成功体験や達成感を積み重ねられる学習過程を工夫していく必要があると考えます。

【授業づくりのアイデア例】
　分析結果を踏まえると、各内容の学習において、身近な生活や社会とのつながりを実感できる課題設定を工夫し、「なぜ学ぶのか」を理解できる授業づくりを一層充実させることが重要となります。また、製作やプログラミング等の成果や結果だけでなく、構想、試行錯誤、改善といった課題解決の過程を重視し、振り返り活動を充実させながら学びを深めていくことも、引き続き大切なポイントとなります。授業では、生徒同士で考えを共有したり、解決方法を比較・検討したりする活動を取り入れながら、生徒一人ひとりが達成感や成長を実感できる学習過程を工夫することで、学力層にかかわらず主体的に学ぶ生徒の育成につながると考えます。

中学校　技術・家庭（家庭分野）

【教科の理解度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	81.2	88.1	84.0	80.9	72.1	16.0
令和8年度・中2	79.3	83.1	81.4	80.9	72.5	10.6
令和7年度・中1	76.7	81.2	79.8	77.0	69.0	12.2
令和8年度・中3	81.6	86.3	84.5	83.1	73.0	13.3
令和7年度・中2	71.4	77.8	73.6	70.5	64.1	13.7
令和6年度・中1	76.7	82.5	80.1	76.0	68.3	14.2

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	70.0	76.6	72.1	68.6	62.8	13.8
令和8年度・中2	68.5	71.4	68.7	70.0	64.1	7.3
令和7年度・中1	69.5	73.3	71.3	67.9	65.4	7.9
令和8年度・中3	69.8	73.5	72.8	70.3	63.1	10.4
令和7年度・中2	65.3	67.2	66.6	63.9	63.7	3.5
令和6年度・中1	68.9	73.0	70.4	68.4	63.8	9.2

【分析結果】
　理解度では、中1から中3の経年変化を見ると中3が最も高く、日々の授業実践の成果が表れていると推測されます。また、7割以上の生徒が肯定的な回答をしていますが、A層からD層にいくにつれ数値が下がっています。D層の生徒へは引き続き、わからないことをそのままにしない手立てや授業内容の工夫を行っていく必要があります。
　好感度の4層分析では、令和8年度は中1と中3でA層からD層の差が大きくなっています 。そのため、既習の知識及び技能等を相互に関連付けた課題解決を図り、D層の生徒にも学びの成就感や確かな伸びを実感させることが大切です。

【授業づくりのアイデア例】
　家庭分野では、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、よりよい生活の創造や持続可能な社会の構築を目指しています。学習内容を生徒の生活や社会と結び付け、題材で身に付ける「資質・能力」を明確に示すことで、主体的に学ぶ必然性や意欲を高めることができます。
　また、実践的・体験的な活動を通して習得した知識及び技能を、生活の自立へと高める授業構成が重要です。生徒同士の協働的な学びや意見共有による思考の深化や家族や身近な人々との対話を通した振り返りを促すことで、身に付けた資質・能力を家庭生活で生かすことにつながると考えられます。

中学校　道徳

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	69.3	67.8	70.3	70.1	69.1	-1.3
令和7年度・中2	70.2	66.9	69.2	72.5	72.1	-5.2
令和6年度・中1	69.5	67.2	70.5	71.3	68.8	-1.6
令和7年度・中3	67.4	61.8	66.7	69.1	72.2	-10.4
令和6年度・中2	69.2	64.8	70.2	71.5	70.5	-5.7
令和5年度・中1	67.9	66.8	68.1	70.3	66.3	0.5

【授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	54.2	62.1	57.0	50.3	47.3	14.8
令和7年度・中2	49.3	60.1	51.8	43.9	41.6	18.5
令和7年度・中3	51.6	59.3	55.0	48.9	43.7	15.6

【分析結果】
　好感度については、約70%が肯定的に回答しており、学年が上がるにつれてその割合が高まる傾向が見られます。これまでの調査ではA-D層間の差が広がる傾向がありましたが、今年度は大きな差は見られませんでした。生徒が生き方について考えを深め、多様な考えを認め合う授業づくりを推進していることが、学力層を問わず学習への意欲の向上につながっていると考えられます。
　「授業で学習したことを普段の生活と結び付けて考えている」については、中2で肯定的な回答の割合が低下する傾向が見られます。教材を通して道徳的価値を自分事として捉えるとともに、学んだことを日常生活や今後の生き方に生かす振り返りの充実を図ることが大切です。

【授業づくりのアイデア例】
　道徳科は、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間です。生徒が道徳的課題を自分との関わりで捉え、判断や実践につなげられるよう、自分との関わりで考えることや多面的・多角的に考えることを重視した授業づくりと、自らの生活や考えを見つめるための振り返りの充実を図ることが重要です。その際、教材の内容だけでなく日常生活と結び付けながら、自分の考えや行動を見つめ直せるようにすることが求められます。また、「できていること」「難しいこと」などの視点を示したり、日常生活の場面を想起させたりするなど、生徒が自己を見つめられるような教師の意図的な働きかけが大切です。

中学校　特別活動

【学級活動の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	82.3	86.8	84.4	82.2	75.7	11.1
令和8年度・中2	82.4	82.7	84.8	83.2	79.1	3.6
令和7年度・中1	80.1	84.8	83.4	80.6	72.1	12.7
令和8年度・中3	82.1	82.8	83.7	84.1	78.4	4.4
令和7年度・中2	77.1	79.8	77.6	78.2	73.1	6.7
令和6年度・中1	79.4	84.6	82.7	79.2	71.2	13.4

【分析結果】
　好感度では、どの学年も82%程度の生徒が肯定的な回答をしています。また、同一母集団の経年変化に着目すると令和8年度の中2は微増、中3は中1から中2で減少したものの、そこから5ポイント上昇しています。また、A-D層の差に着目すると、中1で10ポイント以上あった差が、中2になると一桁になり、学年が上がるにつれて縮まっています。このことから、上学年になるほど、学習の得意不得意に関係なく、学級活動を好意的に捉えて取り組んでいると言えます。

【自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話し合ったり、活動したりしている。】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	66.2	71.5	68.7	65.2	59.6	11.9
令和8年度・中2	66.0	72.2	69.9	64.3	58.1	14.1
令和8年度・中3	65.3	72.3	69.4	63.3	56.7	15.6

【分析結果】
　令和8年度の結果を見ると、どの学年も65～66%程度と、学年間の大きな違いはありませんでした。A-D層の差に着目すると、どの学年も二桁となっており、学年が上がるにつれて広がっています。好感度の肯定的な回答がが80%を超える中、「進んで話し合ったり、活動したりしている」の肯定的な回答が60%代半ばとなっており、学級活動等を通じたよりよい学級・学校生活づくりに向けた実践の充実が求められます。

【授業づくりのアイデア例】
　特別活動で育成を目指す「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点を意識した指導の改善が求められます。特に学級活動(1)の話合い活動において、より多くの生徒が司会グループを経験できるようにするなど、学習指導要領に示された一連の学習過程に基づく実践の積み重ねが大切です。

中学校　総合的な学習の時間

【教科の好感度】
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	73.9	75.2	75.6	75.2	69.7	5.5
令和8年度・中2	72.4	68.0	72.6	75.2	73.9	-5.9
令和7年度・中1	69.3	67.8	70.3	70.1	69.1	-1.3
令和8年度・中3	73.9	71.2	73.5	77.2	74.1	-2.9
令和7年度・中2	70.2	66.9	69.2	72.5	72.1	-5.2
令和6年度・中1	69.3	71.6	70.3	69.1	66.3	5.3

【分析結果】
　どの学年においても肯定的な回答が7割程度となっています。同一母集団の経年変化を見ると、少しずつではありますが、上昇していることがわかります。
　特徴的な傾向は、右側A-D層の差については、令和8年度の中2、中3において、A層よりもD層の方が肯定的な回答が上回る結果となりました。中2については、D層の方が6ポイント程度高いことがわかります。

【総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。】（今年度からの新しい質問項目）
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・中1	68.9	72.6	72.2	69.4	63.0	9.6
令和8年度・中2	60.7	58.4	63.3	62.3	59.7	-1.3
令和8年度・中3	60.1	58.8	62.3	61.6	58.8	0.0

【分析結果】
　学年が上がるにつれ、減少傾向にあります。特に、中1と中2、中3の差が顕著であることがわかります。

【授業づくりのアイデア例】
　総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を行うことを通して、資質・能力を育成します。まず取り扱う学習材が身近で具体性のあるもの、探究的な学習に発展する可能性のあるものであるか、しっかりと吟味します。さらに、どのように生徒の探究が進むのか、教師が単元の見通しをもつことで、どのタイミングで、どのような体験活動を設定するのか、外部講師はどうするのかといった手立てが見えてきます。地域資源等の学習材を有効活用することが大切です。

第2章　Ⅲ　学習意識調査の結果

Ⅲ　学習意識調査の結果

１　学習の理解度　※数値は「よくわかっている」「まあわかっている」と肯定的回答をした割合（％）。

○【理解度】同一学年比較（昨年度との比較）　※差は、小６－小４、中３－中１の値。

≪小学校≫

R8	国語	社会	算数	理科
小4	89.7	83.1	86.3	92.0
小5	90.7	85.2	81.4	91.8
小6	89.4	89.2	78.0	89.1
差	－0.3	＋6,1	－8.3	－2.9

R7	国語	社会	算数	理科
小4	86.3	80.4	82.4	89.8
小5	86.7	83.6	79.9	90.9
小6	87.4	86.8	74.8	86.5
差	＋1.1	＋6.4	－7.6	－3.3

小、中学校ともに、全学年、全教科において昨年度を上回っています。

≪中学校≫

R8	国語	社会	数学	理科	英語
中1	83.8	77.1	71.9	76.5	70.3
中2	83.4	67.5	66.1	70.3	68.6
中3	81.5	73.9	71.1	67.1	64.2
差	－2.3	－3.2	－0.8	－9.4	－6.1

R7	国語	社会	数学	理科	英語
中1	79.3	71.6	67.9	72.9	66.5
中2	78.0	63.9	61.1	64.3	63.6
中3	76.1	70.6	64.1	62.6	58.8
差	－3.2	－1.0	－3.8	－10.0	－7.7

○【理解度】同一母集団の4層ごとの経年変化

≪小学校≫（4教科平均）

	学年平均	A層	B層	C層	D層
R8・小4	87.8	95.8	92.5	87.3	75.6
R8・小5	87.3	97.0	92.8	86.1	73.4
R7・小4	84.7	94.5	90.3	83.7	70.7
R8・小6	86.4	97.1	92.1	85.2	71.7
R7・小5	85.3	96.0	90.7	84.6	69.9
R6・小4	85.4	94.7	89.7	84.4	72.5

≪中学校≫（5教科平均）

	学年平均	A層	B層	C層	D層
R8・中1	75.9	93.1	83.3	72.7	53.9
R8・中2	71.2	93.2	81.7	65.2	45.2
R7・中1	71.6	89.5	78.2	68.2	50.2
R8・中3	71.6	92.8	82.6	67.2	44.7
R7・中2	66.2	90.1	76.4	58.5	40.1
R6・中1	71.7	89.9	77.9	67.8	50.5

−3.0　−5.0　−9.3　−10.4

小5、小6、中3は、すべての層で昨年度より上昇しいている。

C、D層の中1から中2にかけては、下がる傾向にあるが、現中2は昨年度より下がり方が小さい。

上昇している箇所が多く見られます。経年比較で下がる傾向にあるC、D層に注視した手立てに取り組んできた成果と考えることができます。今年度は現中2で下がり方が小さくなる状況が見られました。

しかし、下がる傾向は残っており、今後も同様の手立てを継続していくことが大切です。

○【理解度】同一母集団の教科別経年変化

≪小学校≫

	国語	社会	算数	理科
R8・小4	89.7	83.1	86.3	92.0
R8・小5	90.7	85.2	82.4	89.8
R7・小4	86.3	80.4	82.4	89.8
R8・小6	89.4	89.2	78.0	89.1
R7・小5	86.7	83.6	79.9	90.9
R6・小4	85.3	82.1	84.0	90.0

≪中学校≫

	国語	社会	数学	理科	英語
R8・中1	83.8	77.1	71.9	76.5	70.3
R8・中2	83.4	67.5	66.1	70.3	68.6
R7・中1	79.3	71.6	67.9	72.9	66.5
R8・中3	81.5	73.9	71.1	67.1	64.2
R7・中2	78.0	63.9	61.1	64.3	63.6
R6・中1	80.9	70.5	68.4	71.6	67.0

小学校の算数、理科ではこれまで学年が上がるごと低下する傾向があったが、算数は低下せず、理科は上昇している

中学校では、中1から中2の変化では、これまですべての教科でわかる実感が低下していましたが、国語、英語で上昇しています。

小、中、ともに、「わかる」ことが実感できている児童生徒が増えている様子がうかがえる。

Ⅲ　学習意識調査の結果

2　学習の好感度　※数値は「とても好き」「まあ好き」と肯定的回答をした割合（%）。

○【好感度】同一学年比較（昨年度との比較）　※差は、小6－小4、中3－中1の値。

≪小学校≫

R8	国語	社会	算数	理科	英語
小4	68.9	65.1	73.8	86.9	
小5	65.5	64.3	63.9	83.9	
小6	61.7	69.4	61.1	76.9	68.4
差	－7.2	＋4.3	－12.7	－10.0	

R7	国語	社会	算数	理科	英語
小4	68.9	62.8	69.9	84.5	
小5	63.5	63.2	63.5	82.4	
小6	61.5	67.0	59.7	74.5	64.7
差	－7.4	＋4.2	－10.2	－10.0	

昨年度と比べて、特に大きな変化は見られませんでした。

≪中学校≫

R8	国語	社会	数学	理科	英語
中1	53.5	63.6	55.8	64.3	62.2
中2	64.7	61.3	54.3	62.7	61.0
中3	65.5	68.2	58.6	60.2	57.9
差	＋12.0	＋4.6	＋2.8	－4.1	－4.3

R7	国語	社会	数学	理科	英語
中1	54.2	61.8	54.3	62.7	61.0
中2	63.9	60.8	50.9	59.4	59.1
中3	64.5	69.1	55.2	59.8	54.3
差	＋10.3	＋7.3	＋0.9	－2.9	－6.7

小学校の数学と理科では、上の学年ほど低く、中学校の国語では、上の学年ほど高い状況にあります。

○【好感度】同一母集団の４層ごとの経年変化

≪小学校≫（４教科平均）

	学年平均	A層	B層	C層	D層
R8・小4	73.7	82.0	77.2	71.3	64.4
R8・小5	69.4	80.9	72.7	66.5	57.7
R7・小4	71.5	81.0	75.0	68.8	61.4
R8・小6	67.3	81.0	70.9	63.1	54.4
R7・小5	68.2	79.7	70.7	65.3	57.1
R6・小4	72.1	81.2	74.4	69.6	63.0

≪中学校≫（５教科平均）

	学年平均	A層	B層	C層	D層
R8・中1	59.9	78.1	65.0	53.9	41.5
R8・中2	61.0	80.7	67.8	54.9	40.8
R7・中1	58.8	75.3	62.9	54.1	42.5
R8・中3	62.1	81.2	69.4	57.2	41.0
R7・中2	58.8	78.2	64.9	52.6	39.7
R6・中1	58.3	75.7	62.0	52.6	42.2

現小5は、すべての層で、現小6はC、D層で低下が見られます。

現中2は、すべての層で上昇しています。

中学校では、D層の中1から中2にかけて低下しています。

C、D層が関心をもって取り組める授業づくりが大切です。

○【好感度】同一母集団の教科別経年変化

≪小学校≫

	国語	社会	算数	理科
R8・小4	68.9	65.1	73.8	86.9
R8・小5	65.5	64.3	63.9	83.9
R7・小4	68.9	62.8	69.9	84.5
R8・小6	61.7	69.4	61.1	76.9
R7・小5	63.5	63.2	63.5	82.4
R6・小4	67.3	65.3	70.7	84.9

≪中学校≫

	国語	社会	数学	理科	英語
R8・中1	53.5	63.6	55.8	64.3	62.2
R8・中2	64.7	61.3	54.4	62.1	62.7
R7・中1	54.2	61.8	54.3	62.7	61.0
R8・中3	65.5	68.2	58.6	60.2	57.6
R7・中2	63.9	60.8	50.9	59.4	59.1
R6・中1	55.1	60.2	52.8	63.0	60.6

小学校では、社会の小5から小6で上昇しています。小4から小5にかけては、各教科低下する傾向にあります。特に小4での学習において、児童が関心をもって取り組める授業づくりが大切です。

中学校では、現中2の国語、数学、英語で、現中3の英語以外で、昨年より上昇しています。

Ⅲ　学習意識調査の結果

３　学習への意識　　※数値は「とてもあてはまる」「まああてはまる」と肯定的回答をした割合（％）。

○同一母集団４層ごとの経年変化

≪①授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。≫

現小６・中３

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R8・小6	74.8	89.7	79.6	70.3	59.7
	R7・小5	68.6	83.4	73.0	63.0	55.3
	R6・小4	72.1	80.1	73.9	71.8	62.4
中	R8・中3	75.0	91.0	82.6	70.5	56.1
	R7・中2	62.3	82.5	68.0	56.1	42.7
	R6・中1	66.9	81.8	72.5	63.7	49.5

現小５・中２

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R8・小5	75.7	88.7	78.4	72.1	63.7
	R7・小4	71.3	78.8	74.9	69.8	62.2
中	R8・中2	70.9	88.1	78.2	65.7	52.1
	R7・中1	66.0	82.1	72.1	61.1	48.9

低下傾向にあった小4から小5にかけて、と、中1から中2にかけてのC、D層で、今年度は上昇が見られ、これまで、小4、中1への手立てを特に重点をおいてきた成果と考えることができる。

これまで、現小6、現中3のように、小4から小5にかけて、と、中1から中2にかけて、C、D層は低下する傾向にあったが、現小5、中2のC、D層で上昇している。

Ⅲ　学習意識調査の結果

３　学習への意識　　※数値は「とてもあてはまる」「まああてはまる」と肯定的回答をした割合（％）。

○同一母集団４層ごとの経年変化（現小６・中３）

≪②自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。≫

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R7・小6	76.7	85.2	81.5	75.3	65.2
	R6・小5	66.8	79.2	69.3	62.8	56.1
	R5・小4	69.5	79.4	72.1	66.5	59.9
中	R7・中3	72.4	81.5	77.6	70.5	60.7
	R6・中2	61.0	73.1	66.5	57.9	47.1
	R5・中1	63.2	74.5	69.0	58.6	51.0

−6.2　−10.1　−7.1　−9.8

≪③算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明した

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R7・小6	71.3	92.2	81.9	66.9	44.8
	R6・小5	67.9	83.8	75.9	63.9	48.0
	R5・小4	69.2	82.7	74.3	65.5	54.1
中	R7・中3	64.8	88.2	77.0	60.9	34.1
	R6・中2	53.1	75.6	61.8	46.1	30.0
	R5・中1	64.4	84.6	74.1	61.2	38.3

−15.0　−22.1　−16.1　−26.8

低位層になるほど差が大きくなり、その傾向は、理解度の結果と似ている。今後もこの項目に注視していく必要がある。

B-C層間、C-D層間が開き、特にC-D層間の差が大きくなっている。

Ⅲ　学習意識調査の結果

○今年度の手立てに向けて

(1)昨年度までの結果と今年度の結果から

・平均正答率を４層分析で見ると、D層の結果の上昇が見られる。
・平均正答率を４層分析で見ると、C-D層間の差が他の層間より大きく開いている。
・理解度については、小4から小5にかけて、中1から中2にかけてで、昨年度よりも良い傾向がある。
・以上３点から、取り組んだ手立てとの関係を探るため、引き続き同様の手立てとD層に注視した取組が必要。

(2)今後の手立て

今後さらに必要と考えられる手立てを考えるために、
・**分析委員会などの検討から得られた必要な授業改善のアイデアの視点**から
・**課題となる理解度の低下と同じ傾向として、C層、D層の結果の低下が見られる質問項目**に注目する視点から、継続して**下の3つの質問項目に焦点を当てる**。
（小5、中2の結果に改善傾向が見られた。この手立てとの関連性を今後も継続して見ていく。）

①授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。
②自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。
③算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。

第2章　Ⅳ　調査結果のまとめと手立て

Ⅳ　調査結果のまとめと手立て

１　調査結果の成果（●）と課題（●）

（1）成果

●（教科）2教科及び5教科平均正答率の川崎市と全体の差に着目して比較すると、小中学校ともに、調査を実施した全ての学年が全体より上回る結果であった。

●（意識）理解度について、同一母集団の経年比較をすると、小5から小6、中2から中3の変化を見ると上昇している。また、小4から小5でも上昇が見られたり、中1から中1のC,D層でも低下の幅が縮小していたりしている。

（2）課題

●（教科）4層分析において各層間の差を見ると、A-B層間、B-C層間と比べると、C-D層間の差が最も大きく開く傾向にある。

●（意識）理解度の4層分析の経年比較では、教科の平均正答率と同様に、A-B層間、B-C層間と比べると、C-D層間の差が最も大きく開く傾向にある。

●（意識）C、D層は、自分の考えを他者に伝えることが苦手である。その理由としては、意味や考え方について、他の学習内容との関連や、他の考えとの違いなどについて思考できないことなどが挙げられる。

（3）まとめ

・川崎市と全体の平均正答率よりも高い傾向である。

・これまで課題となっていた、小4から小5にかけて、中1から中2にかけて、意識調査の理解度や、注視している①②③の項目において改善傾向が見られる。この3つの質問項目やそれに伴う改善の手立てと、理解度との関連について、今後も継続して分析していく必要がある。

・理解度等で層間の差が開きやすい低位層、特にD層に着目した授業改善を進めていくことが大切である。

Ⅳ　調査結果のまとめと手立て
2　今後の手立て

○「わかる」授業づくりを検討する研究会議を進めている。その研究の軸である3つの柱を土台にしつつ、市学習状況調査の結果分析から大事にしてきた具体的な手立てを重ね、さらなる授業改善を図る。

全ての児童生徒が「わかる」を実感できる授業の実現を目指す

特にC、D層の児童生徒に着目

学習状況調査の結果を生かした授業改善の視点

1 「何がわかっていて、何がわかっていないか」について、児童生徒が自覚できるようにする。

2 わからないことに対して諦めず、粘り強く取り組むために、ねらいを明確にしたペア学習やグループ学習を取り入れる。

3 いつでもGIGA端末等を活用して、学習に取り組める環境を整備する。

重視するポイント

○ C、D層の疑問や考えを大切にした授業展開を心がける
・C、D層の「ここまでできたけど、この先が…」や「この前学習した○○を使いたいけど…」など、つぶやきや様子を見取り、途中まで考えた意見や考えを大切にすること。

○「わからない」や「途中までわかる」を踏まえた、自分の考えを表現できるようにする
・考えたことや聞いたことなどを、他者に向けて表現する機会を意図的・計画的に設定する。

○ いくつかの考え方を関連付けて理解できるようにする
・児童生徒の多様な考えの中にある、各教科等で大事にしている考え方に焦点をあてられるように、その考えを価値づけたり、発問や問い返しを工夫したり、板書の構造化を図ったりして理解につなげる。

「わかる」授業づくりの研究会議における3つの柱
(1)目指す姿の明確化　(2)自分の考えをより良くするための、共有の場の設定と工夫　(3)子どもが目指す姿を実感できる振り返りの工夫

第2章　　Ⅴ　結果の一覧

主体的に学習に取り組む態度の結果一覧

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
小4国語	1	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	85.7	90.4	89.3	85.9	76.6	13.8
	2	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	84.8	92.6	89.3	83.4	72.9	19.7
	3	自分で目標を決めて、こつこつ読書をしている。	55.6	68.6	57.5	49.5	45.7	22.9
	4	短歌や俳句、文章を詳しく読んで、どのような心や思いが込められているかを考えている。	71.6	77.7	74.1	69.6	64.4	13.3
	5	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	83.5	90.2	88.4	81.6	72.6	17.6
小4算数	1	算数の授業で、図をかいたり動かしたり、大きさや長さを測ったりしながら考えるのは楽しい。	85.1	93.2	89.8	84.9	71.4	21.8
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	88.1	95.3	92.6	88.5	75.0	20.3
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	84.4	92.3	88.6	84.4	71.3	21.0
	4	自分の解き方を振り返って、良いところやわかりにくいところ、工夫しているところなどを考えるようにしている。	81.5	88.5	84.4	80.9	71.5	17.0
	5	友だちと、問題の解き方やより良い解き方を伝え合っている。	78.8	85.4	81.8	78.5	68.4	17.0

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
小5国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	64.8	74.2	67.1	62.0	55.5	18.7
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	83.5	92.0	86.8	81.9	72.8	19.2
	3	文章を読むとき、別々の段落で書かれていることを、考えとその事例、結論とその理由といった関係を考えながら読むようにしている。	73.2	84.1	76.5	70.6	61.3	22.8
	4	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	83.5	93.9	87.5	81.3	70.6	23.3
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	67.2	81.2	71.3	60.9	54.6	26.6
	6	同じような言葉でも細かな意味の違いがあることを、例文を作ったり文章を書き直したりして確かめている。	78.2	87.2	80.6	76.6	68.0	19.2
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	83.8	92.7	87.8	81.9	72.1	20.6
小5算数	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	89.1	97.9	95.0	88.9	74.0	23.9
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	86.3	96.3	91.7	86.5	70.4	25.9
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	84.3	94.7	89.4	83.1	69.2	25.5
	4	買い物や料理、工作など普段の生活でも、学校で習った分数や割合の考え方を使って考えようとしている。	73.1	81.1	74.8	71.6	64.7	16.4
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	74.8	84.8	79.4	73.0	61.6	23.2
	6	問題を解いた後で、もっと他の解き方はないかと工夫して考えてみることがある。	68.3	80.7	71.3	65.7	55.0	25.7
	7	友だちと、問題の解き方やより良い解き方を伝え合っている。	79.7	87.4	83.5	78.0	69.4	18.0

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
小6 国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	59.4	70.6	62.8	55.0	48.6	22.0
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	83.7	91.8	87.2	81.9	73.4	18.4
	3	同じテーマや主題の作品を読み比べて、共通点や相違点を見つけたりして、自分の考えを持とうとしている。	53.9	60.4	53.4	52.4	49.2	11.2
	4	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	85.0	93.9	89.5	84.5	71.4	22.5
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	66.5	82.3	70.1	62.3	50.6	31.7
	6	短歌や俳句、文章を詳しく読んで、どのような心や思いが込められているかを考えている。	71.3	77.7	74.0	69.3	63.7	14.0
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	85.2	94.2	89.3	83.8	72.9	21.3
小6 算数	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	89.8	98.5	96.0	89.8	74.6	23.9
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	85.7	96.2	92.5	84.6	69.1	27.1
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	83.9	95.6	91.0	82.2	66.4	29.2
	4	買い物や料理、工作など普段の生活でも、学校で習った分数や割合の考え方を使って考えようとしている。	66.6	78.1	70.8	62.5	54.7	23.4
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	72.3	85.1	78.5	68.2	57.0	28.1
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	75.9	89.7	82.1	72.5	58.8	30.9
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	62.8	78.2	67.3	57.3	48.1	30.1

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中1国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	62.9	73.7	66.9	59.6	51.0	22.7
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	84.6	92.2	89.1	84.2	72.7	19.5
	3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	77.7	91.0	84.4	74.6	60.3	30.7
	4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	83.8	92.7	88.2	82.3	71.4	21.3
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	57.2	66.5	59.1	52.7	50.0	16.5
	6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	82.6	85.4	84.5	82.5	77.9	7.5
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	86.1	94.6	90.1	85.0	74.1	20.5
中1社会	1	世界が平和で争いがない社会になるには、どのようなことが必要か考えている。	79.0	85.0	79.8	79.0	72.0	13.0
	2	授業で設定した学習の問題（課題）を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	78.9	89.1	83.1	76.7	66.5	22.6
	3	インタビューや現地調査をするときには、自ら進んで取り組むようにしている。	70.9	78.7	73.4	70.1	61.0	17.7
	4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	88.1	87.2	88.8	90.1	86.2	
	5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	89.8	93.8	91.6	90.2	83.6	10.2
	6	社会の出来事を、いろいろな立場や視点から見るようにしている。	76.9	85.1	79.8	75.4	67.1	18.0
	7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	73.5	84.3	75.0	71.0	63.7	20.6
中1数学	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	86.7	97.2	92.6	85.4	71.1	26.1
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	81.7	95.4	89.1	79.2	62.5	32.9
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	83.8	95.1	90.0	82.2	67.6	27.5
	4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	70.4	82.6	74.8	67.3	56.3	26.3
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	72.6	85.8	78.9	68.7	56.5	29.3
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	75.3	87.7	81.3	71.6	59.9	27.8
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	70.2	83.7	74.2	66.9	55.6	28.1

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中1理科	1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	67.9	74.0	70.1	65.0	62.5	11.5
	2	どうやって問題を解決したらいいかと見通しを持って取り組もうとしている。	79.3	89.6	83.3	76.2	67.8	21.8
	3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	73.3	82.8	76.7	70.4	63.2	19.6
	4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	69.6	75.7	72.1	68.0	62.6	13.1
	5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	79.7	92.2	84.4	74.9	67.1	25.1
	6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	65.4	73.3	70.5	62.2	55.4	17.9
	7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	72.2	83.3	75.9	68.2	61.2	22.1
中1英語	1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	77.5	84.7	78.5	74.6	69.9	14.8
	2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	84.8	91.0	87.8	81.6	76.4	14.6
	3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	78.1	87.5	81.9	75.1	65.0	22.5
	4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	67.3	79.2	70.2	63.1	52.6	26.6
	5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	85.4	93.3	87.9	83.1	74.7	18.6
	6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	84.9	91.6	87.7	83.3	74.9	16.7
	7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	68.0	76.1	70.7	65.1	57.3	18.8

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中2国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	65.5	74.7	67.4	63.4	56.0	18.7
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	85.7	93.4	90.6	85.0	73.4	20.0
	3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	79.6	90.6	86.4	78.4	62.6	28.0
	4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	85.3	92.5	90.0	85.9	72.5	20.0
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	54.3	62.2	54.9	52.6	47.1	15.1
	6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	83.0	83.5	85.9	83.3	79.2	4.3
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	88.6	95.4	92.9	87.6	78.0	17.4
中2社会	1	世界が平和で争いがない社会になるには、どのようなことが必要か考えている。	73.5	77.1	74.6	73.7	68.7	8.4
	2	授業で設定した学習の問題（課題）を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	76.7	89.7	79.8	74.0	63.0	26.7
	3	社会で働いている人の話を聞いたり、最新の社会に関する資料を読んだりして、自分の考えを持とうとしている。	65.4	74.2	68.5	63.0	55.8	18.4
	4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	85.4	85.0	86.3	86.5	83.8	1.2
	5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	90.1	93.0	92.8	90.7	83.8	9.2
	6	社会の出来事を、異なる意見や価値観を比べて深く考えるようにしている。	74.3	86.3	78.4	71.0	61.1	25.2
	7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	73.2	85.2	76.2	70.6	60.5	24.7
中2数学	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	83.8	96.4	92.2	82.0	64.5	31.9
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	79.6	95.7	89.1	75.9	57.6	38.1
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	80.5	95.2	88.9	77.0	60.7	34.5
	4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	66.6	80.7	72.5	63.6	49.4	31.3
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	71.2	86.7	79.5	67.0	51.3	35.4
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	70.5	83.9	77.3	67.0	53.6	30.3
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	70.1	84.1	77.1	66.6	52.3	31.8

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中2理科	1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	61.6	64.6	63.1	59.7	59.1	5.5
	2	どうやって問題を解決したらいいかと見通しを持って取り組もうとしている。	75.4	86.4	79.7	73.4	62.0	24.4
	3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	72.3	83.1	76.4	71.1	58.6	24.5
	4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	68.7	75.6	71.5	67.6	60.1	15.5
	5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	78.3	87.4	83.2	76.3	66.3	21.1
	6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	76.6	84.7	80.3	76.6	64.7	20.0
	7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	71.7	83.2	75.4	68.6	59.3	23.9
中2英語	1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	70.4	79.0	76.0	66.5	60.0	19.0
	2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	80.5	88.1	85.5	79.7	68.7	19.4
	3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	77.1	89.9	85.0	74.3	58.9	31.0
	4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	67.7	82.8	76.3	62.6	48.9	33.9
	5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	79.4	92.9	87.5	76.7	60.1	32.8
	6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	83.7	92.5	89.9	82.3	70.1	22.4
	7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	65.8	77.2	73.2	62.1	50.6	26.6

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中3国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	66.4	75.5	70.2	61.8	57.8	17.7
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	86.8	94.3	90.3	85.8	76.5	17.8
	3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	82.6	93.4	88.5	81.0	67.3	26.1
	4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	86.3	93.6	89.9	86.5	75.1	18.5
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	53.6	61.5	55.9	47.9	48.9	12.6
	6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	79.1	79.2	81.3	79.1	76.6	2.6
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	89.7	96.2	93.6	88.5	80.2	16.0
中3社会	1	世界が平和で争いがない社会になるには、どのようなことが必要か考えている。	68.4	71.5	69.8	67.4	64.8	6.7
	2	授業で設定した学習の問題（課題）を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	78.7	89.6	83.2	77.5	64.4	25.2
	3	社会で働いている人の話を聞いたり、最新の社会に関する資料を読んだりして、自分の考えを持とうとしている。	67.1	75.3	70.1	65.6	57.4	17.9
	4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	82.8	83.9	83.3	84.1	80.0	3.9
	5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	90.1	95.0	91.7	90.5	83.2	11.8
	6	社会の出来事を、異なる意見や価値観を比べて深く考えるようにしている。	76.6	87.5	80.6	73.6	64.6	22.9
	7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	74.8	87.4	78.6	71.9	61.2	26.2
中3数学	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	83.6	94.9	90.3	81.9	66.9	28.0
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	81.7	95.7	90.5	79.9	60.4	35.3
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	82.9	95.4	90.5	81.0	64.4	31.0
	4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	62.1	73.5	66.5	60.3	47.8	25.7
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	74.6	88.7	81.8	71.9	55.6	33.1
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	72.8	85.4	79.7	70.3	55.7	29.7
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	73.8	85.9	81.5	71.3	56.1	29.8

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合（%）	学力層別　肯定群回答割合（%）				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中3理科	1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	61.0	66.2	63.2	60.5	54.0	12.2
	2	どうやって問題を解決したらいいかと見通しを持って取り組もうとしている。	76.4	88.4	82.5	74.4	59.9	28.5
	3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	75.0	86.6	81.4	73.5	58.3	28.3
	4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	68.7	75.5	71.5	69.5	58.2	17.3
	5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	79.5	89.2	85.2	79.0	64.4	24.8
	6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	79.4	89.2	85.1	78.9	64.2	25.0
	7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	74.6	86.6	80.6	72.7	58.5	28.1
中3英語	1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	67.6	76.1	71.6	65.0	57.7	18.4
	2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	78.3	86.1	82.6	77.5	66.9	19.2
	3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	76.0	88.7	83.0	74.2	58.1	30.6
	4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	67.5	82.6	74.0	63.8	49.5	33.1
	5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	79.6	93.5	87.1	77.6	60.0	33.5
	6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	84.0	93.8	90.2	83.2	68.9	24.9
	7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	63.6	74.2	69.6	61.6	48.8	25.4

意識調査の結果一覧【小4】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
1	理解度・国語	全体		40.1	49.2	8.7	1.6	0.4
		A層	97.2	58.6	38.5	2.4	0.3	0.1
		B層	92.8	42.2	50.4	6.6	0.6	0.2
		C層	90.3	35.0	55.0	8.4	1.2	0.4
		D層	78.6	24.9	53.1	17.1	4.1	0.8
		A-D層	18.6					
2	理解度・社会	全体		39.2	43.5	14.4	2.4	0.4
		A層	92.7	55.0	37.6	6.5	0.8	0.1
		B層	87.1	42.3	44.6	12.2	0.7	0.2
		C層	81.4	33.9	47.3	16.5	2.0	0.3
		D層	71.3	26.0	44.7	22.4	6.1	0.9
		A-D層	21.4					
3	理解度・数学（算数）	全体		54.4	31.5	10.8	2.9	0.4
		A層	96.6	74.0	22.5	3.1	0.3	0.1
		B層	93.0	61.9	30.9	6.1	0.9	0.2
		C層	86.2	49.0	36.8	11.6	2.2	0.4
		D層	69.3	32.8	35.9	22.2	8.3	0.8
		A-D層	27.3					
4	理解度・理科	全体		59.6	32.0	6.4	1.6	0.4
		A層	96.2	70.3	25.8	3.5	0.3	0.1
		B層	94.6	62.9	31.5	4.8	0.6	0.2
		C層	91.9	57.0	34.6	7.0	1.1	0.4
		D層	85.2	48.3	36.3	10.4	4.3	0.8
		A-D層	11.0					
5	理解度・音楽	全体		57.2	29.8	10.0	2.7	0.4
		A層	92.7	64.7	27.9	6.3	1.0	0.1
		B層	89.8	59.2	30.4	8.7	1.5	0.2
		C層	87.7	56.8	30.6	9.7	2.5	0.3
		D層	79.2	48.0	30.5	15.2	5.4	0.9
		A-D層	13.5					
6	理解度・図画工作・美術	全体		69.9	22.8	5.2	1.7	0.4
		A層	93.8	70.1	23.6	5.2	0.9	0.1
		B層	94.1	71.8	22.1	4.7	1.2	0.2
		C層	93.8	71.3	22.1	4.6	1.6	0.3
		D層	90.4	66.4	23.3	6.3	3.2	0.8
		A-D層	3.4					
7	理解度・保健体育	全体		71.7	21.7	4.8	1.4	0.4
		A層	94.0	69.9	24.0	5.1	0.9	0.1
		B層	94.6	72.6	21.8	4.3	1.1	0.2
		C層	94.4	74.1	20.0	4.3	1.3	0.3
		D層	92.2	70.3	21.0	5.2	2.5	0.9
		A-D層	1.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
8	好感度・国語	全体		23.2	45.5	23.4	7.5	0.4
		A層	76.3	32.7	43.5	19.6	4.1	0.1
		B層	70.5	22.6	47.6	22.9	6.6	0.3
		C層	67.6	18.8	48.5	24.4	7.8	0.4
		D層	61.3	18.5	42.3	26.9	11.4	0.9
		A-D層	15.0					
9	好感度・社会	全体		28.0	36.9	24.9	9.9	0.4
		A層	73.3	36.9	36.3	20.8	5.9	0.1
		B層	67.0	29.7	37.2	24.2	8.7	0.2
		C層	62.3	24.8	37.3	26.0	11.5	0.3
		D層	57.9	20.4	37.0	28.2	13.4	0.9
		A-D層	15.4					
10	好感度・数学（算数）	全体		43.1	30.4	16.3	9.7	0.4
		A層	84.1	57.2	26.8	11.7	4.2	0.1
		B層	79.2	47.5	31.5	14.9	5.9	0.2
		C層	71.3	37.7	33.2	17.7	10.9	0.4
		D層	60.9	30.2	30.1	20.9	17.9	0.8
		A-D層	23.2					
11	好感度・理科	全体		55.5	31.0	9.7	3.4	0.4
		A層	90.1	60.8	29.2	7.8	2.1	0.1
		B層	89.4	58.2	30.9	8.2	2.4	0.2
		C層	85.8	54.5	31.0	10.4	3.7	0.4
		D層	82.4	48.7	32.9	12.3	5.2	1.0
		A-D層	7.7					
12	好感度・音楽	全体		51.8	30.4	11.8	5.6	0.4
		A層	84.7	55.1	29.5	11.0	4.3	0.1
		B層	85.4	53.5	31.7	10.3	4.2	0.2
		C層	83.6	51.6	31.7	11.1	5.3	0.3
		D層	76.4	47.2	28.6	14.9	8.4	0.9
		A-D層	8.3					
13	好感度・図画工作・美術	全体		71.1	18.6	6.5	3.3	0.4
		A層	89.2	68.4	20.7	7.5	3.3	0.1
		B層	91.2	71.9	19.0	5.5	3.3	0.2
		C層	90.9	73.1	17.3	6.0	3.1	0.5
		D層	89.4	71.2	17.4	7.0	3.5	0.9
		A-D層	-0.2					
14	好感度・保健体育	全体		72.3	18.3	5.8	3.2	0.5
		A層	88.8	67.7	21.0	7.2	3.9	0.2
		B層	91.6	72.0	19.4	5.5	2.9	0.2
		C層	92.1	75.7	16.1	5.1	2.8	0.4
		D層	91.4	73.9	16.5	5.3	3.2	1.0
		A-D層	-2.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもすき	まあすき	あまりすきではない	すきではない	その他無回答
15	好感度・総合的な学習の時間・生活	全体		45.1	35.9	13.6	5.0	0.5
		A層	85.0	48.3	36.5	11.1	3.9	0.2
		B層	84.1	46.7	37.2	11.9	3.9	0.2
		C層	82.0	45.8	35.9	13.6	4.3	0.5
		D層	74.4	39.7	34.0	17.6	7.7	0.9
		A-D層	10.6					
16	好感度・道徳	全体		40.4	36.7	15.8	6.7	0.4
		A層	76.7	39.2	37.4	16.7	6.5	0.1
		B層	79.1	39.4	39.6	14.7	6.1	0.2
		C層	79.2	43.2	35.7	14.8	5.9	0.3
		D層	74.4	39.8	33.9	17.2	8.2	0.9
		A-D層	2.3					
17	好感度・学級活動	全体		58.5	29.0	9.1	3.0	0.4
		A層	92.1	66.4	25.5	6.2	1.7	0.1
		B層	91.3	62.7	28.4	6.9	1.7	0.2
		C層	88.5	57.4	30.8	8.6	2.9	0.4
		D層	79.8	47.6	31.4	14.5	5.5	1.0
		A-D層	12.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
18	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典やGIGA端末などで調べるようにしている。	全体		28.6	41.0	22.5	7.4	0.4
		A層	75.1	33.4	41.6	19.8	5.1	0.1
		B層	71.8	29.6	42.1	22.1	6.0	0.2
		C層	70.7	27.1	43.2	22.7	6.5	0.5
		D層	62.5	24.6	37.4	25.5	11.8	0.8
		A-D層	12.6					
19	国語の授業で、ペアやグループ、全体で話しあったことを、よりよい自分の考えにつなげている。	全体		35.7	41.8	17.9	4.1	0.4
		A層	84.6	44.6	39.9	13.0	2.4	0.1
		B層	80.9	37.5	43.3	16.3	2.7	0.2
		C層	78.1	34.0	43.7	18.2	3.6	0.5
		D層	67.9	26.7	40.6	24.2	7.6	0.9
		A-D層	16.7					
20	数学（算数）の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。	全体		38.2	36.6	19.5	5.2	0.5
		A層	89.2	56.4	32.8	9.4	1.4	0.1
		B層	80.7	42.9	37.7	16.8	2.4	0.2
		C層	72.5	31.3	40.7	22.6	4.8	0.6
		D層	58.3	22.4	35.4	29.4	11.9	1.0
		A-D層	30.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
21	数学（算数）の授業で、ペアやグループ、全体で考えを伝えあったり、問題を解決したりしている。	全体		40.2	38.0	16.8	4.5	0.5
		A層	87.9	52.1	35.8	10.3	1.8	0.1
		B層	82.3	42.6	39.5	14.8	2.9	0.3
		C層	77.6	37.3	39.8	18.3	4.0	0.6
		D層	66.6	28.8	37.0	23.6	9.4	1.1
		A-D層	21.3					
22	社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。	全体		38.4	40.0	16.9	4.2	0.5
		A層	87.2	50.3	36.8	10.8	2.1	0.1
		B層	81.6	40.3	41.1	15.8	2.5	0.3
		C層	78.2	35.1	42.7	18.1	3.6	0.5
		D層	68.2	28.1	39.4	23.0	8.4	1.1
		A-D層	19.0					
23	社会の授業で学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。	全体		37.4	40.1	18.0	4.1	0.5
		A層	85.7	47.2	38.4	12.1	2.2	0.1
		B層	80.6	39.8	40.6	16.2	3.1	0.2
		C層	78.7	35.6	42.7	17.6	3.6	0.6
		D層	66.4	27.0	38.7	25.9	7.3	1.2
		A-D層	19.3					
24	理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。	全体		56.5	29.5	10.8	2.8	0.5
		A層	92.9	67.6	25.2	5.7	1.5	0.1
		B層	88.7	60.7	27.8	9.2	2.1	0.2
		C層	86.7	54.6	31.7	11.0	2.2	0.5
		D層	77.2	43.0	33.3	17.2	5.3	1.1
		A-D層	15.7					
25	理科の授業で、実験や観察調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話しあったりまとめたりしている。	全体		39.8	37.5	17.6	4.5	0.5
		A層	85.4	47.9	37.4	12.4	2.1	0.2
		B層	80.7	41.5	39.0	16.1	3.2	0.2
		C層	76.2	37.6	38.2	19.7	4.0	0.5
		D層	68.8	32.4	35.6	22.2	8.6	1.2
		A-D層	16.6					
26	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。	全体		40.8	38.1	16.7	3.8	0.6
		A層	80.8	40.4	40.4	17.0	2.1	0.1
		B層	79.0	40.5	38.2	17.9	3.0	0.4
		C層	79.8	41.0	38.5	16.2	3.8	0.5
		D層	77.8	41.4	35.5	15.6	6.3	1.3
		A-D層	3.0					
27	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	全体		68.8	22.8	5.9	1.9	0.6
		A層	94.5	74.8	19.7	4.7	0.8	0.1
		B層	94.4	70.8	23.3	4.3	1.2	0.3
		C層	92.4	68.7	23.2	5.8	1.8	0.5
		D層	87.3	61.0	25.1	9.0	3.6	1.4
		A-D層	7.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
28	学校に行くのが楽しい。	全体		52.9	30.4	11.1	4.9	0.6
		A層	87.6	57.6	29.8	9.5	2.9	0.2
		B層	86.2	54.8	31.2	10.3	3.4	0.3
		C層	83.8	51.5	31.8	11.2	4.9	0.5
		D層	77.9	47.7	29.0	13.5	8.4	1.4
		A-D層	9.7					
29	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	全体		64.7	25.5	7.0	2.2	0.6
		A層	94.8	74.3	20.3	4.4	0.8	0.2
		B層	93.1	68.6	24.2	5.7	1.2	0.3
		C層	90.7	63.4	26.9	7.5	1.8	0.5
		D層	84.3	52.6	30.4	10.6	4.8	1.5
		A-D層	10.5					
30	新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。	全体		40.2	39.9	15.6	3.6	0.7
		A層	87.0	48.1	38.7	11.1	1.9	0.2
		B層	84.3	41.3	42.7	12.9	2.7	0.3
		C層	80.1	38.5	41.0	16.2	3.6	0.6
		D層	71.4	33.0	37.4	22.0	6.1	1.5
		A-D層	15.6					
31	授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	全体		30.6	46.1	18.4	4.3	0.6
		A層	82.8	36.1	46.5	14.7	2.5	0.1
		B層	78.8	29.7	49.0	17.3	3.8	0.2
		C層	76.2	30.2	45.5	19.6	4.1	0.5
		D層	71.0	26.5	43.4	21.9	6.7	1.4
		A-D層	11.8					
32	授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている。	全体		30.7	42.2	21.3	5.3	0.6
		A層	78.3	36.2	42.0	18.2	3.5	0.1
		B層	74.7	31.1	43.4	20.9	4.3	0.2
		C層	73.2	29.6	43.2	21.6	5.1	0.5
		D層	66.9	25.8	40.2	24.6	8.0	1.4
		A-D層	11.4					
33	学習した内容について、何がまだ理解できていないか、わかっている。	全体		40.5	39.1	15.5	4.2	0.6
		A層	86.3	50.5	35.7	10.7	3.0	0.2
		B層	83.4	42.5	40.6	13.8	2.7	0.3
		C層	81.3	38.0	42.8	15.3	3.3	0.6
		D層	69.6	31.0	37.7	22.3	7.7	1.4
		A-D層	16.7					
34	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	全体		39.7	39.3	16.5	4.0	0.7
		A層	86.7	46.6	40.0	11.2	2.0	0.2
		B層	80.8	40.1	40.5	15.8	3.3	0.2
		C層	78.1	38.0	39.7	18.3	3.5	0.6
		D層	72.1	34.1	36.9	20.6	6.8	1.6
		A-D層	14.6					
35	学習するとき、筋道を立てて、ものごとを考えている。	全体		35.9	41.5	17.8	4.1	0.6
		A層	86.7	48.0	38.6	11.3	1.9	0.2
		B層	81.0	36.8	44.0	16.2	2.8	0.3
		C層	76.3	32.4	43.6	19.2	4.4	0.5
		D層	67.6	26.6	40.0	24.4	7.5	1.4
		A-D層	19.1					
36	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えている。	全体		37.5	40.3	17.3	4.4	0.6
		A層	86.1	46.5	39.5	11.9	2.0	0.2
		B層	80.8	39.7	40.9	15.9	3.2	0.2
		C層	77.3	35.4	41.5	18.7	3.9	0.5
		D層	68.5	28.2	39.3	22.6	8.4	1.4
		A-D層	17.6					
37	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	全体		42.4	37.0	15.7	4.2	0.7
		A層	83.5	47.8	35.5	13.8	2.7	0.2
		B層	81.0	42.5	38.3	15.5	3.5	0.3
		C層	81.0	42.6	37.9	15.7	3.2	0.6
		D層	74.3	37.0	36.2	17.9	7.4	1.5
		A-D層	9.2					
38	ふだんから新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	全体		42.2	37.4	16.2	3.5	0.7
		A層	86.7	50.3	36.2	11.1	2.1	0.2
		B層	82.8	43.9	38.7	14.8	2.4	0.2
		C層	78.9	40.7	37.6	17.7	3.3	0.6
		D層	72.0	33.8	37.1	21.4	6.2	1.5
		A-D層	14.7					
39	自分と違う意見も尊重している。	全体		60.2	29.1	8.2	1.9	0.6
		A層	94.4	68.7	25.5	5.0	0.6	0.2
		B層	92.0	63.9	27.9	6.8	1.1	0.2
		C層	90.0	59.7	29.8	8.0	1.9	0.6
		D層	83.3	48.7	33.3	12.7	3.8	1.5
		A-D層	11.1					
40	自分で学習の計画を立てている。	全体		26.7	39.3	25.7	7.6	0.7
		A層	72.7	31.1	41.5	22.1	5.1	0.2
		B層	67.6	26.7	40.8	25.3	7.0	0.2
		C層	64.9	26.0	38.5	27.3	7.6	0.6
		D層	60.2	22.8	36.5	28.3	10.8	1.5
		A-D層	12.5					
41	自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話しあったり、活動したりしている。	全体		32.1	41.6	20.5	5.1	0.7
		A層	78.0	36.8	41.0	18.5	3.5	0.2
		B層	74.5	31.3	43.0	20.7	4.7	0.2
		C層	75.2	31.7	43.1	20.6	4.0	0.6
		D層	69.2	28.8	39.3	22.2	8.1	1.6
		A-D層	8.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
42	話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	全体		35.4	35.5	21.9	6.5	0.7
		A層	76.6	44.0	32.5	18.4	5.0	0.2
		B層	73.1	37.0	35.9	21.2	5.7	0.2
		C層	70.6	32.6	37.5	22.6	6.6	0.6
		D層	65.4	28.1	36.2	25.4	8.6	1.7
		A-D層	11.2					
43	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートやGIGA端末などに記録している。	全体		35.3	31.4	22.4	10.2	0.7
		A層	72.7	41.5	31.1	19.9	7.3	0.2
		B層	67.9	35.3	32.4	22.6	9.5	0.2
		C層	66.7	34.5	31.8	22.7	10.4	0.6
		D層	61.6	30.1	30.5	24.1	13.6	1.8
		A-D層	11.1					
44	一度考えた後、かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	全体		34.2	42.2	18.1	4.3	1.2
		A層	82.2	38.5	43.3	15.0	2.7	0.6
		B層	78.5	34.1	43.8	18.3	3.0	0.8
		C層	76.5	33.4	42.3	18.5	4.7	1.1
		D層	72.1	30.9	39.7	20.5	6.7	2.2
		A-D層	10.1					
45	それぞれの授業のめあてを意識して取り組んでいる。	全体		41.0	40.1	14.5	3.2	1.2
		A層	87.6	48.3	38.8	10.6	1.8	0.6
		B層	85.0	43.2	41.0	12.7	2.2	0.9
		C層	82.2	40.0	41.2	14.6	3.0	1.2
		D層	73.5	32.5	39.4	20.0	5.9	2.1
		A-D層	14.1					
46	目標に向けて、ふだんからこつこつと学習している。	全体		36.5	39.1	19.2	4.4	0.8
		A層	82.8	45.3	37.3	14.7	2.5	0.3
		B層	78.5	36.5	41.7	17.7	3.7	0.3
		C層	74.8	33.5	40.8	20.9	4.1	0.7
		D層	68.7	30.8	36.6	23.4	7.3	1.8
		A-D層	14.1					
47	調べてわかったことをもとに、自分の考えをまとめている。	全体		37.1	40.1	17.9	4.1	0.8
		A層	85.8	47.3	38.3	12.5	1.7	0.3
		B層	79.3	37.7	41.4	17.2	3.5	0.3
		C層	77.3	34.3	42.4	18.4	4.2	0.6
		D層	68.8	29.2	38.3	23.5	7.1	1.8
		A-D層	17.0					
48	友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	全体		38.3	34.2	20.5	6.2	0.7
		A層	78.5	44.5	33.8	17.6	3.8	0.2
		B層	74.5	39.8	34.5	19.9	5.5	0.3
		C層	71.6	36.7	34.5	21.4	6.8	0.6
		D層	67.4	32.1	34.2	23.3	8.8	1.7
		A-D層	11.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
49	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	全体		56.6	29.2	9.1	4.3	0.8
		A層	92.3	63.5	28.5	5.9	1.8	0.2
		B層	88.9	58.8	29.7	8.3	2.8	0.5
		C層	86.4	56.9	28.9	8.8	4.7	0.7
		D層	78.5	47.5	29.6	13.4	7.7	1.8
		A-D層	13.8					
50	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	全体		44.3	37.2	14.1	3.6	0.8
		A層	85.4	46.6	38.5	12.3	2.3	0.2
		B層	83.1	44.3	38.6	13.8	3.0	0.3
		C層	82.3	44.5	37.3	14.2	3.4	0.7
		D層	77.5	41.7	34.3	16.3	5.8	1.8
		A-D層	7.9					
51	学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	全体		56.4	30.0	9.4	3.3	0.8
		A層	88.6	59.5	28.9	8.8	2.5	0.3
		B層	88.2	57.4	30.4	9.1	2.7	0.4
		C層	87.4	55.7	30.9	9.5	3.0	0.8
		D層	84.7	53.2	30.0	10.2	4.8	1.8
		A-D層	3.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							
				0さつ	1、2さつ	3、4さつ	5、6さつ	7、8さつ	9、10さつ	11さついじょう	その他無回答
52	この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（教科書や参考書、マンガは数にいれません。）	全体		20.2	25.9	16.8	11.1	6.0	4.6	14.3	0.9
		A層		12.3	20.1	17.6	12.4	8.1	6.0	23.0	0.4
		B層		17.1	27.6	16.8	11.8	6.2	4.9	15.4	0.3
		C層		22.1	27.8	17.7	10.9	5.7	4.2	10.8	0.9
		D層		29.4	28.4	15.2	9.3	4.2	3.5	8.1	2.0
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間いじょう	その他無回答
53	学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい学習していますか。	全体		14.7	27.8	18.8	11.8	7.3	6.5	12.2	0.9
		A層		7.1	19.2	16.6	11.9	10.2	10.3	24.4	0.3
		B層		11.5	26.7	19.7	13.0	7.4	7.9	13.5	0.3
		C層		17.9	30.6	19.2	12.4	7.1	5.0	7.2	0.8
		D層		22.2	34.8	19.9	9.8	4.4	2.9	4.0	2.1
		A-D層									
54	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい学習していますか。	全体		24.6	30.7	17.5	9.5	5.9	3.9	7.1	0.8
		A層		13.7	24.9	17.4	11.7	10.1	6.7	15.2	0.3
		B層		22.5	30.1	19.0	10.0	7.2	4.5	6.2	0.4
		C層		28.9	33.4	17.7	8.9	3.7	2.8	3.7	0.8
		D層		32.9	34.4	15.9	7.2	2.8	1.6	3.3	1.8
		A-D層									
55	学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲーム（テレビゲーム、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）や、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	全体		16.2	16.7	20.4	12.6	10.5	6.1	16.5	1.0
		A層		20.8	18.7	22.1	12.7	9.8	5.0	10.5	0.4
		B層		15.3	16.1	22.0	14.0	11.5	6.2	14.4	0.5
		C層		13.8	15.3	21.4	12.7	10.9	6.5	18.5	0.9
		D層		14.6	16.9	16.4	10.9	9.8	6.6	22.5	2.3
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
56	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	全体		50.7	32.9	11.4	3.9	1.0
		A層	87.1	53.2	33.6	10.4	2.5	0.3
		B層	85.7	53.5	31.8	10.6	3.6	0.5
		C層	85.4	51.5	33.2	10.8	3.7	0.8
		D層	79.9	44.7	33.3	13.9	5.8	2.3
		A-D層	7.2					
57	朝食は毎日食べている。	全体		81.7	10.7	4.4	2.2	1.0
		A層	97.2	89.8	7.1	2.0	0.8	0.3
		B層	96.1	85.9	9.8	3.1	0.7	0.5
		C層	93.7	82.1	10.8	4.3	2.0	0.8
		D層	86.4	69.2	15.3	8.2	5.1	2.2
		A-D層	10.8					
58	学習することが、すきである。	全体		30.3	49.2	16.0	4.3	0.2
		A層	87.3	41.4	45.8	10.7	2.0	0.0
		B層	83.1	31.4	51.7	13.6	3.3	0.0
		C層	78.7	26.5	52.2	17.4	3.9	0.0
		D層	69.7	21.8	47.4	22.1	8.0	0.7
		A-D層	17.6					
59	学習することは、大切である。	全体		77.6	18.2	3.1	1.0	0.2
		A層	98.5	85.2	13.4	1.2	0.3	0.0
		B層	97.5	81.6	15.8	2.2	0.3	0.0
		C層	96.3	77.0	19.3	2.8	0.9	0.0
		D層	91.6	66.7	24.3	6.1	2.2	0.6
		A-D層	6.9					
60	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	全体		28.8	47.6	20.1	3.3	0.2
		A層	83.5	35.2	48.3	14.6	2.0	0.1
		B層	78.2	28.8	49.3	19.4	2.4	0.0
		C層	76.0	27.5	48.4	21.3	2.8	0.0
		D層	68.5	23.4	44.6	25.1	6.1	0.8
		A-D層	15.0					
61	授業で安心して自分の意見を言うことができる。	全体		35.0	33.0	24.7	7.0	0.3
		A層	75.8	45.6	30.2	20.0	4.2	0.1
		B層	70.9	35.8	35.0	23.8	5.3	0.0
		C層	66.6	32.8	33.8	26.6	6.8	0.0
		D層	59.4	25.7	33.2	28.6	11.7	0.8
		A-D層	16.4					
62	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思う。	全体		74.0	19.5	4.7	1.6	0.2
		A層	96.6	80.1	16.4	2.8	0.6	0.0
		B層	96.2	78.6	17.6	3.0	0.8	0.0
		C層	94.3	74.3	19.9	4.4	1.3	0.0
		D層	87.7	63.0	24.0	8.5	3.7	0.8
		A-D層	8.9					
63	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	全体		60.8	28.3	8.1	2.7	0.2
		A層	91.7	65.2	26.5	6.5	1.8	0.0
		B層	90.4	62.6	27.8	7.3	2.3	0.0
		C層	89.4	60.2	29.1	8.1	2.5	0.0
		D層	85.4	55.3	29.4	10.4	4.2	0.7
		A-D層	6.3					
64	将来の夢や目標を持っている。	全体		70.7	16.4	8.0	4.7	0.2
		A層	86.9	69.9	17.0	9.1	4.0	0.0
		B層	87.6	72.3	15.2	7.9	4.6	0.0
		C層	88.2	72.9	15.3	7.2	4.6	0.1
		D層	86.4	67.7	18.1	7.8	5.6	0.8
		A-D層	0.5					
65	人の役に立つ人間になりたいと思う。	全体		72.4	22.0	4.1	1.2	0.2
		A層	97.1	80.2	16.9	2.3	0.6	0.0
		B層	96.6	76.7	19.9	2.9	0.6	0.0
		C層	95.3	71.9	23.4	3.8	0.9	0.0
		D層	89.9	61.1	28.0	7.5	2.5	0.8
		A-D層	7.2					
66	人が困っているときは、進んで助けている。	全体		52.3	38.1	7.8	1.5	0.3
		A層	92.4	51.0	41.3	6.9	0.7	0.1
		B層	91.7	53.1	38.6	7.4	0.9	0.0
		C層	91.4	53.0	38.4	7.2	1.4	0.0
		D層	87.3	52.1	34.4	9.6	3.0	0.9
		A-D層	5.1					
67	自分には、よいところがあると思う。	全体		46.5	36.3	12.0	4.9	0.2
		A層	86.8	51.5	35.2	9.4	3.9	0.0
		B層	85.4	49.4	36.0	10.8	3.8	0.0
		C層	82.5	45.3	37.1	12.1	5.3	0.1
		D層	77.5	39.9	37.0	15.8	6.6	0.7
		A-D層	9.3					
68	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	全体		31.8	32.5	23.3	12.1	0.2
		A層	68.2	32.9	35.3	23.4	8.4	0.1
		B層	65.8	32.1	33.7	23.2	11.1	0.0
		C層	65.4	32.7	32.6	22.6	12.0	0.0
		D層	58.5	29.5	28.6	24.2	16.9	0.8
		A-D層	9.7					
69	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。	全体		51.9	31.1	12.1	4.6	0.3
		A層	87.4	56.6	30.7	10.0	2.6	0.1
		B層	85.5	53.8	31.8	11.2	3.2	0.0
		C層	83.2	51.4	31.7	12.0	4.8	0.1
		D層	77.1	46.2	30.3	15.2	7.5	0.8
		A-D層	10.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
70	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	全体		52.2	34.1	10.2	3.2	0.3
		A層	90.6	57.8	32.7	7.6	1.8	0.1
		B層	88.0	54.0	33.9	9.9	2.1	0.0
		C層	87.0	52.0	35.0	10.1	2.9	0.0
		D層	80.6	44.9	35.0	13.1	6.1	0.8
		A-D層	10.0					
71	自分の住んでいる町がすきである。	全体		77.0	16.1	4.7	1.9	0.3
		A層	94.9	79.6	15.2	3.8	1.3	0.1
		B層	94.6	78.9	15.7	4.3	1.0	0.0
		C層	93.5	77.9	15.5	4.6	1.8	0.1
		D層	90.3	71.7	17.8	6.1	3.5	0.9
		A-D層	4.6					
72	今、住んでいる地域の行事に参加している。	全体		27.3	35.9	24.8	11.6	0.4
		A層	67.3	29.8	37.4	23.3	9.3	0.2
		B層	63.5	26.6	36.7	24.8	11.7	0.1
		C層	62.2	26.5	35.5	26.0	11.7	0.2
		D層	60.8	26.0	34.0	25.1	13.7	1.2
		A-D層	6.5					
73	地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。	全体		37.7	37.9	18.0	5.8	0.6
		A層	79.0	41.1	37.8	17.0	4.0	0.2
		B層	77.2	37.9	39.0	17.8	4.9	0.4
		C層	76.3	36.8	39.2	17.8	5.8	0.4
		D層	71.6	35.0	35.7	19.5	8.6	1.3
		A-D層	7.4					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）					
			ほぼ毎日（ほぼすべて	ほぼ毎日（一部の学習	週３回以上	週１回以上	週１回より少ない	その他無回答
74	前の学年までに受けた授業で、GIGA端末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	全体	14.6	24.8	27.6	21.4	11.1	0.4
		A層	11.6	22.3	28.9	25.1	11.9	0.1
		B層	12.9	23.7	28.7	21.9	12.7	0.1
		C層	15.9	26.1	27.1	20.0	10.6	0.3
		D層	18.0	26.8	25.7	18.8	9.5	1.2
		A-D層						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
75	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	全体		63.7	28.3	5.8	1.7	0.4
		A層	94.0	65.0	28.8	4.7	1.3	0.1
		B層	94.7	66.4	28.2	4.4	0.9	0.1
		C層	93.5	65.3	27.9	5.6	0.9	0.3
		D層	87.9	58.3	28.5	8.5	3.5	1.2
		A-D層	6.1					
76	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		33.4	43.4	18.5	4.2	0.5
		A層	82.2	37.7	44.3	15.5	2.3	0.2
		B層	78.4	33.9	44.3	18.4	3.1	0.3
		C層	77.4	32.3	44.8	18.4	4.1	0.3
		D層	70.6	29.4	40.2	21.7	7.4	1.3
		A-D層	11.6					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）							
			友だちとの会話	先生との会話	先生のみんなへの指示や説明	教科書や資料集	黒板	GIGAたん末で見る友だちの考え	GIGAたん末で見るインターネットなどの資料	その他無回答
77	次の中で、学習を進めたり、くわしく考えたりするのに最も便利だと感じるのはどの情報ですか。	全体	24.1	10.5	17.2	21.3	6.1	4.6	9.3	0.5
		A層	19.1	5.5	13.6	33.3	5.6	5.2	11.8	0.1
		B層	21.9	8.2	16.0	24.1	6.0	5.0	11.4	0.2
		C層	25.8	10.5	19.2	17.6	6.6	4.6	8.7	0.4
		D層	29.4	17.8	19.7	10.3	6.2	3.5	5.4	1.3
		A-D層								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
78	総合的な学習の時間では、課題を設定し、その解決に向けて集めた情報をもとに考えたり、まとめたり表現したりしている。	全体		28.5	46.7	20.5	4.0	0.4
		A層	85.2	38.9	46.3	12.8	2.0	0.1
		B層	77.7	28.1	49.4	19.6	2.7	0.1
		C層	73.1	25.9	47.0	23.3	3.5	0.3
		D層	66.0	21.2	44.0	26.1	7.5	1.2
		A-D層	19.2					
79	総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。	全体		33.2	39.6	21.8	5.0	0.4
		A層	76.7	38.0	38.7	19.7	3.6	0.1
		B層	73.9	33.6	40.2	22.3	3.7	0.1
		C層	72.9	31.8	40.9	22.6	4.5	0.2
		D層	68.8	29.4	38.7	22.7	8.1	1.1
		A-D層	7.9					
80	総合的な学習の時間では、地域や社会に向けての行動や発信をしている。	全体		24.2	40.9	27.3	7.2	0.4
		A層	68.1	26.2	41.8	25.9	6.0	0.1
		B層	65.6	23.2	42.4	28.0	6.4	0.0
		C層	65.7	23.7	41.8	27.4	6.7	0.3
		D層	62.2	23.6	37.9	27.8	9.6	1.1
		A-D層	5.9					
81	総合的な学習の時間で学んだことは自分の将来の役に立つと思う。	全体		67.5	22.9	6.6	2.7	0.4
		A層	93.0	70.7	22.2	5.3	1.6	0.1
		B層	92.5	70.3	22.1	5.5	1.9	0.1
		C層	91.5	68.9	22.3	5.9	2.6	0.3
		D層	85.9	60.2	24.8	9.4	4.6	1.1
		A-D層	7.1					

意識調査の結果一覧【小5】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
1	理解度・国語	全体		39.7	50.8	8.1	1.2	0.2
		A層	97.9	63.2	34.6	2.0	0.1	0.1
		B層	95.3	45.5	49.6	4.1	0.6	0.1
		C層	90.1	30.2	59.7	9.0	1.0	0.1
		D層	79.6	20.2	59.1	17.3	3.0	0.4
		A-D層	18.3					
2	理解度・社会	全体		40.7	44.4	12.8	1.9	0.2
		A層	94.3	60.6	33.6	5.1	0.5	0.1
		B層	89.6	43.4	46.1	9.4	1.0	0.1
		C層	83.5	34.3	49.1	14.9	1.6	0.1
		D層	73.6	24.7	48.6	21.9	4.5	0.3
		A-D層	20.7					
3	理解度・数学（算数）	全体		46.9	34.4	15.2	3.3	0.1
		A層	97.4	78.1	19.2	2.5	0.1	0.1
		B層	90.7	54.9	35.8	8.8	0.5	0.1
		C層	79.8	35.2	44.6	17.7	2.4	0.1
		D層	57.8	19.7	37.9	31.7	10.3	0.3
		A-D層	39.6					
4	理解度・理科	全体		54.9	36.8	7.1	1.1	0.1
		A層	97.1	70.7	26.4	2.6	0.3	0.1
		B層	93.8	57.6	36.1	5.6	0.6	0.1
		C層	90.5	48.5	41.9	8.5	1.0	0.1
		D層	85.8	43.1	42.4	11.8	2.3	0.3
		A-D層	11.3					
5	理解度・音楽	全体		54.8	32.7	9.9	2.5	0.1
		A層	90.7	60.0	30.6	7.8	1.5	0.1
		B層	90.7	58.7	31.9	7.8	1.5	0.1
		C層	87.4	53.8	33.5	10.3	2.4	0.1
		D層	81.9	46.9	34.7	13.4	4.7	0.3
		A-D層	8.8					
6	理解度・図画工作・美術	全体		65.9	27.3	5.3	1.3	0.1
		A層	94.6	67.0	27.5	4.5	0.9	0.1
		B層	94.9	68.4	26.4	4.1	1.0	0.1
		C層	92.9	65.6	27.2	5.7	1.4	0.1
		D層	91.1	62.9	27.9	6.8	2.1	0.3
		A-D層	3.5					
7	理解度・保健体育	全体		66.1	26.3	5.9	1.5	0.1
		A層	92.7	63.3	29.4	6.3	0.9	0.1
		B層	92.9	67.4	25.4	5.9	1.2	0.1
		C層	93.1	66.5	26.5	5.5	1.4	0.1
		D層	91.7	67.4	24.0	5.8	2.4	0.3
		A-D層	1.0					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
8	好感度・国語	全体		20.2	45.2	25.9	8.5	0.1
		A層	74.7	30.4	44.2	20.0	5.3	0.1
		B層	68.1	21.0	47.0	25.2	6.7	0.1
		C層	63.4	16.5	46.9	27.7	8.9	0.1
		D層	55.8	13.0	42.6	30.8	13.3	0.3
		A-D層	18.9					
9	好感度・社会	全体		28.6	35.7	25.0	10.6	0.1
		A層	72.8	39.6	33.2	19.3	7.8	0.1
		B層	65.8	29.5	36.3	25.4	8.8	0.1
		C層	62.0	25.3	36.7	26.1	11.9	0.1
		D層	56.8	20.1	36.5	29.3	13.8	0.3
		A-D層	16.0					
10	好感度・数学（算数）	全体		34.3	29.5	20.5	15.6	0.1
		A層	82.8	55.6	27.1	11.5	5.7	0.1
		B層	69.8	38.3	31.5	20.5	9.7	0.1
		C層	59.5	26.2	33.2	23.1	17.4	0.1
		D層	43.7	17.3	26.2	26.8	29.3	0.3
		A-D層	39.1					
11	好感度・理科	全体		48.7	35.1	12.2	3.8	0.1
		A層	88.1	56.4	31.6	9.3	2.6	0.1
		B層	84.6	49.0	35.5	12.3	3.1	0.1
		C層	82.5	46.1	36.4	13.4	4.1	0.1
		D層	80.5	43.4	36.9	14.0	5.4	0.3
		A-D層	7.6					
12	好感度・音楽	全体		46.0	33.3	13.4	7.2	0.1
		A層	81.2	48.8	32.3	13.3	5.5	0.1
		B層	81.5	46.5	35.0	12.1	6.4	0.1
		C層	79.7	46.5	33.1	13.0	7.2	0.1
		D層	75.1	42.2	32.6	15.3	9.6	0.3
		A-D層	6.1					
13	好感度・図画工作・美術	全体		67.5	21.5	7.4	3.5	0.1
		A層	87.3	65.1	22.1	9.4	3.3	0.1
		B層	89.9	68.9	20.9	7.1	3.0	0.1
		C層	89.2	68.1	21.0	6.9	3.9	0.1
		D層	89.9	67.9	21.7	6.3	3.8	0.3
		A-D層	−2.6					
14	好感度・保健体育	全体		66.0	21.4	8.1	4.4	0.1
		A層	85.8	61.2	24.5	9.1	5.1	0.1
		B層	86.7	65.6	21.0	8.5	4.8	0.1
		C層	89.2	68.0	21.1	7.9	2.9	0.1
		D層	88.4	69.3	18.8	6.9	4.6	0.3
		A-D層	−2.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
15	好感度・総合的な学習の時間・生活	全体		37.9	41.1	15.7	5.1	0.2
		A層	81.7	40.1	41.5	14.7	3.6	0.1
		B層	81.3	40.3	40.9	14.7	3.9	0.2
		C層	79.3	36.5	42.8	15.4	5.3	0.1
		D層	74.5	34.9	39.3	17.9	7.5	0.4
		A-D層	7.2					
16	好感度・道徳	全体		35.5	40.0	17.5	6.9	0.1
		A層	73.8	33.5	40.3	18.6	7.5	0.1
		B層	78.5	36.2	42.2	15.8	5.8	0.1
		C層	77.4	37.3	40.1	16.2	6.3	0.1
		D層	72.8	35.0	37.5	19.1	8.1	0.3
		A-D層	1.0					
17	好感度・学級活動	全体		58.5	30.2	7.9	3.3	0.2
		A層	92.5	65.3	27.1	5.6	1.9	0.1
		B層	91.5	61.6	29.8	6.0	2.5	0.1
		C層	88.4	57.3	31.0	8.2	3.3	0.1
		D層	82.8	49.8	32.7	11.9	5.3	0.4
		A-D層	9.7					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
18	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典やGIGA端末などで調べるようにしている。	全体		30.7	41.9	21.7	5.5	0.2
		A層	76.1	34.9	41.2	19.7	4.2	0.1
		B層	76.0	32.4	43.5	19.2	4.8	0.1
		C層	72.5	30.8	41.6	22.6	4.8	0.1
		D層	66.3	24.8	41.3	25.3	8.3	0.3
		A-D層	9.8					
19	国語の授業で、ペアやグループ、全体で話しあったことを、よりよい自分の考えにつなげている。	全体		35.3	44.0	17.4	3.2	0.1
		A層	87.9	46.7	41.1	10.8	1.3	0.1
		B層	82.8	38.8	44.0	15.1	2.1	0.1
		C層	78.7	31.2	47.4	18.0	3.3	0.1
		D層	68.4	24.7	43.5	25.5	6.0	0.3
		A-D層	19.5					
20	数学（算数）の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。	全体		35.7	38.0	21.3	4.9	0.1
		A層	91.4	59.6	31.7	7.6	1.0	0.1
		B層	81.0	40.6	40.4	17.2	1.8	0.1
		C層	69.0	25.6	43.3	25.9	5.1	0.1
		D層	54.0	17.0	36.9	34.2	11.6	0.3
		A-D層	37.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
21	数学（算数）の授業で、ペアやグループ、全体で考えを伝えあったり、問題を解決したりしている。	全体		38.4	41.0	16.8	3.6	0.2
		A層	87.8	52.4	35.4	10.8	1.4	0.1
		B層	83.1	43.5	39.5	14.7	2.2	0.1
		C層	79.0	32.9	46.0	17.6	3.3	0.1
		D層	68.4	25.1	43.1	24.0	7.5	0.4
		A-D層	19.4					
22	社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。	全体		43.7	39.3	14.1	2.7	0.2
		A層	91.5	58.8	32.6	7.2	1.3	0.1
		B層	87.8	48.0	39.7	10.5	1.7	0.1
		C層	82.4	39.8	42.5	15.1	2.5	0.1
		D層	71.2	28.6	42.3	23.2	5.5	0.4
		A-D層	20.3					
23	社会の授業で学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。	全体		37.2	41.4	18.0	3.2	0.2
		A層	86.1	47.8	38.2	12.4	1.5	0.1
		B層	82.4	41.0	41.3	15.3	2.3	0.1
		C層	77.9	34.4	43.4	19.2	2.9	0.1
		D層	68.5	25.8	42.4	25.2	6.2	0.4
		A-D層	17.6					
24	理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。	全体		59.9	29.8	8.3	1.9	0.2
		A層	95.7	73.5	22.2	3.6	0.6	0.1
		B層	93.0	64.3	28.5	5.9	1.2	0.1
		C層	89.0	55.8	33.1	9.4	1.6	0.1
		D層	81.7	46.1	35.3	14.1	4.1	0.4
		A-D層	14.0					
25	理科の授業で、実験や観察調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話しあったりまとめたりしている。	全体		37.1	41.2	17.8	3.8	0.2
		A層	86.2	46.2	40.0	12.0	1.8	0.1
		B層	81.3	38.8	42.3	16.2	2.5	0.1
		C層	75.7	33.5	42.1	20.2	4.1	0.1
		D層	70.7	29.9	40.5	22.6	6.6	0.4
		A-D層	15.5					
26	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。	全体		40.1	36.8	18.3	4.7	0.2
		A層	84.8	48.0	36.8	13.0	2.2	0.1
		B層	77.2	40.0	37.1	19.1	3.7	0.1
		C層	74.4	37.0	37.3	20.6	5.0	0.1
		D層	71.7	35.4	36.0	20.4	7.8	0.4
		A-D層	13.1					
27	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	全体		61.9	27.4	8.1	2.5	0.2
		A層	93.2	69.6	23.6	5.6	1.2	0.1
		B層	90.9	62.5	28.2	7.3	1.9	0.1
		C層	88.9	59.0	29.8	8.4	2.8	0.1
		D層	84.9	56.5	28.1	11.0	4.1	0.4
		A-D層	8.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
28	学校に行くのが楽しい。	全体		47.6	34.5	12.5	5.2	0.2
		A層	86.7	53.1	33.5	9.4	3.8	0.1
		B層	84.7	49.2	35.4	11.7	3.5	0.1
		C層	81.4	46.2	35.1	13.5	5.1	0.1
		D層	76.2	42.0	33.9	15.2	8.4	0.5
		A-D層	10.5					
29	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	全体		68.0	23.7	6.1	1.9	0.3
		A層	95.5	74.7	20.7	3.7	0.7	0.1
		B層	93.9	71.6	22.2	4.8	1.2	0.2
		C層	91.4	66.8	24.5	6.7	1.9	0.1
		D層	87.3	59.3	27.4	9.1	3.6	0.6
		A-D層	8.2					
30	新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。	全体		37.3	44.7	13.8	2.4	1.7
		A層	90.9	46.2	43.1	8.2	0.8	1.8
		B層	85.5	40.1	44.3	12.4	1.9	1.4
		C層	82.9	34.3	47.4	14.6	2.2	1.4
		D層	74.5	29.0	43.9	20.1	4.8	2.3
		A-D層	16.4					
31	授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	全体		30.7	44.9	20.5	3.8	0.2
		A層	88.7	46.4	42.2	10.0	1.3	0.1
		B層	78.4	31.4	46.8	18.8	2.8	0.2
		C層	72.1	25.1	47.0	23.6	4.2	0.1
		D層	63.7	19.9	43.6	29.5	6.7	0.4
		A-D層	25.0					
32	授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている。	全体		29.9	43.4	22.2	4.3	0.2
		A層	82.1	41.9	40.2	15.8	2.0	0.1
		B層	75.7	32.4	43.1	20.8	3.5	0.1
		C層	72.4	26.2	46.2	23.4	4.2	0.1
		D層	63.7	19.4	44.0	28.6	7.5	0.4
		A-D層	18.4					
33	学習した内容について、何がまだ理解できていないか、わかっている。	全体		40.1	41.4	14.7	3.6	0.2
		A層	88.7	50.6	38.0	9.4	1.9	0.1
		B層	84.8	43.7	41.0	12.4	2.8	0.1
		C層	81.3	36.5	44.7	15.9	2.8	0.1
		D層	71.8	29.6	41.9	21.2	6.9	0.3
		A-D層	16.9					
34	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	全体		32.1	44.0	19.6	4.0	0.2
		A層	85.9	42.0	43.9	12.6	1.5	0.1
		B層	80.0	33.4	46.5	17.6	2.4	0.1
		C層	74.5	29.4	45.1	21.3	4.2	0.1
		D層	64.8	24.0	40.5	27.0	8.0	0.4
		A-D層	21.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
35	学習するとき、筋道を立てて、ものごとを考えている。	全体		33.5	43.9	19.1	3.3	0.2
		A層	89.4	48.5	40.8	9.6	1.0	0.1
		B層	81.9	37.7	44.1	16.2	1.9	0.1
		C層	74.0	26.5	47.5	22.3	3.6	0.1
		D層	65.0	21.5	43.2	28.2	6.6	0.4
		A-D層	24.4					
36	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えている。	全体		33.2	42.6	19.9	4.2	0.2
		A層	85.7	44.9	40.7	12.6	1.8	0.1
		B層	79.3	35.6	43.7	17.9	2.7	0.1
		C層	73.4	28.9	44.4	22.8	3.8	0.1
		D層	65.4	23.4	41.7	26.2	8.3	0.4
		A-D層	20.3					
37	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	全体		36.6	40.7	18.5	4.1	0.1
		A層	83.5	42.9	40.5	14.2	2.2	0.1
		B層	79.1	38.3	40.8	17.4	3.4	0.1
		C層	76.0	35.0	40.9	19.9	4.1	0.1
		D層	71.0	30.3	40.5	22.3	6.6	0.3
		A-D層	12.5					
38	ふだんから新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	全体		39.1	38.3	18.6	3.8	0.2
		A層	85.4	48.5	36.8	12.8	1.8	0.1
		B層	80.9	42.1	38.7	16.1	3.0	0.1
		C層	76.0	35.7	40.2	20.4	3.6	0.1
		D層	68.0	30.1	37.6	25.0	6.8	0.4
		A-D層	17.4					
39	自分と違う意見も尊重している。	全体		53.7	34.3	9.5	2.2	0.2
		A層	94.2	64.3	29.8	4.9	0.9	0.1
		B層	92.8	60.1	32.7	5.9	1.2	0.1
		C層	87.7	52.1	35.5	10.4	1.9	0.1
		D層	78.1	38.5	39.2	17.0	4.9	0.4
		A-D層	16.1					
40	自分で学習の計画を立てている。	全体		24.8	39.1	27.8	8.1	0.2
		A層	73.9	33.3	40.5	21.2	4.9	0.1
		B層	66.0	25.2	40.7	26.7	7.3	0.1
		C層	60.3	21.4	38.8	31.4	8.2	0.1
		D層	56.0	19.3	36.5	31.9	11.9	0.4
		A-D層	17.9					
41	自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話しあったり、活動したりしている。	全体		29.8	42.4	23.0	4.6	0.2
		A層	76.7	35.0	41.6	20.1	3.2	0.1
		B層	75.0	31.4	43.5	21.1	3.8	0.1
		C層	72.5	28.2	44.2	23.1	4.4	0.1
		D層	65.5	24.7	40.6	27.7	6.7	0.4
		A-D層	11.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
42	話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	全体		31.4	33.9	26.4	8.1	0.2
		A層	73.8	42.8	30.9	20.9	5.2	0.1
		B層	66.9	33.2	33.6	25.9	7.2	0.1
		C層	62.2	27.1	35.0	29.3	8.4	0.1
		D層	59.0	22.6	36.2	29.4	11.4	0.4
		A-D層	14.8					
43	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートやGIGA端末などに記録している。	全体		35.5	34.0	22.4	7.8	0.2
		A層	74.8	40.2	34.5	19.1	6.1	0.1
		B層	71.0	37.4	33.5	21.7	7.3	0.1
		C層	70.4	35.2	35.2	22.4	7.2	0.1
		D層	62.7	29.4	33.0	26.4	10.7	0.5
		A-D層	12.1					
44	一度考えた後、かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	全体		29.2	44.3	21.2	5.1	0.2
		A層	79.5	34.8	44.6	17.1	3.4	0.1
		B層	75.1	30.3	44.7	20.3	4.6	0.1
		C層	72.8	26.6	46.2	22.3	4.9	0.1
		D層	67.0	25.2	41.5	25.1	7.7	0.5
		A-D層	12.5					
45	それぞれの授業のめあてを意識して取り組んでいる。	全体		37.7	42.6	16.1	3.4	0.3
		A層	86.3	45.2	41.0	11.6	2.1	0.1
		B層	83.3	40.9	42.2	14.2	2.6	0.2
		C層	81.7	36.2	45.4	15.5	2.8	0.1
		D層	70.8	28.6	41.8	23.0	6.0	0.7
		A-D層	15.5					
46	目標に向けて、ふだんからこつこつと学習している。	全体		32.9	40.2	21.8	4.8	0.2
		A層	83.8	45.9	37.9	13.9	2.2	0.1
		B層	76.6	34.6	41.8	19.6	3.8	0.1
		C層	69.7	28.0	41.7	25.1	5.2	0.1
		D層	63.0	23.3	39.4	28.6	8.2	0.5
		A-D層	20.8					
47	調べてわかったことをもとに、自分の考えをまとめている。	全体		36.6	41.0	18.8	3.4	0.2
		A層	88.9	51.1	37.8	9.9	1.1	0.1
		B層	82.2	39.5	42.5	15.8	1.9	0.2
		C層	75.3	30.9	44.3	21.5	3.1	0.1
		D層	64.4	24.9	39.1	28.0	7.4	0.6
		A-D層	24.5					
48	友だちの話に賛成・反対・つけたし、つなげるように発言している。	全体		34.4	38.0	21.7	5.7	0.2
		A層	78.4	41.5	36.9	17.5	4.1	0.1
		B層	73.1	36.2	36.8	21.5	5.3	0.2
		C層	71.4	32.1	39.2	23.2	5.4	0.1
		D層	67.3	27.9	39.0	24.3	8.2	0.5
		A-D層	11.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
49	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	全体		51.0	35.8	9.9	3.0	0.2
		A層	92.3	56.0	36.3	6.4	1.3	0.1
		B層	90.1	53.6	36.4	8.2	1.6	0.1
		C層	85.6	51.6	33.9	11.1	3.3	0.1
		D層	80.0	43.0	36.6	14.2	5.7	0.5
		A-D層	12.3					
50	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	全体		43.0	39.7	14.0	3.1	0.2
		A層	85.7	45.2	40.4	12.3	2.0	0.1
		B層	83.7	43.2	40.4	13.6	2.7	0.2
		C層	83.4	42.8	40.5	13.5	3.1	0.1
		D層	78.9	40.8	37.7	16.5	4.5	0.6
		A-D層	6.8					
51	学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	全体		50.1	35.6	10.3	3.7	0.3
		A層	87.5	52.7	34.5	9.5	3.0	0.2
		B層	87.8	52.1	35.3	9.1	3.1	0.3
		C層	85.9	47.6	38.1	10.5	3.6	0.2
		D層	82.9	47.9	34.5	12.0	5.0	0.6
		A-D層	4.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							その他無回答
				0さつ	1、2さつ	3、4さつ	5、6さつ	7、8さつ	9、10さつ	11さつ以上	
52	この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（教科書や参考書、マンガは数にいれません。）	全体		26.0	28.1	16.4	9.2	5.2	3.5	11.2	0.4
		A層		12.7	24.0	17.2	11.7	7.5	5.5	21.3	
		B層		22.1	27.9	18.1	10.1	5.7	3.6	12.2	
		C層		29.4	31.2	16.2	8.7	4.8	3.1	6.5	
		D層		39.6	29.5	14.0	6.4	2.9	1.7	5.1	
		A−D									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							その他無回答
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上	
53	学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい学習していますか。	全体		13.9	23.7	16.8	11.3	8.2	6.6	19.1	0.4
		A層		4.2	12.7	11.6	9.0	9.4	9.8	43.3	
		B層		10.6	22.7	17.5	12.3	10.0	7.6	19.0	
		C層		15.4	28.0	19.5	13.4	7.9	6.1	9.5	
		D層		25.1	31.4	18.6	10.8	5.5	3.1	4.7	
		A−D									
54	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい学習していますか。	全体		25.1	26.8	16.6	8.3	6.5	4.4	12.0	0.3
		A層		10.5	16.4	15.1	9.5	10.8	7.8	30.0	
		B層		21.7	26.9	18.4	10.1	7.2	5.1	10.4	
		C層		29.0	32.7	17.4	7.7	5.1	2.9	5.0	
		D層		39.2	31.0	15.4	5.9	3.1	1.9	2.8	
		A−D									
55	学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲーム（テレビゲーム、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）や、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	全体		12.3	13.2	19.0	13.4	13.1	7.6	21.1	0.3
		A層		19.9	16.2	22.0	13.3	11.8	5.4	11.3	
		B層		11.4	12.9	19.5	14.5	14.1	7.9	19.4	
		C層		9.0	12.0	19.4	13.8	14.2	8.2	23.2	
		D層		8.8	11.5	15.0	12.1	12.4	8.6	30.6	
		A−D									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
56	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	全体		46.7	34.5	13.9	4.6	0.3
		A層	81.5	46.7	34.7	13.9	4.5	0.1
		B層	82.9	48.1	34.6	12.8	4.2	0.2
		C層	83.7	49.0	34.4	12.7	3.5	0.3
		D層	78.0	43.2	34.3	16.0	5.9	0.7
		A-D層	3.5					
57	朝食は毎日食べている。	全体		80.4	11.4	5.3	2.5	0.3
		A層	96.5	88.6	7.9	2.6	0.9	0.1
		B層	94.2	85.3	8.7	4.2	1.6	0.2
		C層	93.0	81.5	11.4	4.9	2.1	0.1
		D層	84.7	66.3	17.7	9.6	5.6	0.7
		A-D層	11.8					
58	学習することが、すきである。	全体		23.1	49.2	21.7	5.9	0.1
		A層	84.1	36.6	47.4	13.5	2.5	0.0
		B層	75.0	24.6	50.4	20.7	4.3	0.0
		C層	69.9	17.9	52.0	24.4	5.7	0.0
		D層	60.8	13.4	47.2	27.9	11.2	0.3
		A-D層	23.3					
59	学習することは、大切である。	全体		77.0	19.4	2.7	0.8	0.1
		A層	98.9	86.0	12.9	0.8	0.3	0.0
		B層	97.7	80.4	17.3	1.7	0.6	0.0
		C層	97.2	75.8	21.4	2.2	0.6	0.0
		D層	92.2	66.1	25.9	6.1	1.6	0.3
		A-D層	6.7					
60	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	全体		25.6	48.2	22.8	3.4	0.1
		A層	84.7	37.1	47.6	13.7	1.7	0.0
		B層	77.7	26.9	50.7	19.7	2.6	0.0
		C層	71.5	22.0	49.5	25.4	3.1	0.0
		D層	61.5	16.5	44.9	32.4	6.0	0.2
		A-D層	23.2					
61	授業で安心して自分の意見を言うことができる。	全体		31.8	32.7	27.1	8.3	0.1
		A層	75.9	44.1	31.7	20.1	4.0	0.0
		B層	67.5	34.6	33.0	25.7	6.8	0.0
		C層	61.5	26.5	35.0	30.2	8.2	0.1
		D層	53.6	22.2	31.2	32.2	14.0	0.4
		A-D層	22.3					
62	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思う。	全体		72.1	21.7	4.7	1.4	0.1
		A層	96.3	76.6	19.8	3.0	0.7	0.0
		B層	95.3	76.0	19.4	3.8	0.9	0.0
		C層	94.9	72.0	22.8	4.2	0.9	0.0
		D層	89.0	64.2	24.6	7.7	3.2	0.3
		A-D層	7.3					
63	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	全体		61.7	27.8	7.8	2.6	0.1
		A層	91.9	65.9	26.1	6.4	1.7	0.0
		B層	90.3	64.9	25.4	7.7	2.0	0.0
		C層	89.8	59.3	30.4	7.5	2.8	0.1
		D層	86.3	56.9	29.1	9.6	4.0	0.3
		A-D層	5.6					
64	将来の夢や目標を持っている。	全体		66.0	18.3	10.0	5.6	0.1
		A層	83.5	63.4	20.1	11.4	5.1	0.0
		B層	85.1	67.2	17.8	9.9	5.0	0.0
		C層	85.1	67.3	17.7	9.3	5.6	0.1
		D層	83.9	66.0	17.7	9.5	6.6	0.2
		A-D層	-0.4					
65	人の役に立つ人間になりたいと思う。	全体		73.5	21.9	3.5	1.0	0.1
		A層	97.2	78.8	18.4	2.4	0.4	0.0
		B層	96.9	76.0	20.8	2.5	0.6	0.0
		C層	96.0	73.2	22.8	3.3	0.7	0.0
		D層	91.9	66.1	25.6	5.8	2.2	0.2
		A-D層	5.3					
66	人が困っているときは、進んで助けている。	全体		48.9	42.1	7.9	1.0	0.1
		A層	92.5	46.8	45.6	6.9	0.6	0.0
		B層	91.8	48.9	42.9	7.5	0.7	0.0
		C層	91.3	48.7	42.6	7.9	0.7	0.1
		D層	88.9	51.4	37.3	9.2	1.8	0.3
		A-D層	3.6					
67	自分には、よいところがあると思う。	全体		44.0	37.7	13.2	5.0	0.1
		A層	84.4	49.1	35.3	11.7	3.9	0.0
		B層	84.5	46.9	37.6	11.2	4.4	0.0
		C層	81.8	43.0	38.8	13.5	4.6	0.0
		D層	76.6	37.2	39.3	16.3	7.1	0.3
		A-D層	7.8					
68	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	全体		30.9	32.5	24.8	11.8	0.1
		A層	66.1	31.6	34.5	25.5	8.4	0.0
		B層	65.2	31.0	34.2	24.7	10.1	0.0
		C層	63.1	31.2	31.9	25.0	11.9	0.0
		D層	59.4	29.9	29.3	23.9	16.6	0.2
		A-D層	6.7					
69	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。	全体		51.0	32.1	12.6	4.3	0.1
		A層	85.5	53.8	31.6	11.7	2.8	0.1
		B層	85.2	53.3	31.9	11.1	3.7	0.0
		C層	83.5	51.7	31.8	12.5	4.0	0.0
		D層	78.3	45.1	33.0	15.1	6.5	0.3
		A-D層	7.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
70	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	全体		51.5	35.8	10.1	2.6	0.1
		A層	90.1	56.2	33.9	8.4	1.5	0.0
		B層	90.3	54.9	35.4	7.5	2.2	0.0
		C層	87.3	50.1	37.2	10.5	2.2	0.0
		D層	81.6	44.8	36.6	13.9	4.4	0.3
		A-D層	8.5					
71	自分の住んでいる町がすきである。	全体		71.7	20.4	5.7	2.1	0.1
		A層	94.2	72.4	21.8	4.2	1.6	0.0
		B層	93.1	73.9	19.1	5.5	1.4	0.0
		C層	92.9	71.5	21.4	5.6	1.5	0.1
		D層	88.7	69.3	19.2	7.4	3.9	0.3
		A-D層	5.5					
72	今、住んでいる地域の行事に参加している。	全体		24.7	36.6	26.7	11.9	0.1
		A層	64.4	26.1	38.3	25.7	9.9	0.0
		B層	62.9	26.4	36.5	26.1	11.0	0.0
		C層	60.0	23.5	36.5	28.0	11.9	0.1
		D層	58.4	22.9	35.2	26.8	14.7	0.4
		A-D層	6.0					
73	地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。	全体		32.7	40.7	20.9	5.7	0.1
		A層	78.8	36.9	41.9	17.0	4.1	0.1
		B層	75.0	33.3	41.6	19.9	5.1	0.0
		C層	72.5	31.0	41.5	22.3	5.1	0.1
		D層	67.5	29.7	37.6	24.1	8.2	0.3
		A-D層	11.3					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）					
			ほぼ毎日（ほぼすべて	ほぼ毎日（一部の学習	週３回以上	週１回以上	週１回より少ない	その他無回答
74	前の学年までに受けた授業で、GIGA端末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	全体	13.3	27.6	30.8	19.8	8.3	0.1
		A層	12.7	27.4	31.5	21.4	7.1	0.0
		B層	12.7	26.2	31.6	21.8	7.7	0.0
		C層	12.5	27.9	31.0	20.2	8.3	0.1
		D層	15.3	28.7	29.3	16.0	10.3	0.4
		A-D層						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
75	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	全体		63.3	29.8	5.3	1.4	0.2
		A層	94.0	65.0	29.0	4.9	1.1	0.0
		B層	94.5	65.6	28.8	4.4	1.0	0.1
		C層	94.0	62.9	30.9	4.8	1.2	0.2
		D層	90.6	59.6	30.6	7.1	2.3	0.4
		A-D層	3.4					
76	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		34.5	45.8	16.3	3.0	0.5
		A層	85.3	41.0	43.9	12.7	1.8	0.5
		B層	83.4	36.6	46.5	14.8	1.8	0.2
		C層	80.4	31.4	48.5	16.5	3.1	0.5
		D層	73.6	28.9	44.1	21.0	5.2	0.8
		A-D層	11.7					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）							
			友だちとの会話	先生との会話	先生のみんなへの指示や説明	教科書や資料集	黒板	GIGAたん末で見る友だちの考え	GIGAたん末で見るインターネットなどの資料	その他無回答
77	次の中で、学習を進めたり、くわしく考えたりするのに最も便利だと感じるのはどの情報ですか。	全体	24.1	10.5	17.2	21.3	6.1	4.6	9.3	0.5
		A層	19.1	5.5	13.6	33.3	5.6	5.2	11.8	0.1
		B層	21.9	8.2	16.0	24.1	6.0	5.0	11.4	0.2
		C層	25.8	10.5	19.2	17.6	6.6	4.6	8.7	0.4
		D層	29.4	17.8	19.7	10.3	6.2	3.5	5.4	1.3
		A-D								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
78	総合的な学習の時間では、課題を設定し、その解決に向けて集めた情報をもとに考えたり、まとめたり表現したりしている。	全体		28.2	49.3	19.5	2.9	0.1
		A層	88.4	41.0	47.4	10.7	0.9	0.0
		B層	82.0	32.3	49.7	16.3	1.7	0.0
		C層	75.5	22.4	53.0	21.6	2.9	0.2
		D層	64.4	17.3	46.9	29.4	6.1	0.4
		A-D層	24.0					
79	総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。	全体		28.0	43.8	23.8	4.4	0.1
		A層	77.0	32.3	44.7	20.0	3.0	0.0
		B層	72.6	29.7	42.8	24.1	3.3	0.0
		C層	70.4	26.2	44.1	25.1	4.5	0.1
		D層	67.2	23.5	43.4	25.9	6.8	0.3
		A-D層	9.8					
80	総合的な学習の時間では、地域や社会に向けての行動や発信をしている。	全体		20.4	42.2	30.3	7.0	0.1
		A層	66.2	23.9	42.3	26.7	7.1	0.0
		B層	63.6	21.6	42.0	30.2	6.2	0.0
		C層	62.6	18.5	44.0	31.2	6.2	0.0
		D層	58.2	17.6	40.4	33.2	8.4	0.4
		A-D層	8.0					
81	総合的な学習の時間で学んだことは自分の将来の役に立つと思う。	全体		64.3	26.3	7.2	2.0	0.1
		A層	92.3	67.5	24.8	6.4	1.3	0.0
		B層	91.7	67.3	24.4	6.8	1.5	0.0
		C層	91.9	64.3	27.5	6.2	1.9	0.1
		D層	87.0	58.3	28.4	9.5	3.5	0.3
		A-D層	5.3					

意識調査の結果一覧【小6】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
1	理解度・国語	全体		34.9	54.1	9.6	1.0	0.4
		A層	97.3	62.6	34.4	2.5	0.2	0.2
		B層	94.1	39.9	53.7	5.4	0.4	0.5
		C層	89.5	23.9	65.3	9.8	0.7	0.3
		D層	77.0	13.6	62.9	20.3	2.6	0.6
		A-D層	20.3					
2	理解度・社会	全体		42.7	46.0	9.7	1.1	0.4
		A層	96.5	65.0	31.2	3.3	0.2	0.2
		B層	91.6	43.4	47.8	7.6	0.7	0.5
		C層	88.3	36.0	52.0	10.7	0.9	0.4
		D層	80.6	27.0	53.1	16.6	2.7	0.6
		A-D層	15.9					
3	理解度・数学（算数）	全体		42.2	35.4	18.5	3.4	0.4
		A層	97.4	79.3	17.9	2.5	0.1	0.2
		B層	89.4	51.2	37.7	9.8	0.8	0.5
		C層	75.0	26.5	48.3	22.3	2.5	0.3
		D層	50.3	12.3	37.7	39.3	10.1	0.6
		A-D層	47.1					
4	理解度・理科	全体		43.9	44.8	9.8	1.1	0.4
		A層	95.7	63.5	32.0	4.0	0.4	0.2
		B層	89.8	45.3	44.0	9.4	0.8	0.5
		C層	87.7	37.1	50.2	11.4	0.9	0.3
		D層	83.5	30.0	53.0	14.3	2.2	0.6
		A-D層	12.2					
5	理解度・音楽	全体		46.0	38.4	12.3	2.9	0.4
		A層	87.2	51.3	35.7	10.8	2.0	0.2
		B層	86.0	48.3	37.2	12.1	1.9	0.5
		C層	84.6	44.8	39.6	12.7	2.6	0.3
		D層	81.3	39.8	41.0	13.5	5.1	0.6
		A-D層	5.9					
6	理解度・図画工作・美術	全体		59.8	32.4	6.2	1.2	0.4
		A層	92.0	55.9	35.9	7.3	0.6	0.2
		B層	92.8	61.2	31.1	6.0	1.2	0.5
		C層	93.4	61.2	31.9	5.4	1.2	0.3
		D層	92.3	61.3	30.5	6.1	1.6	0.6
		A-D層	-0.3					
7	理解度・保健体育	全体		57.9	31.7	8.2	1.7	0.4
		A層	88.4	53.9	34.3	9.6	1.9	0.2
		B層	90.0	58.4	31.1	8.4	1.5	0.5
		C層	90.9	58.8	31.8	7.5	1.5	0.3
		D層	90.7	60.6	29.6	7.2	2.0	0.6
		A-D層	-2.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
8	理解度・家庭	全体		47.1	41.8	9.3	1.4	0.4
		A層	90.4	51.6	38.6	8.5	1.2	0.2
		B層	91.0	49.9	40.6	7.9	1.1	0.5
		C層	90.9	46.5	44.0	8.1	1.0	0.4
		D層	85.2	40.8	43.9	12.5	2.2	0.6
		A-D層	5.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
9	好感度・国語	全体		17.5	43.9	28.5	9.6	0.4
		A層	73.2	28.2	44.8	20.9	5.8	0.2
		B層	64.8	18.7	45.8	27.5	7.6	0.5
		C層	57.7	13.1	44.3	31.8	10.4	0.4
		D層	51.3	10.0	41.0	33.9	14.5	0.6
		A-D層	21.9					
10	好感度・社会	全体		31.4	37.7	21.7	8.8	0.4
		A層	78.7	42.7	35.9	15.6	5.6	0.2
		B層	69.8	31.3	38.1	21.7	8.4	0.5
		C層	67.0	28.3	38.5	23.7	9.2	0.3
		D層	62.3	23.7	38.2	25.5	11.9	0.6
		A-D層	16.4					
11	好感度・数学（算数）	全体		31.8	29.0	22.0	16.8	0.4
		A層	83.8	54.3	29.2	11.2	5.0	0.2
		B層	68.8	36.4	32.0	19.5	11.6	0.5
		C層	53.9	23.6	30.1	26.9	19.0	0.3
		D層	37.8	12.9	24.7	30.3	31.5	0.6
		A-D層	46.0					
12	好感度・理科	全体		37.2	39.4	16.8	6.2	0.4
		A層	82.4	46.6	35.7	12.6	5.0	0.2
		B層	75.8	37.1	38.3	18.2	5.9	0.5
		C層	75.4	34.3	40.9	18.1	6.3	0.3
		D層	74.2	30.9	42.8	18.1	7.5	0.6
		A-D層	8.2					
13	好感度・音楽	全体		39.0	36.1	15.6	8.9	0.4
		A層	78.2	42.9	35.1	13.7	8.0	0.2
		B層	76.9	39.5	37.0	14.7	8.2	0.5
		C層	75.4	38.7	36.5	16.2	8.3	0.3
		D層	71.4	35.1	35.8	17.4	11.0	0.7
		A-D層	6.8					
14	好感度・図画工作・美術	全体		59.5	26.4	9.4	4.3	0.4
		A層	83.5	54.5	28.9	11.5	4.9	0.2
		B層	85.7	58.8	26.4	9.3	5.0	0.5
		C層	88.1	62.0	25.8	8.2	3.6	0.3
		D層	87.8	62.8	24.5	8.4	3.7	0.6
		A-D層	-4.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
15	好感度・保健体育	全体		58.9	24.0	10.3	6.3	0.4
		A層	79.9	52.9	26.8	11.9	8.1	0.2
		B層	82.7	58.3	23.9	10.8	6.4	0.5
		C層	84.3	60.4	23.6	10.0	5.7	0.4
		D層	86.4	64.2	21.7	8.5	5.0	0.6
		A-D層	-6.5					
16	好感度・家庭	全体		47.5	36.7	11.8	3.7	0.4
		A層	85.2	49.8	35.2	11.1	3.7	0.2
		B層	86.1	49.5	36.2	10.3	3.5	0.5
		C層	86.0	47.6	38.1	10.9	3.0	0.3
		D層	81.0	43.2	37.2	14.5	4.4	0.7
		A-D層	4.2					
17	好感度・英語	全体		31.2	36.9	20.4	11.0	0.4
		A層	72.7	34.5	38.1	17.8	9.4	0.2
		B層	72.2	34.1	37.7	18.4	9.3	0.5
		C層	68.7	30.1	38.4	20.7	10.5	0.3
		D層	60.2	26.0	33.8	24.7	14.8	0.6
		A-D層	12.5					
18	好感度・総合的な学習の時間・生活	全体		30.6	47.4	17.0	4.6	0.4
		A層	79.0	33.4	45.5	16.1	4.8	0.2
		B層	80.6	32.3	47.9	15.0	4.3	0.5
		C層	79.2	30.3	48.6	16.9	3.8	0.3
		D層	74.5	26.6	47.5	19.9	5.4	0.6
		A-D層	4.5					
19	好感度・道徳	全体		30.5	44.6	17.6	7.0	0.4
		A層	70.7	26.0	44.6	20.5	8.7	0.2
		B層	77.7	30.6	46.6	15.4	6.8	0.5
		C層	78.0	32.9	44.8	16.6	5.3	0.4
		D層	75.2	32.5	42.3	17.6	7.0	0.6
		A-D層	-4.5					
20	好感度・学級活動	全体		54.6	34.2	8.1	2.7	0.4
		A層	92.2	60.1	31.8	5.8	2.0	0.2
		B層	91.3	58.5	32.3	6.4	2.3	0.6
		C層	89.8	53.8	35.7	7.9	2.2	0.3
		D層	83.6	46.2	36.9	12.2	4.1	0.6
		A-D層	8.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
21	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典やGIGA端末などで調べるようにしている。	全体		31.3	43.9	20.0	4.5	0.4
		A層	78.3	36.3	41.8	17.9	3.8	0.2
		B層	77.9	32.6	44.9	18.8	3.2	0.5
		C層	76.2	30.2	45.7	20.2	3.5	0.3
		D層	69.7	26.2	43.1	23.0	7.0	0.6
		A-D層	8.6					
22	国語の授業で、ペアやグループ、全体で話しあったことを、よりよい自分の考えにつなげている。	全体		34.9	45.2	16.7	2.8	0.4
		A層	88.2	47.5	40.5	10.5	1.3	0.2
		B層	85.4	38.8	46.2	13.1	1.4	0.5
		C層	79.7	31.2	48.3	17.9	2.3	0.4
		D層	68.8	22.5	45.8	25.0	6.0	0.6
		A-D層	19.4					
23	数学（算数）の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。	全体		33.4	37.6	23.3	5.3	0.4
		A層	92.0	61.2	30.6	7.3	0.7	0.2
		B層	80.1	38.3	41.4	17.8	1.9	0.5
		C層	66.8	22.5	44.0	28.6	4.5	0.3
		D層	46.9	12.0	34.6	39.1	13.7	0.6
		A-D層	45.1					
24	数学（算数）の授業で、ペアやグループ、全体で考えを伝えあったり、問題を解決したりしている。	全体		37.3	42.3	16.3	3.6	0.4
		A層	88.3	51.2	36.9	10.2	1.5	0.2
		B層	85.1	41.5	43.2	12.9	1.9	0.5
		C層	80.6	34.0	46.3	16.9	2.4	0.3
		D層	66.2	22.9	42.9	25.2	8.4	0.6
		A-D層	22.1					
25	社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。	全体		46.3	39.7	11.8	1.8	0.4
		A層	94.2	61.4	32.6	5.0	0.7	0.2
		B層	91.0	51.3	39.3	8.0	0.9	0.5
		C層	85.8	42.3	43.2	13.0	1.1	0.3
		D層	74.8	30.3	44.0	20.6	4.4	0.6
		A-D層	19.4					
26	社会の授業で学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。	全体		35.6	43.5	17.6	2.9	0.4
		A層	88.3	47.5	40.6	10.1	1.5	0.2
		B層	82.5	38.7	43.4	15.3	2.1	0.5
		C層	78.2	33.2	44.7	19.8	2.0	0.3
		D層	69.1	23.3	45.4	24.9	5.7	0.6
		A-D層	19.2					
27	理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。	全体		49.9	37.4	10.5	1.8	0.4
		A層	94.1	65.4	28.5	5.1	0.8	0.2
		B層	90.6	53.5	36.7	8.2	1.2	0.5
		C層	87.5	46.1	41.1	11.2	1.3	0.3
		D層	78.8	35.1	43.2	17.2	3.9	0.6
		A-D層	15.3					
28	理科の授業で、実験や観察調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話しあったりまとめたりしている。	全体		33.2	43.5	19.4	3.5	0.4
		A層	85.0	43.5	41.3	13.3	1.7	0.2
		B層	81.1	35.1	45.6	16.2	2.6	0.5
		C層	75.2	30.0	45.0	21.8	2.9	0.3
		D層	67.2	24.5	42.3	25.8	6.8	0.6
		A-D層	17.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
29	英語の授業で、例文などをそのまま言うのではなく、自分の考えや気持ちを英語で伝えている。	全体		26.2	36.8	27.2	9.3	0.5
		A層	71.0	32.7	38.1	22.6	6.3	0.3
		B層	68.3	30.3	37.6	24.9	6.6	0.6
		C層	63.3	24.1	39.0	27.9	8.7	0.4
		D層	50.9	17.9	32.6	33.5	15.3	0.7
		A-D層	20.1					
30	英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友だちの意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている。	全体		30.1	43.0	19.8	5.4	1.7
		A層	77.5	34.2	42.7	17.7	4.6	0.8
		B層	77.8	32.9	43.5	18.0	3.9	1.8
		C層	75.1	29.4	44.2	19.6	4.8	1.9
		D層	67.4	23.9	42.0	23.5	8.3	2.4
		A-D層	10.1					
31	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。	全体		41.1	39.8	16.0	2.7	0.4
		A層	85.0	46.4	38.5	13.3	1.6	0.2
		B層	83.5	43.4	39.7	14.5	1.9	0.5
		C層	81.0	40.0	40.6	16.1	2.9	0.4
		D層	75.3	34.7	40.1	20.2	4.4	0.6
		A-D層	9.7					
32	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	全体		58.1	30.5	8.5	2.5	0.4
		A層	92.3	65.3	26.8	6.3	1.4	0.2
		B層	90.4	61.2	28.8	7.8	1.7	0.5
		C層	89.3	55.4	33.5	8.4	2.3	0.4
		D層	84.2	50.6	33.0	11.3	4.5	0.6
		A-D層	8.1					
33	学校に行くのが楽しい。	全体		46.0	36.2	12.7	5.0	0.2
		A層	85.2	50.5	34.7	10.4	4.4	0.1
		B層	85.3	49.5	35.8	10.9	3.8	0.0
		C層	82.4	44.5	37.9	13.7	3.9	0.1
		D層	76.6	39.9	36.3	15.7	7.6	0.4
		A-D層	8.6					
34	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	全体		66.7	25.6	5.9	1.4	0.4
		A層	95.4	72.7	22.5	3.6	1.0	0.2
		B層	94.6	70.6	23.5	4.4	1.0	0.5
		C層	93.4	66.7	26.4	5.6	1.0	0.3
		D層	87.4	56.9	30.0	9.9	2.6	0.6
		A-D層	8.0					
35	新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。	全体		33.0	47.7	16.3	2.6	0.4
		A層	89.0	43.7	45.2	9.9	1.0	0.2
		B層	85.5	36.0	49.0	12.9	1.6	0.5
		C層	80.1	29.4	50.4	17.6	2.2	0.3
		D層	69.8	23.2	46.1	24.5	5.5	0.6
		A-D層	19.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
36	授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	全体		30.7	43.7	20.8	4.3	0.4
		A層	89.7	50.2	39.3	9.0	1.3	0.2
		B層	79.6	33.3	45.9	17.8	2.5	0.5
		C層	70.3	22.9	47.1	25.5	4.1	0.3
		D層	59.7	16.7	42.6	30.7	9.4	0.6
		A-D層	30.0					
37	授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている。	全体		25.1	44.2	24.9	5.4	0.4
		A層	77.2	33.3	43.7	18.8	3.9	0.2
		B層	72.5	26.9	45.3	23.3	4.1	0.5
		C層	67.8	22.3	45.3	27.1	5.0	0.3
		D層	61.2	18.0	42.8	29.8	8.7	0.7
		A-D層	16.0					
38	学習した内容について、何がまだ理解できていないか、わかっている。	全体		39.6	42.9	14.3	3.1	0.2
		A層	87.4	47.7	39.7	10.8	1.7	0.0
		B層	85.9	42.7	43.2	12.2	1.9	0.0
		C層	83.2	37.1	46.0	14.3	2.5	0.2
		D層	74.1	31.0	42.7	19.9	5.9	0.4
		A-D層	13.3					
39	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	全体		27.5	46.0	21.8	4.2	0.4
		A層	86.4	40.2	46.0	12.0	1.6	0.2
		B層	78.0	29.8	47.8	19.1	2.8	0.5
		C層	70.5	22.3	47.9	25.6	3.8	0.3
		D層	61.0	18.0	42.6	30.3	8.5	0.6
		A-D層	25.4					
40	学習するとき、筋道を立てて、ものごとを考えている。	全体		32.2	45.0	19.2	3.3	0.4
		A層	90.3	50.5	39.6	8.7	0.9	0.2
		B層	83.3	36.7	46.2	14.9	1.8	0.5
		C層	73.7	24.4	49.1	23.0	3.2	0.3
		D層	62.9	17.5	45.0	29.9	7.0	0.6
		A-D層	27.4					
41	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えている。	全体		30.9	45.5	19.3	3.9	0.4
		A層	85.2	43.0	42.1	12.9	1.8	0.2
		B層	81.5	33.1	48.0	15.7	2.6	0.5
		C層	75.3	25.9	49.1	20.8	3.8	0.3
		D層	65.2	21.6	43.1	27.5	7.1	0.7
		A-D層	20.0					
42	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	全体		31.6	42.4	21.7	4.1	0.2
		A層	79.3	36.9	42.4	18.4	2.3	0.0
		B層	77.0	32.9	44.0	19.6	3.4	0.0
		C層	72.4	30.4	41.9	23.3	4.2	0.1
		D層	68.0	26.5	41.2	25.2	6.6	0.5
		A-D層	11.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
43	ふだんから新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	全体		34.7	40.3	20.8	3.7	0.4
		A層	83.0	43.6	39.3	15.0	2.0	0.2
		B層	79.5	38.5	40.6	18.0	2.4	0.5
		C層	73.9	31.5	42.2	22.2	3.8	0.4
		D層	65.3	25.6	39.3	27.8	6.7	0.6
		A-D層	17.7					
44	自分と違う意見も尊重している。	全体		57.2	34.0	7.1	1.5	0.2
		A層	95.6	66.1	29.4	3.8	0.7	0.1
		B層	94.6	64.3	30.3	4.6	0.8	0.0
		C層	92.4	56.3	35.9	6.6	1.0	0.2
		D層	83.2	42.3	40.5	13.3	3.4	0.5
		A-D層	12.4					
45	自分で学習の計画を立てている。	全体		23.9	39.8	28.3	7.0	1.0
		A層	74.6	33.9	40.2	21.4	3.9	0.6
		B層	68.1	24.4	42.8	26.1	5.3	1.3
		C層	63.5	21.2	41.7	29.6	6.6	0.8
		D層	51.5	16.0	34.8	35.7	12.2	1.3
		A-D層	23.1					
46	自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話しあったり、活動したりしている。	全体		26.9	46.7	22.5	3.5	0.4
		A層	78.1	34.0	43.9	19.5	2.4	0.2
		B層	76.9	29.0	47.5	20.3	2.7	0.5
		C層	74.0	24.4	49.4	23.1	2.7	0.3
		D層	66.8	20.3	46.1	26.9	6.1	0.6
		A-D層	11.3					
47	話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	全体		27.4	34.2	29.3	8.6	0.4
		A層	70.3	37.9	32.3	23.5	6.1	0.2
		B層	65.0	30.9	33.8	27.7	7.2	0.5
		C層	59.1	22.7	36.2	31.5	9.2	0.3
		D層	53.5	18.5	34.6	34.3	11.9	0.6
		A-D層	16.8					
48	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートやGIGA端末などに記録している。	全体		32.0	36.5	23.7	7.4	0.4
		A層	71.4	35.8	35.5	21.9	6.6	0.2
		B層	72.4	35.5	36.5	22.0	5.5	0.5
		C層	69.2	31.6	37.4	23.9	6.8	0.3
		D層	62.3	25.1	36.8	26.8	10.6	0.6
		A-D層	9.1					
49	一度考えた後、かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	全体		26.1	46.4	22.5	4.6	0.4
		A層	78.1	32.8	45.1	18.8	3.0	0.2
		B層	76.3	27.4	48.5	20.1	3.6	0.5
		C層	72.0	24.6	47.1	23.8	4.2	0.3
		D層	65.1	19.8	44.9	27.2	7.5	0.6
		A-D層	13.0					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
50	それぞれの授業のめあてを意識して取り組んでいる。	全体		33.7	45.3	17.6	3.2	0.2
		A層	82.5	39.0	43.4	14.7	2.8	0.0
		B層	83.6	36.8	46.8	14.3	2.1	0.0
		C層	80.1	33.0	47.0	17.5	2.4	0.1
		D層	70.7	26.1	44.2	23.7	5.4	0.6
		A-D層	11.8					
51	目標に向けて、ふだんからこつこつと学習している。	全体		29.4	39.6	24.5	6.1	0.5
		A層	82.6	45.0	37.4	14.3	3.0	0.2
		B層	72.6	30.7	41.5	22.8	4.4	0.5
		C層	64.9	23.2	41.4	28.8	6.2	0.4
		D層	57.4	19.0	38.0	31.7	10.6	0.7
		A-D層	25.2					
52	調べてわかったことをもとに、自分の考えをまとめている。	全体		36.4	43.1	16.9	3.1	0.5
		A層	90.4	51.6	38.6	8.4	1.2	0.2
		B層	85.8	40.6	44.8	12.7	1.4	0.5
		C層	77.6	29.9	47.4	19.6	2.7	0.4
		D層	66.4	23.9	42.0	26.3	7.0	0.8
		A-D層	24.0					
53	友だちの話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している。	全体		29.6	37.2	25.3	7.5	0.5
		A層	74.1	38.4	35.6	20.4	5.5	0.2
		B層	70.5	32.2	37.9	23.4	5.9	0.5
		C層	65.8	27.0	38.6	26.6	7.4	0.4
		D層	58.2	21.1	36.6	30.4	11.0	0.8
		A-D層	15.9					
54	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	全体		49.8	37.5	9.9	2.5	0.2
		A層	91.8	52.7	39.1	7.1	1.0	0.1
		B層	89.9	54.5	35.4	8.5	1.6	0.0
		C層	87.8	49.5	38.2	9.8	2.4	0.1
		D層	80.8	42.9	37.3	14.1	5.0	0.7
		A-D層	11.0					
55	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	全体		40.8	41.9	13.6	3.1	0.5
		A層	84.3	41.5	42.7	12.8	2.8	0.2
		B層	84.3	42.2	41.7	13.1	2.5	0.5
		C層	83.9	41.0	42.6	13.2	2.8	0.3
		D層	80.4	38.9	40.8	15.2	4.3	0.8
		A-D層	3.9					
56	学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	全体		44.5	38.6	12.3	4.0	0.5
		A層	85.6	46.8	38.5	10.5	3.9	0.3
		B層	85.6	46.2	38.9	11.2	3.1	0.6
		C層	83.2	43.3	39.6	13.0	3.6	0.4
		D層	80.2	41.7	37.8	14.4	5.2	0.9
		A-D層	5.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							
				0さつ	1、2さつ	3、4さつ	5、6さつ	7、8さつ	9、10さつ	11さつ以上	その他無回答
57	この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（教科書や参考書、マンガは数にいれません。）	全体		28.0	31.4	15.4	8.7	5.0	2.4	8.5	0.7
		A層		14.6	27.1	17.6	11.8	8.3	4.0	16.3	0.3
		B層		23.8	32.3	16.5	10.4	5.2	2.6	8.5	0.7
		C層		30.0	35.2	15.3	7.2	3.9	2.2	5.6	0.6
		D層		43.1	31.0	12.2	5.3	2.5	1.0	3.8	1.1
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上	その他無回答
58	学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい学習していますか。	全体		13.1	19.2	15.4	12.3	8.7	6.9	24.0	0.6
		A層		3.0	7.2	8.6	8.1	8.0	7.8	57.1	0.3
		B層		8.8	16.4	16.4	14.1	11.1	8.7	23.8	0.6
		C層		14.6	23.7	17.9	15.3	9.6	7.6	10.7	0.4
		D層		25.3	29.2	18.7	11.6	6.3	3.4	4.5	1.0
		A-D層									
59	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい学習していますか。	全体		25.3	23.6	14.9	7.8	5.1	3.5	19.1	0.6
		A層		7.3	10.6	11.3	7.2	5.8	5.3	52.3	0.3
		B層		19.4	24.4	18.1	10.3	7.1	4.2	16.0	0.6
		C層		31.1	30.3	16.1	8.0	5.1	3.3	5.6	0.5
		D層		42.8	28.9	14.4	5.9	2.7	1.4	2.9	1.0
		A-D層									
60	学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲーム（テレビゲーム、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）や、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	全体		10.3	11.6	16.3	14.5	13.9	8.5	24.0	0.7
		A層		18.8	19.3	21.1	14.4	10.1	6.5	9.4	0.3
		B層		10.2	11.8	16.9	16.1	16.2	8.1	19.9	0.8
		C層		6.7	7.6	15.0	15.0	16.4	9.7	29.1	0.6
		D層		5.7	7.8	12.4	12.6	13.1	9.8	37.3	1.3
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
61	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	全体		40.5	36.4	16.4	6.1	0.7
		A層	74.4	38.8	35.4	18.8	6.8	0.2
		B層	79.3	42.6	36.1	15.4	5.2	0.8
		C層	80.0	42.3	37.2	14.8	5.1	0.5
		D層	76.0	38.2	37.0	16.5	7.2	1.1
		A-D層	-1.6					
62	朝食は毎日食べている。	全体		77.3	12.6	6.2	3.2	0.6
		A層	94.3	84.4	9.6	4.3	1.4	0.2
		B層	94.1	82.7	10.7	4.2	1.7	0.7
		C層	90.6	76.5	13.7	6.6	2.8	0.5
		D層	83.3	66.2	16.2	9.8	6.7	1.1
		A-D層	11.0					
63	学習することが、すきである。	全体		17.6	50.1	25.1	6.9	0.3
		A層	81.2	30.2	50.9	15.5	3.2	0.2
		B層	72.0	19.2	52.5	22.5	5.4	0.5
		C層	63.9	12.4	51.3	28.7	7.4	0.2
		D層	54.8	8.5	46.1	33.5	11.5	0.3
		A-D層	26.4					
64	学習することは、大切である。	全体		73.8	22.7	2.5	0.8	0.3
		A層	98.6	82.6	15.9	0.9	0.4	0.2
		B層	97.9	77.3	20.2	1.7	0.4	0.5
		C層	97.1	72.8	24.1	2.4	0.5	0.2
		D層	93.4	62.8	30.4	4.9	1.7	0.3
		A-D層	5.2					
65	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	全体		22.5	49.9	23.9	3.4	0.3
		A層	85.6	35.7	49.7	12.8	1.5	0.2
		B層	77.4	24.8	52.3	20.3	2.2	0.5
		C層	69.2	17.5	51.6	27.8	2.9	0.2
		D層	58.3	12.3	45.8	34.6	7.1	0.3
		A-D層	27.3					
66	授業で安心して自分の意見を言うことができる。	全体		30.0	33.0	28.9	7.9	0.3
		A層	75.5	42.9	32.5	20.8	3.7	0.2
		B層	68.5	34.1	34.2	25.9	5.4	0.5
		C層	58.8	23.9	34.8	32.3	8.7	0.2
		D層	50.1	19.3	30.6	36.2	13.6	0.3
		A-D層	25.4					
67	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思う。	全体		65.1	27.3	5.9	1.4	0.3
		A層	93.0	66.1	26.7	6.0	0.9	0.2
		B層	94.8	70.0	24.4	4.3	0.8	0.5
		C層	94.1	66.9	27.0	4.8	1.0	0.2
		D層	89.0	57.8	30.9	8.3	2.7	0.3
		A-D層	4.0					
68	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	全体		60.6	29.6	7.7	2.0	0.0
		A層	90.8	62.4	28.5	7.7	1.4	0.0
		B層	91.4	63.1	28.3	6.7	1.9	0.0
		C層	91.0	60.4	30.6	7.3	1.7	0.0
		D層	88.1	57.0	30.9	9.1	2.8	0.1
		A-D層	2.7					
69	将来の夢や目標を持っている。	全体		57.2	22.4	13.6	6.4	0.3
		A層	77.9	53.9	23.8	16.4	5.7	0.2
		B層	79.5	57.2	21.9	13.6	6.9	0.5
		C層	81.1	58.5	22.4	12.9	5.9	0.3
		D層	81.5	59.5	21.8	11.5	7.0	0.3
		A-D層	-3.6					
70	人の役に立つ人間になりたいと思う。	全体		70.5	25.1	3.4	0.9	0.1
		A層	96.8	74.2	22.6	2.7	0.5	0.0
		B層	96.9	73.8	23.1	2.6	0.5	0.0
		C層	96.4	72.0	24.4	3.1	0.5	0.0
		D層	92.6	62.1	30.3	5.3	2.0	0.2
		A-D層	4.2					
71	人が困っているときは、進んで助けている。	全体		46.3	44.6	7.9	0.9	0.3
		A層	91.6	43.1	48.3	7.6	0.7	0.2
		B層	92.5	46.8	45.3	6.9	0.5	0.5
		C層	92.2	47.9	44.1	7.0	0.8	0.2
		D層	88.6	47.5	40.8	9.8	1.6	0.4
		A-D層	3.0					
72	自分には、よいところがあると思う。	全体		38.9	40.8	15.1	5.2	0.1
		A層	82.4	42.2	40.2	13.0	4.6	0.0
		B層	82.0	42.6	39.4	13.9	4.1	0.0
		C層	79.9	37.8	42.0	15.5	4.6	0.0
		D層	74.7	33.2	41.4	17.8	7.5	0.2
		A-D層	7.7					
73	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	全体		29.5	34.3	25.5	10.4	0.3
		A層	64.7	29.4	35.2	27.4	7.8	0.2
		B層	65.3	29.9	35.1	25.4	9.1	0.5
		C層	64.1	29.0	35.0	24.8	11.0	0.3
		D層	61.8	29.6	31.9	24.4	13.7	0.3
		A-D層	2.9					
74	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。	全体		47.8	34.8	12.8	4.2	0.3
		A層	84.8	49.2	35.5	11.9	3.3	0.2
		B層	84.0	50.1	33.5	12.5	3.4	0.5
		C層	84.0	49.0	34.8	11.7	4.2	0.2
		D層	79.0	43.3	35.4	15.2	5.7	0.3
		A-D層	5.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
75	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	全体		49.3	39.0	9.2	2.2	0.3
		A層	91.5	54.3	37.0	6.9	1.6	0.2
		B層	90.5	52.7	37.4	7.8	1.6	0.5
		C層	89.0	49.1	39.7	9.3	1.7	0.2
		D層	83.5	41.3	41.9	12.6	3.9	0.3
		A-D層	8.0					
76	自分の住んでいる町がすきである。	全体		63.8	26.7	6.9	2.6	0.1
		A層	90.0	61.9	28.1	7.2	2.7	0.1
		B層	92.0	64.9	27.1	5.6	2.4	0.0
		C層	91.4	64.9	26.5	6.8	1.8	0.0
		D層	88.6	63.4	25.0	8.0	3.3	0.2
		A-D層	1.4					
77	今、住んでいる地域の行事に参加している。	全体		20.0	33.8	31.4	14.4	0.4
		A層	51.2	18.9	32.2	33.6	15.0	0.2
		B層	58.7	22.9	35.5	28.9	12.1	0.6
		C層	56.5	20.6	35.8	31.1	12.3	0.2
		D層	50.1	17.9	32.1	31.7	17.9	0.4
		A-D層	1.1					
78	地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。	全体		26.3	43.9	24.0	5.6	0.1
		A層	72.2	28.9	43.3	22.6	5.2	0.1
		B層	73.2	27.5	45.6	21.7	5.1	0.2
		C層	71.1	26.1	45.0	24.6	4.3	0.1
		D層	65.0	22.9	41.9	27.2	7.7	0.3
		A-D層	7.2					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）					
			ほぼ毎日（ほぼすべての学習活動）	ほぼ毎日（一部の学習活動）	週３回以上	週１回以上	週１回より少ない	その他無回答
79	前の学年までに受けた授業で、GIGA端末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	全体	16.7	33.7	29.0	15.6	4.6	0.4
		A層	17.2	36.2	30.4	13.5	2.6	0.2
		B層	17.0	34.2	28.6	15.3	4.4	0.5
		C層	15.5	33.2	29.6	16.3	5.1	0.3
		D層	17.1	31.6	27.4	17.1	6.3	0.5
		A-D層						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
80	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	全体		65.4	28.8	4.5	0.9	0.4
		A層	94.8	64.9	29.6	4.1	1.1	0.2
		B層	95.4	67.2	27.7	3.8	0.8	0.6
		C層	95.6	66.2	29.2	3.8	0.6	0.2
		D層	92.6	63.7	28.6	6.3	1.1	0.4
		A-D層	2.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
81	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		36.4	46.6	14.3	2.2	0.5
		A層	87.8	44.3	43.1	10.8	1.4	0.3
		B層	86.9	39.5	46.8	11.3	1.7	0.7
		C層	83.2	33.6	49.2	15.0	1.7	0.4
		D層	76.1	28.4	47.3	19.8	4.0	0.5
		A-D層	11.7					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）							
			友だちとの会話	先生との会話	先生のみんなへの指示や説明	教科書や資料集	黒板	GIGAたん末で見る友だちの考え	GIGAたん末で見るインターネットなどの資料	その他無回答
82	次の中で、学習を進めたり、くわしく考えたりするのに最も便利だと感じるのはどの情報ですか。	全体	20.9	5.5	10.8	29.2	4.5	6.5	18.5	0.4
		A層	19.4	4.1	6.5	33.6	4.2	7.5	21.4	0.2
		B層	19.2	4.9	8.4	32.9	4.8	6.7	19.3	0.5
		C層	20.3	4.7	12.6	29.4	4.6	6.4	18.0	0.3
		D層	24.9	8.3	15.6	20.9	4.4	5.6	15.3	0.5
		A-D層								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
83	総合的な学習の時間では、課題を設定し、その解決に向けて集めた情報をもとに考えたり、まとめたり表現したりしている。	全体		28.7	52.2	16.6	2.2	0.4
		A層	91.4	41.7	49.5	8.0	0.7	0.2
		B層	86.0	33.5	52.1	12.6	1.3	0.5
		C層	80.5	24.5	55.7	18.0	1.5	0.3
		D層	67.2	15.4	51.5	27.6	5.1	0.4
		A-D層	24.2					
84	総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。	全体		25.4	43.5	26.5	4.3	0.4
		A層	69.8	28.0	41.7	26.9	3.2	0.2
		B層	70.5	27.3	42.8	25.5	3.9	0.5
		C層	70.0	25.5	44.4	26.5	3.4	0.3
		D層	66.2	21.0	44.9	27.3	6.3	0.5
		A-D層	3.6					
85	総合的な学習の時間では、地域や社会に向けての行動や発信をしている。	全体		20.1	42.8	30.4	6.3	0.3
		A層	67.4	25.8	41.6	27.0	5.5	0.2
		B層	67.1	21.9	44.9	27.6	5.1	0.5
		C層	62.1	17.6	44.4	32.5	5.2	0.3
		D層	56.1	15.3	40.5	34.4	9.3	0.4
		A-D層	11.3					
86	総合的な学習の時間で学んだことは自分の将来の役に立つと思う。	全体		55.9	32.5	8.9	2.4	0.4
		A層	88.2	55.8	32.1	9.4	2.4	0.2
		B層	90.6	59.0	31.1	7.8	1.5	0.5
		C層	89.5	56.5	32.8	8.5	2.0	0.3
		D層	86.6	52.4	33.8	9.8	3.6	0.5
		A-D層	1.6					

意識調査の結果一覧【中1】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
1	理解度・国語	全体		21.8	61.9	14.6	1.6	0.2
		A層	94.2	39.9	54.3	5.4	0.4	0.0
		B層	89.2	23.2	65.9	10.3	0.5	0.1
		C層	83.7	15.9	67.6	15.1	1.2	0.1
		D層	68.5	8.5	59.6	27.4	3.9	0.6
		A-D層	25.7					
2	理解度・社会	全体		25.9	51.0	20.4	2.5	0.2
		A層	86.5	38.2	48.2	12.4	1.1	0.0
		B層	79.8	26.6	53.1	19.1	1.2	0.1
		C層	74.5	22.3	52.1	22.9	2.6	0.1
		D層	67.7	16.8	50.5	27.3	4.8	0.6
		A-D層	18.8					
3	理解度・数学（算数）	全体		31.0	40.7	22.4	5.5	0.3
		A層	94.1	56.7	37.2	5.6	0.4	0.1
		B層	82.4	35.4	46.7	15.9	1.6	0.3
		C層	67.2	22.7	44.3	28.5	4.2	0.2
		D層	44.6	9.4	34.8	39.3	15.7	0.8
		A-D層	49.5					
4	理解度・理科	全体		23.4	52.9	20.8	2.6	0.3
		A層	87.0	36.9	50.0	12.1	0.9	0.1
		B層	78.5	23.8	54.7	20.3	1.2	0.0
		C層	73.7	19.2	54.5	23.0	3.2	0.1
		D層	67.1	14.1	52.4	27.9	4.7	0.9
		A-D層	19.9					
5	理解度・音楽	全体		33.3	45.5	17.3	3.6	0.3
		A層	84.3	42.2	42.0	13.7	1.9	0.2
		B層	81.1	36.5	44.3	16.3	2.6	0.2
		C層	78.5	30.7	47.7	17.8	3.7	0.1
		D層	72.6	23.9	48.2	21.3	5.9	0.7
		A-D層	11.7					
6	理解度・図画工作・美術	全体		43.9	42.9	10.9	2.1	0.3
		A層	87.2	44.3	42.7	11.3	1.5	0.1
		B層	87.9	44.7	43.1	10.2	1.9	0.1
		C層	89.0	45.8	43.0	9.2	1.8	0.2
		D層	83.9	40.7	42.6	12.7	3.3	0.8
		A-D層	3.3					
7	理解度・保健体育	全体		48.0	37.5	11.3	2.9	0.3
		A層	84.8	44.1	40.7	13.0	2.2	0.0
		B層	87.1	47.9	39.2	10.4	2.5	0.1
		C層	86.0	49.4	36.5	10.8	3.2	0.1
		D層	85.7	50.9	33.9	10.8	3.4	1.0
		A-D層	-0.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
8	理解度・技術	全体		13.6	37.5	29.4	13.9	5.5
		A層	58.7	17.5	37.5	25.5	13.1	6.3
		B層	56.4	14.2	38.7	27.6	13.3	6.2
		C層	52.3	11.7	37.9	30.8	14.5	5.1
		D層	49.3	11.3	35.8	33.9	14.6	4.4
		A-D層	9.4					
9	理解度・家庭	全体		29.2	51.8	16.1	2.6	0.3
		A層	88.1	37.8	50.2	10.5	1.5	0.1
		B層	84.0	29.4	54.7	14.2	1.8	0.0
		C層	80.9	28.3	52.5	16.9	2.2	0.2
		D層	72.1	21.5	50.0	22.8	4.9	0.8
		A-D層	16.0					
10	理解度・英語	全体		32.8	37.3	21.9	7.8	0.2
		A層	88.0	52.0	36.0	10.4	1.6	0.0
		B層	80.1	39.3	40.8	16.7	3.2	0.0
		C層	66.6	26.2	40.3	25.5	7.8	0.1
		D層	46.7	14.2	32.2	34.9	18.0	0.7
		A-D層	41.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
11	好感度・国語	全体		12.0	41.3	34.6	11.7	0.5
		A層	63.2	18.7	44.5	29.8	6.9	0.1
		B層	56.9	13.0	43.7	33.0	10.0	0.3
		C層	50.9	9.6	41.1	35.6	13.2	0.5
		D層	43.1	6.8	35.9	39.9	16.3	1.0
		A-D層	20.1					
12	好感度・社会	全体		28.6	34.8	25.0	11.3	0.3
		A層	71.3	36.9	34.3	21.3	7.4	0.0
		B層	65.1	31.0	33.9	24.8	10.0	0.3
		C層	60.6	24.9	35.6	26.0	13.3	0.2
		D層	57.4	21.6	35.4	27.9	14.4	0.6
		A-D層	13.9					
13	好感度・数学（算数）	全体		26.3	29.3	24.1	19.9	0.4
		A層	77.0	44.5	32.4	16.9	6.1	0.2
		B層	62.3	29.0	33.2	23.4	14.3	0.1
		C層	49.4	20.4	28.8	26.5	23.9	0.3
		D層	34.7	11.4	22.9	29.6	35.1	1.0
		A-D層	42.3					
14	好感度・理科	全体		24.5	39.7	25.1	10.5	0.3
		A層	73.5	32.8	40.6	19.8	6.8	0.1
		B層	67.4	24.4	42.9	23.5	9.1	0.1
		C層	59.0	22.0	36.9	28.2	12.7	0.3
		D層	57.4	18.4	38.5	29.0	13.3	0.8
		A-D層	16.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
15	好感度・音楽	全体		33.0	37.7	20.2	8.8	0.3
		A層	77.7	40.5	37.2	16.4	5.9	0.0
		B層	73.8	36.1	37.6	19.0	7.2	0.2
		C層	68.1	30.0	38.0	21.6	10.2	0.1
		D層	64.3	25.6	38.2	23.6	11.8	0.8
		A-D層	13.4					
16	好感度・図画工作・美術	全体		46.7	32.5	14.4	6.1	0.3
		A層	79.6	47.2	32.3	15.0	5.4	0.1
		B層	79.1	47.1	31.9	15.2	5.8	0.0
		C層	81.1	47.9	33.1	13.0	5.9	0.2
		D層	77.8	44.6	32.6	14.6	7.4	0.7
		A-D層	1.8					
17	好感度・保健体育	全体		52.2	25.7	13.0	8.8	0.4
		A層	74.6	46.5	28.1	15.7	9.6	0.0
		B層	78.2	51.3	26.8	13.0	8.7	0.1
		C層	79.7	53.6	25.9	12.2	8.0	0.3
		D層	80.3	57.6	21.8	10.9	8.7	1.0
		A-D層	-5.7					
18	好感度・技術	全体		16.4	41.4	27.4	10.3	4.6
		A層	68.4	20.0	45.0	21.5	8.6	4.9
		B層	62.4	16.8	42.8	26.9	9.0	4.4
		C層	57.7	15.1	39.9	28.6	11.7	4.8
		D層	53.6	13.6	37.7	32.7	11.8	4.2
		A-D層	14.8					
19	好感度・家庭	全体		26.9	42.9	23.2	6.6	0.3
		A層	76.6	33.0	43.6	19.1	4.3	0.0
		B層	72.1	26.8	45.2	21.9	6.0	0.2
		C層	68.6	25.7	42.7	24.2	7.1	0.3
		D層	62.8	21.8	40.5	27.8	9.2	0.7
		A-D層	13.8					
20	好感度・英語	全体		28.1	34.0	23.2	14.5	0.2
		A層	76.8	38.7	38.0	17.9	5.3	0.0
		B層	69.6	33.9	35.6	20.4	10.0	0.0
		C層	58.9	24.1	34.7	25.4	15.7	0.2
		D層	43.5	15.7	27.5	29.4	26.7	0.6
		A-D層	33.3					
21	好感度・総合的な学習の時間・生活	全体		23.3	50.4	20.9	5.1	0.3
		A層	75.2	26.1	49.0	19.9	4.9	0.1
		B層	75.6	23.3	52.2	19.9	4.5	0.0
		C層	75.2	23.6	51.4	19.8	4.9	0.2
		D層	69.7	20.1	49.1	24.1	6.0	0.7
		A-D層	5.5					
22	好感度・道徳	全体		22.7	48.1	21.4	7.5	0.3
		A層	69.3	21.6	47.7	23.1	7.6	0.1
		B層	73.3	22.8	50.5	20.3	6.5	0.0
		C層	72.7	25.1	47.6	20.0	7.3	0.1
		D層	68.8	21.5	46.7	22.6	8.4	0.8
		A-D層	0.5					
23	好感度・学級活動	全体		38.6	43.4	13.9	3.8	0.3
		A層	86.8	43.5	43.3	10.4	2.8	0.1
		B層	84.4	41.4	43.0	12.3	3.3	0.0
		C層	82.2	39.0	43.2	14.2	3.5	0.1
		D層	75.7	30.8	44.3	18.6	5.6	0.8
		A-D層	11.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
24	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典やGIGA端末などで調べるようにしている。	全体		32.8	44.4	18.8	3.7	0.3
		A層	82.7	40.0	42.6	14.8	2.5	0.1
		B層	79.1	32.2	46.7	18.1	2.8	0.1
		C層	77.2	33.5	43.6	19.3	3.4	0.2
		D層	71.1	25.7	44.8	22.8	5.9	0.8
		A-D層	11.6					
25	国語の授業で、ペアやグループ、全体で話しあったことを、よりよい自分の考えにつなげている。	全体		32.8	45.9	18.2	2.9	0.2
		A層	88.2	44.9	43.2	10.5	1.2	0.1
		B層	84.0	36.3	47.6	14.5	1.5	0.1
		C層	78.6	29.5	49.1	18.6	2.7	0.0
		D層	65.2	20.9	43.9	28.9	5.7	0.6
		A-D層	23.0					
26	数学（算数）の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。	全体		29.3	39.2	24.7	6.6	0.3
		A層	91.1	52.4	38.6	8.3	0.6	0.1
		B層	78.1	32.8	45.2	19.6	2.2	0.0
		C層	64.0	21.4	42.5	29.1	6.8	0.3
		D層	41.6	10.8	30.5	41.4	16.5	0.8
		A-D層	49.5					
27	数学（算数）の授業で、ペアやグループ、全体で考えを伝えあったり、問題を解決したりしている。	全体		33.6	43.0	19.1	4.0	0.3
		A層	88.3	47.3	40.9	10.7	1.0	0.2
		B層	82.9	38.0	44.9	15.3	1.8	0.0
		C層	75.4	30.4	44.9	21.2	3.3	0.1
		D層	60.8	19.2	41.1	29.2	9.8	0.7
		A-D層	27.5					
28	社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。	全体		41.8	42.4	13.3	2.3	0.3
		A層	93.1	55.9	37.0	6.2	0.6	0.2
		B層	89.7	45.1	44.5	9.6	0.6	0.1
		C層	83.8	39.0	44.7	14.1	2.1	0.1
		D層	71.4	27.5	43.4	22.7	5.6	0.7
		A-D層	21.7					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
29	社会の授業で学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。	全体		32.8	44.8	19.2	3.0	0.3
		A層	87.8	46.0	41.6	10.6	1.6	0.2
		B層	82.2	35.3	46.9	16.4	1.4	0.1
		C層	75.8	29.0	46.7	21.2	3.0	0.1
		D層	65.7	21.0	44.3	28.2	5.8	0.6
		A-D層	22.1					
30	理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。	全体		36.5	43.5	16.7	3.0	0.3
		A層	91.2	52.8	38.3	8.2	0.6	0.2
		B層	85.2	39.9	45.2	13.3	1.4	0.2
		C層	79.1	31.9	47.2	17.7	3.1	0.0
		D層	65.5	21.6	43.4	27.6	6.7	0.8
		A-D層	25.7					
31	理科の授業で、実験や観察調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話しあったりまとめたりしている。	全体		28.8	45.9	21.1	3.9	0.3
		A層	86.6	40.6	45.9	12.1	1.2	0.1
		B層	80.0	31.4	48.5	17.6	2.5	0.1
		C層	72.9	26.1	46.7	23.6	3.4	0.1
		D層	60.5	17.3	42.7	30.9	8.3	0.8
		A-D層	26.1					
32	英語の授業で、例文などをそのまま言うのではなく、自分の考えや気持ちを英語で伝えている。	全体		26.6	36.5	28.0	8.6	0.3
		A層	78.6	40.1	38.3	18.4	3.0	0.2
		B層	70.3	31.3	39.0	24.5	5.2	0.0
		C層	59.1	21.7	37.3	32.1	8.7	0.2
		D層	45.4	13.6	31.5	37.0	17.1	0.8
		A-D層	33.2					
33	英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友だちの意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている。	全体		28.8	42.2	22.4	6.3	0.3
		A層	78.7	37.8	40.9	18.3	2.9	0.1
		B層	77.5	33.9	43.4	18.4	4.1	0.1
		C層	71.4	26.0	45.3	22.6	5.9	0.2
		D層	57.5	17.6	39.5	30.3	11.8	0.8
		A-D層	21.2					
34	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。	全体		41.6	38.5	16.4	3.2	0.4
		A層	85.9	47.8	38.0	12.3	1.7	0.1
		B層	84.4	45.0	39.3	13.8	1.8	0.2
		C層	79.5	40.8	38.6	18.0	2.5	0.2
		D層	71.6	33.1	37.9	21.5	6.6	0.9
		A-D層	14.3					
35	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	全体		51.6	34.6	10.8	2.8	0.3
		A層	90.9	60.1	30.8	8.0	1.0	0.1
		B層	87.6	53.4	34.1	10.4	2.0	0.2
		C層	85.5	49.7	35.7	11.1	3.3	0.2
		D層	81.7	43.2	37.9	13.3	4.8	0.7
		A-D層	9.2					
36	学校に行くのが楽しい。	全体		42.9	39.5	13.1	4.1	0.4
		A層	86.8	47.7	39.0	10.5	2.7	0.1
		B層	82.7	42.8	39.6	13.6	3.6	0.3
		C層	83.1	41.4	41.5	12.8	4.1	0.3
		D層	78.7	40.0	38.1	15.5	5.7	0.8
		A-D層	8.1					
37	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	全体		66.9	26.1	5.6	1.1	0.4
		A層	95.9	73.1	22.7	3.7	0.4	0.1
		B層	94.3	69.7	24.4	5.2	0.5	0.2
		C層	94.0	66.2	27.7	5.0	0.9	0.2
		D層	89.0	58.7	29.6	8.3	2.6	0.9
		A-D層	6.9					
38	新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。	全体		31.4	49.4	16.5	2.4	0.4
		A層	89.0	41.2	47.6	10.0	0.9	0.2
		B層	85.3	33.6	51.5	13.5	1.2	0.2
		C層	79.2	27.9	51.1	18.3	2.5	0.2
		D層	71.2	23.1	47.4	23.8	4.6	1.0
		A-D層	17.8					
39	授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	全体		27.7	43.2	24.5	4.2	0.4
		A層	84.9	44.0	40.8	13.4	1.7	0.1
		B層	75.2	29.8	45.2	22.4	2.3	0.3
		C層	68.3	21.9	46.1	27.7	3.8	0.4
		D層	56.7	15.4	40.8	34.1	8.8	0.9
		A-D層	28.2					
40	授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている。	全体		24.0	43.3	27.0	5.3	0.4
		A層	76.3	31.3	44.9	20.9	2.8	0.2
		B層	72.2	26.0	46.0	24.2	3.5	0.2
		C層	65.3	21.4	43.7	28.5	6.1	0.3
		D層	56.8	17.6	38.7	34.0	8.7	0.9
		A-D層	19.5					
41	学習した内容について、何がまだ理解できていないか、わかっている。	全体		38.2	44.3	14.7	2.5	0.3
		A層	89.1	45.5	43.6	9.6	1.2	0.1
		B層	86.2	41.6	44.5	12.3	1.5	0.2
		C層	82.5	36.7	45.6	15.4	2.1	0.3
		D層	73.2	29.1	43.5	21.6	5.0	0.8
		A-D層	15.9					
42	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	全体		25.2	46.5	24.2	3.7	0.4
		A層	84.3	37.8	46.4	14.6	1.1	0.1
		B層	75.2	26.4	48.6	22.5	2.2	0.2
		C層	68.8	21.0	47.6	27.2	3.9	0.3
		D層	60.1	15.9	43.6	32.3	7.2	1.0
		A-D層	24.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
43	学習するとき、筋道を立てて、ものごとを考えている。	全体		17.5	45.1	32.2	4.7	0.4
		A層	75.4	26.3	49.1	21.8	2.7	0.1
		B層	66.2	18.9	47.1	30.3	3.4	0.2
		C層	59.7	14.0	45.5	35.6	4.5	0.3
		D層	50.3	11.0	38.8	41.0	8.1	1.1
		A-D層	25.1					
44	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えている。	全体		25.4	47.4	22.7	4.1	0.4
		A層	83.0	34.6	48.3	15.2	1.7	0.2
		B層	77.0	27.6	49.3	19.8	3.2	0.1
		C層	71.2	22.4	48.6	25.0	3.8	0.3
		D層	61.1	17.0	43.5	31.0	7.4	1.0
		A-D層	21.9					
45	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	全体		27.9	43.1	24.4	4.2	0.4
		A層	76.5	32.6	43.8	21.1	2.4	0.1
		B層	73.6	29.4	44.0	22.8	3.5	0.2
		C層	70.5	26.3	44.0	24.9	4.5	0.3
		D層	64.6	23.4	40.6	28.9	6.2	1.0
		A-D層	11.9					
46	ふだんから新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	全体		28.0	41.4	26.3	3.9	0.4
		A層	79.1	36.5	42.4	18.8	2.1	0.2
		B層	73.6	31.0	42.5	23.7	2.7	0.2
		C層	68.9	25.8	42.9	26.9	4.0	0.3
		D層	57.3	19.1	37.7	35.5	6.8	0.9
		A-D層	21.8					
47	自分と違う意見も尊重している。	全体		56.1	36.2	6.2	1.0	0.5
		A層	96.6	65.1	31.3	3.1	0.3	0.2
		B層	95.3	61.0	34.1	4.1	0.6	0.2
		C層	94.2	55.7	38.1	4.9	0.8	0.6
		D層	85.0	42.9	41.2	12.4	2.4	1.1
		A-D層	11.6					
48	自分で学習の計画を立てている。	全体		20.8	38.5	32.5	7.8	0.5
		A層	69.9	28.8	41.0	24.8	5.2	0.2
		B層	62.8	21.7	41.1	31.3	5.8	0.1
		C層	57.1	19.1	37.8	34.5	8.3	0.4
		D層	48.5	14.0	34.0	39.2	11.8	1.1
		A-D層	21.4					
49	自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話しあったり、活動したりしている。	全体		22.6	43.3	28.7	5.0	0.5
		A層	71.5	28.5	42.8	24.5	3.9	0.3
		B層	68.7	25.1	43.5	27.7	3.6	0.2
		C層	65.2	19.9	44.9	30.3	4.4	0.4
		D層	59.6	17.0	42.1	32.2	7.7	1.0
		A-D層	11.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
50	話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	全体		24.8	34.1	31.1	9.5	0.5
		A層	68.0	34.5	33.3	25.5	6.5	0.2
		B層	62.0	26.5	35.3	29.8	8.1	0.2
		C層	56.7	22.3	34.1	33.3	9.8	0.4
		D層	50.4	15.8	34.1	35.6	13.5	1.0
		A-D層	17.6					
51	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートやGIGA端末などに記録している。	全体		31.4	37.7	23.8	6.6	0.5
		A層	78.1	40.2	37.6	18.1	3.7	0.3
		B層	73.2	33.5	39.5	21.5	5.3	0.2
		C層	68.4	29.4	38.7	25.4	6.1	0.4
		D層	58.5	22.8	35.1	30.1	10.9	1.0
		A-D層	19.6					
52	一度考えた後、かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	全体		24.1	45.6	25.5	4.3	0.5
		A層	77.9	29.4	48.3	19.6	2.5	0.2
		B層	72.0	24.6	47.4	24.5	3.5	0.1
		C層	68.9	22.8	45.8	26.8	4.3	0.3
		D層	61.5	19.5	41.2	31.2	6.8	1.4
		A-D層	16.4					
53	それぞれの授業のめあてを意識して取り組んでいる。	全体		28.1	46.8	21.0	3.6	0.5
		A層	80.0	32.5	47.2	17.3	2.6	0.3
		B層	79.7	30.8	48.8	17.9	2.4	0.1
		C層	74.6	27.0	47.4	21.6	3.7	0.4
		D層	67.0	22.2	44.1	26.9	5.8	1.1
		A-D層	13.0					
54	目標に向けて、ふだんからこつこつと学習している。	全体		23.8	39.3	30.0	6.4	0.5
		A層	75.4	33.6	41.6	21.6	2.9	0.3
		B層	66.8	24.9	41.8	28.0	5.1	0.2
		C層	59.8	21.2	38.3	34.5	5.5	0.5
		D層	52.1	15.6	35.9	35.8	11.6	1.1
		A-D層	23.3					
55	調べてわかったことをもとに、自分の考えをまとめている。	全体		29.6	46.0	20.8	3.1	0.5
		A層	89.0	43.4	45.5	10.0	0.9	0.2
		B層	81.0	32.6	48.2	17.0	2.0	0.2
		C層	73.9	24.9	48.6	23.3	2.7	0.6
		D層	60.3	17.6	42.1	32.7	6.5	1.0
		A-D層	28.7					
56	友だちの話に賛成・反対・つけたし、つなげるように発言している。	全体		26.7	38.3	27.5	7.0	0.5
		A層	73.1	34.2	38.7	22.1	4.8	0.2
		B層	69.3	29.1	40.0	25.1	5.6	0.2
		C層	63.7	24.6	38.7	28.1	8.0	0.5
		D層	55.2	19.0	35.6	34.7	9.6	1.1
		A-D層	17.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
57	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	全体		54.0	38.2	6.3	0.8	0.7
		A層	94.7	57.8	36.7	4.6	0.7	0.3
		B層	94.4	55.7	38.5	5.3	0.4	0.2
		C層	93.2	54.1	38.4	6.3	0.5	0.7
		D層	89.3	48.5	39.6	9.0	1.5	1.4
		A-D層	5.4					
58	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	全体		47.8	40.5	9.8	1.3	0.5
		A層	90.5	50.2	40.1	8.4	1.0	0.2
		B層	89.7	49.0	40.6	9.2	1.1	0.2
		C層	89.5	48.0	41.1	9.7	0.7	0.5
		D層	85.5	44.0	40.5	11.9	2.4	1.2
		A-D層	5.0					
59	学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	全体		46.6	40.2	10.0	2.5	0.6
		A層	90.9	53.4	37.2	7.2	1.9	0.3
		B層	89.5	49.0	40.2	8.4	2.2	0.3
		C層	87.8	45.0	42.4	10.0	2.1	0.5
		D層	81.4	39.3	41.0	14.6	3.8	1.4
		A-D層	9.5					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							
				0冊	1、2冊	3、4冊	5、6冊	7、8冊	9、10冊	11冊以上	その他無回答
60	この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（教科書や参考書、マンガは数にいれません。）	全体		32.6	36.4	13.2	6.4	2.8	1.5	5.2	1.9
		A層		18.9	35.6	17.5	9.0	4.8	2.4	10.5	1.2
		B層		27.7	38.7	15.2	7.5	2.8	2.1	4.6	1.4
		C層		36.0	38.9	11.9	5.2	1.9	0.9	3.5	1.7
		D層		47.2	32.4	8.3	4.2	1.5	0.7	2.2	3.4
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）							
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上	その他無回答
61	学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい学習していますか。	全体		18.6	17.8	15.1	12.7	12.0	10.5	12.5	0.7
		A層		8.0	15.5	17.6	13.8	13.4	14.3	16.8	0.6
		B層		13.3	16.7	15.4	12.9	14.0	12.7	14.7	0.2
		C層		19.3	18.4	14.4	12.7	12.0	10.2	12.4	0.7
		D層		33.5	20.7	13.0	11.3	8.9	5.0	6.3	1.5
		A-D層									
62	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい学習していますか。	全体		32.1	24.5	18.6	9.6	6.6	3.6	4.3	0.7
		A層		17.7	22.4	22.7	12.6	9.9	6.2	7.9	0.5
		B層		26.0	26.5	20.0	11.6	8.4	3.5	4.0	0.1
		C層		36.1	24.8	18.8	8.7	5.4	2.6	3.0	0.6
		D層		48.1	24.5	13.0	5.6	2.9	2.1	2.2	1.6
		A-D層									
63	学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲーム（テレビゲーム、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）や、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	全体		4.0	5.4	12.7	13.0	17.4	10.7	36.2	0.7
		A層		5.9	8.8	18.0	15.4	19.9	9.3	22.3	0.4
		B層		3.6	5.4	13.7	15.8	18.0	11.5	31.9	0.2
		C層		2.8	4.0	10.6	11.2	18.5	11.7	40.6	0.6
		D層		3.7	3.1	8.4	9.7	13.4	10.2	49.9	1.5
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
64	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	全体		45.8	37.2	12.7	3.7	0.6
		A層	85.6	48.2	37.1	11.8	2.5	0.4
		B層	85.3	48.3	37.0	11.5	3.2	0.1
		C層	83.0	44.7	38.0	13.0	3.8	0.5
		D層	80.1	42.2	36.8	14.5	5.2	1.4
		A-D層	5.5					
65	朝食は毎日食べている。	全体		74.9	13.6	7.0	3.9	0.6
		A層	95.2	86.1	8.7	3.5	1.3	0.4
		B層	92.8	80.5	12.2	5.1	2.1	0.1
		C層	88.3	73.5	14.3	7.4	4.3	0.5
		D層	80.4	60.1	19.2	11.7	7.6	1.4
		A-D層	14.8					
66	学習することが、すきである。	全体		13.9	44.1	32.1	9.7	0.2
		A層	74.4	25.0	49.4	22.6	3.0	0.0
		B層	62.2	13.0	49.1	31.2	6.5	0.1
		C層	50.8	10.0	40.9	37.5	11.7	0.0
		D層	45.3	8.0	37.1	37.3	17.1	0.6
		A-D層	29.1					
67	学習することは、大切である。	全体		70.4	25.8	2.7	0.9	0.2
		A層	98.8	80.9	17.9	0.9	0.3	0.0
		B層	97.5	74.4	23.1	1.9	0.6	0.0
		C層	96.6	67.5	29.0	2.6	0.8	0.0
		D層	92.6	59.0	33.2	5.2	2.1	0.5
		A-D層	6.2					
68	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	全体		21.5	50.4	24.6	3.3	0.3
		A層	85.4	31.2	54.1	13.6	1.0	0.1
		B層	75.8	24.1	51.5	22.4	1.8	0.2
		C層	69.7	18.1	51.5	26.9	3.4	0.1
		D層	57.7	12.6	44.7	35.5	6.5	0.7
		A-D層	27.7					
69	授業で安心して自分の意見を言うことができる。	全体		25.6	36.5	29.2	8.4	0.3
		A層	75.1	35.7	39.3	21.0	3.9	0.1
		B層	66.8	28.8	37.9	27.2	6.0	0.1
		C層	59.0	21.8	37.2	31.9	9.0	0.1
		D層	48.3	16.3	31.6	36.7	14.6	0.9
		A-D層	26.8					
70	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思う。	全体		63.1	29.3	5.9	1.3	0.3
		A層	96.1	68.4	27.6	3.5	0.4	0.2
		B層	94.3	65.2	28.9	4.8	0.9	0.2
		C層	92.9	64.1	28.7	5.7	1.4	0.1
		D層	87.8	55.2	32.0	9.5	2.6	0.6
		A-D層	8.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
71	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	全体		55.5	32.1	9.8	2.2	0.4
		A層	90.1	59.2	30.8	8.1	1.8	0.1
		B層	89.1	57.1	31.7	9.1	1.8	0.3
		C層	88.3	56.5	31.5	9.6	2.1	0.3
		D層	84.2	49.1	34.6	12.5	3.1	0.6
		A-D層	5.9					
72	将来の夢や目標を持っている。	全体		57.5	22.3	14.0	6.0	0.3
		A層	77.9	54.3	23.5	17.4	4.7	0.2
		B層	80.2	57.0	23.0	14.2	5.6	0.3
		C層	80.9	59.3	21.5	12.7	6.3	0.1
		D層	81.1	59.5	21.0	11.8	7.0	0.6
		A-D層	-3.2					
73	人の役に立つ人間になりたいと思う。	全体		69.5	25.7	3.7	0.8	0.3
		A層	97.4	74.5	22.7	2.3	0.3	0.2
		B層	96.6	72.1	24.3	2.9	0.5	0.1
		C層	95.7	68.4	27.2	3.4	0.8	0.2
		D層	92.4	63.1	28.8	6.0	1.5	0.6
		A-D層	5.0					
74	人が困っているときは、進んで助けている。	全体		46.8	44.3	7.7	0.9	0.3
		A層	92.2	42.8	49.3	7.4	0.4	0.1
		B層	91.4	47.5	43.8	8.0	0.6	0.1
		C層	92.6	47.4	45.2	6.5	0.9	0.0
		D層	89.1	49.4	39.1	9.0	1.9	0.7
		A-D層	3.1					
75	自分には、よいところがあると思う。	全体		38.2	40.6	15.9	4.9	0.3
		A層	83.0	42.8	40.0	13.2	3.8	0.2
		B層	81.8	40.3	41.2	14.6	3.5	0.3
		C層	78.3	36.4	41.8	17.0	4.6	0.1
		D層	73.3	33.3	39.5	19.0	7.5	0.7
		A-D層	9.7					
76	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	全体		30.3	35.8	24.1	9.4	0.4
		A層	70.0	30.3	39.6	23.5	6.5	0.1
		B層	67.2	30.0	37.0	24.9	7.8	0.3
		C層	66.1	31.8	34.1	23.6	10.2	0.2
		D層	62.7	29.5	32.6	24.3	12.6	0.9
		A-D層	7.3					
77	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。	全体		44.9	36.5	13.4	4.7	0.4
		A層	84.5	46.9	37.3	11.8	3.7	0.3
		B層	83.3	45.8	37.2	13.2	3.4	0.3
		C層	81.2	46.2	35.0	13.6	5.1	0.0
		D層	78.4	41.2	36.5	14.8	6.5	0.9
		A-D層	6.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
78	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	全体		49.1	40.5	8.3	1.9	0.3
		A層	93.0	54.8	38.1	5.7	1.2	0.2
		B層	92.1	50.1	41.8	6.9	1.0	0.1
		C層	89.5	49.0	40.4	8.4	2.1	0.1
		D層	84.9	42.5	41.7	11.8	3.2	0.8
		A-D層	8.1					
79	自分の住んでいる町がすきである。	全体		56.7	32.3	8.4	2.3	0.3
		A層	90.5	54.0	36.3	8.0	1.5	0.2
		B層	90.1	57.3	32.7	8.0	1.9	0.1
		C層	89.2	56.7	32.4	8.2	2.5	0.1
		D層	87.2	58.7	27.8	9.3	3.4	0.8
		A-D層	3.3					
80	今、住んでいる地域の行事に参加している。	全体		18.6	33.0	32.1	15.9	0.4
		A層	54.4	19.2	35.0	32.8	12.6	0.3
		B層	54.9	19.7	35.1	31.9	13.1	0.2
		C層	49.9	19.0	30.7	33.1	16.9	0.3
		D層	48.3	16.4	31.5	30.5	20.7	0.9
		A-D層	6.1					
81	地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。	全体		24.1	42.5	26.7	6.3	0.4
		A層	71.3	27.4	43.7	24.1	4.6	0.1
		B層	68.9	24.7	44.0	25.7	5.3	0.3
		C層	66.1	23.0	43.0	27.3	6.5	0.2
		D層	61.2	21.1	39.5	29.7	8.8	0.9
		A-D層	10.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				ほぼ毎日（一部の学習活動）	週３回以上	週１回以上	週１回より少ない	その他無回答
82	前の学年までに受けた授業で、GIGA端末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	全体	21.8	38.9	25.9	10.0	3.1	0.3
		A層	21.4	44.3	24.5	8.4	1.3	0.1
		B層	22.7	40.6	25.7	8.6	2.2	0.2
		C層	20.7	38.0	27.6	10.6	3.0	0.1
		D層	22.5	32.7	26.0	12.3	5.6	0.9
		A-D層						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
83	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	全体		64.7	29.6	4.0	1.2	0.4
		A層	95.7	66.2	29.4	3.1	1.2	0.1
		B層	94.7	65.5	29.1	4.2	1.1	0.1
		C層	95.4	64.8	30.5	3.6	1.0	0.1
		D層	93.2	62.5	29.7	5.1	1.7	1.1
		A-D層	2.5					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
84	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		32.1	50.4	14.7	2.2	0.5
		A層	87.9	39.2	48.5	10.8	1.3	0.3
		B層	86.5	34.7	51.7	11.8	1.6	0.2
		C層	82.8	29.1	53.3	15.5	1.7	0.3
		D層	75.1	25.6	48.6	20.4	4.2	1.2
		A-D層	12.8					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）								
			友だちとの会話	先生との会話	先生のみんなへの指示や説明	教科書や資料集	黒板	GIGAたん末で見る友だちの考え	GIGAたん末で見るインターネットなどの資料	GIGAたん末で見る自分の学習などの記録	その他無回答
85	次の中で、学習を進めたり、くわしく考えたりするのに最も便利だと感じるのはどの情報ですか。	全体	22.0	5.5	9.7	28.9	4.6	5.8	18.8	3.4	1.2
		A層	20.1	5.8	7.5	34.4	4.2	6.2	19.0	2.4	0.4
		B層	20.7	4.6	9.0	33.5	4.1	5.5	18.8	3.1	0.9
		C層	23.0	5.0	9.5	27.5	5.1	5.6	19.4	3.5	1.4
		D層	24.3	6.7	13.0	20.3	4.9	6.2	18.0	4.6	2.0
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
86	総合的な学習の時間では、課題を設定し、その解決に向けて集めた情報をもとに考えたり、まとめたり表現したりしている。	全体		26.3	52.8	18.1	2.3	0.5
		A層	89.1	38.6	50.4	9.9	1.0	0.1
		B層	84.9	29.8	54.9	14.1	0.9	0.3
		C層	78.6	21.9	56.3	19.3	2.0	0.5
		D層	65.5	15.2	49.6	28.9	5.2	1.0
		A-D層	23.6					
87	総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。	全体		23.8	45.1	26.5	4.1	0.5
		A層	72.6	27.5	45.0	23.9	3.5	0.2
		B層	72.2	26.0	46.1	24.1	3.7	0.2
		C層	69.4	22.7	46.3	26.8	3.7	0.5
		D層	63.0	19.2	43.1	31.3	5.3	1.0
		A-D層	9.6					
88	総合的な学習の時間では、地域や社会に向けての行動や発信をしている。	全体		16.9	41.5	34.4	6.7	0.5
		A層	64.4	20.6	43.7	30.4	5.1	0.2
		B層	61.7	19.2	42.3	32.3	5.9	0.3
		C層	57.0	15.4	41.3	36.8	6.0	0.5
		D層	51.9	12.4	39.0	38.0	9.6	1.0
		A-D層	12.5					
89	総合的な学習の時間で学んだことは自分の将来の役に立つと思う。	全体		53.2	34.8	9.5	2.0	0.5
		A層	89.4	54.3	35.0	9.0	1.6	0.1
		B層	88.2	53.4	34.6	10.0	1.8	0.2
		C層	89.7	53.7	35.6	8.3	1.9	0.5
		D層	86.4	51.1	34.5	10.8	2.7	1.0
		A-D層	3.0					

意識調査の結果一覧【中2】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
1	理解度・国語	全体		21.2	62.1	14.8	1.7	0.2
		A層	94.1	38.8	55.3	5.5	0.4	0.0
		B層	89.6	24.6	65.0	10.1	0.2	0.1
		C層	83.0	15.7	67.2	15.8	1.2	0.1
		D層	67.6	5.9	61.5	27.4	4.9	0.4
		A-D層	26.5					
2	理解度・社会	全体		19.5	47.9	28.2	4.2	0.1
		A層	84.1	37.0	47.1	14.7	1.2	0.0
		B層	70.8	20.0	50.8	26.4	2.8	0.0
		C層	62.1	13.5	48.6	33.4	4.4	0.0
		D層	53.2	7.9	45.1	38.4	8.3	0.3
		A-D層	30.9					
3	理解度・数学（算数）	全体		25.2	40.8	26.6	7.2	0.2
		A層	92.7	54.9	37.8	6.8	0.5	0.0
		B層	79.2	27.8	51.4	19.0	1.7	0.0
		C層	58.1	13.4	44.6	34.8	7.1	0.1
		D層	35.1	4.9	30.0	45.5	19.1	0.5
		A-D層	57.6					
4	理解度・理科	全体		18.0	52.1	26.1	3.5	0.2
		A層	85.3	34.7	50.6	13.5	1.1	0.0
		B層	72.8	18.2	54.6	24.7	2.5	0.0
		C層	66.0	11.4	54.5	30.3	3.7	0.1
		D層	57.3	8.0	49.0	35.7	6.7	0.6
		A-D層	28.0					
5	理解度・音楽	全体		27.9	51.2	17.6	3.2	0.2
		A層	79.6	33.0	46.5	18.0	2.4	0.1
		B層	80.7	29.4	51.4	16.7	2.5	0.0
		C層	80.4	27.5	52.8	16.8	2.8	0.1
		D層	76.4	21.7	54.3	18.5	5.0	0.4
		A-D層	3.2					
6	理解度・図画工作・美術	全体		28.8	52.3	16.3	2.4	0.2
		A層	81.5	29.2	52.2	16.5	2.0	0.0
		B層	81.9	28.8	53.1	15.9	2.1	0.0
		C層	83.0	30.9	52.0	15.2	1.8	0.0
		D層	78.8	26.5	51.9	17.5	3.7	0.4
		A-D層	2.7					
7	理解度・保健体育	全体		30.7	53.3	13.7	2.1	0.2
		A層	82.6	28.0	54.5	15.4	2.0	0.0
		B層	85.2	28.4	56.7	13.1	1.7	0.0
		C層	85.3	33.1	52.2	12.8	1.8	0.1
		D層	84.0	33.4	50.2	13.3	2.6	0.5
		A-D層	-1.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
8	理解度・技術	全体		20.5	56.6	20.1	2.6	0.2
		A層	83.9	26.1	57.8	14.5	1.5	0.0
		B層	79.1	20.7	58.3	19.3	1.6	0.1
		C層	78.0	19.2	58.8	19.6	2.4	0.0
		D層	68.5	16.0	52.3	26.8	4.5	0.4
		A-D層	15.4					
9	理解度・家庭	全体		23.0	56.2	18.2	2.4	0.1
		A層	83.1	27.6	55.5	15.1	1.8	0.0
		B層	81.4	24.0	57.4	17.0	1.7	0.0
		C層	80.9	21.9	58.9	17.1	2.0	0.1
		D層	72.5	18.8	53.4	23.4	4.1	0.3
		A-D層	10.6					
10	理解度・英語	全体		31.6	36.9	24.0	7.3	0.1
		A層	91.4	58.1	33.2	7.7	1.0	0.1
		B層	78.3	37.1	41.1	18.4	3.3	0.0
		C層	61.2	21.4	39.8	30.9	7.9	0.1
		D層	44.1	10.4	33.6	38.8	16.9	0.3
		A-D層	47.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
11	好感度・国語	全体		17.5	46.9	26.1	9.1	0.3
		A層	71.4	23.8	47.4	22.8	5.7	0.3
		B層	69.0	20.8	48.2	23.5	7.4	0.1
		C層	64.0	16.4	47.5	26.6	9.3	0.2
		D層	54.3	9.3	44.7	31.6	13.9	0.6
		A-D層	17.1					
12	好感度・社会	全体		24.8	36.4	26.0	12.6	0.2
		A層	72.4	37.9	34.4	20.7	6.9	0.0
		B層	63.5	26.4	37.1	24.3	12.2	0.1
		C層	58.2	20.4	37.7	28.1	13.7	0.1
		D層	51.1	14.7	36.1	30.9	17.8	0.5
		A-D層	21.3					
13	好感度・数学（算数）	全体		23.4	30.9	27.1	18.4	0.2
		A層	79.0	45.0	33.9	15.5	5.5	0.0
		B層	60.8	25.7	35.1	26.9	12.3	0.1
		C層	45.8	15.0	30.8	32.9	21.2	0.0
		D層	32.2	8.2	23.8	33.4	34.1	0.4
		A-D層	46.8					
14	好感度・理科	全体		22.6	39.3	26.5	11.4	0.2
		A層	74.8	34.7	40.0	18.6	6.6	0.1
		B層	61.7	22.7	39.0	26.4	11.8	0.0
		C層	57.2	17.6	39.5	30.2	12.5	0.1
		D層	54.5	15.1	39.1	30.8	14.5	0.5
		A-D層	20.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
15	好感度・音楽	全体		27.7	41.9	21.6	8.6	0.2
		A層	71.4	30.9	40.5	20.8	7.8	0.0
		B層	70.8	28.4	42.4	21.4	7.8	0.0
		C層	70.6	28.2	42.3	21.7	7.7	0.1
		D層	66.0	23.4	42.2	22.9	10.9	0.5
		A-D層	5.4					
16	好感度・図画工作・美術	全体		29.7	41.9	20.5	7.8	0.2
		A層	70.9	29.5	41.2	21.0	8.1	0.1
		B層	72.4	30.6	41.7	20.0	7.7	0.1
		C層	74.4	31.4	42.9	19.0	6.6	0.1
		D層	69.3	27.2	41.8	21.8	8.8	0.4
		A-D層	1.6					
17	好感度・保健体育	全体		38.3	35.2	17.9	8.3	0.2
		A層	68.0	32.0	36.0	20.9	11.1	0.0
		B層	73.1	36.5	36.5	18.5	8.4	0.0
		C層	76.1	41.1	34.9	17.2	6.7	0.1
		D層	77.8	43.9	33.5	14.9	7.2	0.4
		A-D層	-9.8					
18	好感度・技術	全体		21.1	46.7	24.1	7.9	0.2
		A層	73.4	25.7	47.7	21.0	5.6	0.0
		B層	69.1	20.5	48.5	23.8	7.1	0.0
		C層	67.4	20.1	47.2	24.9	7.7	0.1
		D層	61.9	18.0	43.6	26.8	11.1	0.5
		A-D層	11.5					
19	好感度・家庭	全体		21.7	46.7	23.5	7.9	0.2
		A層	71.4	24.4	47.0	22.6	6.0	0.1
		B層	68.7	21.8	46.8	23.3	8.0	0.1
		C層	70.0	21.1	48.8	22.7	7.2	0.1
		D層	64.1	19.8	44.0	25.4	10.2	0.5
		A-D層	7.3					
20	好感度・英語	全体		27.8	34.7	23.2	14.0	0.2
		A層	80.6	42.8	37.8	13.9	5.4	0.0
		B層	68.3	33.3	34.9	21.3	10.4	0.0
		C層	57.5	21.4	36.0	26.4	16.0	0.2
		D層	44.7	14.0	30.4	31.0	24.1	0.6
		A-D層	35.9					
21	好感度・総合的な学習の時間・生活	全体		19.2	53.1	21.2	6.4	0.1
		A層	68.0	15.5	52.5	24.1	7.8	0.0
		B層	72.6	18.4	54.2	21.5	6.0	0.0
		C層	75.2	21.6	53.5	19.4	5.4	0.0
		D層	73.9	21.4	52.3	19.6	6.4	0.3
		A-D層	-5.9					
22	好感度・道徳	全体		21.7	52.3	19.5	6.4	0.1
		A層	69.9	17.1	52.8	22.1	8.0	0.0
		B層	75.5	21.0	54.5	18.4	6.1	0.0
		C層	77.0	23.0	53.9	18.3	4.7	0.1
		D層	74.2	25.7	48.2	19.1	6.7	0.3
		A-D層	-4.3					
23	好感度・学級活動	全体		34.3	48.0	13.3	4.3	0.1
		A層	82.7	34.1	48.5	13.4	3.9	0.0
		B層	84.8	34.8	50.0	11.5	3.7	0.0
		C層	83.2	35.3	47.8	13.0	3.8	0.0
		D層	79.1	33.3	45.5	15.2	5.6	0.4
		A-D層	3.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
24	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典やGIGA端末などで調べるようにしている。	全体		26.3	44.7	23.6	5.2	0.2
		A層	76.5	31.4	45.1	19.8	3.7	0.1
		B層	73.9	28.6	45.3	22.6	3.5	0.0
		C層	70.4	23.9	46.5	24.1	5.4	0.1
		D層	64.1	21.5	42.3	27.7	8.0	0.4
		A-D層	12.4					
25	国語の授業で、ペアやグループ、全体で話しあったことを、よりよい自分の考えにつなげている。	全体		30.0	49.3	17.9	2.7	0.1
		A層	88.3	41.2	47.0	10.7	1.0	0.0
		B層	84.6	33.2	51.3	13.8	1.6	0.0
		C層	79.5	27.3	52.2	18.5	2.0	0.0
		D層	65.6	18.7	46.7	28.4	5.9	0.3
		A-D層	22.7					
26	数学（算数）の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。	全体		23.1	39.3	29.2	8.2	0.2
		A層	86.6	44.9	41.7	12.1	1.2	0.0
		B層	74.0	26.7	47.3	22.7	3.3	0.1
		C層	55.4	14.4	40.9	36.7	7.9	0.1
		D層	34.6	6.9	27.5	45.2	19.9	0.5
		A-D層	52.0					
27	数学（算数）の授業で、ペアやグループ、全体で考えを伝えあったり、問題を解決したりしている。	全体		29.5	45.6	19.8	5.0	0.1
		A層	86.5	44.0	42.5	11.4	2.2	0.0
		B層	82.3	34.0	48.4	15.1	2.5	0.0
		C層	74.6	25.5	49.1	20.8	4.5	0.0
		D層	57.9	14.7	42.9	31.6	10.4	0.4
		A-D層	28.6					
28	社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。	全体		35.8	47.1	14.1	2.8	0.2
		A層	92.0	52.1	39.9	7.0	1.0	0.0
		B層	87.6	39.3	48.2	11.0	1.4	0.0
		C層	83.6	31.2	52.4	14.2	2.2	0.0
		D層	69.5	21.0	48.2	23.6	6.7	0.5
		A-D層	22.5					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
29	社会の授業で学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。	全体		29.2	47.1	20.1	3.4	0.1
		A層	89.2	45.8	43.3	9.7	1.1	0.0
		B層	82.1	31.0	51.1	16.2	1.7	0.0
		C層	75.2	24.7	50.5	21.8	3.0	0.0
		D層	59.4	15.8	43.4	32.6	7.9	0.3
		A-D層	29.8					
30	理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。	全体		30.9	48.5	17.5	3.0	0.1
		A層	89.9	45.3	44.5	9.1	1.0	0.1
		B層	84.1	33.8	50.3	14.3	1.6	0.0
		C層	78.8	27.2	51.5	18.7	2.5	0.0
		D層	65.9	17.7	47.9	27.4	6.6	0.4
		A-D層	24.0					
31	理科の授業で、実験や観察調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話しあったりまとめたりしている。	全体		25.6	48.1	22.4	3.7	0.2
		A層	85.3	37.6	47.7	13.5	1.2	0.0
		B層	78.4	28.1	50.3	19.3	2.3	0.1
		C層	71.7	22.4	49.3	24.7	3.6	0.1
		D層	60.3	14.6	45.5	31.9	7.7	0.3
		A-D層	25.0					
32	英語の授業で、例文などをそのまま言うのではなく、自分の考えや気持ちを英語で伝えている。	全体		25.9	39.1	27.8	7.1	0.1
		A層	81.8	41.1	40.6	16.5	1.7	0.0
		B層	73.6	30.4	43.2	22.7	3.7	0.0
		C層	60.3	21.1	39.2	32.3	7.4	0.1
		D層	44.8	11.3	33.4	39.4	15.5	0.4
		A-D層	37.0					
33	英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友だちの意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている。	全体		27.9	46.7	20.2	5.1	0.1
		A層	84.5	38.1	46.3	13.4	2.1	0.0
		B層	82.1	33.3	48.8	15.1	2.8	0.0
		C層	73.8	25.0	48.8	21.6	4.6	0.0
		D層	59.0	15.2	43.6	30.3	10.5	0.3
		A-D層	25.5					
34	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。	全体		36.6	41.6	18.4	3.2	0.3
		A層	84.6	44.6	39.8	14.3	1.1	0.2
		B層	79.7	38.8	40.7	17.9	2.4	0.2
		C層	77.9	33.4	44.4	18.8	3.2	0.1
		D層	71.3	29.2	41.7	22.6	5.9	0.6
		A-D層	13.3					
35	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	全体		43.3	40.5	12.3	3.6	0.3
		A層	90.5	52.7	37.6	8.0	1.5	0.2
		B層	84.5	45.1	39.4	12.6	2.9	0.1
		C層	83.1	40.0	43.0	13.6	3.3	0.2
		D層	78.1	35.8	41.9	15.1	6.6	0.6
		A-D層	12.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
36	学校に行くのが楽しい。	全体		38.9	42.2	14.3	4.3	0.3
		A層	83.1	40.1	42.8	13.2	3.6	0.2
		B層	83.7	39.3	44.3	12.6	3.7	0.1
		C層	82.5	39.3	42.9	13.5	4.0	0.3
		D層	76.8	37.2	39.1	17.1	5.9	0.7
		A-D層	6.3					
37	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	全体		62.0	30.4	6.0	1.3	0.3
		A層	94.8	68.1	26.5	4.5	0.7	0.2
		B層	94.6	64.2	30.3	4.3	1.1	0.1
		C層	92.3	61.0	31.2	6.3	1.3	0.2
		D層	89.2	55.2	33.4	8.6	2.1	0.7
		A-D層	5.6					
38	新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。	全体		25.9	52.9	18.2	2.7	0.3
		A層	88.9	37.2	51.5	10.2	0.9	0.2
		B層	83.9	27.2	56.6	14.3	1.8	0.1
		C層	78.2	23.0	55.0	19.4	2.3	0.3
		D層	65.8	16.2	49.1	28.5	5.5	0.7
		A-D層	23.1					
39	授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	全体		25.2	45.4	24.6	4.4	0.3
		A層	88.1	44.5	43.4	10.9	1.0	0.2
		B層	78.2	26.8	51.3	19.4	2.3	0.1
		C層	65.7	19.3	46.2	29.8	4.4	0.2
		D層	52.1	10.4	41.3	37.9	9.7	0.7
		A-D層	36.0					
40	授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている。	全体		18.0	42.7	32.3	6.7	0.3
		A層	71.2	23.6	47.5	24.9	3.8	0.3
		B層	64.4	19.7	44.6	31.1	4.5	0.1
		C層	58.4	16.5	41.8	34.4	7.0	0.3
		D層	49.8	12.3	37.1	38.8	11.1	0.7
		A-D層	21.4					
41	学習した内容について、何がまだ理解できていないか、わかっている。	全体		34.3	47.6	15.2	2.8	0.2
		A層	88.3	43.2	45.1	10.6	1.0	0.0
		B層	85.5	35.1	50.4	12.9	1.6	0.0
		C層	80.1	31.1	48.8	17.4	2.5	0.1
		D層	74.1	27.8	45.9	20.0	5.7	0.5
		A-D層	14.2					
42	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	全体		19.2	46.8	28.9	4.9	0.2
		A層	83.2	33.2	50.0	15.4	1.3	0.1
		B層	73.2	21.1	52.1	24.1	2.7	0.0
		C層	59.5	13.5	45.9	35.2	5.2	0.2
		D層	48.9	9.0	39.5	40.6	10.2	0.6
		A-D層	34.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
43	学習するとき、筋道を立てて、ものごとを考えている。	全体		15.3	44.7	34.6	5.2	0.2
		A層	74.2	25.0	49.2	23.3	2.5	0.0
		B層	64.9	16.7	48.2	31.6	3.5	0.0
		C層	55.5	11.4	44.0	39.5	5.0	0.2
		D層	46.4	8.4	37.8	43.5	9.8	0.6
		A-D層	27.8					
44	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えている。	全体		21.4	51.2	23.3	3.9	0.2
		A層	81.6	30.0	51.6	16.4	1.9	0.0
		B層	77.4	23.1	54.3	20.2	2.4	0.0
		C層	71.0	18.4	52.5	25.4	3.6	0.1
		D層	61.2	14.2	46.6	31.1	7.5	0.6
		A-D層	20.4					
45	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	全体		23.9	45.0	25.9	5.0	0.2
		A層	74.7	28.3	46.3	22.1	3.2	0.1
		B層	70.9	24.7	46.2	24.8	4.3	0.0
		C層	67.6	23.3	44.2	27.8	4.6	0.2
		D層	63.2	19.4	43.5	28.8	7.7	0.6
		A-D層	11.5					
46	ふだんから新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	全体		22.9	43.8	28.8	4.3	0.2
		A層	76.6	29.8	46.7	21.1	2.3	0.0
		B層	70.7	26.5	44.2	26.5	2.8	0.0
		C層	65.4	20.4	45.0	29.9	4.6	0.2
		D層	54.8	15.0	39.5	37.5	7.5	0.6
		A-D層	21.8					
47	自分と違う意見も尊重している。	全体		55.6	38.1	5.1	0.9	0.2
		A層	96.6	63.5	33.1	3.1	0.2	0.0
		B層	96.4	60.5	35.7	3.2	0.4	0.1
		C層	94.9	55.5	39.3	4.5	0.6	0.1
		D層	88.1	43.5	44.1	9.4	2.4	0.5
		A-D層	8.5					
48	自分で学習の計画を立てている。	全体		19.7	38.7	31.6	9.8	0.2
		A層	69.3	27.9	41.2	24.3	6.4	0.1
		B層	62.5	22.0	40.5	29.7	7.7	0.0
		C層	57.3	17.0	40.2	33.4	9.3	0.1
		D層	45.7	11.9	33.5	38.7	15.3	0.6
		A-D層	23.6					
49	自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話しあったり、活動したりしている。	全体		20.1	45.7	28.4	5.5	0.2
		A層	72.2	26.1	46.1	23.8	4.0	0.0
		B層	69.9	22.2	47.6	26.0	4.2	0.0
		C層	64.3	18.6	45.6	30.4	5.2	0.1
		D層	58.1	13.7	44.1	33.1	8.5	0.7
		A-D層	14.1					
50	話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	全体		22.2	36.6	32.0	8.9	0.3
		A層	67.6	30.0	37.5	26.5	5.9	0.1
		B層	61.8	24.6	37.2	31.0	7.2	0.0
		C層	56.3	18.8	37.3	34.1	9.5	0.2
		D層	50.4	15.6	34.5	36.4	12.9	0.7
		A-D層	17.2					
51	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートやGIGA端末などに記録している。	全体		27.5	38.4	25.8	8.0	0.3
		A層	75.0	36.8	38.1	20.4	4.7	0.1
		B層	70.7	30.2	40.5	24.2	5.1	0.0
		C層	65.5	25.2	40.1	26.9	7.5	0.2
		D層	53.4	18.1	34.8	31.7	14.6	0.8
		A-D層	21.6					
52	一度考えた後、かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	全体		21.0	49.3	24.9	4.6	0.3
		A層	78.0	26.4	51.5	18.9	3.0	0.1
		B層	74.9	23.2	51.6	22.0	3.2	0.0
		C層	68.6	19.5	48.9	27.4	4.0	0.3
		D層	60.9	15.0	45.5	30.8	8.0	0.7
		A-D層	17.1					
53	それぞれの授業のめあてを意識して取り組んでいる。	全体		18.7	49.5	26.3	5.2	0.3
		A層	72.4	22.0	50.3	23.7	3.9	0.1
		B層	71.9	19.7	52.2	23.7	4.4	0.0
		C層	68.4	18.6	49.7	26.7	4.8	0.2
		D層	61.0	14.6	45.9	31.0	7.7	0.8
		A-D層	11.4					
54	目標に向けて、ふだんからこつこつと学習している。	全体		17.0	38.9	34.8	8.9	0.4
		A層	68.6	25.7	42.8	25.5	5.8	0.2
		B層	59.4	16.9	42.5	33.7	6.9	0.1
		C層	52.5	13.8	38.5	38.6	8.8	0.3
		D層	44.7	11.8	32.4	41.0	13.8	1.0
		A-D層	23.9					
55	調べてわかったことをもとに、自分の考えをまとめている。	全体		20.6	50.1	24.7	4.2	0.3
		A層	86.1	30.8	55.1	12.7	1.2	0.2
		B層	77.7	23.2	54.5	20.1	2.3	0.0
		C層	66.5	16.9	49.5	30.0	3.3	0.3
		D層	53.8	11.9	41.5	35.8	10.0	0.9
		A-D層	32.3					
56	友だちの話に賛成・反対・つけたし、つなげるように発言している。	全体		19.8	40.5	31.4	7.9	0.3
		A層	67.1	23.0	44.1	27.1	5.7	0.1
		B層	62.9	22.9	40.0	30.4	6.7	0.0
		C層	57.8	18.6	39.0	34.5	7.6	0.3
		D層	54.5	15.0	39.2	33.7	11.4	0.7
		A-D層	12.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
57	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	全体		50.8	40.9	6.9	1.0	0.4
		A層	93.6	53.6	39.8	5.7	0.7	0.1
		B層	93.9	52.2	41.6	5.6	0.5	0.0
		C層	92.8	51.9	40.5	6.4	0.7	0.3
		D層	88.2	45.6	41.8	9.6	2.1	0.9
		A−D層	5.4					
58	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	全体		50.6	39.9	8.0	1.1	0.4
		A層	91.1	50.0	40.9	8.0	1.0	0.2
		B層	92.9	51.9	40.9	6.7	0.4	0.1
		C層	91.7	52.9	38.5	7.4	0.8	0.4
		D層	87.8	48.1	39.0	10.0	2.1	0.9
		A−D層	3.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				参加し、熱心に活動している。	参加しているが、あまり熱心に活動していない。	以前は参加していたが、現在は参加していない。	今まで参加したことはない。	その他無回答
59	現在、部活動に参加していますか。	全体		70.6	15.0	6.1	7.8	0.4
		A層	90.6	76.9	13.4	3.9	5.5	0.3
		B層	87.9	74.6	13.4	4.8	7.2	0.0
		C層	85.7	70.2	15.2	5.9	8.4	0.4
		D層	80.2	61.9	17.5	9.4	10.2	1.0
		A−D層	10.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
60	学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	全体		44.3	44.5	8.6	2.0	0.6
		A層	92.7	49.8	42.5	6.1	1.2	0.4
		B層	91.0	46.2	44.7	7.4	1.6	0.2
		C層	89.5	45.1	44.1	8.7	1.7	0.4
		D層	84.0	36.6	46.5	12.2	3.6	1.2
		A−D層	8.7					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）								
				0冊	1、2冊	3、4冊	5、6冊	7、8冊	9、10冊	11冊以上		その他無回答
61	この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（教科書や参考書、マンガは数にいれません。）	全体		40.1	38.0	10.8	4.5	1.8	1.1	3.1		0.6
		A層		29.0	41.3	13.4	6.2	3.0	1.6	5.2		0.4
		B層		37.2	39.7	12.4	4.7	1.8	1.1	2.7		0.3
		C層		42.8	38.3	9.1	4.3	1.4	1.0	2.4		0.6
		D層		51.3	32.4	8.4	2.9	1.1	0.7	2.1		1.1
		A-D層										

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）								
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上		その他無回答
62	学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい学習していますか。	全体		16.1	13.1	13.0	13.9	15.1	12.8	15.3		0.6
		A層		6.2	10.9	12.4	14.0	16.5	18.4	21.1		0.4
		B層		9.9	11.7	13.0	14.1	17.4	14.7	18.7		0.4
		C層		16.2	14.1	13.7	15.1	15.1	11.7	13.5		0.5
		D層		31.4	15.6	13.1	12.4	11.8	6.7	7.9		1.2
		A-D層										
63	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい学習していますか。	全体		30.4	17.9	15.6	9.7	10.2	6.2	9.3		0.6
		A層		15.0	14.0	16.4	11.3	14.3	10.4	18.3		0.4
		B層		24.3	18.5	16.4	10.4	12.7	8.1	9.3		0.3
		C層		33.6	19.4	17.2	9.7	8.7	4.7	6.3		0.5
		D層		48.4	19.4	12.5	7.5	5.5	1.8	3.7		1.1
		A-D層										
64	学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲーム（テレビゲーム、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）や、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	全体		2.5	3.9	9.6	11.4	19.2	12.5	40.2		0.6
		A層		2.9	6.8	14.1	15.2	21.7	12.5	26.2		0.5
		B層		2.5	3.5	10.4	12.0	20.7	13.2	37.2		0.3
		C層		2.0	2.6	7.6	10.4	18.8	13.5	44.7		0.6
		D層		2.6	2.9	6.2	8.4	15.4	11.0	52.4		1.1
		A-D層										

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
65	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	全体		34.5	37.5	19.9	7.5	0.6
		A層	72.1	33.9	37.8	19.7	8.0	0.5
		B層	72.0	33.8	37.9	21.4	6.5	0.3
		C層	74.2	37.1	36.8	19.2	6.5	0.5
		D層	71.5	33.1	37.6	19.4	8.8	1.1
		A-D層	0.6					
66	朝食は毎日食べている。	全体		72.0	15.0	7.7	4.6	0.6
		A層	94.7	82.6	11.7	3.4	1.8	0.4
		B層	91.0	77.4	13.3	5.9	3.0	0.4
		C層	87.6	70.8	16.3	8.1	4.2	0.6
		D層	77.5	57.9	18.7	13.3	9.0	1.1
		A-D層	17.2					
67	学習することが、すきである。	全体		8.7	38.0	39.1	14.1	0.1
		A層	67.2	18.2	49.0	26.6	6.2	0.0
		B層	50.3	8.0	42.3	39.2	10.5	0.0
		C層	39.8	4.7	35.1	45.2	15.0	0.1
		D層	29.7	4.0	25.6	45.5	24.6	0.3
		A-D層	37.5					
68	学習することは、大切である。	全体		64.2	31.5	3.1	0.9	0.2
		A層	98.6	75.7	22.9	1.0	0.4	0.0
		B層	97.9	68.5	29.4	1.6	0.5	0.0
		C層	96.2	61.6	34.4	3.2	0.6	0.2
		D層	91.4	51.7	39.2	6.4	2.1	0.5
		A-D層	7.2					
69	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	全体		15.8	51.7	28.3	4.0	0.2
		A層	82.8	27.7	55.1	15.6	1.6	0.0
		B層	74.0	16.0	58.0	24.0	2.0	0.0
		C層	64.2	11.7	52.4	32.3	3.5	0.1
		D層	49.9	7.7	41.9	40.9	8.9	0.5
		A-D層	32.9					
70	授業で安心して自分の意見を言うことができる。	全体		23.3	40.9	27.9	7.8	0.2
		A層	75.4	32.7	42.6	20.5	4.1	0.0
		B層	68.6	24.0	44.6	26.1	5.3	0.0
		C層	60.4	20.8	39.5	31.4	8.2	0.1
		D層	53.1	15.8	37.0	33.0	13.7	0.5
		A-D層	22.3					
71	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思う。	全体		48.0	39.9	10.0	2.0	0.2
		A層	91.6	53.3	38.3	7.4	1.0	0.0
		B層	89.8	48.8	41.0	9.1	1.1	0.0
		C層	88.0	48.6	39.3	9.8	2.2	0.1
		D層	83.4	41.4	41.5	13.1	3.4	0.6
		A-D層	8.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
72	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	全体		57.5	31.8	8.5	2.1	0.2
		A層	90.3	59.4	31.0	7.8	1.9	0.0
		B層	91.3	59.2	32.1	7.4	1.3	0.0
		C層	89.6	57.1	32.3	8.5	1.9	0.2
		D層	87.0	54.8	31.7	10.0	3.0	0.5
		A-D層	3.3					
73	将来の夢や目標を持っている。	全体		41.9	28.1	20.5	9.2	0.2
		A層	69.7	39.4	30.3	22.0	8.3	0.0
		B層	69.0	40.3	28.6	21.6	9.4	0.1
		C層	68.9	42.5	26.3	22.1	9.0	0.2
		D層	73.1	45.4	27.1	16.5	10.2	0.7
		A-D層	-3.4					
74	人の役に立つ人間になりたいと思う。	全体		65.2	29.5	4.0	1.0	0.2
		A層	95.8	68.5	27.3	3.6	0.7	0.0
		B層	96.1	67.1	29.0	3.2	0.7	0.0
		C層	95.8	67.3	28.3	3.3	0.9	0.2
		D層	92.3	58.3	33.4	5.9	1.8	0.6
		A-D層	3.5					
75	人が困っているときは、進んで助けている。	全体		43.9	47.1	8.2	0.7	0.2
		A層	91.0	39.5	51.5	8.7	0.3	0.0
		B層	92.1	43.4	48.7	7.5	0.3	0.1
		C層	92.0	47.0	44.9	7.3	0.7	0.1
		D層	89.5	45.9	43.1	9.1	1.3	0.5
		A-D層	1.5					
76	自分には、よいところがあると思う。	全体		33.3	43.8	17.3	5.4	0.2
		A層	80.5	36.1	44.5	15.1	4.3	0.0
		B層	78.8	34.2	44.5	17.0	4.2	0.2
		C層	77.5	33.3	44.0	17.0	5.5	0.2
		D層	72.1	29.7	42.0	20.1	7.6	0.6
		A-D層	8.4					
77	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	全体		30.9	37.8	23.3	7.7	0.2
		A層	71.5	30.2	41.2	23.3	5.2	0.1
		B層	70.8	30.1	40.6	23.3	5.9	0.1
		C層	69.4	32.2	37.1	22.7	7.8	0.1
		D層	64.2	31.1	32.6	23.7	11.9	0.7
		A-D層	7.3					
78	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。	全体		40.2	40.1	15.0	4.5	0.2
		A層	82.7	40.9	41.8	14.0	3.3	0.0
		B層	82.3	40.6	41.6	13.7	3.9	0.1
		C層	80.7	42.0	38.6	15.3	4.0	0.2
		D層	76.3	37.5	38.4	16.8	6.8	0.6
		A-D層	6.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
79	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	全体		43.6	44.8	9.4	1.9	0.2
		A層	92.6	47.8	44.8	6.2	1.1	0.0
		B層	91.0	43.4	47.6	7.7	1.3	0.0
		C層	88.2	45.6	42.5	10.4	1.4	0.1
		D層	83.1	38.0	44.5	13.0	3.8	0.7
		A-D層	9.5					
80	自分の住んでいる町がすきである。	全体		48.5	39.1	9.6	2.6	0.2
		A層	88.1	44.9	43.2	9.5	2.4	0.0
		B層	88.6	46.9	41.7	9.2	2.2	0.1
		C層	88.4	50.8	37.4	9.1	2.5	0.2
		D層	86.1	51.3	34.4	10.5	3.3	0.5
		A-D層	2.0					
81	今、住んでいる地域の行事に参加している。	全体		13.4	31.1	35.0	20.2	0.3
		A層	46.3	13.2	33.1	36.7	17.0	0.1
		B層	45.9	13.6	32.2	35.0	19.1	0.1
		C層	44.7	14.1	30.4	35.6	19.5	0.3
		D層	42.0	12.9	28.8	32.7	25.0	0.6
		A-D層	4.3					
82	地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。	全体		17.6	41.4	31.6	9.2	0.2
		A層	61.1	20.2	40.9	31.8	7.0	0.1
		B層	59.5	16.8	42.7	31.6	8.8	0.0
		C層	60.3	17.1	43.1	30.8	8.8	0.1
		D層	55.9	16.3	39.2	32.1	11.8	0.6
		A-D層	5.2					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）					
				ほぼ毎日（一部の学習活動）	週３回以上	週１回以上	週１回より少ない	その他無回答
83	前の学年までに受けた授業で、GIGA端末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	全体	13.3	41.3	32.4	10.5	2.2	0.2
		A層	15.0	48.1	29.3	7.0	0.7	0.0
		B層	12.2	45.5	31.2	9.6	1.3	0.1
		C層	13.3	37.3	34.8	11.9	2.6	0.1
		D層	12.9	34.4	34.2	13.6	4.2	0.7
		A-D層						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
84	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	全体		57.6	36.0	4.8	1.4	0.2
		A層	93.3	56.9	36.5	5.2	1.5	0.0
		B層	94.6	58.3	36.3	4.4	1.0	0.0
		C層	94.0	57.5	36.4	4.9	1.1	0.1
		D層	93.4	57.8	34.8	4.7	1.8	0.8
		A-D層	−0.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
85	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		28.8	53.0	15.4	2.5	0.3
		A層	87.7	35.0	52.6	10.7	1.7	0.1
		B層	85.4	30.6	54.6	13.3	1.3	0.2
		C層	81.4	27.8	53.4	16.7	1.9	0.2
		D層	74.4	22.0	51.8	20.5	4.9	0.7
		A-D層	13.3					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）								
			友だちとの会話	先生との会話	先生のみんなへの指示や説明	教科書や資料集	黒板	GIGAたん末で見る友だちの考え	GIGAたん末で見るインターネットなどの資料	GIGAたん末で見る自分の学習などの記録	その他無回答
86	次の中で、学習を進めたり、くわしく考えたりするのに最も便利だと感じるのはどの情報ですか。	全体	20.9	8.0	12.8	26.2	4.9	5.2	18.3	2.8	1.0
		A層	17.8	8.6	14.1	32.1	3.8	4.0	17.0	2.1	0.4
		B層	20.6	8.4	11.4	29.2	4.7	5.3	17.3	1.9	1.2
		C層	22.2	7.7	13.1	24.5	5.4	4.9	18.3	3.1	0.8
		D層	23.1	7.4	12.4	19.0	5.5	6.6	20.7	3.9	1.5
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
85	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		28.8	53.0	15.4	2.5	0.3
		A層	87.7	35.0	52.6	10.7	1.7	0.1
		B層	85.4	30.6	54.6	13.3	1.3	0.2
		C層	81.4	27.8	53.4	16.7	1.9	0.2
		D層	74.4	22.0	51.8	20.5	4.9	0.7
		A-D層	13.3					
88	総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。	全体		15.8	44.9	33.0	6.0	0.3
		A層	58.4	15.4	43.0	35.1	6.5	0.1
		B層	63.3	16.3	47.0	31.6	5.0	0.1
		C層	62.3	16.9	45.2	32.4	5.1	0.3
		D層	59.7	14.6	44.7	32.7	7.3	0.7
		A-D層	−1.3					
89	総合的な学習の時間では、地域や社会に向けての行動や発信をしている。	全体		13.1	42.6	36.3	7.7	0.3
		A層	56.6	13.6	42.9	35.4	8.0	0.1
		B層	59.0	13.7	45.3	35.1	5.8	0.1
		C層	56.7	13.8	42.6	36.1	7.0	0.3
		D層	51.6	11.5	39.7	38.2	9.8	0.8
		A-D層	5.0					
90	総合的な学習の時間で学んだことは自分の将来の役に立つと思う。	全体		39.8	44.4	12.3	3.1	0.4
		A層	84.1	38.7	45.4	12.7	3.2	0.1
		B層	84.6	39.4	45.2	12.4	3.0	0.1
		C層	85.4	41.8	43.2	12.2	2.3	0.5
		D層	84.2	39.5	44.0	11.9	3.7	0.9
		A-D層	−0.1					

意識調査の結果一覧【中3】

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
1	理解度・国語	全体		20.7	60.7	16.7	1.8	0.2
		A層	94.7	41.3	53.4	5.0	0.3	0.0
		B層	88.4	22.9	65.4	10.9	0.7	0.1
		C層	80.6	13.2	67.2	18.5	0.9	0.2
		D層	63.0	5.6	57.1	31.9	4.9	0.5
		A-D層	31.7					
2	理解度・社会	全体		23.2	50.5	22.4	3.7	0.2
		A層	85.3	40.2	45.1	13.3	1.4	0.0
		B層	79.9	25.8	54.0	17.8	2.2	0.1
		C層	71.4	17.6	53.8	25.2	3.4	0.1
		D層	59.4	9.8	49.3	32.8	7.6	0.5
		A-D層	25.9					
3	理解度・数学（算数）	全体		26.4	44.5	22.8	6.0	0.3
		A層	92.3	52.8	39.4	7.2	0.5	0.1
		B層	82.1	28.5	53.5	16.3	1.5	0.2
		C層	66.5	17.4	49.1	28.8	4.6	0.1
		D層	44.1	7.4	36.4	38.8	16.8	0.6
		A-D層	48.2					
4	理解度・理科	全体		18.7	48.3	28.1	4.7	0.2
		A層	86.3	38.6	47.7	13.1	0.6	0.0
		B層	75.6	19.5	56.1	22.2	2.1	0.1
		C層	61.7	10.9	50.7	33.4	4.8	0.1
		D層	45.6	6.2	39.2	43.1	10.9	0.6
		A-D層	40.7					
5	理解度・音楽	全体		25.1	50.6	20.0	4.1	0.2
		A層	75.6	31.1	44.4	21.0	3.4	0.0
		B層	76.8	26.6	50.1	19.8	3.4	0.1
		C層	78.5	24.8	53.6	18.0	3.5	0.1
		D層	73.1	18.3	54.4	21.1	5.6	0.7
		A-D層	2.5					
6	理解度・図画工作・美術	全体		25.0	52.2	18.8	3.8	0.2
		A層	77.0	28.0	48.9	20.5	2.5	0.1
		B層	78.8	25.8	53.0	17.8	3.4	0.1
		C層	80.5	25.1	55.3	16.3	3.2	0.1
		D層	73.6	21.5	51.8	20.8	5.4	0.5
		A-D層	3.4					
7	理解度・保健体育	全体		32.4	51.3	13.6	2.5	0.2
		A層	82.1	30.9	51.2	15.4	2.4	0.0
		B層	85.3	30.0	55.1	12.7	1.9	0.1
		C層	85.0	34.6	50.3	13.3	1.7	0.1
		D層	83.5	34.6	48.4	13.0	3.4	0.6
		A-D層	-1.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				よくわかっている	まあわかっている	あまりわかっていない	まったくわかっていない	その他無回答
8	理解度・技術	全体		17.1	52.1	26.1	4.5	0.2
		A層	78.4	25.0	53.4	19.0	2.6	0.0
		B層	73.2	16.9	56.2	23.7	3.1	0.1
		C層	67.0	14.7	52.1	28.8	4.2	0.1
		D層	59.7	12.0	47.4	32.2	7.8	0.6
		A-D層	18.7					
9	理解度・家庭	全体		22.2	59.2	15.8	2.6	0.3
		A層	86.3	29.4	56.8	11.8	1.9	0.1
		B層	84.5	22.9	61.5	13.8	1.7	0.1
		C層	83.1	19.8	63.3	15.0	1.9	0.1
		D層	73.0	17.0	55.6	22.4	4.3	0.7
		A-D層	13.3					
10	理解度・英語	全体		25.2	38.9	26.0	9.7	0.2
		A層	89.4	51.9	37.4	9.2	1.4	0.0
		B層	73.9	27.2	46.6	22.0	4.1	0.1
		C層	56.5	15.0	41.5	32.4	11.0	0.1
		D層	37.9	7.1	30.6	40.2	21.6	0.5
		A-D層	51.5					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
11	好感度・国語	全体		18.1	47.1	25.6	8.8	0.4
		A層	74.1	26.6	47.4	20.3	5.5	0.1
		B層	68.3	20.3	47.7	24.8	6.8	0.4
		C層	65.9	16.4	49.3	26.2	7.8	0.3
		D層	54.2	9.5	44.3	30.9	14.6	0.7
		A-D層	19.9					
12	好感度・社会	全体		29.3	38.7	22.0	9.7	0.2
		A層	77.4	40.6	36.7	16.0	6.7	0.1
		B層	71.8	32.2	39.5	20.8	7.4	0.1
		C層	67.0	27.1	39.8	23.0	9.9	0.2
		D層	57.2	17.6	39.2	28.2	14.4	0.6
		A-D層	20.2					
13	好感度・数学（算数）	全体		24.1	34.4	26.2	15.1	0.2
		A層	77.7	41.4	36.3	17.0	5.3	0.0
		B層	65.3	27.2	38.0	24.3	10.4	0.1
		C層	53.4	18.5	34.8	30.0	16.5	0.1
		D層	38.2	9.7	28.3	33.5	27.9	0.7
		A-D層	39.5					
14	好感度・理科	全体		22.4	37.7	27.5	12.2	0.2
		A層	76.0	36.9	39.1	18.2	5.8	0.0
		B層	65.4	24.7	40.7	25.6	9.0	0.1
		C層	54.8	17.2	37.5	30.7	14.5	0.1
		D層	44.9	11.1	33.6	35.6	19.2	0.6
		A-D層	31.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
15	好感度・音楽	全体		26.0	42.1	22.5	9.2	0.2
		A層	69.2	28.3	40.8	21.7	9.1	0.0
		B層	70.5	27.8	42.6	21.6	7.9	0.1
		C層	68.2	25.7	42.4	23.0	8.7	0.1
		D層	65.5	22.2	42.9	23.5	10.8	0.6
		A-D層	3.7					
16	好感度・図画工作・美術	全体		26.6	41.8	22.2	9.1	0.2
		A層	68.4	26.4	42.0	22.8	8.8	0.0
		B層	71.0	28.2	42.7	20.4	8.5	0.1
		C層	70.8	27.1	43.5	21.5	7.7	0.1
		D層	64.7	24.8	39.5	23.9	11.1	0.7
		A-D層	3.7					
17	好感度・保健体育	全体		36.9	35.0	18.2	9.7	0.3
		A層	68.2	32.1	36.1	19.9	11.9	0.0
		B層	70.2	35.8	34.4	19.6	10.1	0.1
		C層	74.8	38.3	36.3	17.1	8.1	0.1
		D層	75.4	41.5	33.3	16.2	8.2	0.7
		A-D層	-7.2					
18	好感度・技術	全体		16.7	43.3	29.3	10.5	0.2
		A層	67.6	22.7	44.8	25.2	7.2	0.0
		B層	62.8	16.9	45.8	28.0	9.2	0.1
		C層	58.4	14.1	44.3	30.2	11.3	0.1
		D層	52.0	13.3	38.4	33.8	13.8	0.7
		A-D層	15.6					
19	好感度・家庭	全体		19.0	50.6	22.6	7.5	0.2
		A層	73.5	21.5	51.9	20.1	6.3	0.1
		B層	72.8	19.0	53.7	21.2	6.0	0.1
		C層	70.3	18.4	51.8	22.8	6.9	0.1
		D層	63.1	17.3	45.3	26.3	10.4	0.7
		A-D層	10.4					
20	好感度・英語	全体		22.5	35.2	25.1	16.9	0.3
		A層	77.4	38.0	39.3	15.8	6.8	0.1
		B層	65.4	26.2	39.2	23.3	11.2	0.1
		C層	50.6	16.3	34.2	29.2	20.0	0.2
		D層	38.6	10.0	28.4	31.7	29.3	0.6
		A-D層	38.8					
21	好感度・総合的な学習の時間・生活	全体		21.6	52.2	19.3	6.7	0.2
		A層	71.2	18.9	52.2	20.8	8.1	0.0
		B層	73.5	21.4	52.0	19.9	6.6	0.2
		C層	77.2	21.8	55.3	17.4	5.4	0.1
		D層	74.1	24.3	49.4	19.2	6.5	0.6
		A-D層	-2.9					
22	好感度・道徳	全体		19.7	52.2	20.5	7.4	0.2
		A層	69.0	16.7	52.3	22.1	8.9	0.0
		B層	71.1	18.0	53.0	21.8	7.0	0.1
		C層	75.8	21.3	54.4	18.0	6.2	0.1
		D層	72.7	23.0	49.3	20.1	7.0	0.5
		A-D層	-3.7					
23	好感度・学級活動	全体		32.8	49.1	13.1	4.7	0.2
		A層	82.8	32.4	50.4	12.7	4.5	0.0
		B層	83.7	34.5	49.1	12.4	4.0	0.1
		C層	84.1	33.2	50.8	11.7	4.1	0.1
		D層	78.4	31.5	46.4	15.7	5.9	0.6
		A-D層	4.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
24	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典やGIGA端末などで調べるようにしている。	全体		27.3	44.3	22.3	5.8	0.3
		A層	76.3	33.1	43.2	19.4	4.4	0.0
		B層	75.2	29.1	46.0	20.4	4.3	0.2
		C層	70.5	24.8	45.6	23.8	5.6	0.2
		D層	65.5	22.4	42.6	25.4	8.8	0.8
		A-D層	10.8					
25	国語の授業で、ペアやグループ、全体で話しあったことを、よりよい自分の考えにつなげている。	全体		30.7	50.4	15.4	3.3	0.3
		A層	90.5	43.6	46.9	8.3	1.1	0.1
		B層	86.8	35.5	51.1	11.5	1.7	0.2
		C層	82.0	27.7	54.3	15.5	2.5	0.1
		D層	66.6	16.7	49.5	25.6	7.6	0.7
		A-D層	23.9					
26	数学（算数）の授業で、問題の場面について図や表、式、言葉などをつなげて自分の考えをもったり、説明したりしている。	全体		24.5	40.1	27.7	7.4	0.2
		A層	87.2	45.1	42.0	11.6	1.2	0.0
		B層	76.1	28.8	47.2	21.5	2.3	0.1
		C層	59.4	15.5	43.9	33.8	6.7	0.1
		D層	36.9	8.8	27.9	43.7	19.0	0.7
		A-D層	50.3					
27	数学（算数）の授業で、ペアやグループ、全体で考えを伝えあったり、問題を解決したりしている。	全体		29.6	44.5	19.6	6.0	0.3
		A層	83.5	44.0	39.4	13.7	2.9	0.1
		B層	80.3	34.1	46.0	16.7	3.0	0.2
		C層	74.5	25.5	49.0	20.0	5.5	0.1
		D層	59.4	15.3	43.7	28.1	12.2	0.7
		A-D層	24.1					
28	社会の授業で、学習問題（課題）について、自分で調べたり、話しあったりして学習を進めている。	全体		40.3	44.5	12.2	2.7	0.3
		A層	93.7	56.0	37.7	5.4	0.9	0.0
		B層	90.7	47.2	43.3	8.3	0.9	0.3
		C層	84.6	37.0	47.5	13.3	2.1	0.1
		D層	72.1	21.8	49.7	21.3	6.4	0.7
		A-D層	21.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
29	社会の授業で学習問題（課題）について考える時は、それまでに学んだこととのつながりを意識し、それまでに学んだことを使って考えている。	全体		33.9	46.3	16.4	3.2	0.3
		A層	91.5	51.9	39.6	7.5	1.0	0.0
		B層	87.1	39.1	47.9	11.7	1.1	0.2
		C層	78.6	28.2	50.3	18.3	3.0	0.1
		D層	65.1	16.9	47.7	27.5	7.1	0.7
		A-D層	26.4					
30	理科の授業で、実験や観察に取り組む前に、それまで学習したことや経験したことをもとに、結果を予想したり仮説を立てたりしている。	全体		32.0	47.5	16.7	3.6	0.2
		A層	90.6	46.0	44.6	8.2	1.2	0.0
		B層	86.6	37.5	49.0	12.0	1.5	0.1
		C層	78.6	28.4	50.1	18.6	2.8	0.1
		D層	63.5	16.7	46.4	27.8	8.4	0.7
		A-D層	27.1					
31	理科の授業で、実験や観察調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話しあったりまとめたりしている。	全体		27.6	47.6	20.4	4.1	0.3
		A層	87.3	41.2	46.1	11.3	1.3	0.0
		B層	82.6	32.0	50.5	15.7	1.7	0.2
		C層	73.7	23.2	50.5	22.5	3.7	0.1
		D層	58.2	14.3	43.5	32.2	9.3	0.7
		A-D層	29.1					
32	英語の授業で、例文などをそのまま言うのではなく、自分の考えや気持ちを英語で伝えている。	全体		25.6	40.4	26.4	7.3	0.2
		A層	85.7	43.4	42.3	12.3	2.0	0.0
		B層	74.7	29.2	45.4	22.3	3.0	0.1
		C層	61.3	19.3	41.9	31.8	6.9	0.1
		D層	44.1	11.1	32.7	38.9	16.7	0.7
		A-D層	41.6					
33	英語の授業で、グループまたはペアでの活動を通して、友だちの意見を参考にしたり、自分の考えや気持ちを整理したりしている。	全体		27.4	46.5	19.9	6.0	0.3
		A層	86.0	41.2	44.7	11.9	2.1	0.0
		B層	80.7	31.6	49.0	16.4	2.9	0.1
		C層	72.4	22.9	49.4	21.7	5.9	0.1
		D層	58.0	14.4	43.1	29.5	12.3	0.8
		A-D層	28.0					
34	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがある。	全体		36.7	41.7	18.4	2.9	0.4
		A層	85.0	44.1	40.7	13.4	1.6	0.1
		B層	80.5	37.8	42.4	17.3	2.2	0.3
		C層	78.6	34.9	43.6	19.2	2.2	0.1
		D層	70.6	29.9	40.1	23.7	5.5	0.8
		A-D層	14.4					
35	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	全体		39.8	43.0	13.1	3.8	0.3
		A層	89.9	51.6	38.2	8.3	1.7	0.1
		B層	86.0	42.2	43.6	11.6	2.3	0.2
		C層	81.3	33.8	47.4	14.5	4.1	0.1
		D層	75.6	31.9	43.1	17.3	6.8	0.8
		A-D層	14.3					
36	学校に行くのが楽しい。	全体		35.7	43.1	15.4	5.5	0.3
		A層	83.1	38.7	44.3	13.1	3.9	0.1
		B層	81.7	37.1	44.5	14.1	4.1	0.2
		C層	79.2	35.6	43.4	14.7	6.0	0.2
		D層	73.1	32.2	40.3	19.3	7.4	0.8
		A-D層	10.0					
37	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	全体		59.6	31.6	7.1	1.3	0.3
		A層	93.2	67.7	25.4	5.9	0.8	0.1
		B層	93.8	61.0	32.6	5.5	0.7	0.2
		C層	92.8	57.7	34.9	6.1	1.1	0.1
		D層	86.8	52.7	33.4	10.5	2.5	0.8
		A-D層	6.4					
38	新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。	全体		28.2	52.3	16.7	2.6	0.3
		A層	90.6	40.3	50.2	8.7	0.7	0.1
		B層	85.6	31.0	54.4	13.2	1.2	0.2
		C層	78.4	22.4	56.0	19.0	2.5	0.1
		D層	68.8	19.5	48.8	25.6	5.3	0.8
		A-D層	21.8					
39	授業で学習したことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	全体		29.6	45.1	20.9	4.0	0.4
		A層	91.0	50.5	40.3	8.0	1.1	0.1
		B層	82.6	33.7	48.7	15.6	1.7	0.2
		C層	70.5	21.2	49.1	26.0	3.4	0.3
		D層	56.1	13.1	42.5	34.0	9.5	0.8
		A-D層	34.9					
40	授業で学習したことをふだんの生活と結びつけて考えている。	全体		18.7	42.2	31.3	7.4	0.4
		A層	72.0	27.3	44.6	24.2	3.8	0.1
		B層	65.0	20.9	44.0	29.7	5.2	0.3
		C層	57.4	14.9	42.4	34.7	7.9	0.2
		D層	50.7	11.9	38.4	36.5	12.4	0.9
		A-D層	21.3					
41	学習した内容について、何がまだ理解できていないか、わかっている。	全体		33.2	47.3	16.1	3.1	0.3
		A層	88.0	40.3	47.6	10.6	1.4	0.0
		B層	83.0	34.9	48.0	15.2	1.9	0.1
		C層	80.0	29.7	50.2	17.3	2.7	0.1
		D層	72.7	28.2	43.8	21.0	6.1	0.9
		A-D層	15.3					
42	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	全体		20.7	47.4	27.1	4.5	0.2
		A層	84.1	36.2	47.9	14.7	1.2	0.0
		B層	74.7	22.1	52.5	22.8	2.5	0.1
		C層	63.4	13.9	49.4	32.5	4.1	0.1
		D層	51.2	11.2	39.7	38.4	10.1	0.7
		A-D層	32.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
43	学習するとき、筋道を立てて、ものごとを考えている。	全体		15.8	44.6	33.1	6.3	0.3
		A層	75.0	26.1	48.8	21.3	3.7	0.0
		B層	66.4	17.0	49.4	29.4	4.1	0.1
		C層	55.2	11.2	44.0	38.9	5.9	0.1
		D層	45.7	9.0	36.4	42.8	11.1	0.7
		A-D層	29.3					
44	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えている。	全体		21.6	50.6	23.7	3.9	0.3
		A層	81.5	31.6	49.9	16.6	1.9	0.0
		B層	77.6	23.2	54.3	20.2	2.2	0.1
		C層	70.5	18.7	51.7	26.1	3.4	0.1
		D層	60.7	13.3	46.9	31.5	7.5	0.7
		A-D層	20.8					
45	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	全体		22.5	44.2	27.2	5.8	0.3
		A層	71.9	26.5	45.4	24.5	3.6	0.1
		B層	69.4	23.1	46.3	25.9	4.7	0.1
		C層	65.8	21.4	44.3	27.4	6.7	0.2
		D層	61.0	19.4	41.1	30.7	8.1	0.7
		A-D層	10.9					
46	ふだんから新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	全体		22.5	43.3	29.1	4.8	0.3
		A層	74.3	29.3	45.0	22.9	2.8	0.0
		B層	68.9	25.1	43.6	27.7	3.4	0.1
		C層	64.7	19.9	44.7	31.0	4.3	0.1
		D層	56.4	15.8	40.1	34.9	8.4	0.9
		A-D層	17.9					
47	自分と違う意見も尊重している。	全体		56.9	37.4	4.6	0.9	0.3
		A層	96.1	62.8	33.2	3.3	0.7	0.0
		B層	96.6	62.3	34.1	2.9	0.5	0.1
		C層	96.0	56.9	39.1	3.4	0.6	0.1
		D層	89.6	46.0	42.9	8.4	1.9	0.8
		A-D層	6.5					
48	自分で学習の計画を立てている。	全体		20.8	38.7	30.3	9.9	0.2
		A層	68.5	29.7	38.7	23.7	7.8	0.0
		B層	64.5	23.1	41.3	27.8	7.7	0.1
		C層	58.3	17.7	40.6	32.5	9.1	0.1
		D層	47.9	12.9	34.7	37.1	14.6	0.7
		A-D層	20.6					
49	自分たちの学校での学習や生活をよりよくするために進んで話しあったり、活動したりしている。	全体		20.5	44.6	27.9	6.7	0.3
		A層	72.3	27.6	44.7	22.3	5.4	0.0
		B層	69.4	22.5	46.8	25.3	5.3	0.1
		C層	63.3	18.2	45.0	30.3	6.4	0.1
		D層	56.7	14.2	42.1	33.6	9.3	0.8
		A-D層	15.6					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
50	話し合いのとき、考えや意見を進んで出している。	全体		22.1	37.0	31.3	9.3	0.3
		A層	68.3	31.7	36.6	25.0	6.7	0.0
		B層	62.6	24.4	38.1	30.5	6.9	0.1
		C層	56.3	19.5	36.7	34.0	9.7	0.2
		D層	50.3	13.5	36.4	36.1	13.3	0.8
		A-D層	18.0					
51	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートやGIGA端末などに記録している。	全体		29.9	37.8	24.2	7.8	0.3
		A層	76.0	40.7	35.3	19.1	4.8	0.1
		B層	74.6	34.8	39.7	20.4	4.9	0.1
		C層	65.1	25.8	39.3	26.7	8.1	0.1
		D層	56.2	18.9	36.9	30.6	12.9	0.7
		A-D層	19.8					
52	一度考えた後、かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	全体		21.6	49.1	24.4	4.6	0.2
		A層	79.1	28.7	50.4	18.3	2.6	0.0
		B層	74.7	22.8	51.8	22.2	3.0	0.1
		C層	68.8	19.7	49.1	26.7	4.5	0.1
		D層	61.5	15.7	45.4	30.3	7.8	0.7
		A-D層	17.6					
53	それぞれの授業のめあてを意識して取り組んでいる。	全体		18.0	48.5	27.1	6.1	0.3
		A層	69.9	20.5	49.4	24.4	5.7	0.0
		B層	70.3	19.2	51.0	25.7	4.0	0.1
		C層	67.9	17.0	50.9	26.6	5.5	0.1
		D層	59.2	15.5	43.2	31.9	8.6	0.8
		A-D層	10.7					
54	目標に向けて、ふだんからこつこつと学習している。	全体		17.7	39.5	33.5	9.0	0.3
		A層	68.9	26.1	42.9	25.1	5.9	0.0
		B層	61.8	19.0	42.7	31.6	6.6	0.1
		C層	52.2	13.5	38.6	38.0	9.8	0.1
		D層	47.1	12.6	34.0	39.0	13.4	1.1
		A-D層	21.8					
55	調べてわかったことをもとに、自分の考えをまとめている。	全体		21.4	51.0	23.1	4.2	0.3
		A層	85.3	32.4	52.8	13.3	1.5	0.0
		B層	79.3	24.4	54.8	18.8	1.9	0.1
		C層	69.6	16.7	52.8	26.6	3.7	0.2
		D層	56.6	12.5	43.6	33.9	9.0	1.0
		A-D層	28.7					
56	友だちの話に賛成・反対・つけたし、つなげるように発言している。	全体		19.2	41.5	30.6	8.5	0.3
		A層	64.6	23.8	40.8	28.7	6.6	0.0
		B層	63.4	21.2	42.2	28.9	7.6	0.1
		C層	60.2	17.2	42.9	31.3	8.4	0.1
		D層	55.2	14.7	39.9	33.6	10.7	1.1
		A-D層	9.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
57	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	全体		49.5	42.1	6.9	1.2	0.4
		A層	93.4	50.3	43.0	5.8	0.8	0.1
		B層	93.7	52.1	41.5	5.5	0.8	0.1
		C層	93.0	50.8	42.1	5.9	1.1	0.1
		D層	87.7	45.1	41.5	10.2	2.0	1.1
		A-D層	5.7					
58	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている。	全体		51.2	39.7	7.4	1.3	0.4
		A層	92.4	52.2	40.1	6.5	1.1	0.1
		B層	91.5	53.4	38.0	7.6	0.9	0.1
		C層	93.2	52.5	40.6	5.8	1.0	0.1
		D層	88.5	47.3	40.2	9.4	2.0	1.1
		A-D層	3.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				参加し、熱心に活動している。	参加しているが、あまり熱心に活動していない。	以前は参加していたが、現在は参加していない。	今まで参加したことはない。	その他無回答
59	現在、部活動に参加していますか。	全体		63.8	17.7	10.3	7.9	0.4
		A層	88.0	70.2	17.7	6.3	5.7	0.1
		B層	84.9	68.6	16.1	8.1	7.0	0.2
		C層	81.2	62.6	18.4	11.1	7.7	0.2
		D層	73.8	54.7	18.2	15.1	10.8	1.3
		A-D層	14.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
60	学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	全体		42.2	46.4	8.7	2.2	0.5
		A層	93.8	48.6	45.0	5.0	1.2	0.1
		B層	91.9	44.0	47.7	6.5	1.5	0.2
		C層	89.2	40.8	48.1	8.6	2.2	0.4
		D層	81.6	35.9	44.6	14.2	3.9	1.4
		A-D層	12.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）								
				0冊	1、2冊	3、4冊	5、6冊	7、8冊	9、10冊	11冊以上		その他無回答
61	この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（教科書や参考書、マンガは数にいれません。）	全体		42.5	41.0	8.4	3.7	1.4	0.7	2.0		0.4
		A層		33.2	44.5	11.1	4.8	2.2	0.8	3.1		0.2
		B層		38.6	43.6	9.0	4.1	1.3	0.9	2.3		0.2
		C層		44.2	42.4	7.3	2.9	1.3	0.4	1.4		0.2
		D層		54.0	33.2	6.0	2.9	0.8	0.5	1.4		1.2
		A-D層										

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）								
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上		その他無回答
62	学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい学習していますか。	全体		12.2	9.1	11.7	15.9	18.1	14.4	18.3		0.5
		A層		3.7	6.9	10.4	12.4	19.4	19.6	27.4		0.3
		B層		7.6	7.9	11.5	16.1	20.0	16.9	19.7		0.2
		C層		11.6	8.6	12.7	18.7	19.1	12.9	16.1		0.2
		D層		25.0	12.9	12.2	16.4	13.9	8.2	10.2		1.1
		A-D層										
63	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい学習していますか。	全体		25.1	12.8	13.1	10.0	12.8	10.2	15.5		0.5
		A層		8.2	7.3	10.6	11.5	16.4	15.3	30.5		0.3
		B層		17.1	11.6	13.6	10.7	15.8	13.9	16.9		0.2
		C層		28.8	16.3	14.9	9.7	12.3	8.1	9.7		0.2
		D層		45.5	16.0	13.4	8.0	7.0	3.8	5.1		1.2
		A-D層										
64	学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲーム（テレビゲーム、コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームも含む）や、スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	全体		2.1	3.6	8.8	11.2	20.0	12.8	41.1		0.4
		A層		2.3	5.6	13.1	15.1	23.7	13.0	27.0		0.2
		B層		1.9	4.0	9.4	12.7	22.8	12.7	36.3		0.2
		C層		1.6	2.2	7.1	9.5	18.8	14.9	45.7		0.2
		D層		2.9	2.6	5.7	7.4	14.8	10.8	54.7		1.2
		A-D層										

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
65	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	全体		32.2	36.5	20.7	10.1	0.4
		A層	65.7	30.2	35.4	22.5	11.7	0.2
		B層	70.2	32.7	37.4	20.4	9.4	0.2
		C層	70.7	32.6	37.9	20.7	8.6	0.2
		D層	69.5	33.6	35.1	19.3	10.8	1.2
		A-D層	-3.8					
66	朝食は毎日食べている。	全体		69.6	15.5	8.9	5.6	0.5
		A層	93.6	82.1	11.3	4.4	2.1	0.2
		B層	89.7	75.5	14.0	7.2	3.0	0.2
		C層	85.1	68.1	16.9	8.6	6.2	0.2
		D層	73.8	53.6	19.3	15.2	10.7	1.2
		A-D層	19.8					
67	学習することが、すきである。	全体		9.5	34.7	40.1	15.6	0.0
		A層	64.9	18.4	46.5	27.9	7.2	0.0
		B層	49.4	9.6	39.8	39.9	10.7	0.0
		C層	36.3	5.4	30.8	47.4	16.3	0.0
		D層	27.0	4.9	22.1	45.3	27.6	0.2
		A-D層	37.9					
68	学習することは、大切である。	全体		66.3	29.9	2.8	0.9	0.0
		A層	98.6	77.2	21.4	1.1	0.4	0.0
		B層	98.1	71.7	26.5	1.5	0.3	0.0
		C層	96.5	62.9	33.6	2.6	0.9	0.0
		D層	91.8	54.0	37.6	6.1	2.1	0.2
		A-D層	6.8					
69	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	全体		17.2	53.6	24.8	4.3	0.1
		A層	86.2	30.4	55.8	12.8	1.1	0.0
		B層	77.9	19.0	58.9	20.0	2.1	0.0
		C層	67.0	11.0	55.9	29.2	3.9	0.0
		D層	53.0	8.9	44.0	37.3	9.6	0.3
		A-D層	33.2					
70	授業で安心して自分の意見を言うことができる。	全体		21.1	41.4	28.9	8.4	0.1
		A層	75.9	31.0	44.9	20.5	3.6	0.0
		B層	65.9	22.1	43.8	29.0	5.1	0.0
		C層	59.0	17.3	41.7	32.0	9.0	0.0
		D層	50.5	14.6	35.8	34.0	15.4	0.3
		A-D層	25.4					
71	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つと思う。	全体		41.7	43.7	11.7	2.8	0.1
		A層	88.6	45.5	43.0	9.7	1.8	0.0
		B層	86.9	44.9	42.0	10.8	2.2	0.0
		C層	84.7	38.8	45.8	12.8	2.5	0.1
		D層	81.8	38.1	43.5	13.6	4.5	0.3
		A-D層	6.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
72	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	全体		56.4	32.9	8.3	2.3	0.1
		A層	90.9	59.8	31.1	7.3	1.8	0.0
		B層	91.3	58.4	32.7	7.0	1.7	0.1
		C層	90.6	56.9	33.8	7.4	1.9	0.0
		D層	85.1	51.1	33.7	11.2	3.7	0.3
		A-D層	5.8					
73	将来の夢や目標を持っている。	全体		37.4	29.2	23.5	9.8	0.1
		A層	64.6	33.4	31.1	26.7	8.6	0.1
		B層	65.8	35.4	30.4	25.0	9.3	0.0
		C層	68.3	38.8	29.4	22.1	9.6	0.1
		D層	68.4	41.8	26.4	20.1	11.4	0.4
		A-D層	-3.8					
74	人の役に立つ人間になりたいと思う。	全体		63.4	30.6	4.4	1.5	0.1
		A層	94.7	67.0	27.7	4.2	1.1	0.0
		B層	94.8	66.0	28.8	4.0	1.2	0.0
		C層	94.8	64.2	30.6	3.9	1.3	0.0
		D層	92.3	56.8	35.2	5.4	2.3	0.3
		A-D層	2.4					
75	人が困っているときは、進んで助けている。	全体		40.9	48.0	10.0	1.0	0.1
		A層	89.3	36.5	52.8	9.8	0.9	0.0
		B層	89.0	39.8	49.2	10.5	0.6	0.0
		C層	89.9	42.1	47.7	9.4	0.7	0.1
		D層	88.0	45.4	42.4	10.1	1.9	0.3
		A-D層	1.3					
76	自分には、よいところがあると思う。	全体		32.7	44.5	17.2	5.6	0.1
		A層	81.2	34.6	46.6	15.2	3.7	0.0
		B層	80.0	33.2	46.8	16.0	4.0	0.0
		C層	76.5	32.0	44.4	17.8	5.7	0.0
		D層	71.8	31.7	40.0	19.6	8.6	0.2
		A-D層	9.4					
77	不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。	全体		31.1	40.8	21.1	6.9	0.1
		A層	75.3	31.2	44.1	20.1	4.7	0.0
		B層	72.5	30.6	41.9	21.7	5.8	0.0
		C層	72.3	30.9	41.3	20.8	7.0	0.0
		D層	68.4	32.1	36.1	21.4	10.1	0.3
		A-D層	6.9					
78	困ったとき、悩んだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。	全体		39.7	41.6	14.2	4.5	0.1
		A層	84.3	40.4	43.9	12.2	3.5	0.0
		B層	82.9	40.6	42.3	13.1	4.0	0.0
		C層	81.4	38.9	42.5	14.3	4.3	0.0
		D層	77.3	39.3	37.7	16.6	6.1	0.3
		A-D層	7.0					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
79	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	全体		43.7	45.7	8.4	2.2	0.1
		A層	92.9	48.5	44.5	6.1	0.9	0.0
		B層	90.2	45.9	44.3	8.0	1.8	0.0
		C層	89.7	41.2	48.5	8.3	2.0	0.0
		D層	84.9	39.8	44.9	11.0	4.1	0.3
		A-D層	8.0					
80	自分の住んでいる町がすきである。	全体		44.0	42.2	10.3	3.4	0.1
		A層	87.4	44.0	43.3	9.6	3.0	0.1
		B層	87.3	43.8	43.5	9.7	2.9	0.0
		C層	86.6	43.5	43.1	10.1	3.3	0.0
		D層	84.1	45.1	38.8	11.7	4.1	0.2
		A-D層	3.3					
81	今、住んでいる地域の行事に参加している。	全体		12.1	29.5	34.6	23.7	0.1
		A層	42.8	11.2	31.6	37.7	19.6	0.0
		B層	45.7	13.5	32.2	33.5	20.7	0.1
		C層	41.2	12.6	28.5	34.9	23.7	0.2
		D層	37.1	11.2	25.7	32.2	30.5	0.3
		A-D層	5.7					
82	地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。	全体		14.5	38.9	34.9	11.6	0.2
		A層	54.6	14.2	40.3	35.3	10.1	0.1
		B層	58.1	16.4	41.6	32.6	9.4	0.0
		C層	52.0	13.9	38.0	36.3	11.5	0.3
		D層	49.4	13.6	35.6	35.1	15.3	0.4
		A-D層	5.2					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）					
				ほぼ毎日（一部の学習活動）	週３回以上	週１回以上	週１回より少ない	その他無回答
83	前の学年までに受けた授業で、GIGA端末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	全体	17.1	46.6	26.6	7.6	2.0	0.1
		A層	18.2	52.4	22.4	6.2	0.7	0.0
		B層	18.1	48.4	25.7	6.7	1.1	0.1
		C層	16.4	45.3	28.6	7.9	1.9	0.0
		D層	15.8	40.8	29.5	9.4	4.0	0.4
		A-D層						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
84	GIGA端末は学習の役に立つと思う。	全体		56.5	37.0	4.9	1.5	0.1
		A層	93.0	56.7	36.4	5.6	1.4	0.0
		B層	94.4	57.2	37.3	4.4	1.2	0.0
		C層	94.9	56.4	38.5	3.8	1.3	0.0
		D層	92.2	56.3	35.6	5.9	1.9	0.3
		A-D層	0.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
85	めあてや課題により友達の考えを見つけ、話しあったりしている。	全体		30.9	52.1	14.2	2.6	0.3
		A層	88.5	37.0	51.4	10.2	1.3	0.1
		B層	87.0	34.0	52.8	11.4	1.6	0.2
		C層	83.2	28.5	54.6	14.9	1.9	0.2
		D層	74.6	24.5	49.6	20.0	5.3	0.6
		A-D層	13.9					

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合（%）								
			友だちとの会話	先生との会話	先生のみんなへの指示や説明	教科書や資料集	黒板	GIGAたん末で見る友だちの考え	GIGAたん末で見るインターネットなどの資料	GIGAたん末で見る自分の学習などの記録	その他無回答
86	次の中で、学習を進めたり、くわしく考えたりするのに最も便利だと感じるのはどの情報ですか。	全体	20.6	10.5	12.3	26.2	3.8	4.2	20.1	1.4	0.9
		A層	18.1	12.3	12.7	31.9	2.9	3.0	17.8	0.9	0.4
		B層	19.0	11.4	11.3	29.7	4.3	3.6	18.8	1.2	0.7
		C層	21.8	9.2	13.1	25.0	3.9	4.0	20.8	1.1	1.1
		D層	23.4	9.2	12.2	18.5	4.1	6.2	22.5	2.4	1.5
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合（%）	選択肢別回答割合（%）				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
87	総合的な学習の時間では、課題を設定し、その解決に向けて集めた情報をもとに考えたり、まとめたり表現したりしている。	全体		25.0	56.9	15.6	2.3	0.2
		A層	88.4	30.3	58.0	10.2	1.4	0.0
		B層	87.5	29.4	58.1	10.9	1.5	0.1
		C層	82.7	23.6	59.0	16.1	1.2	0.0
		D層	70.2	17.1	52.8	24.8	4.8	0.6
		A-D層	18.2					
88	総合的な学習の時間では、地域や社会の様々な人と関わって学習している。	全体		16.1	44.0	32.6	7.0	0.2
		A層	58.8	16.4	42.3	34.1	7.1	0.0
		B層	62.3	17.6	44.7	30.4	7.3	0.0
		C層	61.6	15.9	45.7	32.8	5.6	0.0
		D層	58.8	14.8	43.7	33.1	7.9	0.6
		A-D層	0.0					
89	総合的な学習の時間では、地域や社会に向けての行動や発信をしている。	全体		12.9	41.9	36.1	8.9	0.2
		A層	55.1	12.8	42.2	35.6	9.3	0.0
		B層	56.1	14.6	41.5	35.6	8.3	0.1
		C層	55.7	12.8	42.8	36.9	7.4	0.0
		D層	53.1	11.5	41.3	36.2	10.4	0.6
		A-D層	2.0					
90	総合的な学習の時間で学んだことは自分の将来の役に立つと思う。	全体		36.0	47.2	13.4	3.2	0.2
		A層	81.7	34.6	47.1	14.9	3.4	0.1
		B層	84.5	36.4	48.0	12.7	2.7	0.1
		C層	85.1	37.1	47.9	11.9	3.0	0.1
		D層	82.8	36.6	45.8	13.6	3.5	0.5
		A-D層	−1.1					

第2章　　Ⅵ　今後の各種事業の取組について

1　研究会・研究部会の各事業

(1)川崎市立小学校国語教育研究会

国語教育研究会の**研究主題「生きてはたらくことばの力を育てる国語教室」**は、国語科での学びが他の教科等でも生かせるようにすることが大切になります。例えばそれは、人とのかかわりをつくりだす力や、必要な情報を探し出し活用する力ともいえます。

国語教育研究会では、国語科の学習を「ことばの教育」として捉え、言葉による見方・考え方を働かせて豊かなことばの使い手を育成するために、「ことばの教育」を通して川崎の子どもの心を育てることを第一に考えてきました。「生きてはたらくことばの力」の意味には、「確かさ」と合わせて、「豊かさ」や「しなやかさ」といったその子らしい表現も含まれます。

【調査結果を踏まえた取組】
- ○年数回開催の常任委員授業では、「目の前の子どもの実態に応じた単元づくり」「資質・能力を明確にした授業」「日常的な言語活動」を手立てとして、研究主題につながる実践の提案をします。
- ○学習状況調査の結果を基に、授業改善につながる実践の提案もしていきます。
- ○国語科教育研修では、子どもが資質・能力を身に付けることと、言葉の見方・考え方を働かせながら主体的な学びを実現することをどのように両立させることができるのか、また、学習状況調査の結果をどのように授業改善につなげていくのかを考える研修を実施します。

（2）川崎市立小学校算数教育研究会

今年度、川崎市立小学校算数教育研究会の研究テーマは、**「考える力が伸びる算数の学び～数学的な　見方・考え方を働かせて、みんなが学んで個が伸びる～」**です。また、その研究テーマを達成するために特に力を入れている重点目標は、【学びの自覚と指導の改善】です。

学びの自覚と指導の改善とは、学習の中で子どもが何を学んだのか、または何が分からなかったのかを教師が適切に見取り、次の学習にどのように生かしていくかを考えることです。このことは、授業改善そのものと考えられます。また、この「学びの自覚と指導の改善」を目指すうえで、大切になるのが【振り返り】と【単元計画（案）の修正】となります。子ども主体の学びを実現するためには、子どもの学習状況や変容を見取り、単元計画を柔軟に修正していく必要があるためです。

【調査結果を踏まえた取組】

〇4月の教科総会においては令和7年度の結果を受けて、算数研究会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、令和8年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することが考えられます。

〇常任委員授業では、研究テーマに向かって、思考を生かした柔軟な学習展開ができるよう「学びの自覚と指導の改善」を意識した単元計画を立て、児童が自分事としての問いを立て、一人ひとりが自分なりの視点で深く考えながら、それぞれの立場で表現・発信する機会をつくっていくことを大切に、授業の提案をします。

〇実践事例集や夏季研修会等において、学習状況調査の結果を踏まえた授業改善への提案を行います。

（3）川崎市立中学校教育研究会国語科部会

令和８年度の国語科部会の**研究主題は、「社会生活に生きる国語力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を 目指して～」**であり、これは学習指導要領の目標を土台としたものです。社会生活を送るにあたっては、確かな国語力を身に付けていくことが求められています。そのために、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し、自分の思いや考えを深めていくことを目指していきます。

【調査結果を踏まえた取組】
○４月の教科総会においては令和８年度の結果を受けて、国語科部会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、令和９年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することが考えられます。
○授業研究会の開催については、本研究部会では、北部地区と南部地区に分かれ、「社会生活に生きる国語力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」という共通テーマのもと、授業研究会に取り組んでいます。本調査の結果を基に、授業改善につながる実践の提案をしていきます。

（4）川崎市立中学校教育研究会社会科部会

今年度の社会科研究会の重点は、「社会的事象を『自分事』としてとらえ、主体的に社会形成に参画しようとする態度の育成～仲間と協働して課題を設定・追究し、自らの言葉で表現する社会科学習を通して～」です。社会科の授業の中で、「社会的事象」と「自分との関係」を考えることやそこに関わっている人たちに共感すること、生徒が学習を進めるうえで、前のめりに取り組んだり、一生懸命考えたりすることを通して、社会的事象を自分事として捉えることができるようにしていくことを大切にしています。そのためにも、生徒自らが課題を立て、追究し、自分の言葉で表現できる単元づくりを行っていけるようにしていきます。そのために、次の3点の手立てを設定しました。

①「単元を貫く課題」の設定　・導入での問題意識が持てる資料　・生徒自らが課題を設定する
②仲間と協働して追究する場面の設定　・社会的事象について話し合う　・協働して追究する
③自らの言葉で表現する場面の設定　・自分が考えたことを話し合う　・単元で学習したことをまとめる

このような社会科学習を通して、主体的に社会形成に参画する態度、学びを人生や社会に生かそうとする公民としての資質・能力の基礎の育成を目指していきます。

【調査結果を踏まえた取組】

◯4月の部会総会で、調査結果を踏まえた授業の進め方について考えたり、6月の教科主任会で資質・能力の育成を目指した単元デザインと授業改善に関する研修を行ったりすることが考えられます。

◯年4回開催する地区授業研究会においては、本調査の結果を踏まえた授業改善を意識しながら、GIGA端末を効果的に活用した授業や話し合い活動を取り入れた授業を通して、仲間と協働して課題を設定・追究し、自らの言葉で表現しながら解決に迫る単元のあり方に議論することが考えられます。

◯これまでの取組によって、生徒が学ぶ意味や価値を見出すことができる単元を貫く課題の設定、ペアやグループによる話し合い活動を取り入れた授業が多く見られるようになりましたが、より一層、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善につながる実践を提案できるようにしていきます。

（5）川崎市中学校教育研究会数学科部会

令和８年度の部会重点目標は、**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、次の３点を重視した指導法の工夫・改善に努めること**です。

① 概念や原理・法則の理解に裏付けられて生きて働く知識及び技能を習得する（知識及び技能）
② 既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見いだし、統合的・発展的に考察する力を育てる（思考力，判断力，表現力等）
③ 問題解決において粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度、多様な考えを認め、よりよく問題を解決する態度を養う（学びに向かう力，人間性等）

また、生徒が数学の学習に主体的に取り組むことができるように、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することが大切です。既習が新たな内容や発展的な内容、あるいは、他教科の学習に生かされたり、また、数学が生活や生活における考え方に生かされたりすることで、その実感は色濃くなります。生涯にわたって必要となる数学的な素養を広く身に付けることを目指しています。

【調査結果を踏まえた取組】
○４月の教科総会、６月と８月に教育委員会と協力し教育課程研究会、２月に教科主任会を予定しています。
○教科総会においては令和７年度の結果を受けて、数学科部会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、令和８年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することも考えられます。
○北部地区と南部地区の２チームで進められている「生徒が主体的に数学的活動に取り組む授業づくり」をテーマにした研究を、調査・分析結果を生かした授業づくりについて考える一助として活用することも考えられます。
○８月の教育課程研究会、２月の教科主任会において、本調査の数学科の分析を報告する予定です。

（6）川崎市立中学校教育研究会理科部会

中学校教育研究会理科部会では、**「見方・考え方を働かせて科学的に探究し、豊かな未来を切り拓く理科教育～生徒一人一人が学びを自己調整するための指導の充実を目指して～」**を目標に研究を進めています。探究の過程を通して、生徒が理科の見方・考え方を働かせながら思考したり、議論したりすることを通して科学的な概念を構築するよう、教師の意識的な授業改善に取り組んでいます。

これらを継続・発展させていくために、未知の状況にも対応できる思考力，判断力，表現力等を育成するとともに、 実社会で生きて働く知識及び技能の習得を図る場面では、理科用語を使いながら、日常生活や身近な事象とのつながりを意識した概念的な理解を図り、学びを人生や社会に生かそうとする授業改善を行っていくことが大切であると考えます。

【調査結果を踏まえた取組】

〇教科部会総会では、本調査を基にした報告及び授業改善例を紹介するとともに、実践指導事例集の内容を紹介する中でも、課題や重点を踏まえた授業づくりや事例等を紹介します。

〇理科部会では、４つの研究推進委員会で研究を推進しており、４地区の地区授業研究会とタイアップをしながら研究の充実と波及に取り組んでいます。これらの機会では、引き続き本調査の結果も踏まえながら、川崎の生徒が科学的に探究する理科教育の研究を推進していきます。

（7）川崎市立中学校教育研究会英語科部会

令和8年度の川崎市立中学校教育研究会英語科部会の研究主題は**「学び合いを通して、自ら即興的に豊かな表現を用いて、考えや気持ちを伝える生徒の育成～学びの連続性を生かした授業の実践～」**です。小学校からのつながりや単元内でのつながりなど学びの継続性を意識した授業づくりを進めています。また、コミュニケーションの目的や場面、状況を設定し、言語活動を通して既習表現を活用させながら生徒のコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図っていきます。

【調査結果を踏まえた取組】
〇実践事例集の中で本調査の結果を踏まえた授業づくりや実践事例を作成し、教科部会総会や教育課程研究会で周知していくことが考えられます。
〇北部・中部・南部の市内3地区で行われる地区別研究会等を通して、本調査の結果を共有したり、授業実践に活用したりして、主題の達成に取り組んでいくことが考えられます。

２　教育委員会の各事業

　調査結果から、かわさき教育プランで示された資質・能力の育成に向け、次の事業において取り組んでまいります。

(1)「拡大要請訪問」
〇調査結果を踏まえ、各学校が学習指導の課題を把握・分析し、カリキュラム・マネジメントの推進や教課程の改善に取り組む中で、更なる授業の改善・充実に向けて指導・助言します。

〇**学校教育目標の実現に向けて**、各教科等において児童生徒の資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を一層推進します。

〇授業後の分科会においては、学習指導要領に基づいた授業計画（学習指導案作成）から、**各学校の児童生徒の状況に即した授業実践と、各学校の調査結果を合わせ**、授業者等とともに、授業改善の手立てについて考えます。

〇全体会においては、校内研修などを通して、調査結果の分析にて明らかになった課題等について着目し、授業改善の手立てについて具体的に助言します。また、単元や題材のまとまりを通して資質・能力をバランスよく育んでいくために、児童生徒の状況に即した単元や題材をデザインする際の具体的なポイント等を伝えていきます。

（2）「各種要請訪問」
○調査結果の成果と課題を踏まえ、各学校が指導改善を取り組む中、各教科等の目標達成に向けた授業改善や学校が**個別に求める支援ニーズを捉え**、それに対応した指導・助言をしていきます。

○「様々な知識や技能を関連付け、目的や場面に応じた判断をすること」が課題として見受けられた場合、その手立てとして、「教える教師から、授業をファシリテートする教師への転換」を促し、児童生徒が各教科等の特質に応じた**「見方・考え方」を働かせ、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう場面を設定すること**を助言します。

（3）「実践事例集の作成」
○本調査の同一母集団の経年比較を踏まえた結果について、確かな学力の育成を目指し、学習指導要領に示す内容が児童生徒一人ひとりに確実に身に付いているかどうかを適切に分析・把握し、その後の学習指導の改善に生かしていくよう研究（部）会の協力のもと研究し、年度末の発行に向けて編集します。

○調査結果でみられた「階層別の平均正答率の差が大きい」ことを踏まえ、児童生徒一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度、児童生徒の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じて、**適切な学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒自身の学習が最適となるよう調整していく具体的な実践事例**を示していきます。

○基礎的・基本的な学習内容はおおむね身に付いており、**資料から情報を読み取り、それらを関連付けて考えたり説明したりすることには課題が見られる**ため、児童生徒一人ひとりの学びを深めたり主体性を引き出したりといった工夫を重ねながら、確実な習得を図ることができる実践事例を示していきます。

(4)「ライフステージ研修」
〇調査結果から成果と課題を捉え、校長のリーダーシップのもと、**学校運営の状況や課題を全教職員で共有し、各種データ等を効果的に活用するなど、**RPDCAサイクルを機能させた検証改善の質をさらに高めるような内容となる研修を実施していきます。

〇ライフステージに応じた役割を明確にして、互いに高め合う意識を共有し人材育成に全教職員が関わることができるようにします。

〇ステージⅠ・Ⅱの学習指導の研修等で、実際の指導を参観して指導の意図を共有することにより、指導方法や知識だけでなく、教師としての志や姿勢も共有できるようにします。

(5)「教育課程研究会」
〇夏季休業中に各教科等で開催する第2回教育課程研究会では、調査結果を踏まえ、学習指導等の改善のポイントについて伝達し、課題解決へ向けた具体的な方策について助言します。

〇各学校においては、分析で見られた課題について検証し、課題解決に向けて、児童生徒の学びの過程を質的に高めていくとともに、「主体的・対話的で深い学び」を軸としながら、実態に即した授業改善の工夫をすることで、各学校における児童生徒の資質・能力の育成につなげます。

第3章　教育委員会事務局各部署による分析

第3章　　Ⅰ　政策推進

教育政策室（キャリア在り方生き方教育・探究担当）

キャリア在り方生き方教育の視点「自分をつくる」

質問内容：将来の夢や目標を持っている。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	87.1	86.9	87.6	88.2	86.4	0.5
令和8年度・小5	84.3	83.5	85.1	85.1	83.9	-0.4
令和7年度・小4	86.9	87.1	87.6	88.6	84.3	2.8
令和8年度・小6	79.6	77.9	79.5	81.1	81.5	-3.6
令和7年度・小5	84.5	84.0	83.9	84.7	85.4	-1.4
令和6年度・小4	86.6	86.9	87.3	88.4	83.6	3.3
令和8年度・中1	79.8	77.9	80.2	80.9	81.1	-3.2
令和8年度・中2	70.0	69.7	69.0	68.9	73.1	-3.4
令和7年度・中1	80.8	78.4	80.2	82.3	82.4	-4.0
令和8年度・中3	66.6	64.6	65.8	68.3	68.4	-3.8
令和7年度・中2	69.0	68.0	68.9	68.8	70.6	-2.6
令和6年度・中1	80.1	79.3	79.3	80.0	81.9	-2.6

質問内容：自分には、よいところがあると思う。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	82.8	86.8	85.4	82.5	77.5	9.3
令和8年度・小5	81.7	84.4	84.5	81.8	76.6	7.8
令和7年度・小4	85.0	88.0	87.4	85.6	78.9	9.1
令和8年度・小6	79.7	82.4	82.0	79.9	74.7	7.7
令和7年度・小5	82.3	86.3	83.3	82.3	77.4	8.9
令和6年度・小4	83.9	88.0	85.5	83.9	78.0	10.0
令和8年度・中1	78.8	83.0	81.8	78.3	73.3	9.7
令和8年度・中2	77.1	80.5	78.8	77.5	72.1	8.4
令和7年度・中1	80.0	82.1	81.9	79.2	77.3	4.8
令和8年度・中3	77.2	81.2	80.0	76.5	71.8	9.4
令和7年度・中2	76.7	79.9	78.4	75.9	73.0	6.9
令和6年度・中1	78.3	81.2	80.3	77.4	74.4	6.8

キャリア在り方生き方教育の視点「自分をつくる」

質問内容：将来の夢や目標を持っている。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
　中学2年生の肯定的な回答の割合は中学1年生より約10ポイント低く、昨年度と同様の傾向です。一方、中学2年生から中学3年生にかけての低下幅は比較的小さくなっています。小学5・6年生と中学1・2年生ではA層よりD層の割合が高く、夢や目標をもつことは、学習の理解度に比例するものではないと考えられます。

質問内容：自分には、よいところがあると思う。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
　小学6年生の同一母集団では、83.9%、82.3%、79.7%となっています。成長に伴い、客観的に自分を見つめ、長所とともに課題にも気づくことが要因として考えられます。同一母集団の中学3年生では、A層とD層では差が見られるものの、中学校段階を通して、肯定的な回答の割合はおおむね維持されています。

【実態に応じた取組の工夫】
「好き」や「得意」を踏まえ、「就きたい職業」に限らず、「なりたい自分の姿」から将来の夢や目標をもてるように、キャリア形成を支援することが大切です。「キャリア在り方生き方ノート」や「キャリア・パスポート」を活用し、学習や学校行事、児童会・生徒会活動等を振り返り、自分のよさや成長に気づくとともに、互いのよさや可能性を認め合う機会を充実させることが重要です。
　また、結果だけでなく、挑戦した努力や工夫、失敗から学んだ過程を価値づけ、取組の意味や成長を実感できるようにすることや、安心してチャレンジする場を設け、その経験を将来の生き方や目標につなげることが大切です。

キャリア在り方生き方教育の視点「みんな一緒に生きている」

質問内容：学級みんなで協力して何かをやりとげうれしかったことがある。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	89.1	91.7	90.4	89.4	85.4	6.3
令和8年度・小5	89.5	91.9	90.3	89.8	86.3	5.6
令和7年度・小4	89.2	91.8	91.4	89.4	84.4	7.4
令和8年度・小6	90.2	90.8	91.4	91.0	88.1	2.7
令和7年度・小5	88.9	91.2	90.2	89.4	84.8	6.4
令和6年度・小4	89.0	91.2	91.2	90.2	83.5	7.7
令和8年度・中1	87.6	90.1	89.1	88.3	84.2	5.9
令和8年度・中2	89.3	90.3	91.3	89.6	87.0	3.3
令和7年度・中1	88.4	89.7	90.1	88.3	85.5	4.2
令和8年度・中3	89.3	90.9	91.3	90.6	85.1	5.8
令和7年度・中2	86.3	89.0	87.9	85.8	82.7	6.3
令和6年度・中1	87.4	89.9	88.9	87.1	83.7	6.2

質問内容：人が困っているときは進んで助けている。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	90.4	92.4	91.7	91.4	87.3	5.1
令和8年度・小5	91.0	92.5	91.8	91.3	88.9	3.6
令和7年度・小4	91.4	93.7	93.7	91.7	86.7	7.0
令和8年度・小6	90.9	91.6	92.5	92.2	88.6	3.0
令和7年度・小5	91.7	93.4	92.8	91.2	89.5	3.9
令和6年度・小4	91.9	93.6	93.1	93.2	87.6	6.0
令和8年度・中1	91.1	92.2	91.4	92.6	89.1	3.1
令和8年度・中2	91.0	91.0	92.1	92.0	89.5	1.5
令和7年度・中1	93.1	92.2	94.9	93.7	91.8	0.4
令和8年度・中3	88.9	89.3	89.0	89.9	88.0	1.3
令和7年度・中2	90.1	90.1	91.9	90.5	88.0	2.1
令和6年度・中1	92.3	93.2	92.7	92.5	91.2	2.0

キャリア在り方生き方教育の視点「みんな一緒に生きている」

質問内容：学級みんなで協力して何かをやりとげうれしかったことがある。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
肯定的な回答の割合は、全ての学年で85%以上となっています。小学6年生の同一母集団では、89.0%、88.9%、90.2%と高い水準を維持し、A－D層の差も7.7ポイントから2.7ポイントへ縮小しています。協力して取り組む活動を通して、所属感や充実感が育まれていると考えられます。また、中学3年生の同一母集団では、87.4%、86.3%、89.3%と大きな変化はなく、協働することの価値を継続して実感していることが考えられます。

質問内容：人が困っているときは進んで助けている。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
肯定的な回答の割合は、全ての学年で90%前後となっており、困っている人を進んで助けようとする意識の高さが読み取れます。小学6年生の同一母集団では、91.9%、91.7%、90.9%と高い水準を維持し、A－D層の差も6.0ポイントから3.0ポイントへ縮小しています。また、中学3年生の同一母集団では、92.3%、90.1%、88.9%と推移しています。学力層による差はほとんどなく、他者を思いやり、支え合おうとする意識が育まれていると考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】
学級活動や学校行事等では、児童生徒一人ひとりが役割をもち、共通の目標に向けて協力する活動を充実させることが大切です。その際、結果だけでなく、互いに支え合った過程や一人ひとりの工夫、貢献を振り返り、達成感や所属感、自己有用感を味わえるようにします。また、困っている人に気づき、相手の立場や思いを考えて適切に行動できるよう、日常の具体的な場面を取り上げて考える機会を設けることも重要です。「かわさき共生＊共育プログラム」のエクササイズ等も活用しながら、互いのよさや違いを認め、安心して助け合える豊かな人間関係づくりを進めることが大切です。

キャリア在り方生き方教育の視点「わたしたちのまち川崎」

質問内容：自分の住んでいる町がすきである。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	93.1	94.9	94.6	93.5	90.3	4.6
令和8年度・小5	92.1	94.2	93.1	92.9	88.7	5.5
令和7年度・小4	92.4	94.7	93.2	93.3	88.4	6.3
令和8年度・小6	90.5	90.0	92.0	91.4	88.6	1.4
令和7年度・小5	91.1	91.7	92.2	91.6	88.9	2.8
令和6年度・小4	92.3	95.0	93.4	92.7	88.0	7.0
令和8年度・中1	89.0	90.5	90.1	89.2	87.2	3.3
令和8年度・中2	87.6	88.1	88.6	88.4	86.1	2.0
令和7年度・中1	88.8	88.5	89.8	89.1	87.9	0.6
令和8年度・中3	86.2	87.4	87.3	86.6	84.1	3.3
令和7年度・中2	85.1	85.5	85.7	85.0	84.4	1.1
令和6年度・中1	88.2	90.3	89.2	87.9	85.6	4.7

質問内容：地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	75.6	79.0	77.2	76.3	71.6	7.4
令和8年度・小5	73.4	78.8	75.0	72.5	67.5	11.3
令和7年度・小4						
令和8年度・小6	70.2	72.2	73.2	71.1	65.0	7.2
令和7年度・小5						
令和6年度・小4						
令和8年度・中1	66.6	71.3	68.9	66.1	61.2	10.1
令和8年度・中2	59.0	61.1	59.5	60.3	55.9	5.2
令和7年度・中1						
令和8年度・中3	53.4	54.6	58.1	52.0	49.4	5.2
令和7年度・中2						
令和6年度・中1						

キャリア在り方生き方教育の視点「わたしたちのまち川崎」

質問内容：自分の住んでいる町がすきである。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
肯定的な回答の割合は、全ての学年で83%以上となっています。小学6年生の同一母集団では、92.3%、91.1%、90.5%と緩やかに低下する一方、A－D層の差は7.0ポイントから1.4ポイントへ縮小しています。中学3年生でも88.2%、85.1%、86.2%と推移していますが、学力層による差は小さくなっています。

質問内容：地域や社会をよくするために、何かしたいと思ったことがある。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
「自分の住んでいる町がすきである」と比べて肯定的な回答の割合が低く、地域に好感をもっていても、行動意欲に結び付いていない児童生徒がいると考えられます。また、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が低くなる傾向が見られます。学年が上がるにつれて、地域や社会の課題をより現実的に捉え、自分一人では解決が難しいと考えるようになることが一因と考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】
地域への愛着を社会参画につなげるためには、地域のよさや課題を自分事として捉え、地域や社会のために主体的に行動する機会を充実させることが大切です。総合的な学習の時間等において、地域の人々と関わりながら課題を見いだし、解決に向けて考えたことを提案・発信する学習を進めます。その際、「キャリア在り方生き方ノート」や「キャリア・パスポート」を活用し、地域との関わりを通して得た気づきや自分の役割を振り返り、取組の意味や成果を実感できるようにすることが重要です。また、コミュニティ・スクールを活用した地域連携を推進し、児童生徒が社会の創り手として主体的に参画できるよう、教育活動を計画的に位置づけることも大切です。

第3章　　Ⅱ　SOSの出し方・受け止め方教育

SOSの出し方・受け止め方教育（教育相談センター）

質問内容：不安や悩み、ストレスがあるとき、誰かに相談できている。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	64.3	68.2	65.8	65.4	58.5	9.7
令和8年度・小5	63.4	66.1	65.2	63.1	59.4	6.7
令和7年度・小4	67.3	69.3	67.9	67.5	64.2	5.1
令和8年度・小6	63.8	64.7	65.3	64.1	61.8	2.9
令和7年度・小5	64.0	66.5	65.0	62.0	62.6	3.9
令和6年度・小4	68.6	70.9	69.0	69.6	64.6	6.3
令和8年度・中1	66.1	70.0	67.2	66.1	62.7	7.3
令和8年度・中2	68.7	71.5	70.8	69.4	64.2	7.3
令和7年度・中1	66.1	67.6	66.3	66.4	64.4	3.2
令和8年度・中3	71.9	75.3	72.5	72.3	68.4	6.9
令和7年度・中2	66.5	69.7	68.7	64.6	63.3	6.4
令和6年度・中1	65.7	68.4	67.2	65.0	62.4	6.0

【分析結果】
　中学3年生では、学年が上がるにつれて市全体の肯定的な回答の割合が上がっています。また、いずれの学年でもD層に「相談できていない」と感じている児童生徒が多いことが読み取れます。

【実態に応じた取組の工夫】

　「かわさき共生＊共育プログラム」に位置付けている「川崎市SOSの出し方・受け止め方教育」を引き続き推進します。

　「川崎市SOSの出し方・受け止め方教育」は、児童生徒が日常的なストレスや不安を解消し、自分らしく生き抜いていくために必要な力として、自分の心の状態を理解して早期に問題を認識する力や、相談する力（援助希求的態度）の促進を図ることを目的とした取組です。
　「相談すること」への心理的なハードルを低くするためには児童生徒が「相談とはどのようなことなのか」ということについてより理解を深められるよう、「相談」という言葉が表す具体的な行動や内容を例示するなど、継続的に、児童生徒と確認していくことが大切です。

　また、それとともに、子どもも大人もSOSを受け止める「受容傾聴」の姿勢について理解し、安心して相談できる環境づくりをしていくことが必要です。
　教育相談の場面では、その児童や生徒への理解に基づいて行うことや、あらゆる場面に通用する指導や支援の方法は存在しないことを理解し柔軟な働きかけを目指すこと、どの段階でどのような指導・援助が必要かという時間的視点を持つことなどを心がけることが大切です。

第3章　　Ⅲ　人権・多文化共生教育

教育政策室人権・多文化共生教育担当

質問内容：自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	86.6	90.6	88.0	87.0	80.6	10.0
令和8年度・小5	87.3	90.1	90.3	87.3	81.6	8.5
令和7年度・小4	84.0	88.0	86.1	82.8	78.9	9.1
令和8年度・小6	88.6	91.5	90.5	89.0	83.5	8.0
令和7年度・小5	85.1	89.7	87.3	84.1	79.4	10.3
令和6年度・小4	84.8	89.0	85.6	84.6	79.6	9.4
令和8年度・中1	89.9	93.0	92.1	89.5	84.9	8.1
令和8年度・中2	88.7	92.6	91.0	88.2	83.1	9.5
令和7年度・中1	88.1	91.9	89.5	87.2	83.7	8.2
令和8年度・中3	89.4	92.9	90.2	89.7	84.9	8.0
令和7年度・中2	86.2	90.4	89.0	85.1	80.4	10.0
令和6年度・中1	81.1	83.1	84.1	80.8	76.4	6.7

【分析結果】
身近な大人から支援を受けながら自分のことを自分で決められる」という実感は、全体として高い水準にあり、特に中学生では90%前後まで高まっている。一方で、学力層別に見るとA・B層とD層との間には8～10ポイント程度の差が継続して見られる。したがって、全体としての肯定率を高めるだけでなく、特にD層の児童生徒が『自分で決めることができる』『大人が自分の意思を尊重しながら支えてくれている』と実感できる支援の在り方が課題である。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	83.3	87.4	85.5	83.2	77.1	10.3
令和8年度・小5	83.1	85.5	85.2	83.5	78.3	7.2
令和8年度・小6	83.0	84.8	84.0	84.0	79.0	5.8
令和8年度・中1	81.9	84.5	83.3	81.2	78.4	6.1
令和8年度・中2	80.5	82.7	82.3	80.7	76.3	6.4
令和8年度・中3	81.5	84.3	82.9	81.4	77.3	7.0

質問内容：困ったとき、なやんだときは、身近な大人が話を聞いてくれている。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

【分析結果】
困ったときや悩んだときに身近な大人が話を聞いてくれるという実感は約8割と比較的高い。一方で、学力層別に見ると全学年でA層とD層の差が認められ、特に小4では10.3ポイントと大きい。また、中学校では全体値が小学校より低下しており、相談のしやすさという面で課題が見られる。今後は、特にD層の児童生徒が、困ったときに『話してもよい』『話を聞いてもらえる』と実感できる日常的な関係づくりを進めることが重要である。

【実態に応じた取組の工夫】

児童生徒が「自分のことは自分で決めてよい」「困ったときには身近な大人に相談してよい」と実感できるよう、日常的な関わりを大切にすることが重要になります。特にD層の児童生徒については、相談に来るのを待つのではなく、教員から積極的に声をかけ、短時間でも継続的に話をする機会を設ける必要があります。その際、「どうしたい？」「どちらならできそう？」など本人の考えや選択を尊重し、大人が答えを決めるのではなく、一緒に考えながら支援を進めていくことが大切です。まずは話を聴き、気持ちを受け止めることを意識しましょう。さらに、自分で選択したことや、困ったときに助けを求められたことなど、小さな成長や行動を具体的に認めることは、自己決定への自信を育てていくことにつながります。担任だけでなく、学年の教員や支援教育Co、養護教諭、スクールカウンセラー等、児童生徒が自分に合った相談相手を選べる体制を整え、「聴く・選ばせる・認める」関わりを継続することで、子どもの主体性を育て、相談体制を整えていくことができるのではないでしょうか。

・「子どもの権利学習」の実施

「川崎市子どもの権利に関する条例」に示されている**「7つの権利」**について知り、考え、深めることを通して、権利の実現を目指すことは大切です。

特に、身近な大人が子どもの年齢や成長に応じて対話し、相談しやすい環境を整えるなど適切なサポートを行うことは、子どもの「7つ権利」の実現に大きくつながります。子どもに関わる全ての大人が、子どもを「全面的な権利の主体」としてとらえ、子ども自身の人間性を尊重することが求められます。

子どもの権利学習資料



※参考 1. 人権教育の指導方法等の在り方について（第三次とりまとめ）2008年　文部科学省
2. 生徒指導提要　2022年　文部科学省

第3章　　Ⅳ　情報・視聴覚センター

情報・視聴覚センター

質問内容：GIGA端末は学習の役に立つと思う。
＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和8年度・小4	92.4	94.0	94.7	93.5	87.9	6.1
令和8年度・小5	93.3	94.0	94.5	94.0	90.6	3.4
令和7年度・小4	91.8	95.2	93.7	92.1	86.2	9.0
令和8年度・小6	94.6	94.8	95.4	95.6	92.6	2.2
令和7年度・小5	92.8	94.3	94.8	93.6	88.5	5.8
令和6年度・小4	91.9	95.6	93.5	92.4	86.1	9.5
令和8年度・中1	94.7	95.7	94.7	95.4	93.1	2.6
令和8年度・中2	93.8	93.3	94.6	94.0	93.4	-0.1
令和7年度・中1	93.2	94.1	95.1	93.1	90.5	3.6
令和8年度・中3	93.6	93.0	94.4	94.9	92.2	0.8
令和7年度・中2	90.4	90.7	91.8	91.5	87.6	3.1
令和6年度・中1	93.1	94.0	94.9	93.9	89.5	4.5

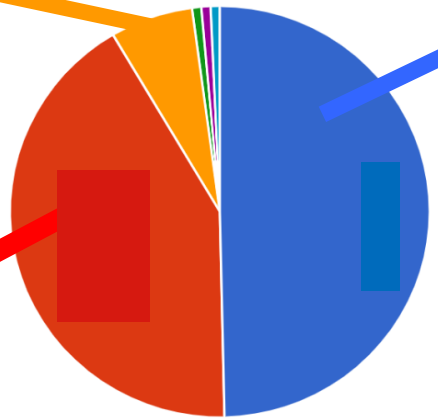
【分析結果】
　同一母集団のA-D層の差は、D層の数値が増加によって年度を追うごとに小さく、C、D層ほど増加量が大きい傾向がある。 同一学年の推移も肯定的な回答割合は増加傾向にある。

【実態に応じた取組の工夫】
　GIGA端末の学習への有用性について、同一母集団におけるA-D層の差が小さくなっており、相対的にC、D層の増加が大きいことがわかる。このことはタイピングやインターネット検索等のGIGA端末を学習利用する上での初期指導等の充実を図ることが重要であることを意味しており、早期に実施することがC、D層への支援として有効であると言える。
　さらに、自らの学びをよりよくするために初期指導の段階からさらに一歩進め、「探究の過程（課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現）」や振り返りといった学び方の習得を意識したGIGA端末の活用を進めていくことで、学習の基盤となる情報活用能力を質的に高め、学習内容の理解度の向上に寄与していくことが期待される。
　また、A、B層のGIGA端末の学習への有用性の増加量は相対的に小さく、頭打ちと解釈もできる状態にあるが、このような活用により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実を促進させ、より深い学びへとつなげることができ、有用性が高まるものと考えられる。したがって、今後は情報活用能力の高度な育成を意識し、教科横断的な視点を取り入れたカリキュラム・マネジメントの推進が重要であり、意図的に「探究の過程（課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現）」や振り返りに沿う学習場面を創出していく必要があるといえる。

第4章
9月25日担当者説明会とモデル校の取組より

第4章　　Ⅰ　担当者説明会

実施日について



3日設定
6.4%

1日設定
49.6%

2日設定
41.8%

●意識調査だけ別日設定
●小学校　4年生だけ2日設定
●教科調査の前に意識調査を実施

動画、音声データについて

国語と英語の音声

CDのみ→CD又は<u>データ</u>

GIGA端末で再生可能

実施に関する解説動画

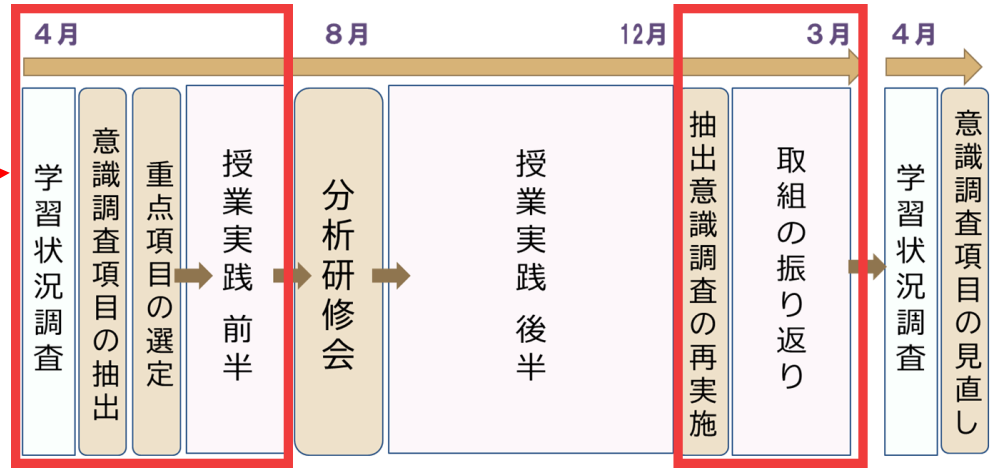
冊子のみ→冊子又は<u>動画</u>

受検票
意識調査
教科調査

教員用
児童生徒用

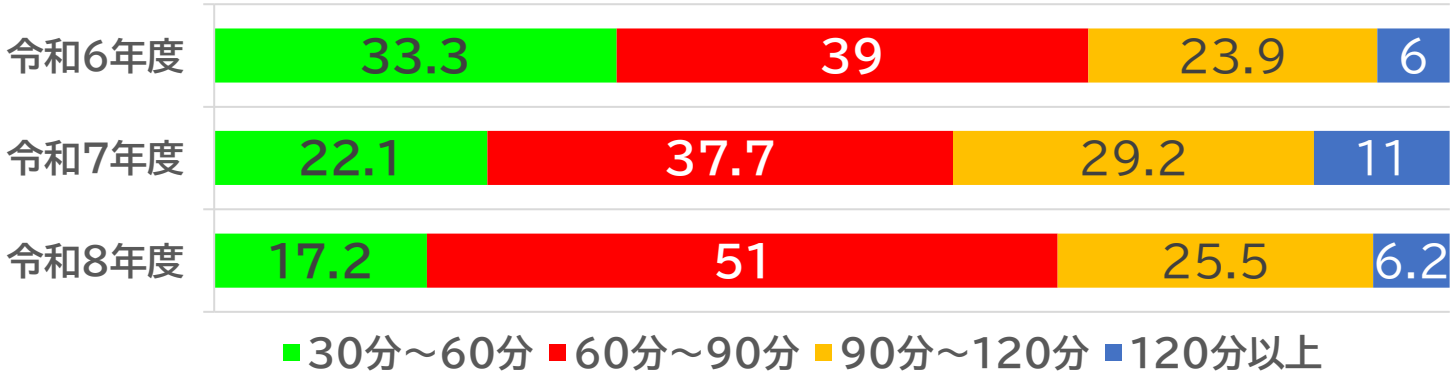
学校全体で調査結果を活用する時期について

通年活用モデルにおける4月～7月は、前年度の取組（授業改善の手立て）を引き継ぐ等の取組が有効。



●各学校で設定した意識調査から抽出した項目の<u>再調査を実施</u>
●年間の<u>振り返り</u>＆次年度への<u>引き継ぎ</u>

校内分析研修会の時間設定について



●30分～60分と回答した学校も分析は事前に済ませている。
●より詳細な分析や授業改善に向けての協議に注力している。

校内分析研修会について

今年度の工夫
●教科・意識調査で経年変化がどのように見られるか、その変化の裏にはどのような取り組みがあるかに重点をおいて行った。
●学年が上がるにつれてA層とD層との差が広がる傾向が近年続いていることから、改善点を校内研究のテーマと関連付け、次期学習指導要領を見据えながら授業改善について考えた。

研修会を終えた先生方の意見
●データを分析することで、学校全体での確実な方向性の共有と見通しの統一を図ることができた。
●各教科ごとに分析・立案を行ったことで、自分事として課題を捉えることができたので、授業改善の一つの要素として研修会の内容を有効活用している。

校内分析研修会における共通事項について

●実施学年、実施教科のみの分析にとどまらず、学校全体で取り組むこと。
●実態に応じてデータを焦点化することで、意識調査の分析を効率的に行い、手立てを検討し、実施すること。

第4章　　Ⅱ　モデル校の事例

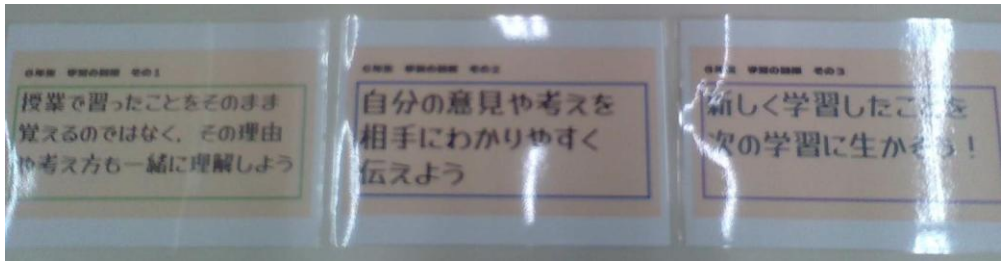
【小学校の事例】
第6学年における学習状況調査を活用した実践報告

①重点項目について

A　実態把握
・昨年度の学年からの引き継ぎ　　・4月からの児童の見取り
・本校の学習状況調査の結果（令和7・8年度）　　・学年での話し合い　　など

B　重点項目の設定
　児童の実態　⇨　抽出項目・重点項目を設定（年間取組シート）、学年ごとの分析・対話
・授業で学んだことをそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。
・新しく学習したことを、次の学習に生かそうとしている。
・自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

C 「重点項目」を児童と共有
〈教室掲示の例〉



〈振り返りシート〉

単元名「データの見方」
①授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、
　その理由や考え方も一緒に理解しよう！！
②新しく学習したことを次の学習に生かそう
③自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

出席番号	①見方・考え方 （どこに着目したか、 どうやったらできたか）	②問い・発展的問題 「だったら…」 （わからないこと、 次に知りたいこと）

いつでも視覚的に確認できる環境作り

②実践の様子について

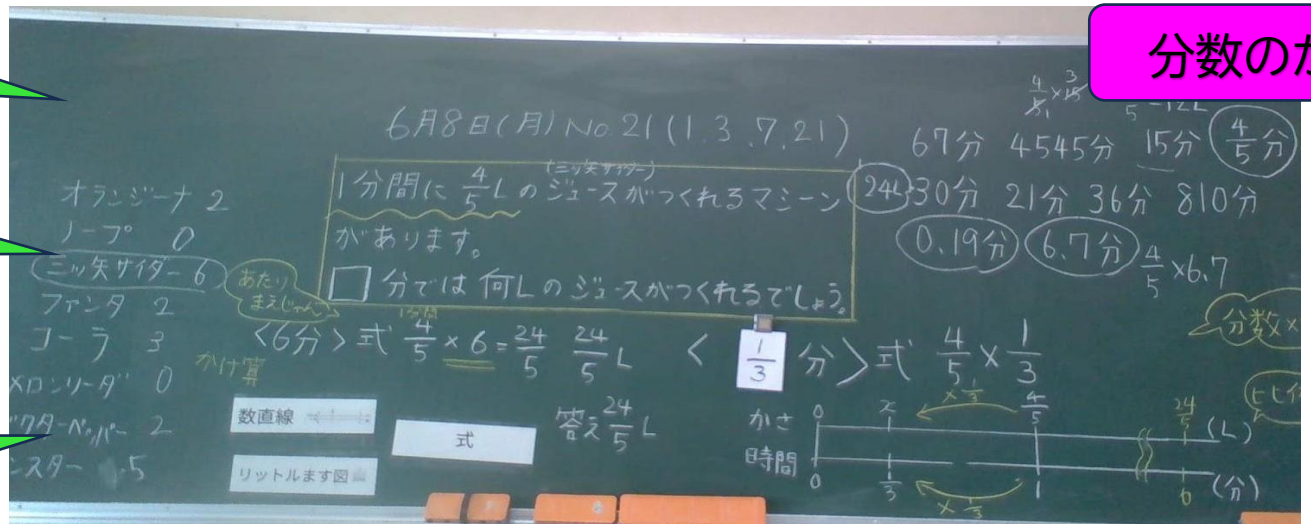
A　つけたい力と主な単元計画の共有

分数×整数　⇒既習

分数×分数　⇒未習

分数×小数　⇒未習

〈はじめに、□を使った問題で既習と未習を確認〉



単元の見通しをもたせる。

〈振り返りシートの活用〉

分数のわり算

【つけたい力】

○分数÷分数の意味を理解し、計算ができる力
○分数の除法でも、整数や小数と同じ（倍の）関係や法則が成り立つことを理解する力
○分数の意味や表現、計算の性質に着目し、計算のしかたを考える力
○分数のわり算のしかたを多面的に捉え、検討する力
学習したことを生活に活用しようとする力

つけたい力

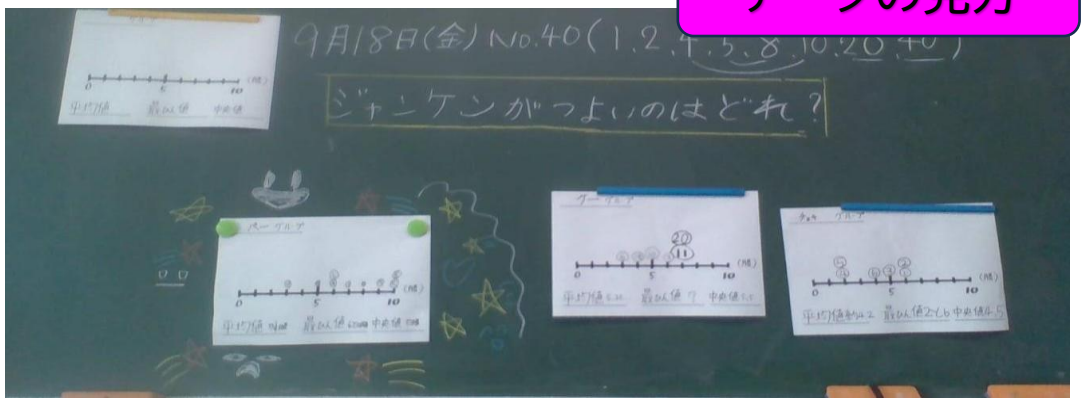
主な単元計画

【単元計画】

		大切だった見方・考え方
1	分数÷分数（単位分数）の意味と	わられる数とわる数に

〈単元の最後に、自分たちで調べたデータを分析することを知らせる。〉

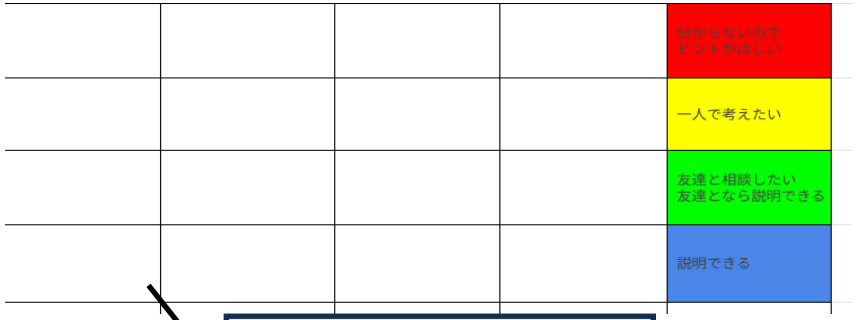
データの見方



めあてをもって学習に取り組む。

B　相談タイム

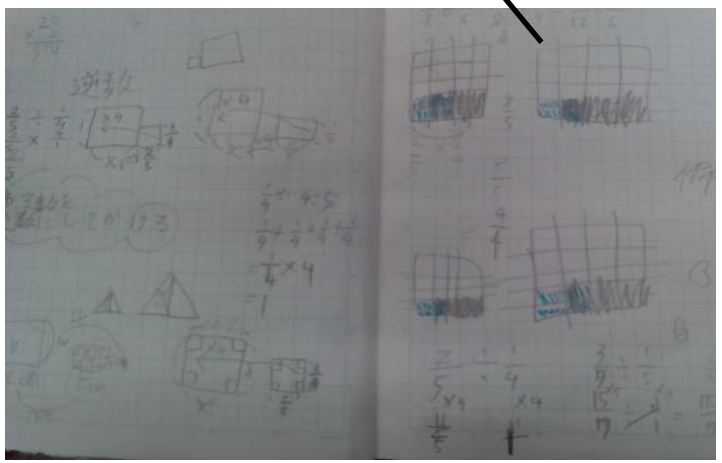
〈メタ認知と学習方法の選択〉

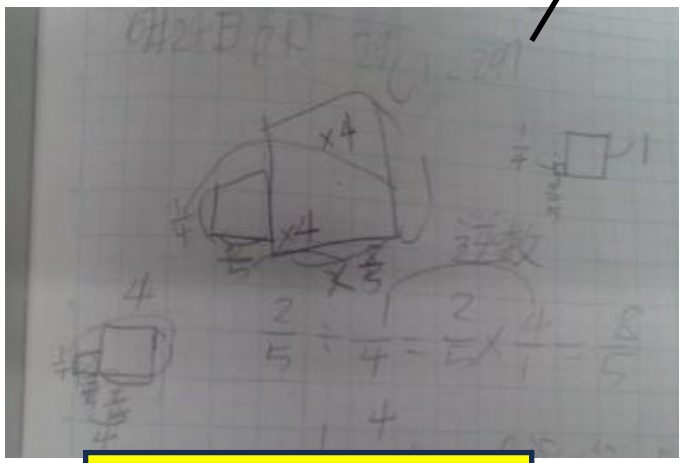


座席表の活用

〈ノートの活用〉

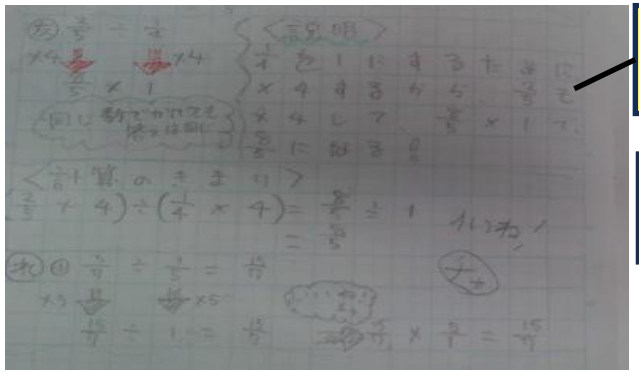
お互いにノートを使って繰り返し説明





発展的な視点

〈全員がアウトプットする機会の設定〉



自分の考え方を配信

本質にせまる問い返し

「どうして逆数をかけたの？」
⇒整数にすれば計算できる！

C　振り返り

出席番号	①見方・考え方（どこに着目したか、どうやったらできたか）	②問い・発展的問題「だったら…」（わからないこと、次に知りたいこと）
1	辺の長さ、角度をはかって図形を書いたらできた。	円とかがある図形も書いてみたい。
2	線対称は辺の長さと角度を測って、書くと書けることがわかった。	他の線対称の図形もやってみたい
3	線対称は辺の長さや角度を調べると書ける。方眼があるともっとやりや	点対称の書き方をやると思うからそ も覚えたい。

発展につながる発問

「たまたまじゃないの？」
⇒ほかの図形でもできるかな？

③成果と今後の取組について

【成果】

・次にどんな問題をどんな方法で考えたいか見通しをもって取り組む姿が見られた。
・苦手な児童も友だちの考えを聞き、自分なりの方法で考え方を説明することができた。

【今後の取組】

・苦手な子も、本質的な着眼点に気づき、発展的な振り返りができる手立てが必要。
・この取り組みを、学年、学校に伝える仕組みづくりを整える。

【中学校の事例】
第2学年における学習状況調査を活用した実践報告

①重点項目について

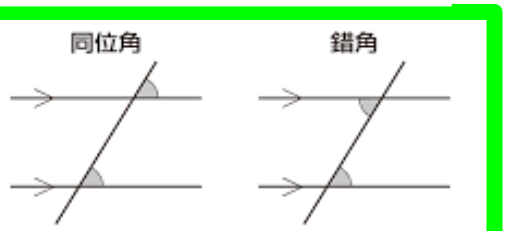
〇生徒の様子：自分の考えを発信することが苦手。自分で考えず、すぐに周りの友達に考え方を聞く。
〇教師の願い：粘り強く考える姿勢を身につけてほしい。

〈重点項目の設定〉
・新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。
・授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。
・わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。
・私は、自分たちの学習や生活をよりよくするための話し合いや活動に、進んで取り組んでいる。

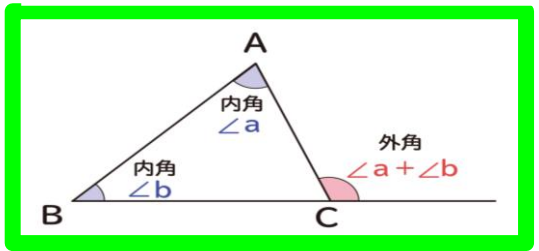
②実践の様子について
「平行と合同」

関連する既習

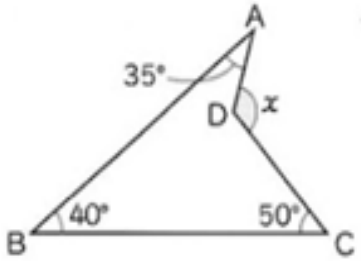
〈平行線の性質〉



〈内角と外角の性質〉

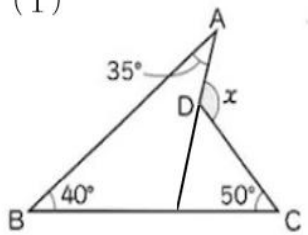


問題１：Xの角度を求める。

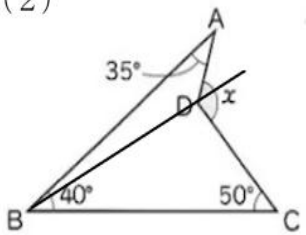


問題２：他者がひいた補助線の理由を考える。

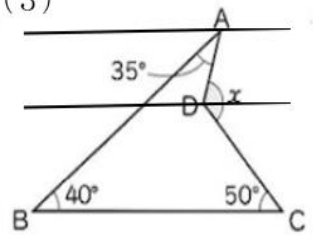
（1）



（2）



（3）



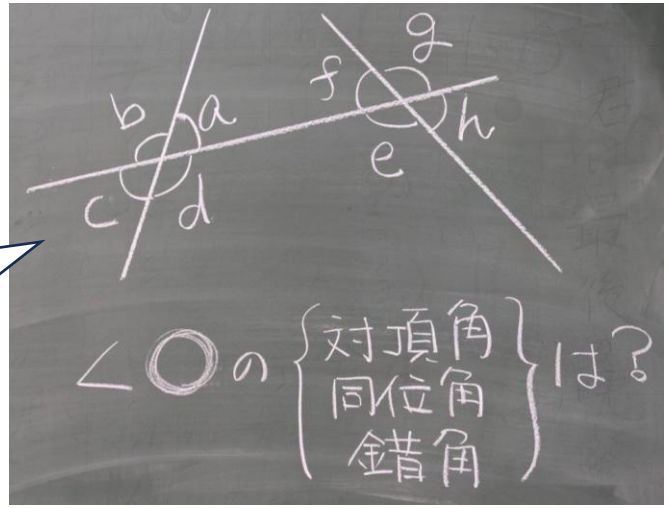
着目した生徒Aの様子

・普段から教科書やノートを振り返ろうとはしていない。
・困っていても、自分から人に話しかけない。

課題①
既習を問題解決につなげようとしていない

関連する既習を確認
（課題①に対する手立て）

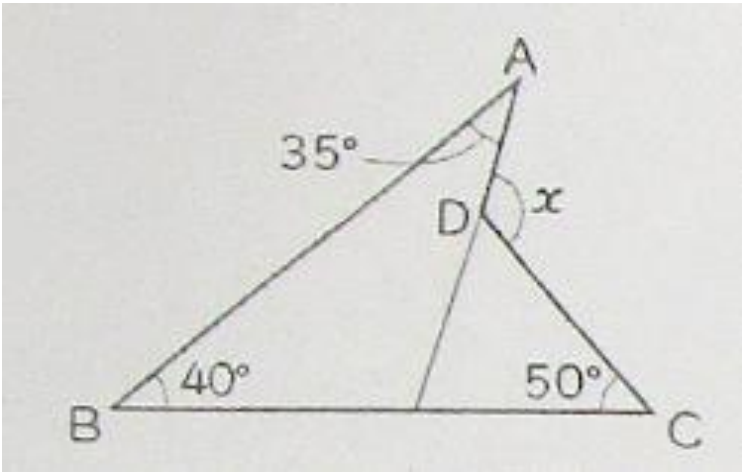
ペアで問題を出し合う

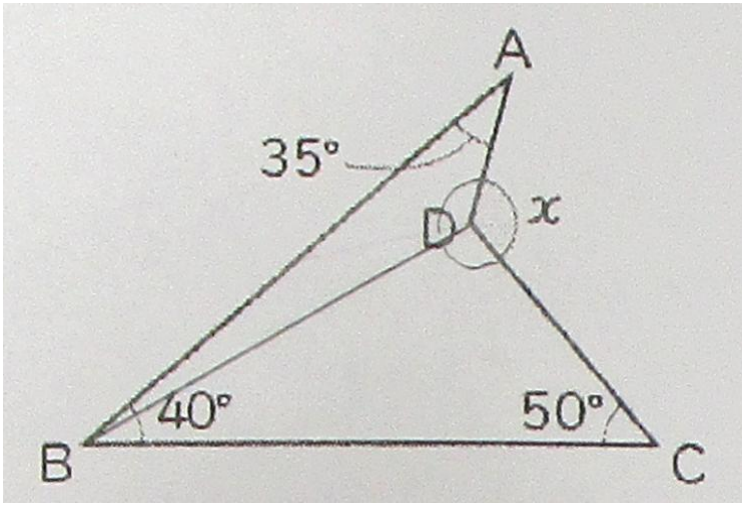


生徒自身が問題を出すことで、気をつけたほうがよい点などを考えることができる。

既習をつなげようとしている姿

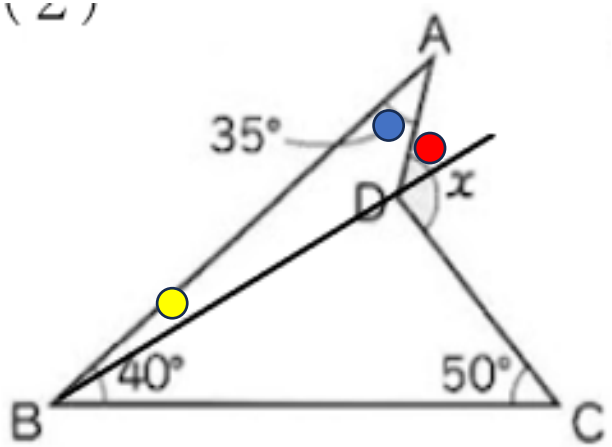
補助線を引き、図形を２つに分けた





着目した生徒Aの様子

友達の説明✕　ノート✕

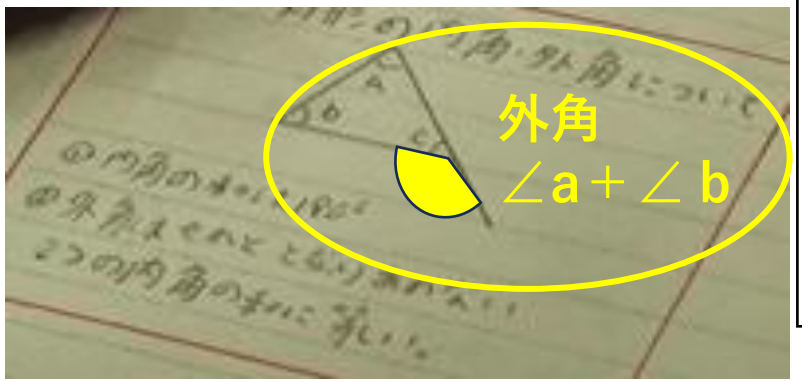


「錯覚が等しいから・・・」

課題②
既習を問題解決につなげようとしているが、うまく使いこなせていない

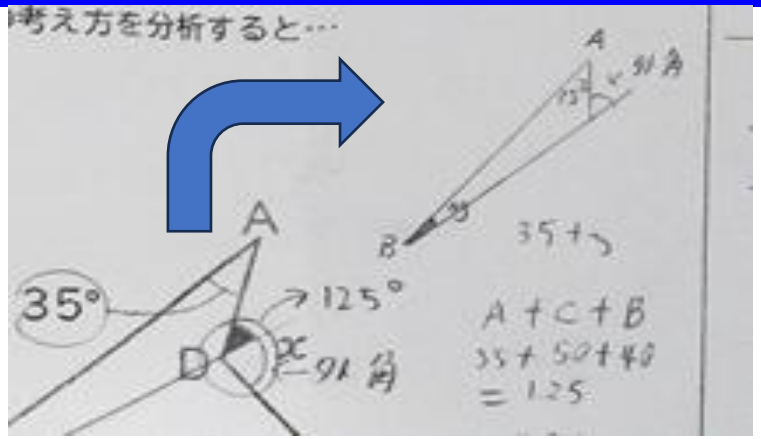
つまずきを想定
（課題②に対する手立て）

既習の学習場面を確認



既習をつなげようとしている姿

図形を取り出して、外角の位置を確認



理解が不十分であった内閣と外角の性質について考え直した。

③成果と今後の取組について

【成果】
・生徒の段階に応じた手立てを行うことで、既習を問題につなげ、既習を活用するよさを実感する経験を積み重ねることができた。

【課題】
・問題解決につなげることができた後、次のステップとして、積み重ねてきた既習と関連付けるなど統合的に考えたり、発展的に考えたりする必要がある。

令和8年度　川崎市学習状況調査　全市報告書

令和8年11月発行

発　行：川崎市教育委員会・川崎市立小学校長会・川崎市立中学校長会
連絡先：川崎市総合教育センター　カリキュラムセンター
〒213－0001　川崎市高津区溝口6－9－3
TEL　044－844－3722
FAX　044－844－3727